

第4章 自然科学分析

第1節 放射性炭素年代測定（AMS測定）

（株）加速器分析研究所

1 測定対象試料

砂子瀬遺跡は、青森県中津軽郡西目屋村大字砂子瀬字宮元（北緯40° 31′ 48″、東経140° 14′ 36″）に所在し、岩木川と湯ノ沢川の合流点に面する標高約190mの河岸段丘上に位置する。測定対象試料は、柱穴や土坑から出土した炭化物5点である（表1）。

掘立柱建物跡SB24、SB25、SB28、SB37は環状に配列され、これらを構成する柱穴から試料No.1、No.2、No.4、No.5が出土した。土坑BSP07の堆積土は人為埋没と判断され、その中から出土した石器剥片に多量にこびりついた炭化物を試料No.3とした。いずれの遺構も縄文時代後期と考えられている。

2 測定の意義

遺構の時期を明らかにする。BSP07は、十腰内I式期の可能性があるが、出土土器が少ないため、年代測定によりクロスチェックを行う。

3 化学処理工程

- (1) メス・ピンセットを使い、根・土等の付着物を取り除き、必要量の試料を採取、乾燥させ、秤量する（付表「処理前試料量」）。
- (2) 酸-アルカリ酸（AAA：Acid Alkali Acid）処理により不純物を化学的に取り除く。その後、超純水で中性になるまで希釈し、乾燥させ、秤量する（付表「処理後試料量」）。AAA処理における酸処理では、通常1mol/l（1M）の塩酸（HCl）を用いる。アルカリ処理では水酸化ナトリウム（NaOH）水溶液を用い、0.001Mから1Mまで徐々に濃度を上げながら処理を行う。
- (3) 必要量を採取、秤量（付表「燃焼量」）した試料を燃焼させ、二酸化炭素（CO₂）を発生させる。
- (4) 真空ラインで二酸化炭素を精製、定量する。この二酸化炭素中の炭素相当量を算出する（付表「精製炭素量」）。
- (5) 精製した二酸化炭素を鉄を触媒として水素で還元し、グラファイト（C）を生成させる。
- (6) グラファイトを内径1mmのカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、測定装置に装着する。

4 測定方法

加速器をベースとした¹⁴C-AMS専用装置（NEC社製）を使用し、¹⁴Cの計数、¹³C濃度（¹³C/¹²C）、¹⁴C濃度（¹⁴C/¹²C）の測定を行う。測定では、米国国立標準局（NIST）から提供されたシュウ酸（Hox II）を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。測定回数と¹⁴Cカウント数を付表に示す。

5 算出方法

- (1) $\delta^{13}\text{C}$ は、試料炭素の ^{13}C 濃度 ($^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$) を測定し、基準試料からのずれを千分偏差 (‰) で表した値である (表1)。AMS装置による測定値を用い、表中に「AMS」と注記する。 $^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比は付表に記載する。
- (2) ^{14}C 年代 (Libby Age : yrBP) は、過去の大気中 ^{14}C 濃度が一定であったと仮定して測定され、1950年を基準年 (0yrBP) として遡る年代である。年代値の算出には、Libbyの半減期 (5568年) を使用する (Stuiver and Polach 1977)。 ^{14}C 年代は $\delta^{13}\text{C}$ によって同位体効果を補正する必要がある。補正した値を表1に、補正していない値を参考値として表2に示した。 ^{14}C 年代と誤差は、下1桁を丸めて10年単位で表示される。また、 ^{14}C 年代の誤差 ($\pm 1\sigma$) は、試料の ^{14}C 年代がその誤差範囲に入る確率が68.2%であることを意味する。
- (3) pMC (percent Modern Carbon) は、標準現代炭素に対する試料炭素の ^{14}C 濃度の割合である。pMCが小さい (^{14}C が少ない) ほど古い年代を示し、pMCが100以上 (^{14}C の量が標準現代炭素と同等以上) の場合Modernとする。この値も $\delta^{13}\text{C}$ によって補正する必要があるため、補正した値を表1に、補正していない値を参考値として表2に示した。
- (4) 暦年較正年代とは、年代が既知の試料の ^{14}C 濃度を元に描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の ^{14}C 濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年較正年代は、 ^{14}C 年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり、1標準偏差 ($1\sigma = 68.2\%$) あるいは2標準偏差 ($2\sigma = 95.4\%$) で表示される。グラフの縦軸が ^{14}C 年代、横軸が暦年較正年代を表す。暦年較正プログラムに入力される値は、 $\delta^{13}\text{C}$ 補正を行い、下1桁を丸めない ^{14}C 年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、暦年較正年代の計算に、IntCal09データベース (Reimer et al. 2009) を用い、OxCalv4.2較正プログラム (Bronk Ramsey 2009) を使用した。暦年較正年代については、特定のデータベース、プログラムに依存する点を考慮し、プログラムに入力する値とともに参考値として表2に示した。暦年較正年代は、 ^{14}C 年代に基づいて較正 (calibrate) された年代値であることを明示するために「cal BC/AD」(または「cal BP」) という単位で表される。

6 測定結果

試料の測定結果を表1、2及び付表に示す。

試料5点の ^{14}C 年代は、 $3650 \pm 20\text{yrBP}$ (No. 5) から $3490 \pm 20\text{yrBP}$ (No. 3) の範囲に収まり、誤差 ($\pm 1\sigma$) の範囲で一致もしくは近接するものが含まれる。

暦年較正年代 (1σ) は、5点全体で縄文時代後期前葉から中葉頃に相当する範囲となっている (小林編2008)。

試料の炭素含有率はすべて60%を超える十分な値で、化学処理、測定上の問題は認められない。

表1 放射性炭素年代測定結果 ($\delta^{13}\text{C}$ 補正值)

測定番号	試料名	採取場所	試料 形態	処理 方法	$\delta^{13}\text{C}$ (‰) (AMS)	$\delta^{13}\text{C}$ 補正あり	
						Libby Age (yrBP)	pMC (%)
IAAA-130783	No.1 (取上げ番号 C-2)	SB24 (SP1076) 底面直上	炭化物	AAA	-27.64 ± 0.28	3,610 ± 20	63.78 ± 0.16
IAAA-130784	No.2 (取上げ番号 C-2)	SB28(SP1571) 1層	炭化物	AAA	-27.05 ± 0.23	3,540 ± 20	64.33 ± 0.16
IAAA-130785	No.3 (取上げ番号 1039)	BSP07 2層	炭化物	AAA	-24.99 ± 0.22	3,490 ± 20	64.77 ± 0.17
IAAA-130786	No.4	SB37(SP1974) 掘り方	炭化物	AAA	-24.88 ± 0.20	3,550 ± 20	64.27 ± 0.15
IAAA-130787	No.5 (炭化物サンプル-1)	SB25(SP1072) 2層	炭化物	AAA	-24.74 ± 0.23	3,650 ± 20	63.50 ± 0.16

[#5922]

表2 放射性炭素年代測定結果 ($\delta^{13}\text{C}$ 未補正值、暦年較正用 ^{14}C 年代、較正年代)

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ 補正なし		暦年較正用(yrBP)	1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
	Age (yrBP)	pMC (%)			
IAAA-130783	3,660 ± 20	63.44 ± 0.16	3,612 ± 20	2017calBC - 1996calBC (22.5%) 1981calBC - 1941calBC (45.7%)	2030calBC - 1910calBC (95.4%)
IAAA-130784	3,580 ± 20	64.06 ± 0.15	3,543 ± 19	1926calBC - 1878calBC (56.7%) 1840calBC - 1828calBC (8.6%) 1791calBC - 1786calBC (2.9%)	1946calBC - 1870calBC (67.6%) 1846calBC - 1812calBC (16.8%) 1804calBC - 1776calBC (11.0%)
IAAA-130785	3,490 ± 20	64.77 ± 0.17	3,488 ± 21	1878calBC - 1841calBC (29.6%) 1826calBC - 1794calBC (26.7%) 1784calBC - 1769calBC (12.0%)	1882calBC - 1750calBC (95.4%)
IAAA-130786	3,550 ± 20	64.29 ± 0.15	3,551 ± 19	1934calBC - 1882calBC (68.2%)	1951calBC - 1875calBC (80.9%) 1844calBC - 1818calBC (9.3%) 1799calBC - 1780calBC (5.2%)
IAAA-130787	3,640 ± 20	63.54 ± 0.16	3,647 ± 20	2110calBC - 2104calBC (3.6%) 2036calBC - 1965calBC (64.6%)	2128calBC - 2089calBC (15.8%) 2045calBC - 1947calBC (79.6%)

[参考値]

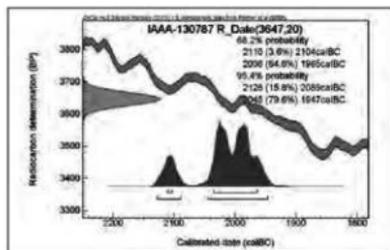
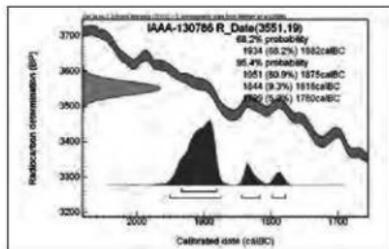
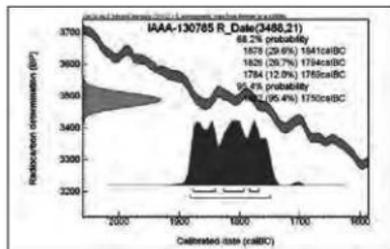
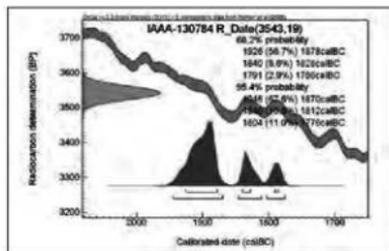
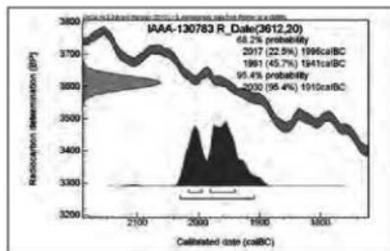
文献

Bronk Ramsey C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates, Radiocarbon 51(1), 337-360

小林達雄編 2008 総覧縄文土器, 総覧縄文土器刊行委員会, アム・プロモーション

Reimer, P.J. et al. 2009 IntCal09 and Marine09 radiocarbon age calibration curves, 0-50,000 years cal BP, Radiocarbon 51(4), 1111-1150

Stuiver M. and Polach H.A. 1977 Discussion: Reporting of ^{14}C data, Radiocarbon 19(3), 355-363



[参考] 暦年較正年代グラフ

第2節 黒曜石産地推定

望月 明彦・(株) アルカ

1. 分析試料

砂子瀬遺跡出土の黒曜石製剥片71点が今回の分析対象である。

2. 分析方法

・分析法

エネルギー分散蛍光X線分析法 (EDX)

・分析装置

セイコーインスツルメンツ卓上型蛍光X線分析計

SEA-2110L

・分析条件

管電圧 50kV 管電流 自動設定

測定時間 240sec 雰囲気 真空

照射径 10mm

検出器 Si (Li) 半導体検出器

・測定元素

Al (アルミニウム), Si (ケイ素), K (カリウム), Ca (カルシウム), Ti (チタン), Mn (マンガン), Fe (鉄), Rb (ルビウム), Sr (ストロンチウム), Y (イットリウム), Zr (ジルコニウム)

・分析法の特徴

長所: 非破壊分析

多元素同時分析

前処理不要→洗浄は必要

迅速分析

操作が簡単

短所: 微量分析は不得意

試料を破壊せずに測定するため、分析結果は表面を測定したことになる。そのため、汚れた試料、風化した試料は汚れ、風化を測定したことになり、正確でない。類似した組成の標準試料が必要である。

・試料の洗浄

5分間 (汚れがひどい場合は15分間) 超音波洗浄器で洗浄。さらに汚れを拭き取ってから測定。

3. 産地推定法

得られた蛍光X線スペクトル強度を元素記号で表すとす。2つの方法で以下の指標を用いる。

指標: $Sum = Rb + Sr + Y + Zr$ とする。

Rb分率 = Rb / Sum

Sr分率 = Sr / Sum

Zr分率 = Zr / Sum

$Mn * 100 / Fe$

$\log (Fe / K)$

産地のシートに上げた黒曜石産地から、産地原石を採集し、測定する。測定結果から上記の指標を算出する。以上から、産地原石に関するデータベースを作成する。

下記の二つの方法で産地推定を行う。

①判別図法 (図2・3 判別図参照)

用いる指標: 図2 横軸: Rb分率、縦軸: Mn/Fe

図3 横軸: Sr分率、縦軸: $\log (Fe/K)$

特長: 簡単な計算であり、誰にもでも作成可能視覚的に確認でき、分かりやすい。

推定方法: 遺跡出土試料を蛍光X線分析し、指標を計算。指標を図にプロットする。

重なった原石産地を推定結果とする。

②判別分析 (表1-1-2 推定結果表参照)

用いる指標: 算出された指標全て

特長: 各産地との類似度を距離で算出

既知の産地のどれに類似しているかを判別する方法である。

→ 未知の産地の判別はできない。

推定方法: 判別図法では遺跡出土試料と重なっている産地を推定結果とする。この産地は試料と2次的に最も距離が近い。

判別分析ではこの距離を数学的にn次元で計算する。試料と最も距離 (マハラノビス距離) が近い産地を推定結果とする。この距離から、各産地に属する確率を計算する。

表1: 青森県中津軽郡西目屋村砂子瀬遺跡出土黒曜石製石器産地推定結果

判別図法・判別分析からの最終推定結果				判別図法による推定結果と判別分析による推定結果						
研究室 年次通番	分析番号	出土位置	推定産地	判別図 判別群	判別分析					
					第1候補産地			第2候補産地		
					判別群	距離	確率	判別群	距離	確率
MK13-00697	SKS2-1	SI105(SP2415)	本道出来島群	KDDK	KDDK	3.49	0.9997	HGGS	21.27	0.0003
MK13-00698	SKS2-2	SI104(SP2559)	本道出来島群	KDDK	KDDK	5.92	1	HGGS	63.9	0
MK13-00699	SKS2-3	SD16	本道出来島群	KDDK	KDDK	12.81	0.9999	HGGS	33.77	0.0001
MK13-00700	SKS2-4	SI104(SP2307)	本道出来島群	推定不可	推定不可			推定不可		
MK13-00701	SKS2-5	SB31(SP1122)	本道出来島群	KDDK	KDDK	6.47	1	HGGS	30.52	0
MK13-00702	SKS2-6	SP1375	本道出来島群	KDDK	KDDK	5.15	1	HGIN	30.39	0
MK13-00703	SKS2-7	SI104(SP2322)	本道出来島群	KDDK	KDDK	3.42	0.9999	HGGS	24.33	0.0001
MK13-00704	SKS2-8	SI17-18(SP194)	本道出来島群	KDDK	KDDK	2.04	1	HGGS	53.05	0
MK13-00705	SKS2-9	SP2769	本道出来島群	KDDK	KDDK	5.36	1	HGGS	36.86	0
MK13-00706	SKS2-10	SP1475	本道出来島群	KDDK	KDDK	5.76	0.9999	HGIN	25.64	0.0001
MK13-00707	SKS2-11	SB33(SP1572)	本道出来島群	KDDK	KDDK	8.45	1	HGGS	30.57	0
MK13-00708	SKS2-12	SP1421	本道出来島群	KDDK	KDDK	3.06	1	HGGS	28.91	0
MK13-00709	SKS2-13	SP1401	本道出来島群	KDDK	KDDK	12.36	1	HGGS	35.94	0

表1-2

判別図法・判別分析からの最終推定結果

判別図法による推定結果と判別分析による推定結果

研究室 年間通番	分析番号	出土位置	推定産地	判別図 判別群	判別分析					
					第1候補産地			第2候補産地		
				判別群	距離	確率	判別群	距離	確率	
MK13-00710	SKS2-14	SP2366	本造出来島群	KDDK	KDDK	19.39	1	HGGS	66.64	0
MK13-00711	SKS2-15	SP1300	本造出来島群	KDDK	KDDK	13.02	1	HGGS	55.88	0
MK13-00712	SKS2-16	SI105(SP2351)	本造出来島群	KDDK	KDDK	4.43	1	HGIN	32.95	0
MK13-00713	SKS2-17	SP2059	本造出来島群	KDDK	KDDK	8.73	0.9528	HGGS	16.13	0.0171
MK13-00714	SKS2-18	SP1583	本造出来島群	KDDK	KDDK	6.64	1	HGIN	44.33	0
MK13-00715	SKS2-19	SP1612	本造出来島群	KDDK	KDDK	4.37	1	HGIN	35.36	0
MK13-00716	SKS2-20	SP1228	本造出来島群	KDDK	KDDK	5.12	1	HGGS	35.35	0
MK13-00717	SKS2-21	SI110(SP2502)	本造出来島群	KDDK	KDDK	4.16	1	HGGS	30.66	0
MK13-00718	SKS2-22a	SB30(SP1435)	本造出来島群	KDDK	KDDK	18.96	1	HGGS	64.71	0
MK13-00719	SKS2-23	SI105(SP2306)	本造出来島群	KDDK	KDDK	17.09	1	HGGS	39.39	0
MK13-00720	SKS2-24	位置不明	本造出来島群	KDDK	KDDK	2.79	1	HGGS	29.64	0
MK13-00721	SKS2-25a	SP2834	本造出来島群	KDDK	KDDK	2.34	1	HGGS	28.33	0
MK13-00722	SKS2-26	SI104(SD15)	本造出来島群	KDDK	KDDK	7.54	0.9793	HGGS	16.65	0.0206
MK13-00723	SKS2-27	SI104(SD06)	本造出来島群	KDDK	KDDK	0.85	1	HGGS	48.01	0
MK13-00724	SKS2-28a	SB39(SP1140)	本造出来島群	KDDK	KDDK	11.13	1	HGGS	36.06	0
MK13-00725	SKS2-29	SP2092	本造出来島群	KDDK	KDDK	5.36	1	HGGS	28.38	0
MK13-00726	SKS2-30	SD16	本造出来島群	KDDK	KDDK	3.44	0.9999	HGGS	23.7	0.0001
MK13-00727	SKS2-31	SI114(SP1224)	本造出来島群	KDDK	KDDK	8.35	1	HGGS	51.06	0
MK13-00728	SKS2-32	SP1710	推定不可	推定不可	推定不可	推定不可	推定不可	推定不可	推定不可	推定不可
MK13-00729	SKS2-33	位置不明	本造出来島群	KDDK	KDDK	7.78	1	HGIN	29.17	0
MK13-00730	SKS2-34	SI105(SP1577)	本造出来島群	KDDK	KDDK	3.83	1	HGGS	55.09	0
MK13-00731	SKS2-35	IVB-63	本造出来島群	KDDK	KDDK	5.32	1	HGGS	27.3	0
MK13-00732	SKS2-36	IVB-64	スタグ	スタグ	スタグ	スタグ	スタグ	スタグ	スタグ	スタグ
MK13-00733	SKS2-37	V C-61	本造出来島群	KDDK	KDDK	14.79	1	HGGS	76.92	0
MK13-00734	SKS2-38	V C-62	本造出来島群	KDDK	KDDK	8.4	0.9995	HGIN	22.5	0.0004
MK13-00735	SKS2-39	V A-64	本造出来島群	KDDK	KDDK	12.03	1	HGGS	39.06	0
MK13-00736	SKS2-40	V B-61	本造出来島群	KDDK	KDDK	2.31	1	HGGS	36.53	0
MK13-00737	SKS2-41	V B-61	本造出来島群	KDDK	KDDK	2.99	1	HGGS	45.05	0
MK13-00738	SKS2-42	V B-61	本造出来島群	KDDK	KDDK	7.86	1	HGIN	64.97	0
MK13-00739	SKS2-43	IVB-62	本造出来島群	KDDK	KDDK	4.56	0.9998	HGGS	23.24	0.0002
MK13-00740	SKS2-44	IVP-73	本造出来島群	KDDK	KDDK	7.27	1	HGGS	35.74	0
MK13-00741	SKS2-45	IVP-64	本造出来島群	KDDK	KDDK	13.11	0.9298	HGIN	16.65	0.0644
MK13-00742	SKS2-46	IV1-68	本造出来島群	KDDK	KDDK	7.39	1	HGIN	43.34	0
MK13-00743	SKS2-47	IV1-61	本造出来島群	KDDK	KDDK	8.62	0.9997	HGGS	26.19	0.0003
MK13-00744	SKS2-48	IVP-63	本造出来島群	KDDK	KDDK	7.88	1	HGGS	67.57	0
MK13-00745	SKS2-49	V A-64	本造出来島群	KDDK	KDDK	2.68	1	HGGS	46.78	0
MK13-00746	SKS2-50	表採	本造出来島群	KDDK	KDDK	7.26	1	HGGS	38.14	0
MK13-00747	SKS2-51a	IV3-62	本造出来島群	KDDK	KDDK	6.3	0.9584	HGGS	13.96	0.0416
MK13-00748	SKS2-52	V O-54	本造出来島群	KDDK	KDDK	18.33	1	HGGS	40.91	0
MK13-00749	SKS2-53	IV1-69	本造出来島群	KDDK	KDDK	14.1	1	HGGS	39.63	0
MK13-00750	SKS2-54	V A-64	本造出来島群	KDDK	KDDK	2.61	0.9999	HGGS	21.81	0.0001
MK13-00751	SKS2-55	視品	本造出来島群	KDDK	KDDK	2.33	1	HGGS	33.36	0
MK13-00752	SKS2-56	V A-64	本造出来島群	KDDK	KDDK	9.12	0.9813	HGGS	18.53	0.0178
MK13-00753	SKS2-57	SP3018	本造出来島群	KDDK	KDDK	11.39	0.998	HGIN	21.99	0.002
MK13-00754	SKS2-58	IV1-61	本造出来島群	KDDK	KDDK	2.98	1	HGGS	47.53	0
MK13-00755	SKS2-59	IV1-60	本造出来島群	KDDK	KDDK	7.6	1	HGIN	29.2	0
MK13-00756	SKS2-60	IIIY-64	本造出来島群	KDDK	KDDK	4.41	1	HGGS	39	0
MK13-00757	SKS2-61	IV1-59	本造出来島群	KDDK	KDDK	8.5	0.9198	HGGS	14.82	0.0777
MK13-00758	SKS2-62	IV A-56	本造出来島群	KDDK	KDDK	13.01	1	HGGS	37.55	0
MK13-00759	SKS2-63	IV A-56	本造出来島群	KDDK	KDDK	10.04	1	HGIN	42.29	0
MK13-00760	SKS2-64	IVB-56	本造出来島群	KDDK	KDDK	3.4	1	HGIN	29.73	0
MK13-00761	SKS2-65	IV A-56	本造出来島群	KDDK	KDDK	8.62	1	HGGS	37.49	0
MK13-00762	SKS2-66	捨て場	本造出来島群	KDDK	KDDK	9.69	0.9515	HGIN	17.14	0.0392
MK13-00763	SKS2-11b	SB33(SP1572)	本造出来島群	KDDK	KDDK	12.61	0.9998	HGGS	31.55	0.0002
MK13-00764	SKS2-22b	SB30(SP1435)	推定不可	推定不可	推定不可	推定不可	推定不可	推定不可	推定不可	推定不可
MK13-00765	SKS2-25b	SP2834	本造出来島群	KDDK	KDDK	13.24	0.985	HGGS	23	0.0149
MK13-00766	SKS2-28b	SB39(SP1140)	測定不可	測定不可	測定不可	測定不可	測定不可	測定不可	測定不可	測定不可
MK13-00767	SKS2-51b	IV3-62	本造出来島群	KDDK	KDDK	6.57	1	HGGS	29.88	0

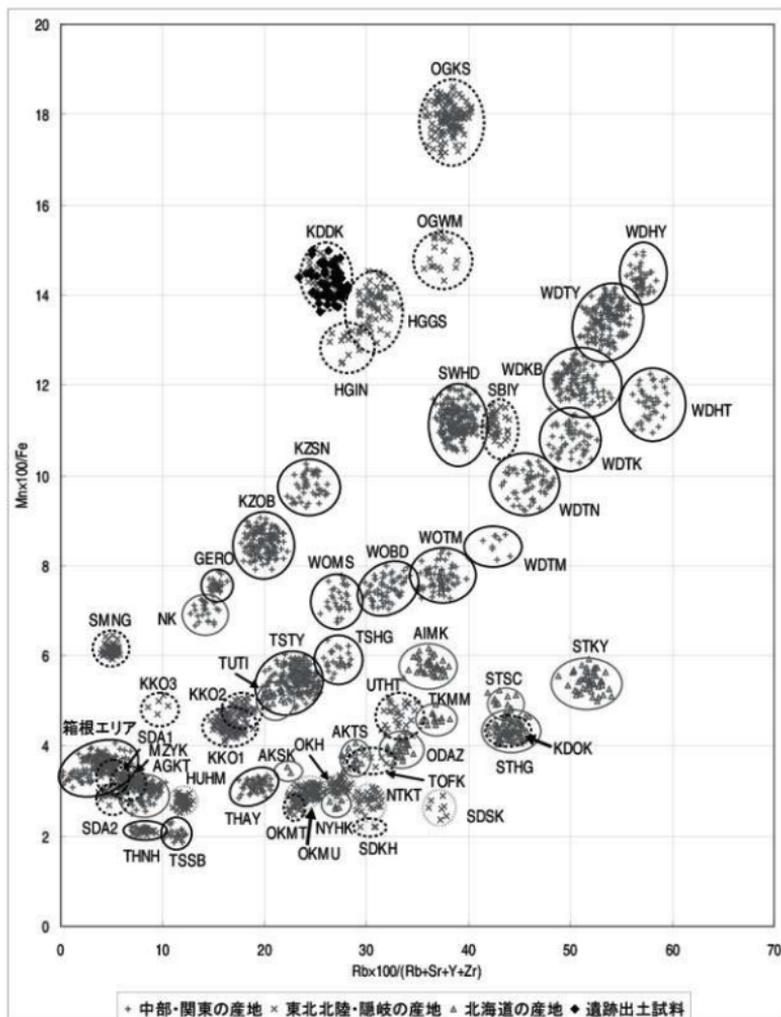


図 1

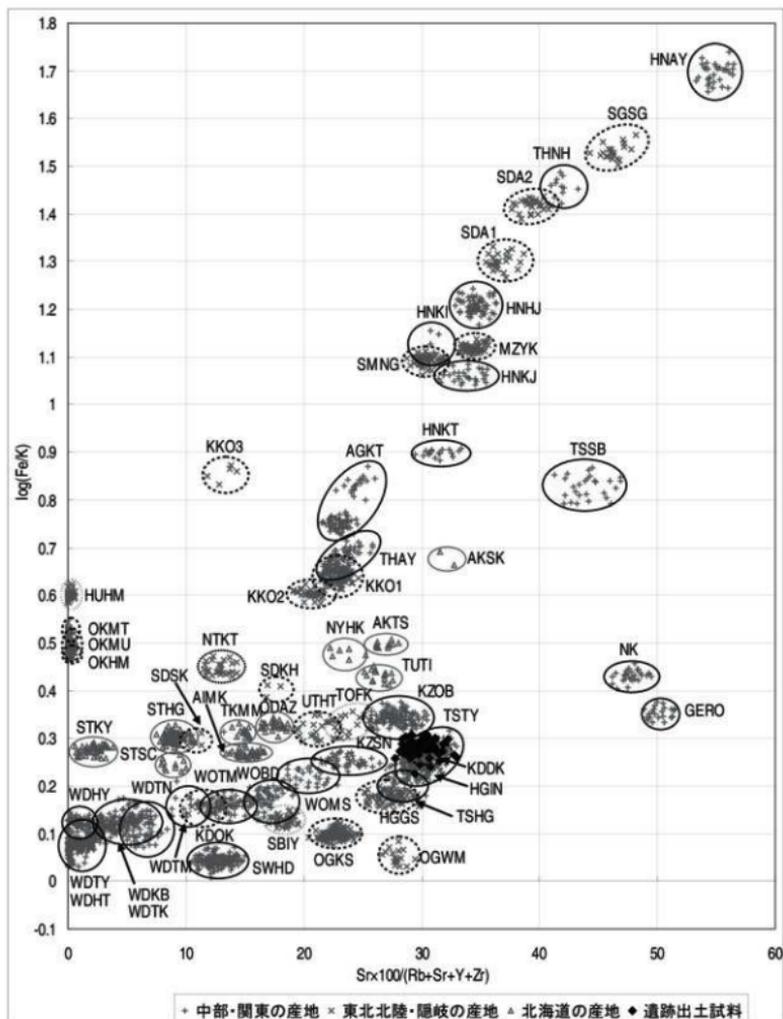


図 2

表2 産地別石割別群(SEIKO SEA-2110L 蛍光X線分析装置による)

都道府県	地区No.	エリア	新群別群	旧群別群	新記号	旧記号	原石採取地(分析数)
北海道	1	白滝	八戸武群	HTHG			赤石山山脈(19)、八号沢群(17)、八号沢(19)、加藤の沢(46)、梶加林道(4)
	2	上土幌	加藤ノ内群	STKY			十三ノ沢(16)
	3	釧路	乞石群	KSMH			安住(25)、深木ノ内(9)
	4	旭川	高砂石群	AKTS			佐藤石(6)、南野台(5)、夢光石(5)
	5	佐野	旭川群	NYHK			旭川(10)
	6	新十津川	須田群	STSD			須田(6)
	7	赤井川	曲川群	AIMK			曲川(25)、土木川(15)
	8	釧路	豊島群	TUTI			豊島(16)
青森	9	木造	出来島群	KDDK			出来島南(34)
	10	深南	八森山群	HUHM			八森山(28群)、六角石(8)、岡崎高(40)
秋田	11	男鹿	金ノ輪群	OGKS			金ノ輪温泉(37)、築本海岸(9)
山形	12	羽黒	月山群	HGGS			月山荘(30)、朝日町田代次(18)、藤引町中沢(18)
	13	新庄田	板山群	HGIN			青柳川(9)、大淵川(5)
新潟	14	新津	金津群	SMTY			板山(2群)(40)
	15	高田山	金津群	NTKT			金津(2)
栃木	16	和田(WD)	甘藷沢群	高田山1群	THAY	TKHJ	甘藷沢(30)、板沢(20)
			七瀬石群	高田山2群	THNH	TKHJ	七瀬(9)、自然の沢(9)
			七瀬山群	和田山1群	WDTY	WDTL	
			小栗沢山群	和田山2群	WDBR	WDT2	
			土屋橋北群	和田山3群	WDTK	WDT3	
			土屋橋西群	和田山4群	WDTN	WDT4	
			土屋橋南群	和田山5群	WDTM	WDT5	
			赤松ノ小群		WDHY		
			古神群		WDHT		
			和田(WO)	ブノウ沢群	男女倉1群	WOBQ	OMG1
長野	17	諏訪	黒ノ台群	黒ノ峰系	SWHD	KRM	黒ノ峰第1系(36)、黒ノ峰第2系(36)、黒ノ台A(36)、黒ノ台B(11)、水月堂(36)、水月公園(13)、黒ノ峰ノ川(36)
			高山群	豊科系	TSTY	TTS	冷山(33)、美草峠(36)、美草峠系(33)、沢ノ内(29)、美し森(4)、八ノ岳(17)、八ノ岳(18)、双子池(34)
18	豊科	反子山群		TSYG		反子池(26)	
		福孫山群		TSSB		福孫山(31)、龜甲池(8)	
		芦ノ池群	芦ノ池	HNAV	ASY	芦ノ池(8)	
		燗石群	燗石	HNDJ	HFI	燗石(7)	
神奈川	19	南秩	黒川橋群	高松系A群	HNKJ	HKNA	黒川(9)
			網谷原群	網谷原	HNKJ	KJY	網谷原(30)
21	上多賀群	上多賀	HNKT	KMT	上多賀(18)		
		柏崎群	柏崎	AGKT	KSW	柏崎(80)	
東京	23	神津島	新島島群	神津島1群	KZOB	KOZ1	新島(100)、長田(43)、沢尻(6)
			砂神島群	神津島2群	KZSN	KOZ2	砂神島(40)、善治(5)
高松	24	尾城	久豆群		OKHM		久豆ノノ子(小)群(20)、久豆尾原(高松)(18)
			尾城群		OKMT		尾城南(18)、加茂(19)、尾山(35)
25	尾城	尾城		OKMT		尾城(16)	
		尾城		NK		尾ノ沢(16、5G(産地別群))、尾石産地(未発見)	

他々本製式提供資料(まだ地図には入れていない)

青森	小泊	折橋内群	KDOK	小泊市折橋内(8)
長野	北上川	北上折原1群	KKO1	水沢市折原(36)、花巻市形田ノ沢(36)、聖石小沢(22)
		北上折原2群	KKO2	水沢市折原(23)、花巻市形田ノ沢(8)、聖石小沢(2)
		北上折原3群	KKO3	水沢市折原(5)
宮城	宮城	黒ノ台群	AGYK	宮城町黒ノ台(54)
	色黒	根岸群	SMNG	色黒町根岸(40)
	仙台	依袋1群	SDA1	仙台市依袋土蔵(17)
		依袋2群	SDA2	仙台市依袋土蔵(35)
	塩竈	塩竈群	SGSG	塩竈市塩竈南(22)

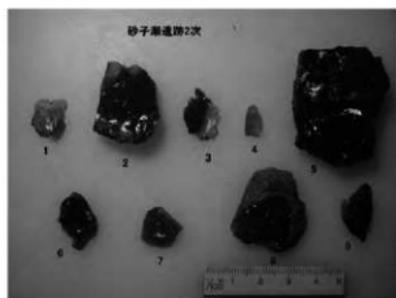


表3: 砂子瀬遺跡出土黒曜石産地組成

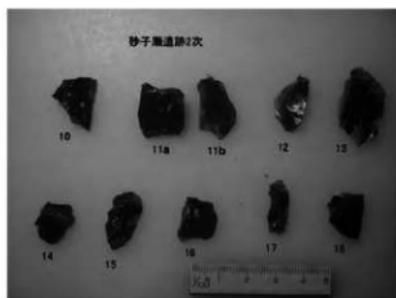
エリア	判別群	記号	試料数	%
和田(WO)	ブドウ沢	WOBD	0	0
	牧ヶ沢	WOMS	0	0
	高松沢	WOTM	0	0
和田(WD)	芙蓉ライト	WDHY	0	0
	鷹山	WDTY	0	0
	小深沢	WDKB	0	0
	土屋橋北	WDTK	0	0
	土屋橋西	WDTN	0	0
	土屋橋南	WDTM	0	0
	古峠	WDHT	0	0
諏訪	星ヶ台	SWHD	0	0
蓼科	冷山	TSTY	0	0
	双子山	TSHG	0	0
天城	篠鉢山	TSSB	0	0
	柏峠I	AGKT	0	0
箱根	煙宿	HNHJ	0	0
	鍛冶屋	HNKJ	0	0
	黒岩橋	HNKI	0	0
	上多賀	HNKT	0	0
	芦ノ湯	HNAY	0	0
神津島	恩馳島	KZOB	0	0
	砂糠崎	KZSN	0	0
高原山	甘湯沢	THAY	0	0
	七尋沢	THNH	0	0
新津	金津	NTKT	0	0
新発田	板山	SBYI	0	0
深浦	八森山	HUHM	0	0
木造	出来島	KDDK	66	100
男鹿	金ヶ崎	OGKS	0	0
	脇本	OGWM	0	0
羽黒	月山	HGGS	0	0
	今野川	HGIN	0	0

エリア	判別群	記号	試料数	%
北上川	折居1群	KKO1	0	0
	折居2群	KKO2	0	0
	折居3群	KKO3	0	0
宮崎	湯ノ倉	MZYK	0	0
仙台	秋保1群	SDA1	0	0
	秋保2群	SDA2	0	0
色麻	根岸	SMNG	0	0
塩竈	塩竈港群	SGSG	0	0
小泊	折腰内	KDOK	0	0
魚津	草月上野	UTHT	0	0
高岡	二上山	TOFK	0	0
佐渡	真光寺	SDSK	0	0
	金井ニッ坂	SDKH	0	0
隠岐	久見	OKHM	0	0
	岬地区	OKMT	0	0
	箕浦	OKMU	0	0
白滝	8号沢	STHG	0	0
	黒磯の沢	STKY	0	0
	赤石山頂	STSC	0	0
赤井川	曲川	AIMK	0	0
豊浦	豊泉	TUTI	0	0
置戸	安住	ODAZ	0	0
十勝	三段	TKMM	0	0
名寄	布川	NYHA	0	0
旭川	高砂台	AKTS	0	0
	春光台	AKSK	0	0
不明産地I	NK	NK	0	0
下呂石	GERO	GERO	0	0
合計			66	100

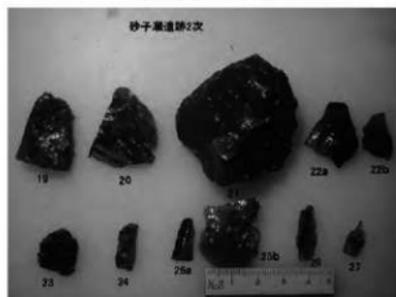
不可など	5
総計	71



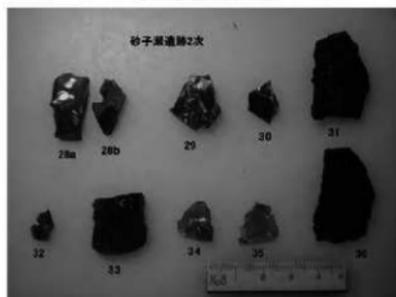
SKS 2-1~9



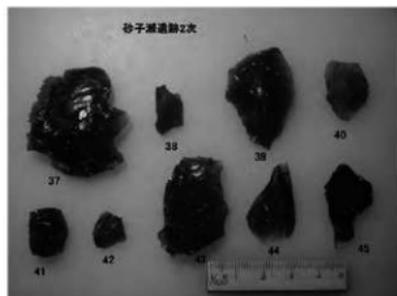
SKS 2-10~18



SKS 2-19~27



SKS 2-28~36



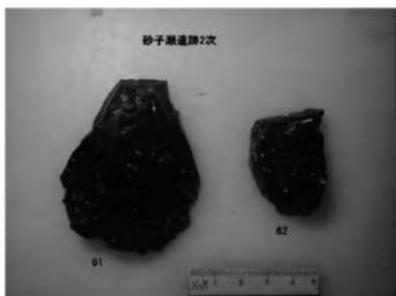
SKS 2-37~45



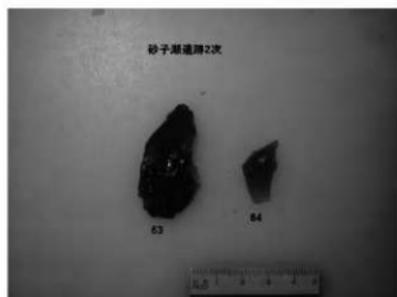
SKS 2-46~54



SKS 2-55~60



SKS 2-61・62



SKS 2-63・64



SKS 2-65・66

分析試料写真（縮尺不同）

第3節 砂子瀬遺跡の火山灰分析

弘前大学大学院・理工学研究科 柴 正敏

西日屋村・砂子瀬遺跡より採集された火山灰サンプル3試料について、以下の観察・分析を行った。

これら試料について、超音波洗浄器を用いて水洗し、粘土鉱物など数マイクロメートル以下の粒子を除去した後、偏光顕微鏡を用いて、火山ガラスの有無、火山ガラスが存在する場合にはその形態、構成鉱物の種類を観察・記載した。火山ガラスは、その形態、屈折率、化学組成、共存鉱物などにより給源火山を推定することができる(町田・新井、2003)。

ガラスの形態及び化学組成、共存鉱物ならびに軽石粒子の発泡度・色(特に褐色ガラスの有無)・粒径より、ガラスは以下のように帰属される。

・試料No.1、A区基本層序①、層位(II層)、整理番号1016:

火山ガラス及び構成鉱物:ガラスは軽石型を主とする。褐色ガラス(オブシディアン)を少量含む。斜長石、石英、斜方輝石、単斜輝石、鉄鉱、プラントオパールも比較的多い。

ガラスの帰属:ガラスは、十和田a(To-a)に帰属される。

・試料No.2、沢4土層①、IIb層、整理番号1052

火山ガラス及び構成鉱物:ガラスの形態は軽石型及びバブルウォール型からなる。構成鉱物は、斜長石、アルカリ長石、エジリンオージャイト、斜方輝石、単斜輝石、鉄鉱。

ガラスの帰属:ガラスは、白頭山苦小牧(B-Tm)テフラに帰属される。

・試料No.3、沢4土層①、IIb層、整理番号1053

火山ガラス及び構成鉱物:ガラスの形態は軽石型及びバブルウォール型からなる。構成鉱物は、斜長石、アルカリ長石、エジリンオージャイト、斜方輝石、単斜輝石、鉄鉱。

ガラスの帰属:ガラスは、白頭山苦小牧テフラ(B-Tm)に帰属される。

本試料のガラスについて、電子線プローブマイクロアナライザー(EPMA)を用いて化学組成を決定した。使用したEPMAは弘前大学大学院・理工学研究科所属の日本電子製JXA-8800RL、分析条件は加速電圧15kV、試料電流6×10⁻⁹Aンペアである。分析結果を表1及び2に示した。表1のガラスは、アルカリ流紋岩質、表2のものはアルカリ粗面岩質であり、ともにB-Tmのガラスの組成(表1及び2)と重なる。

(参考文献)

- 青木かおり・町田 洋(2006)、日本に分布する第四紀後期広域テフラの主元素組成 —K₂O-TiO₂図によるテフラの識別。地質調査研究報告、第57巻、第7/8号、239-258。
- Hayakawa, Y. (1985), Pyroclastic geology of Towada Volcano. Bulletin of Earthquake Research Institute, vol. 60, 507-592.
- Machida, H. (1999), Quaternary widespread tephra catalog in and around Japan: Recent

progress. 第四紀研究、第38巻、194-201.

- 町田 洋・新井房夫 (2003)、新編火山灰アトラス ー日本列島とその周辺ー。東京大学出版会、pp. 336.
- 柴 正敏・重松直樹・佐々木 実 (2000)、青森県内に分布する広域テフラに含まれる火山ガラスの化学組成 (1)。弘前大学理工学部研究報告、第1巻、第1号、11-19.
- 柴 正敏・中道哲郎・佐々木 実 (2001)、十和田火山、降下軽石の化学組成変化 ー宇樽部の一露頭を例としてー。弘前大学理工学部研究報告、第4巻、第1号、11-17.
- 柴 正敏・岩下沙弥佳 (2005)、青森県に分布する白頭山苫小牧テフラに含まれる火山ガラスの化学組成。白神研究、第2号、65-71.
- 柴 正敏・佐々木 実 (2006)、十和田火山噴出物のガラス組成変化、月刊地球、第28巻、第5号、322-325.

表1 砂子瀬遺跡 B-Tm(1) (沢4土層①、Iib層、整理番号1053)

重量%

No.	SiO ₂	TiO ₂	Al ₂ O ₃	FeO	MnO	MgO	CaO	Na ₂ O	K ₂ O	Total
1	70.15	0.18	9.69	3.66	0.04	0.00	0.20	5.19	4.48	93.58
2	71.20	0.09	15.15	2.18	0.05	0.01	0.32	6.71	5.59	101.29
3	74.20	0.21	10.79	4.01	0.13	0.00	0.35	5.39	4.61	99.70
最少値	70.15	0.09	9.69	2.18	0.04	0.00	0.20	5.19	4.48	93.58
最大値	74.20	0.21	15.15	4.01	0.13	0.01	0.35	6.71	5.59	101.29
平均値	71.85	0.16	11.88	3.28	0.08	0.00	0.29	5.76	4.89	98.19
標準偏差	2.105	0.064	2.887	0.972	0.05	0.004	0.081	0.825	0.605	4.069

100%に換算した値

No.	SiO ₂	TiO ₂	Al ₂ O ₃	FeO	MnO	MgO	CaO	Na ₂ O	K ₂ O	Total
1	74.96	0.19	10.36	3.91	0.04	0.00	0.21	5.54	4.79	100
2	70.29	0.09	14.96	2.15	0.05	0.01	0.32	6.62	5.52	100
3	74.43	0.21	10.82	4.02	0.13	0.00	0.35	5.40	4.62	100
最少値	70.29	0.09	10.36	2.15	0.04	0.00	0.21	5.40	4.62	100
最大値	74.96	0.21	14.96	4.02	0.13	0.01	0.35	6.62	5.52	100
平均値	73.23	0.16	12.05	3.36	0.08	0.00	0.29	5.86	4.98	100
標準偏差	2.555	0.067	2.533	1.049	0.05	0.004	0.073	0.666	0.475	
B-Tm(1)	74.90	0.30	10.70	4.20	0.10	0.10	0.10	5.00	4.60	

町田・新井
(2003)

表2 砂子瀬道跡 B-Tm(2) (沢4土層①、IIB層、整理番号1053)

重量%

No.	SiO ₂	TiO ₂	Al ₂ O ₃	FeO	MnO	MgO	CaO	Na ₂ O	K ₂ O	Total
1	66.18	0.30	14.54	4.47	0.17	0.13	1.13	5.83	5.85	98.59
2	68.39	0.29	14.33	4.64	0.11	0.05	0.96	5.71	5.65	100.13
3	69.39	0.30	13.70	4.36	0.15	0.08	1.00	5.68	5.78	100.44
4	65.04	0.33	14.19	4.42	0.20	0.07	1.05	5.78	5.76	96.84
5	67.31	0.41	14.93	4.79	0.11	0.13	1.24	5.98	5.76	100.66
6	68.10	0.33	14.63	4.58	0.11	0.10	1.20	5.98	6.00	101.02
7	67.84	0.32	14.87	4.40	0.15	0.13	1.16	6.30	5.99	101.16
8	66.42	0.33	15.52	4.55	0.13	0.22	1.35	6.02	5.92	100.45
9	67.32	0.43	14.28	4.18	0.12	0.12	1.07	6.00	5.71	99.24
10	68.08	0.39	15.07	4.26	0.14	0.11	1.20	6.28	5.95	101.47
11	63.18	0.55	11.39	7.64	0.19	1.98	6.29	5.10	4.25	100.56
12	65.67	0.26	14.37	4.34	0.07	0.10	1.20	5.69	6.05	97.74
13	68.22	0.45	14.87	4.54	0.14	0.13	1.13	5.78	5.71	100.97
14	67.06	0.46	15.07	4.94	0.10	0.14	1.23	6.34	6.00	101.33
15	67.38	0.03	18.82	0.21	0.00	0.00	0.39	6.34	8.14	101.31
16	67.91	0.05	18.70	0.30	0.00	0.00	0.36	6.06	8.39	101.77
最少	63.178	0.03	11.386	0.212	0	0	0.356	5.099	4.249	96.844
最大	69.393	0.554	18.817	7.638	0.199	1.978	6.285	6.339	8.392	101.771
平均値	67.093	0.326	14.954	4.164	0.118	0.218	1.372	5.93	6.056	100.23
標準偏差	1.516	0.137	1.744	1.724	0.056	0.472	1.34	0.32	0.96	1.415

100%に規格化した値

No.	SiO ₂	TiO ₂	Al ₂ O ₃	FeO	MnO	MgO	CaO	Na ₂ O	K ₂ O	Total
1	67.12	0.30	14.75	4.54	0.17	0.13	1.15	5.92	5.93	100
2	68.30	0.29	14.31	4.63	0.11	0.05	0.96	5.71	5.65	100
3	69.09	0.30	13.64	4.34	0.15	0.08	1.00	5.66	5.76	100
4	67.16	0.34	14.66	4.56	0.21	0.07	1.09	5.97	5.95	100
5	66.86	0.41	14.84	4.76	0.11	0.13	1.23	5.94	5.72	100
6	67.41	0.33	14.48	4.53	0.11	0.10	1.19	5.92	5.94	100
7	67.06	0.32	14.70	4.35	0.14	0.13	1.15	6.23	5.92	100
8	66.12	0.33	15.45	4.53	0.13	0.22	1.34	5.99	5.89	100
9	67.84	0.44	14.39	4.21	0.13	0.12	1.08	6.05	5.75	100
10	67.09	0.38	14.85	4.20	0.14	0.11	1.19	6.19	5.86	100
11	62.83	0.55	11.32	7.60	0.19	1.97	6.25	5.07	4.23	100
12	67.19	0.26	14.70	4.44	0.07	0.11	1.23	5.82	6.19	100
13	67.56	0.45	14.72	4.50	0.14	0.13	1.12	5.73	5.65	100
14	66.18	0.45	14.87	4.88	0.10	0.13	1.22	6.26	5.92	100
15	66.52	0.03	18.58	0.21	0.00	0.00	0.38	6.25	8.04	100
16	66.73	0.05	18.37	0.30	0.00	0.00	0.35	5.96	8.25	100
最少	62.83	0.03	11.32	0.21	0.00	0.00	0.35	5.07	4.23	100
最大	69.09	0.55	18.58	7.60	0.21	1.97	6.25	6.26	8.25	100
平均値	66.94	0.33	14.91	4.16	0.12	0.22	1.37	5.92	6.04	100
標準偏差	1.328	0.136	1.658	1.718	0.056	0.47	1.332	0.295	0.925	

B-Tm(2) 67.90 0.50 14.90 4.70 0.10 0.10 1.10 5.10 5.10
 町田・新井
 (2003)

第4節 砂子瀬遺跡の土壌分析

パリオ・サーヴェイ株式会社

はじめに

砂子瀬遺跡は、青森県中津軽郡西目屋村に所在し、美山湖の南岸に位置する。本遺跡は、津軽ダム貯水予定地域内に所在する20箇所以上の遺跡のうちの一つで、これまでの調査から、住居跡、柱穴、焼土遺構、土器埋設遺構、溝跡などが検出されている。出土した遺物からは、縄文時代後期（前葉～後葉）の遺跡とされている。

本報告では、調査区内に認められた沢跡の埋積物を対象に、古環境（堆積環境、古植生）に関する情報を得ることを目的として、珪藻分析、花粉分析、植物珪酸体分析、土壌試料洗い出し分析を実施する。

1. 試料

試料は、A区で検出された沢4を対象としており、沢4土層②と、沢4土層①の2箇所より採取されている。沢4土層②は第1層～第3層に分層されている。分析試料は、沢中心付近の第1層～第3層より各1点（土壌⑤～土壌⑦）、沢の屑近くの第2層より1点（土壌⑧）が採取されている。なお、室内での層相観察の結果、土壌⑤が黄灰色シルト混じり粘土、土壌⑥が黒褐色シルト混じり粘土、土壌⑦が灰黄褐色シルト混じり粘土、土壌⑧が黒褐色粘土混じりシルトからなる。なお、土壌試料には整理番号が付されており、土壌⑤～土壌⑧はそれぞれ1047～1050が付されている。

沢4土層①の試料採取地点付近では、上位より盛土、第I層、第II a層～II c層、第1層、第2層に分層されている。分析試料は、第II a層より1点（土壌8）、第1層より1点（土壌11）が、フィルムケースにて採取されている。室内での層相観察の結果、土壌8は黒褐色シルト混じり粘土、土壌11は灰黄褐色シルト混じり粘土からなる。なお、土壌試料には整理番号が付されており、土壌8、土壌11はそれぞれ1051、1054が付されている。

これらの試料のうち、全6点について珪藻分析、花粉分析、植物珪酸体分析を行う。土壌試料洗い出し分類・同定は、沢4基本土層II a層（土壌8）と第1層（土壌11）は、フィルムケースの分量しかないことから、土壌⑤～土壌⑧の計4点について土壌試料洗い出し分析を実施する。

2. 分析方法

(1) 珪藻分析

湿重約5gをビーカーに計り取り、過酸化水素水と塩酸を加えて試料の泥化と有機物の分解・漂白を行う。次に、分散剤を加えた後、蒸留水を満し放置する。その後、上澄み液中に浮遊した粘土分を除去し、珪藻殻の濃縮を行う。この操作を4～5回繰り返した後、自然沈降法による砂質分の除去を行い、検鏡し易い濃度に希釈し、カバーガラスに滴下して乾燥させる。乾燥した試料上に封入剤のブリューラックスを滴下し、スライドガラスに貼り付け永久プレパラートを作製する。

検鏡は、油浸600倍または1,000倍で行い、メカニカルステージを用い任意に出現する珪藻化石が200個体以上になるまで同定・計数する。なお、原則として、珪藻殻が半分以上破損したものについては、誤同定を避けるため同定・計数は行わない。200個体が検出できた後は、示準種等の重要な種類の見落としがないように、全体を精査し、含まれる種群すべてが把握できるように努める。珪藻の同定と種の生態性については、Hustedt (1930-1966)、Krammer & Lange-Bertalot (1985-1991)、Desikachary (1987) 等を参考にする。

結果は同定・計数結果の一覧表として表示する。群集解析にあたり個々の産出化石は、まず塩分濃

度に対する適応性により、海水生、海水～汽水生、汽水生、淡水生に生態分類し、さらにその中の淡水生種は、塩分、pH、水の流動性の3適応性についても生態分類表に示す。

(2) 花粉分析

試料約10gについて、水酸化カリウムによる泥化、篩別、重液（臭化亜鉛、比重2.3）による有機物の分離、フッ化水素酸による鉱物質の除去、アセトリシス（無水酢酸9：濃硫酸1の混合液）処理による植物遺体中のセルロースの分解を行い、物理・化学的処理を施して花粉を濃集する。残渣をグリセリンで封入してプレパラートを作製し、400倍の光学顕微鏡下でプレパラート全面を走査し、出現する全ての種類について同定・計数する。同定は、当社保有の現生標本や島倉（1973）、中村（1980）等を参考にする。

結果は同定・計数結果の一覧表、及び花粉化石群集の層位分布図として表示する。図表中で複数の種類をハイフンで結んだものは、種類間の区別が困難なものを示す。図中の木本花粉は木本花粉総数を、草本花粉・シダ類胞子は総数から不明花粉を除いた数をそれぞれ基数として、百分率で出現率を算出し図示する。なお、木本花粉総数が100個体未満のものは、統計的に扱うと結果が歪曲する恐れがあるので、出現した種類を+で表示するにとどめておく。

(3) 植物珪酸体分析

各試料について過酸化水素水・塩酸処理、沈定法、重液分離法（ポリタングステン酸ナトリウム、比重2.5）の順に物理・化学処理を行い、植物珪酸体を分離・濃集する。これをカバーガラス上に滴下・乾燥させる。乾燥後、ブリュウラックスで封入してプレパラートを作製する。400倍の光学顕微鏡下で全面を走査し、その間に出現するイネ科葉部（葉身と葉鞘）の葉部短細胞に由来した植物珪酸体（以下、短細胞珪酸体と呼ぶ）および葉身機動細胞に由来した植物珪酸体（以下、機動細胞珪酸体と呼ぶ）を、近藤（2010）の分類を参考に同定し、計数する。

分析の際には、分析試料の乾燥重量、プレパラート作成に用いた分析残渣量を計量し、乾土1gあたりの植物珪酸体含量（同定した数を乾土1gあたりの個数に換算）を求める。

結果は、植物珪酸体含量の一覧表で示す。その際、100個/g未満は「<100」で表示する。各分類群の含量は10の位で丸め（100単位にする）、合計は各分類群の丸めない数字を合計した後に丸めている。また、各分類群の植物珪酸体含量とその層位的变化から稲作の様態や古植生について検討するために、植物珪酸体含量の層位的变化を図示する。

(4) 土壌試料洗い出し分析

試料200ccを水に浸し、粒径0.5mmの篩を通して水洗する。篩内の試料を粒径別にシャーレに集めて双眼実体顕微鏡下で観察し、ピンセットを用いて、同定が可能な種実遺体や、炭化材（主に径4mm超）を抽出する。

種実遺体の同定は、現生標本と石川（1994）、中山ほか（2000）等を参考に実施し、個数を集えて結果を一覧表で示す。炭化材は、40℃72時間乾燥後の重量と最大径を記録後、一部を樹種同定対象とする。分析後は、種実遺体および分析残渣を容器に入れて保存する。

炭化材については、実体顕微鏡で木材の3断面（木口・経目・板目）について断面を作製しながら組織配列等を観察し、その特徴を現生標本と比較して種類（分類群）を同定する。

3. 結果

(1) 珪酸分析

珪藻の生態性を表1に、結果を表2に示す。A区沢4土層②では、土壌⑤、土壌⑥から珪藻化石が低率で検出された。珪藻化石の保存状態は、ほとんど半壊しているだけでなく、溶解の痕跡が認めら

表1. 珪藻の生態性

塩分濃度に対する区分		塩分に対する適応性		生 育 環 境 (例)
海水生理:	強塩生理(Polyhalobous)	塩分濃度が40.0 μ mol/l以上に出現するもの		塩漬熱帯海域、塩漬地帯など
	真塩生理(Euhalobous)	塩分濃度が40.0 μ mol/l以上に出現するもの		一般海域 (ex. 大隈岬及び大隈岬以東の海域)
汽水生理:	中塩生理(Mesohalobous)	強中塩生理(Mesohalobous)	弱中塩生理(Mesohalobous)	河口・内湾・沿岸・海産・潟など
		弱中塩生理(Mesohalobous)		
淡水生理:	貧塩生理(Oligohalobous)	塩分濃度が0.5 μ mol/l以下に出現するもの		一般陸水 (ex. 湖沼・池・沼・河川・川・沢沢地・泉)
塩分・pH・流水に対する区分		塩分・pH・流水に対する適応性		
塩 分 濃 度 に 対 し た 区 分	貧塩 - 好塩性種(Halophilous)	少量の塩分がある方がよく生育するもの		高塩域域(塩水湖・塩池・酸性土壌)
	貧塩 - 不定性種(Indifferent)	少量の塩分があってもこれ以上耐えることができないもの		一般陸水(湖沼・池・沼・河川・沢沢地など)
	貧塩 - 好塩性種(Halophilous)	少量の塩分にも耐えることができないもの		塩原・塩池・沢沢地
	広域塩性種(Euryhalous)	低濃度から高濃度まで広い範囲の塩分濃度に対応して出現するもの		一般淡水~汽水湖
	真酸性種(Acidobiontic)	pH7.0以下に出現、特にpH5.5以下の酸性水域で最もよく生育するもの		塩原・塩池・火口湖(酸性水域)
	好酸性種(Acidiophilous)	pH7.0付近に出現、pH7.0以下の水域で最もよく生育するもの		塩原・塩池・沢沢地
	pH - 不定性種(Indifferent)	pH7.0付近の中酸性水域で最もよく生育するもの		一般陸水 (ex. 湖沼・池沼・河川)
	好アルカリ性種(Alkaliphilous)	pH7.0付近に出現、pH7.0以上の水域で最もよく生育するもの		一般陸水 (ex. 湖沼・池沼・河川)
	真アルカリ性種(Alkalibiontic)	特にpH8.5以上のアルカリ性水域で最もよく生育するもの		アルカリ性水域(少ない)
	真止水性種(Ambibiontic)	止水にのみ出現するもの		止水のない湖沼・池沼
	好止水性種(Amphibious)	止水に特化的であるが、流水にも出現するもの		湖沼・池沼・流れの緩やかな川
	流 水 に 対 し た 区 分	流水不定性種(Indifferent)	止水にも流水にも普通に出現するもの	
好流水性種(Pneophilous)		流水に特化的であるが、止水にも出現するもの		河川・川・池沼・上流域
真流水性種(Pneobiontic)		流水にのみ出現するもの		河川・川・流れの速い川・深流・上流域
好気性環境(Aerial habitats)		水層以外の空気に大気と接した特殊な環境に生育する珪藻の一群で、 多くの空気を必要とするまたは土壌層中の空気の濃縮に生育可能、特 に、土壌中に生育する珪藻を土壌珪藻という。		湖沼・池沼・流れの緩やかな川 - 土壌層中や土壌に生えたコケに付着 - 水の層から幹に生えたコケに付着 - 濡れた岩の表面やそれが生えたコケに付着 - 海の流れで濡ったコケや石を、地上のコケに付着 - 湖沼入り口や内側の湖岸の土壌に生えたコケに付着
好気性珪藻(Aerophilous)				
好気性珪藻(Aerophilous)				

1)塩分に対する区分はLowe(1974)、pHと流水に対する区分はFustel(1971)~1983による。

表2. 珪藻分析結果

種 類	生態性			環境 指標種	A区 沢4					
	塩分	pH	流水		沢4土壌⑤		沢4土壌⑦		沢4土壌⑧	
					1047	1048	1049	1050	1051	1054
<i>Eunotia pectinalis</i> var. <i>minor</i> (Kuetz.) Rabenhorst	Ogh-hob	ac-il	ind	O	1	-	-	-	-	-
<i>Eunotia</i> spp.	Ogh-unk	unk	unk					2	2	
<i>Meridion circulare</i> (Grev.) C. Agardh	Ogh-ind	al-il	r-bi	K,T	-	-	-	-	-	1
<i>Meridion circulare</i> var. <i>constriatum</i> (Ralls) Van Heurck	Ogh-ind	al-il	r-bi	K,T	-	-	-	-	7	14
<i>Pinnularia microstauron</i> (Ehr.) Cleve	Ogh-ind	ac-il	ind	S	1	-	-	-	-	-
<i>Pinnularia rufescentis</i> Hantzsch	Ogh-hob	ac-il	ind	O	1	1	-	-	-	-
<i>Pinnularia viridiformis</i> Krammer	Ogh-ind	ind	ind	N,O,U	-	6	-	-	-	-
<i>Pinnularia viridis</i> (Nitz.) Ehrenberg	Ogh-ind	ind	ind	O	4	2	-	-	-	-
<i>Pinnularia</i> spp.	Ogh-unk	unk	unk		16	18	-	-	8	19
<i>Rhopalodia gibba</i> (Ehr.) Mueller	Ogh-ind	al-il	ind	O,U	-	-	-	-	-	1
海水生理					0	0	0	0	0	0
海水~汽水生理					0	0	0	0	0	0
汽水生理					0	0	0	0	0	0
淡水~汽水生理					0	0	0	0	0	0
淡水生理					23	27	0	0	17	37
珪藻化石総数					23	27	0	0	17	37

凡例

塩分・塩分濃度に対する適応性	pH: 水素イオン濃度に対する適応性	流水: 流水に対する適応性
Euh: 海水生理	al-il: 真アルカリ性種	il-bi: 真止水性種
Euh-Meh: 海水生理~汽水生理	al-il: 好アルカリ性種	l-ph: 好止水性種
Meh: 汽水生理	ind: pH不定性種	ind: 流水不定性種
Ogh-Meh: 淡水生理~汽水生理	ac-il: 好酸性種	r-ph: 好流水性種
Ogh-hil: 貧塩好塩性種	ac-bi: 真酸性種	r-bi: 真流水性種
Ogh-ind: 貧塩不定性種	unk: pH不明種	unk: 流水不明種
Ogh-hob: 好塩性種		
Ogh-unk: 貧塩不明種		

環境指標種

- A: 外洋指標種 B: 内湾指標種 C1: 海水産場指標種 C2: 汽水産場指標種
 D1: 海水砂質干潟指標種 D2: 汽水砂質干潟指標種
 E1: 海水泥質干潟指標種 E2: 汽水泥質干潟指標種 F: 淡水底生指標種(以上は小杉, 1988)
 G: 淡水浮遊性種群 H: 汽水浮遊性種群 J: 上流性河川指標種 K: 中~下流性河川指標種
 L: 最下流性河川指標種群 M: 湖沼浮遊性種群 N: 湖沼沼沢地指標種 O: 沼沢地付着性種
 P: 高層温泉指標種 Q: 陸域指標種群(以上は安藤, 1990)
 S: 好汚濁性種 U: 広適応性種 T: 好流水性種(以上はAsai & Watanabe, 1995)
 R: 陸生珪藻(RA:A群, RB:B群, RC:C群区分, 伊藤・堀内, 1991)

れる殻も多いことから、状態としては、極不良である。

検出された分類群は、すべて淡水生種で、沼沢湿地付着生種が多く認められる。認められた種は、*Eunotiapectinalis* var. *minor*, *Pinnularia microstauron*, *Pinnularia rupestris*, *Pinnularia viridifomis*, *Pinnularia viridis*, *Pinnularia* spp. である。

土壌⑦、土壌⑧からは、珪藻化石は検出されなかった。

A区沢4土層①では、土壌8、土壌11のいずれも低率に認められた。化石の保存状態は、半壊した殻や溶解の痕跡が認められており、状態としては、不良～極不良である。

検出された分類群は、すべて淡水生種で、真流水性種をとまう種群で構成される。認められた種は、*Eunotia* spp., *Meridion circulare*, *Meridion circulare* var. *constrictum*, *Pinnularia* spp., *Rhopalodia gibba* である。

(2) 花粉分析

結果を表3、図1に示す。沢4土層②の土壌⑤から、かろうじて定量解析が行える程度の花粉化石が検出されたが、保存状態は良好といえず、花粉外膜が破損あるいは溶解している個体も認められる。検出された花粉化石群集は木本花粉が主体で、マツ属、スギ属が多産する。その他ではモミ属、サワグルミ属、クルミ属、コナラ属コナラ亜属が確認された。草本花粉は、少ないながらもイネ科、オミナエシ属が認められる。なお、本試料からは、シダ類孢子が多産する

沢4土層②の土壌⑥～土壌⑧、および沢4土層①の土壌8、土壌11からは、花粉化石はほとんど、あるいは全く産出しない。わずかにマツ属、オミナエシ属、キク亜科が確認されたが、いずれも保存状態は悪い。また、シダ類孢子ではヒカゲノカズラ属、ゼンマイ属が確認された。

(3) 植物珪酸体分析

結果を表4、図2に示す。各試料からは植物珪酸体が検出されるものの、保存状態が悪く、表面に多数の小孔(溶食痕)が認められる。

沢4土層②の試料では植物珪酸体含量が概して少なく、3,000～7,000個/gである。検出される分類群も少なく、クマザサ属を含むクマザサ科やヨシ属が認められる他にススキ属やイチゴツナギ亜科が稀に認められる。

沢4土層①では、植物珪酸体含量が

表3. 花粉分析結果

種 類	A区沢4				沢4土層①	
	土壌⑤ 1047	土壌⑥ 1048	土壌⑦ 1049	土壌⑧ 1050	土壌8 1051	土壌11 1054
木本花粉						
モミ属	1	-	-	-	-	-
マツ属榎科管束亜属	23	-	-	-	-	-
マツ属(不明)	28	-	-	-	2	-
スギ属	46	-	-	-	-	-
サワグルミ属	2	-	-	-	-	-
クルミ属	5	-	-	-	-	-
コナラ属コナラ亜属	1	-	-	-	-	-
草本花粉						
イネ科	7	-	-	-	-	-
オミナエシ属	1	-	-	1	-	-
キク亜科	-	1	-	2	-	-
不明花粉						
不明花粉	7	-	-	-	-	-
シダ類孢子						
ヒカゲノカズラ属	-	1	-	-	-	-
ゼンマイ属	-	-	-	-	3	2
他のシダ類孢子	506	20	5	4	16	78
合 計						
木本花粉	106	0	0	0	2	0
草本花粉	8	1	0	3	0	0
不明花粉	7	0	0	0	0	0
シダ類孢子	506	21	5	4	19	80
合計(不明を除く)	620	22	5	7	21	80

表4. 植物珪酸体含量

分類群	A区沢4				沢4土層①	
	土壌⑤ 1047	土壌⑥ 1048	土壌⑦ 1049	土壌⑧ 1050	土壌8 1051	土壌11 1054
イネ科葉部短細胞珪酸体						
クマザサ科クマザサ属	600	300	500	500	500	200
クマザサ科	900	600	1,200	600	4,000	500
ヨシ属	<100	200	-	<100	-	-
ウツクサ族ススキ属	<100	-	<100	-	400	<100
イチゴツナギ亜科	200	<100	-	-	-	-
不明	900	500	1,100	1,200	3,400	1,000
イネ科葉身機動細胞珪酸体						
クマザサ科クマザサ属	100	100	1,000	200	500	200
クマザサ科	200	400	1,400	300	1,400	200
ヨシ属	100	<100	<100	<100	-	-
不明	300	1,300	1,400	1,000	1,400	400
合 計						
イネ科葉部短細胞珪酸体	2,900	1,600	2,900	2,400	8,300	1,800
イネ科葉身機動細胞珪酸体	800	1,900	3,800	1,600	3,300	700
植物珪酸体含量	3,700	3,500	6,700	4,000	11,600	2,500

1) 含量は、10の位で丸めている(100単位にする)。

2) 合計は各分類群の丸めない数字を合計した後に丸めている。

3) <100: 100個/g未満。

土壌8で約1.2万個/gであるものの、土壌11で約2,500個/gと少ない。クマザサ属を含むタケ亜科やススキ属などがみられる。

(4) 土壌試料洗い出し分析

結果を表5に示す。試料各200ccからは、種実遺体が確認されなかったため、残りの全試料を追加分析して古植生情報の獲得に努めた。結果、全4試料2,400cc (3,776 g) を洗い出したが、種実遺体は土壌⑤から炭化したウルシ属の核の破片が1個検出されるのみであった。

・ウルシ (*Rhus verniciflua* Stokes) ウルシ科ウルシ属

核(内果皮)は炭化しており黒色、残存長1.6mm、残存幅2.4mm(復元値は3.0mm程度)、厚さ1.5mm

のやや偏平な横槽円体で背腹両面中央が凹み蘭状となる。腹面中央にある長径0.6~0.8mmの長槽円形の溝を欠損する。内果皮表面は粗面で、断面は櫛状を呈す。

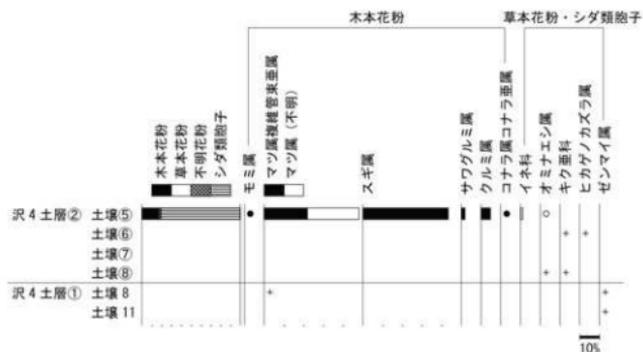
種実以外では、土壌⑤から0.19g、土壌⑥から0.16g、土壌⑦から0.02g、土壌⑧から0.04gの、計0.4gの炭化材が検出され、最大径は11mmを測る(土壌サンプル⑤)。これらのうちから、土壌⑤から1点、土壌⑥から5点、土壌⑦と土壌⑧から各3点の炭化材を選択し、同定対象とした。炭化材同定の結果、広葉樹3分類群(ブナ属、クリ、ヤマグワ)に同定された。

その他に、昆虫類の破片が土壌⑤から7個検出された。分析残渣は砂礫主体で植物片を少量含む。

表5. 土壌試料洗い出し分析結果

種類	A区沢4				整理番号
	土壌⑤	土壌⑥	土壌⑦	土壌⑧	
炭化種実	1047	1048	1048	1050	
ウルシ属核(破片)	-	-	-	1	<0.001 乾重(g)
炭化材	0.19	0.16	0.02	0.04	乾重(g)
	11	4.8	2.5	1.7	最大径(mm)
ブナ属	-	1	-	-	- 抽出炭化材
クリ	1	2	-	-	- 抽出炭化材
ヤマグワ	-	1	-	-	- 抽出炭化材
広葉樹	-	1	3	3	抽出炭化材
昆虫類	7	-	-	-	個数
分析量	300	750	700	650	容積(cc)
	445	1126	1096	1109	湿重(g)

1)炭化材等の重量には表面の泥の重量を含む。



木本花粉は木本花粉総数、草本花粉・シダ類胞子は総数から不明花粉を除いた数を基数として百分率で表した。○●は1%未満、+は木本花粉100個未満の試料において検出された種類を示す。

図1. A区沢4における花粉化群集

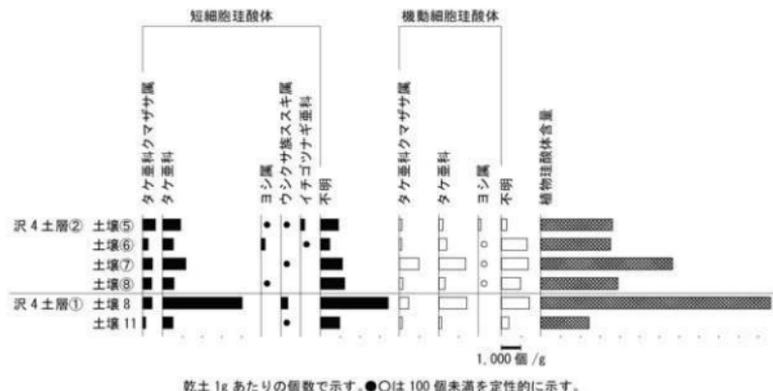


図2. A区沢4における植物珪酸体含量

4. 考察

(1) 堆積環境

A区沢4土層②の第1層～第3層(土壌⑤～土壌⑧)、および沢4土層①の第IIa層(土壌8)、第1層(土壌11)についてみると、いずれも珪化石の産出率が低いため、堆積時の環境を推定することは困難である。

ただ、検出された珪化石種群をみると、いずれも淡水生種のみで構成されている。沢4土層②の第1層、第2層では、少ないながらも湖沼沼沢湿地指標種や沼沢湿地付着種が認められることから、本層堆積時の沢4土層②付近は、沼沢湿地のような環境であった可能性がある。

一方、沢4土層①の第1層、およびその上位の第IIa層では、中～下流性河川指標種の流水性種が認められることから、沢4土層①付近の第1層～第IIa層堆積時は、基本的には沢4土層②同様沼沢湿地の環境と推測されるが、一時的に流水の影響を受けた可能性がある。

なお、全体的に珪化石の産状が悪い点については、堆積後に総成作用により分解消失したことが推定される。経験的には、堆積後に好気的環境下で大気に曝されると、短期間に分解消失することがわかっている。このことから、沢4内は基本的には沼沢湿地のような状態であるものの、一時的に乾いて大気に曝されることがあった可能性がある。特に珪化石が全く産出しない2試料は、沢埋積物の底部(土壌⑦)、および沢の肩付近(土壌⑧)であることから、埋積し始めや水位の変化など、乾きやすい環境であったと推測される。

(2) 古植生

A区の沢4における花粉分結果をみると、土層②の第1層(土壌⑤)からかろうじて定量解析が行える程度の産出が認められたが、全体的に花粉化石の保存状態も悪い。花粉やシダ類胞子の腐蝕に対する抵抗性は種類により異なっており、落葉広葉樹に由来する花粉よりも針葉樹に由来する花粉やシダ類胞子の方が酸化に対する抵抗性が高いとされている(中村, 1967; 徳永・山内, 1971; 三宅・中越, 1998など)。検出された花粉化石は保存状態が悪いこと、分解の影響を受けても同定可能な種類が多いこと、シダ類胞子が多産すること、珪藻分析からも好気的環境が想定されることなどを考慮す

ると、得られた花粉化石群集は経年変化による分解・消失の影響を受けていると考えられる。

分解の影響を考慮しても、沢4土層②の第1層ではマツ属、スギ属が多産する。マツ属は伐採地や崩落地などに先駆的に入る二次林要素である。スギ属は、人工林では山腹斜面下に出現し、水分・養分の供給が十分で、水はけの良い土壌で最もよく生育するとされている。また、約4,000-2,000年前にかけて全国で急増し、特に日本海沿岸地域の低地においては、スギの埋没林が多く認められている（例えば高原, 1998など）。三内丸山(9)遺跡における花粉分析結果でも、縄文時代中期頃からスギ属の産出が確認されており、縄文時代後期～古代にかけて増加する傾向が認められている（吉川, 2008）。いずれも花粉生産量が多い種類であることから、調査区周辺の二次林や崩落地にマツ属が、沢沿いなどにスギ属が生育していた可能性がある。また、サワグルミ属、クルミ属、コナラ属コナラ属などは、渓谷沿いや河畔などの適湿地に生育する種が含まれることから、沢4の周辺や集水域などに生育していたものに由来すると思われる。

炭化材で同定されたブナ属、クリ、ヤマグワは、本地域の冷温帯性落葉広葉樹林の林内や林縁に生育して矛盾しない。炭化していることから、近傍の森林より採取し、利用されたことが窺える。また、種実が検出されたウルシ属も落葉広葉樹で、本地域には籐本のツタウルシ、小高木のヌルデ、ヤマウルシが分布するほかに、中国原産で高木のウルシ (*R. verniciflua* Stockes) の4種が分布する（佐竹ほか, 1989）。近年の研究では、縄文時代の遺跡から漆製品やウルシの木材、内果皮、花粉化石の出土が確認され、古くからの利用が指摘されている。

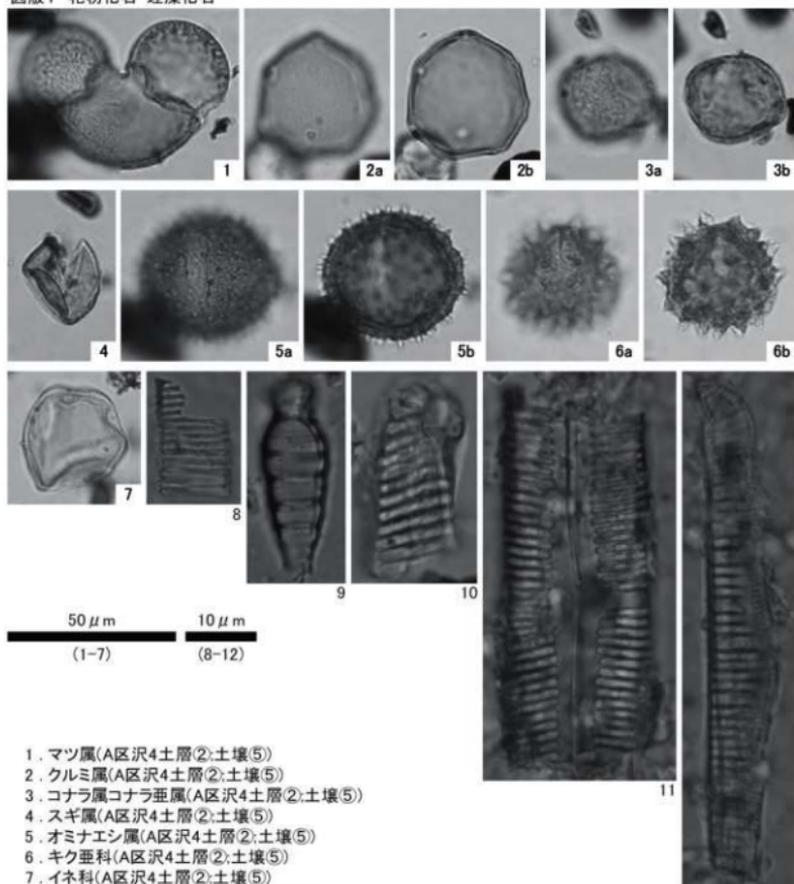
一方、沢4内やその周囲の植生を反映していると思われる草本類をみると、花粉化石ではイネ科、オミナエシ属、キク亜科が認められる。これらはいずれも、開けた明るい場所に生育する種を含む分類群である。また、植物珪酸体も産出は概して悪いが、クマザサ属やヨシ属、ススキ属、イチゴツナギ亜科などが検出される。この内、ヨシ属は湿潤な場所に生育する種群であることから、沢内やその周囲の湿地部などに生育していたものに由来すると思われる。調査区内や周囲の林縁林床部などに、クマザサ属やススキ属などのイネ科、オミナエシ属、キク亜科などが生育していたと考えられる。

引用文献

- 安藤一男, 1990, 淡水産珪藻による環境指標種群の設定と古環境復元への応用. 東北地理, 42, 73-88.
- Asai, K. & Watanabe, T., 1995, Statistic Classification of Epilithic Diatom Species into Three Ecological Groups relating to Organic Water Pollution (2) Saprophilous and saproxenous taxa. Diatom, 10, 35-47.
- Desikachary, T. V., 1987, Atlas of Diatoms. Marine Diatoms of the Indian Ocean. Madras science foundation, Madras, Printed at TT. Maps & Publications Private Limited, 328, G. S. T. Road, Chromepet, Madras-600044. 1-13. Plates : 401-621.
- Hustedt, F., 1930, Die Kieselalgen Deutschlands, Oesterreichs und der Schweiz. unter Berücksichtigung der übrigen Länder Europas sowie der angrenzenden Meeresgebiete. in Dr. Rabenhorst's Kryptogamen Flora von Deutschland, Oesterreichs und der Schweiz, 7, Leipzig, Part 1, 920p.
- Hustedt, F., 1937-1938, Systematische und ökologische Untersuchungen mit die Diatomeen-Flora von Java, Bali und Sumatra. I~III. Arch. Hydrobiol. Suppl., 15, 131-809p, 1-155p, 274-349p.
- Hustedt, F., 1959, Die Kieselalgen Deutschlands, Oesterreichs und der Schweiz. unter Berücksichtigung der übrigen Länder Europas sowie der angrenzenden Meeresgebiete. in Dr.

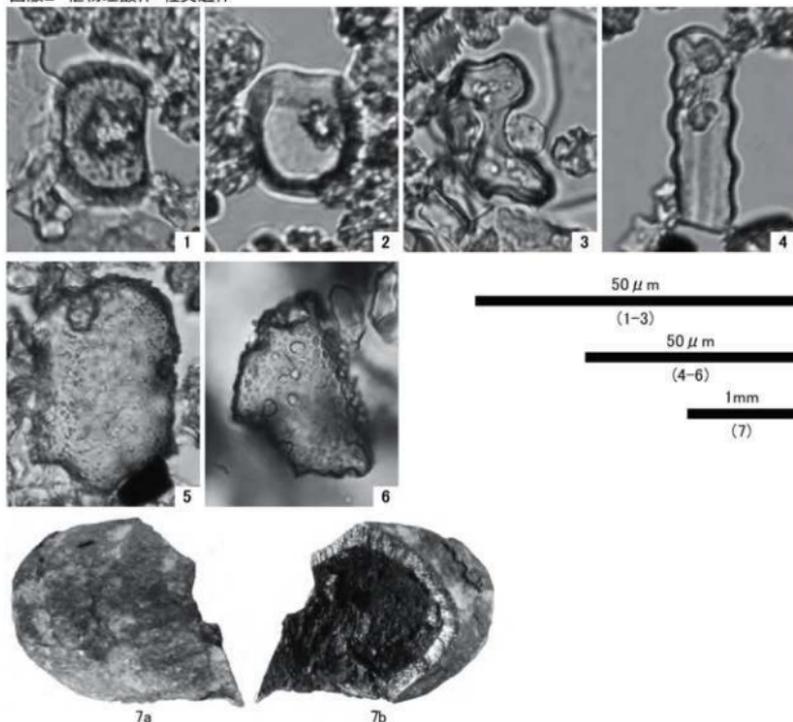
- Rabenhorsts Kryptogamen Flora von Deutschland, Oesterreichs und der Schweiz, 7, Leipzig, Part 2, 845p.
- Hustedt, F., 1961-1966, Die Kieselalgen Deutschlands, Oesterreichs und der Schweiz, unter Berücksichtigung der übrigen Länder Europas sowie der angrenzenden Meeresgebiete. in Dr. Rabenhorsts Kryptogamen Flora von Deutschland, Oesterreichs und der Schweiz, 7, Leipzig, Part 3, 816p.
- 石川茂雄, 1994, 原色日本植物種子写真図鑑, 石川茂雄図鑑刊行委員会, 328p.
- 伊藤良永・堀内誠示, 1991, 陸生珪藻の現在に於ける分布と古環境解析への応用. 日本珪藻学誌, 6, 23-44.
- 近藤鎌三, 2010, プラント・オパール図譜. 北海道大学出版会, 387p.
- 小杉正人, 1988, 珪藻の環境指標種群の設定と古環境復原への応用. 第四紀研究, 27, 1-20
- Krammer, K. and H. Lange-Bertalot, 1985, Naviculaceae. Bibliotheca Diatomologica, vol. 9, p. 250.
- Krammer, K. and H. Lange-Bertalot, 1986, Bacillariophyceae, Susswasser flora von Mitteleuropa 2 (1): 876p.
- Krammer, K. and H. Lange-Bertalot, 1988, Bacillariophyceae, Susswasser flora von Mitteleuropa 2 (2): 596p.
- Krammer, K. and H. Lange-Bertalot, 1990, Bacillariophyceae, Susswasser flora von Mitteleuropa 2 (3): 576p.
- Krammer, K. and H. Lange-Bertalot, 1991, Bacillariophyceae, Susswasser flora von Mitteleuropa 2 (4): 437p.
- Lowe, R. L., 1974, Environmental requirements and pollution tolerance of fresh-water diatoms. In Environmental Monitoring Ser. EPA-670/4-74-005. Nat. Environmental Res. Center office of Res. Develop. U. S. Environ. Protect. Agency. Cincinnati. 1-344.
- 三宅 尚・中越信和, 1998, 森林土壌に堆積した花粉・胞子の保存状態. 植生史研究, 6, 15-30.
- 中村 純, 1967, 花粉分析. 古今書院, 232p.
- 中村 純, 1980, 日本産花粉の標徴 I II (図版). 大阪市立自然史博物館収蔵資料目録 第12, 13集, 91p.
- 中山至大・井之口希秀・南谷忠志, 2000, 日本植物種子図鑑. 東北大学出版会, 642p.
- 佐竹義輔・原 寛・亙野俊次・富成忠夫編, 1989, 日本の野生植物 木本II, 平凡社, 305p.
- 高倉巳三郎, 1973, 日本植物の花粉形態. 大阪市立自然科学博物館収蔵目録 第5集, 60p.
- 高原 光, 1998, スギ林の変遷. 安田 喜憲・三好教夫(編著), 図説 日本列島植生史, 朝倉書店, 207-223.
- 徳永重元・山内輝子, 1971, 花粉・胞子. 化石の研究法, 共立出版株式会社, 50-73.
- 吉川昌伸, 2008, 東北地方の縄文時代中期から後期の植生とトチノキ林の形成. 環境文化史研究, 1, 27-35.

図版1 花粉化石・珪藻化石



1. マツ属(A区沢4土層②;土壌⑤)
2. クルミ属(A区沢4土層②;土壌⑤)
3. コナラ属コナラ亜属(A区沢4土層②;土壌⑤)
4. スギ属(A区沢4土層②;土壌⑤)
5. オミナエシ属(A区沢4土層②;土壌⑤)
6. キク亜科(A区沢4土層②;土壌⑤)
7. イネ科(A区沢4土層②;土壌⑤)
8. *Eunobia* spp. (A区沢4土層①;土壌⑧)
9. *Meridion circulare* var. *constrictum* (Ralfs) Van Heurck (A区沢4土層①;土壌⑧)
10. *Pinnularia* spp.(A区沢4土層②;土壌⑥)
11. *Pinnularia* spp. (A区沢4土層①;土壌⑪)
12. *Rhopalodia gibba* (Ehr.) Mueller (A区沢4土層①;土壌⑪)

図版2 植物珪酸体・種実遺体



1. クマザサ属短細胞珪酸体(A区沢4土層②;土壤⑤)
2. ヨシ属短細胞珪酸体(A区沢4土層②;土壤⑥)
3. ススキ属短細胞珪酸体(A区沢4土層①;土壤⑧)
4. イチゴツナギ亜科短細胞珪酸体(A区沢4土層②;土壤⑤)
5. ヨシ属機動細胞珪酸体(A区沢4土層②;土壤⑤)
6. クマザサ属機動細胞珪酸体(A区沢4土層②;土壤⑦)
7. ウルシ属 核(A区沢4土層②;土壤⑧)

第5章 総括

砂子瀬遺跡は岩木川と湯ノ沢川に挟まれた標高約185～192mの河岸段丘上に位置する。A区の東西両側及びC区の東側は浸食や崩落の影響、B～E区は大きく削平の影響を受けている区域があったものの、平成18年度から平成24年度にかけての調査の結果、竪穴住居跡27棟、掘立柱建物跡41棟、土坑549基、土器埋設遺構23基、焼土遺構18基、溝跡4条、配石遺構9基、屋外配石炉1基、ピット2105基、捨て場1ヶ所が検出された。特筆される遺構としては、A区中央付近で確認された環状に分布する掘立柱建物跡があげられる。出土遺物は縄文時代早期から弥生時代にかけての土器、石器が出土した。ここでは、これまでの一連の調査で検出された竪穴住居跡と掘立柱建物跡及び土器、石器についてまとめ、砂子瀬遺跡全体の総括を行う。

第1節 竪穴住居跡 (図130・131)

砂子瀬遺跡で検出された竪穴住居跡は27棟である。このうち25棟がA区から検出されている。ここでは、既に刊行されている砂子瀬遺跡に関する3冊の報告書(第466・482・513集)及び本書第3章第1節の成果を援用し、竪穴住居跡の様相とその変遷について概観する。なお本稿における竪穴住居跡の呼称については、調査年度ごとに同名の遺構が存在することから、以下のとおり遺構名の先頭に検出地区を入れた略称を用いる。

第2号竪穴住居跡(第466集)→CSI 2

第2号竪穴住居跡(第482集)→ESI 2

第1～7号竪穴住居跡(第513集)→ASI 1～7

第102～118号竪穴住居跡(第543集、本書)→SI102～118

また文中では新旧関係を表す際に不等号を用い、旧段階<新段階のように表記した。

1 住居構造

・平面形・規模

竪穴状の掘り込みが確認できたもの(CSI 2・ESI 2・ASI 1～5・ASI107・110・112・114・115)とできなかったもの(ASI 6・7・SI102～106・108・109・111・113・116～118)がある。掘方が確認されたもの(SI102・SI109)は後者に含めた。また、後述する壁周溝と考えられる溝跡は全て後者で検出された。

確認できた平面形は円形及び楕円形である。壁周溝のみのもの(ASI 6・ASI 7・SI103)や焼土とピットの分布から住居跡としたもの(SI105)もあり規模が明確でないものもあるが、推定も含めた長軸規模は2.3～8.8mである。また全体的な傾向として、掘り込みが確認できなかったものの方が、掘り込みが確認できたものより大きく、前者の長軸規模の平均が約6.5mであるのに対して、後者は約3.7mである。

・柱穴配置

3本柱(ASI 1)と4本柱(ASI104A・SI104B・SI105・SI108・SI111・SI116・SI117)がみられる。後者の柱間距離は1.3～4.8mで、掘立柱建物跡のそれと比べるとSI105を除きやや短く、平面形は台形状を呈する。この他に壁柱穴が巡るもの(ESI 2・SI 5)や、壁周溝内部から複数の柱穴が検出されたもの(ASI 6・SI 7・SI109・SI116)もある。

・炉形態

地床炉（CSI 2・ESI 2・ASI 1・ASI105・ASI106・ASI109・ASI114・ASI116）と土器埋設炉（ASI104A・ASI104B・ASI108）がある。炉の位置は、ほぼ中央にあるもの（CSI 2・ESI 2・CSI 1・ASI108・ASI114）と偏在するもの（ASI104A・ASI104B・ASI105・ASI106・ASI109・ASI116）がある。ASI108を除き、前者は掘り込みが確認できたもの、後者は掘り込みが確認できなかったものにみられる。

・付属施設

壁周溝と考えられる溝跡（ASI 6・ASI102・ASI103・ASI104A・ASI104B・ASI106・ASI108・ASI109・ASI111・ASI113・ASI116～ASI118）、土坑（ASI 2）、貼床（ASI106・ASI111）が検出された。この内壁周溝と考えられる溝跡は全て掘り込みが確認できなかった竪穴住居跡から検出された。この他にASI 7から張り出し部が検出されたが、擾乱の可能性がある。明確な出入り口施設は確認できなかったが、ASI 6・ASI 7における壁周溝の欠落部分が当該施設の可能性はある。

・重複

土層断面の観察から、竪穴住居跡同士及び竪穴住居跡と掘立柱建物跡には以下の新旧関係が認められた。
ASI 5 < ASI 4、ASI104A < ASI104B、ASI109 < ASI108 < ASI110、ASI111 < SB38、SB36 < ASI113。

2 時期変遷

・縄文時代後期前葉

4棟（CSI 2・ASI105～107）が該当する。C区で検出されたCSI 2を除きA区に分布する。ASI107はA区東端の掘立柱建物跡が環状に分布する範囲に位置するが、掘立柱建物跡との重複関係は確認できなかった。ASI105・ASI106は掘立柱建物跡が環状に分布する範囲のすぐ南側に隣り合うように分布する。なお、ASI105は他の住居跡に比べて柱間距離が大きく、また、掘り込みが確認できなかったものの中で唯一壁周溝が検出されなかったものであり、掘立柱建物跡の可能性もある。

・縄文時代後期中葉

3棟（ASI102・ASI108・ASI109）が該当する。いずれも掘り込みが確認できなかったものである。ASI102はA区南西側に、ASI108・ASI109はA区西端にそれぞれ分布する。ASI108とASI109には重複関係がみられ、後期中葉の中でも時間差が認められる。

・縄文時代後期中～後葉

2棟（ASI103・ASI110）が該当する。両者とも後期中葉の一群と分布範囲が重なる。

・縄文時代後期後葉

14棟（ESI 2・ASI 1・ASI 4・ASI 5・ASI 7・ASI104A・ASI104B・ASI111～117）が該当する。E区で検出されたESI 2を除くと、A区北側に分布するもの（ASI 1・ASI 4・ASI 5）、A区やや南側で東西方向に列状に分布するもの（ASI 7・ASI104A・ASI104B・ASI114～117）、環状に分布する掘立柱建物跡と分布範囲が重なるもの（ASI111～113）がある。このうちASI111とASI113は掘立柱建物跡と重複している。また、竪穴住居跡同士にも重複関係があることから、後期後葉の中でも時間差が認められる。壁柱穴が巡る住居跡（ESI 2・ASI 5）もこの時期にみられる。

・縄文時代後期

詳細な時期は特定できないものの、出土土器から後期に帰属すると推定されるものが2棟（ASI

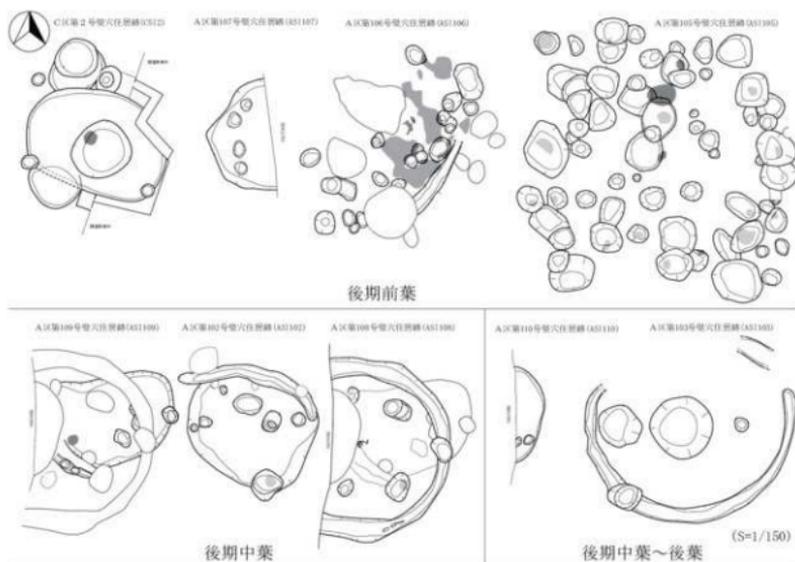


図130 竪穴住居跡集成(1)

2・ASI 3) 検出された。A区北東側に分布し、後期後葉の一群(ASI 4・ASI 5)に隣接する。いずれも長軸が3mに満たない小型のものである。

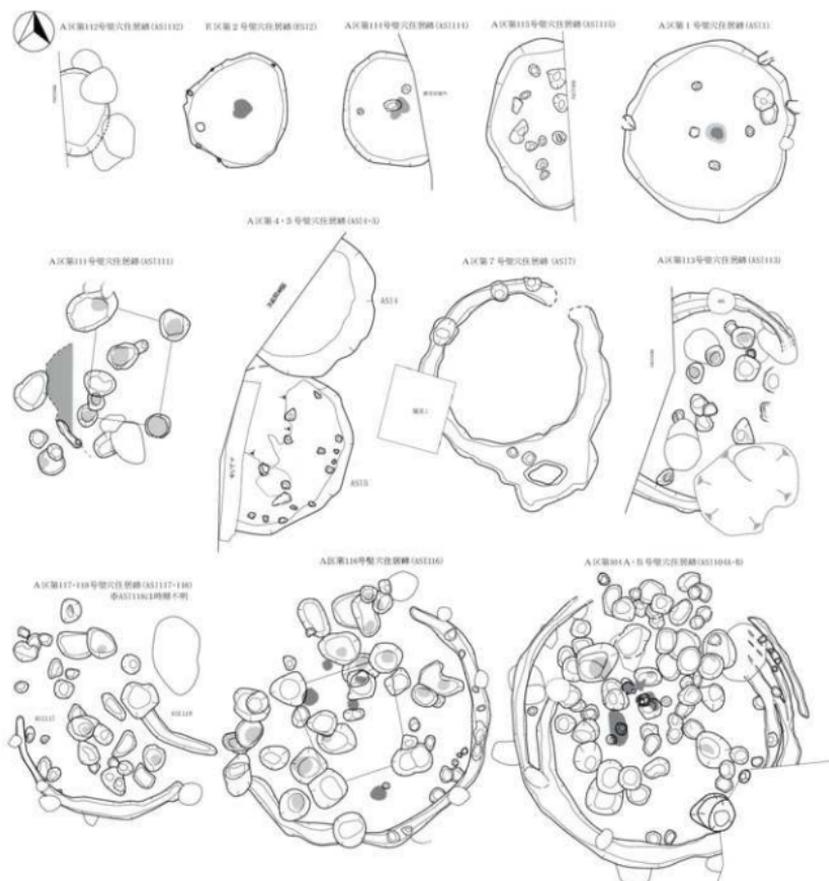
・時期不明

2棟(ASI 6・ASI 118)が該当する。A区やや南側に分布する後期後葉の一群と分布範囲が重なる。

3 まとめ

本遺跡で検出された竪穴住居跡の特徴として、掘り込みの有無と住居構造に関連性がみられることがあげられる。掘り込みが確認できたものは小型で柱穴規模が小さく、柱穴配置も判然としない。炉は地床炉で床面中央部から検出される。掘り込みが確認できなかったものは大型で壁周溝を伴い、主柱穴が4本で構成されるものが多い。炉は地床炉もしくは土器埋設炉で、床面中央から壁寄りに位置する。後者で掘り込みが確認できなかった理由として、後世の削平の影響等の可能性も否定できないが、両者の間には上述のような相違点がみられることから、住居構造自体に起因する可能性が考えられる。これらとともに縄文時代後期前葉から後葉にかけて継続的に分布する。また、後期後葉に壁柱穴をもつものが出現することを除けば、時期ごとの住居構造に明確な違いはみられなかった。

竪穴住居跡の分布を時期ごとにとみると、C・E区に分布する2棟を除き、後期前葉はA区東側に、後期中葉は西側に、後期後葉は中央部に分布する。ただし、A区南端及び掘立柱建物跡が環状に分布する範囲の内側には各時期をとおして竪穴住居跡は確認されない。なお、後期後葉にはA区西側で竪穴住居跡と環状に分布する掘立柱建物跡に新旧関係が確認されており(ASI 111<SB38、SB36<ASI 113)、当該期の集落構造を考える上で重要な事例と考えられる。(葛城)



後期後葉

A区第2号竪穴住居跡 (AS12)

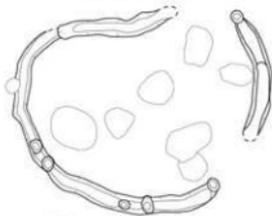


後期

A区第3号竪穴住居跡 (AS13)



A区第0号竪穴住居跡 (AS10)



不明

(S=1/150)

図131 竪穴住居跡集成 (2)

第2節 掘立柱建物跡

1 分布と軸方位

本遺跡のA区では41棟の掘立柱建物跡を検出した。41棟中26棟は舌状台地の中央部付近で環状に分布し、その北側と南側においても分布がみられる。

環状分布域の規模は南北60m、東西52mである。環状に分布する掘立柱建物跡群の主軸方向は円周上にみられる。北西側では、環状に分布する掘立柱建物跡と隣接して第10・11号掘立柱建物跡の2棟が分布し、最も近接する第14・15号掘立柱建物跡の主軸方位とほぼ同じである。

環状分布域における掘立柱建物跡の分布密度は、南・北・東側と西側とで違いがみられる。南・北・東側では建物跡自体の重なり合いや建物跡を構成する柱穴の重複も顕著である。これらには、位置関係や主軸方向の近似性から建て替え等の可能性があるものも含まれる。一方、西側では棟持柱が一部重複することはあっても建物跡自体の重なり合いがみられず、比較的整然とした配列にみえる。掘立柱建物跡として認定できないまでも掘立柱建物跡を構成する柱穴の可能性が高い柱穴（第16・36号間、第22・23号間、第26・27号間、第20・35号間の柱穴）については、第3章第1節ビットの小結で触れたが、当該柱穴を考慮しても掘立柱建物跡間にはある程度の間隔を置く箇所が存在する。特に南側の第30・32号掘立柱建物跡間は他の遺構もほとんど認められず間隔が明瞭である。また、当該掘立柱建物跡の付近ではほぼ同じ場所に建て替えが行われた形跡もみられる。なお、第32・33号掘立柱建物跡の柱1の周囲には巨礫が2石存在し、人為的に動かされた痕跡もみられず包含層の厚さを考慮しても当該建物跡の構築時の地表面から露出していたと考えられるもので、構築に際して巨礫の位置が意識されていた可能性もある。

環状分布域の外側では、建物跡の軸方位に共通性がみられる。北側の第4～9号掘立柱建物跡の6棟については、軸方位がN-62°～89°-Wのほぼ東西軸である。建物間には約2～6mの間隔を置き、6棟中5棟が南北方向に列状に分布する。南側では第1～3・31・39～41号掘立柱建物跡の7棟が確認され、軸方位はN-1°～30°-Wのほぼ南北軸である。

なお、環状分布域の内側では遺構の分布が稀薄で遺物の出土量も少ない。この区域では検出数は少ないものの、小規模なビットや焼土遺構が確認されている。ビットには柱痕が確認できるものも複数存在するが、柱穴配置などから明確な建物跡の認定には至らなかった。この小規模なビットの分布は、掘立柱建物跡の環状分布域との間に空白域を設けるようにもみえるが、巨視的にみると沢4東側から第9号掘立柱建物跡の北側付近まで帯状に分布する可能性もある。

2 建物構造

平面形は4本柱の方形と6本柱の亀甲形とに二大別できる。中でも6本柱の掘立柱建物跡は、梁・桁の長さや棟持柱と考えられる柱穴の張り出し具合等から以下のように区分できる（図132）。

- I. 梁 長…a. 張出部両側狭い、b. 張出部片側広い
- II. 梁桁同… 張出部両側狭い
- III. 桁 長…a. 張出部両側狭い、b. 張出部両側広い

平面形と分布の関係はI aが環状分布域に多く、I b・IIが北側、III bが南側に限定的にみられる。

4本柱の分布については傾向性が捉えにくく各所にみられる。建物規模はⅠaが梁行4m前後、主軸長5m前後が主体を占める。Ⅰb・Ⅱは梁行3m前後、主軸長4m前後と比較的小規模である。Ⅲaは桁行4.5m前後、主軸長5m前後、Ⅲbは桁行4m前後、主軸長約6～7.5mである。柱穴の規模は環状に分布する掘立柱建物跡群が大きく、他の掘立柱建物跡が小さい傾向にある。この傾向はⅠa以外の類型の柱穴規模が長軸約120cm以下、深さ約70cm以下のものが比較的多いことと関係するものと思われる。柱穴規模と建物規模との相関関係は薄い。6本柱の柱穴の内、棟持柱と考えられる2本の柱穴については、他の4本の柱穴と比較して柱穴規模・柱痕径などの差異が明瞭でない。柱穴には柱痕を確認したものが少なく、掘方の堆積土は礫を多く含む土で裏込めされる例が多い。同様の事例は秋田県八木遺跡（秋田県教委1989）、戸平川遺跡（秋田県教委2000）などにある。また、第22号掘立柱建物跡の柱1では柱痕堆積土の上位で粘土層を検出した。本遺跡のように柱痕堆積土ではないが、青森市中平遺跡（青森県教委2009b）では土坑の堆積土上層から中層で白色系粘土の検出例が複数確認されている。この他、第1・4号掘立柱建物跡では建物跡の中央から焼土遺構が検出されている。

時期については、掘立柱建物跡の時期決定に際して縄文時代後期前葉の土器の評価が鍵となる。遺構の時期については基本的に出土土器に依拠したが、A区の遺構は大多数が堆積土中に後期前葉の土器片を含む。時期的に後出の土器と混在する場合、後期中葉・後葉に位置づけられるものが存在する。一方で出土土器が後期前葉の土器に限られる場合、後期前葉以降と捉えるべき掘立柱建物跡の他、重複関係や出土量などから後期前葉の中で位置づけるのが妥当と判断される掘立柱建物跡も存在する。

後期前葉に位置づけられる掘立柱建物跡は第21・22・35号が挙げられ、環状分布域の南北に分布する。第35号掘立柱建物跡は、後期前葉の土器片が柱痕堆積土の上位から重なり合った状態で多量に出土した第2344号ピットと重複し、掘立柱建物跡の方が古い。この第2344号ピットは柱穴規模などから本来掘立柱建物跡を構成していた可能性がある柱穴である。後期中葉に位置づけられる掘立柱建物跡は、環状分布域の第34号、南側の第40号が挙げられる。この他、第34号掘立柱建物跡西側の第20号掘立柱建物跡付近においては、柱穴規模などから掘立柱建物跡を構成する可能性のある柱穴（第29号土坑）で後期中葉の土器が出土している（第513集）。このことから、環状分布域の南側では第34号掘立柱建物跡の他に後期中葉の掘立柱建物跡が存在する可能性もある。後期後葉に位置づけられる掘立柱建物跡は、環状分布域の第12・14・16・18・23・24～27・36～38号、南側の第1・2・31・39号が挙げられる。環状分布域の第12・26号については、第14・25号との新旧関係から後期後葉に位置づけられる。この他、南側の第3号掘立柱建物跡については、当該建物跡の建て替えの可能性のある柱穴から出土した土器から後期後葉の可能性が指摘されている（第513集）。これら後期後葉に位置づけられる掘立柱建物跡は、環状分布域の東西に多く認められる。以上に挙げた以外の第4～11・13・15・17・19・20・28～30・32・33・41号については後期前葉以降と捉えられる掘立柱建物跡で、時期の詳細が不明なものである。なお、本章第5節の図135については上記の時期判断に基づくものである。

平面形を時期別にみた場合、Ⅰb・Ⅱ・Ⅲaは後期前葉以降と捉えられる掘立柱建物跡にもみられ判然としないが、後期前葉から中葉にかけてはⅠa、後期後葉にはⅠa・Ⅲbが存在すると整理できる。特にⅢbは青森市上野尻遺跡（青森県教委2003）に特徴的な形態で、Ⅰaと比較して平面形状・柱穴規模に大きな差がある。Ⅲbは分布の上でも、環状分布域より南側に限定される点で看過できない。平面形と時期の関係は、Ⅰaが後期前葉から後葉にかけて存続しながら、Ⅲbが後期後葉のある段階から

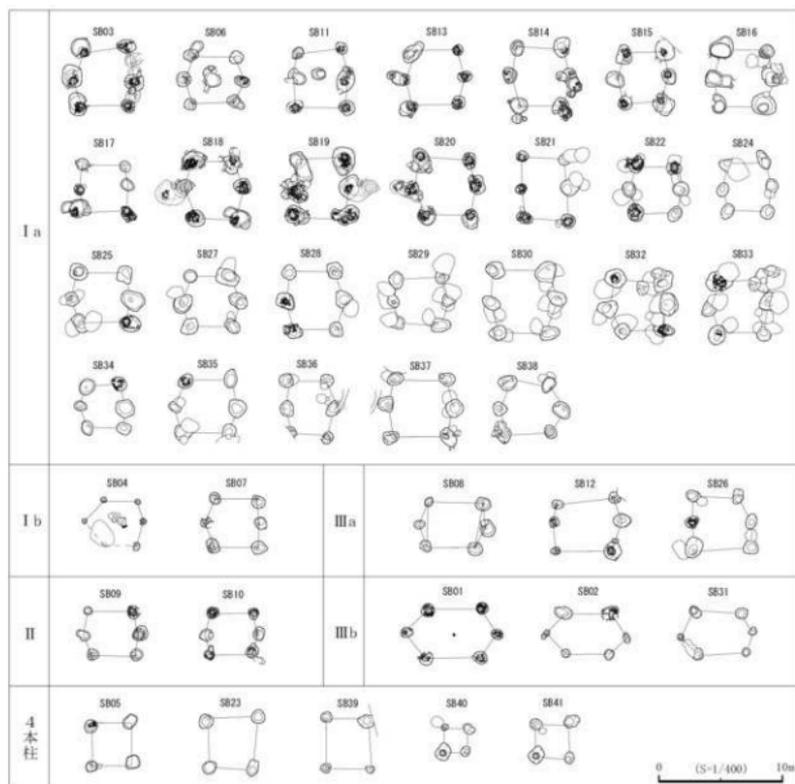


図132 掘立柱建物跡平面形分類

出現した可能性が示唆される。また、後期中葉については、4本柱・6本柱ともに建物規模が小規模な傾向を捉えることができる。

3 まとめ

本遺跡の掘立柱建物跡は、分布・軸方位に一定の規則性がみられ、建物構造などにもいくつかの傾向性を指摘できる。掘立柱建物跡の時期については、縄文時代後期の中で明確な時期を特定できない掘立柱建物跡も少なくなく、後期前葉の土器の評価如何によっては後期前葉から後葉とするか、後期中葉から後葉とするか判断が分かれるが、掘立柱建物跡の柱穴内出土土器を重視すると、縄文時代後期前葉から後葉に位置づけられる。最後に本章第1節でも触れているが、環状分布域の西側では掘立柱建物跡と竪穴住居跡との重複関係がみられ、第38号掘立柱建物跡が第111号竪穴住居跡よりも新しく、第36号掘立柱建物跡が第113号竪穴住居跡よりも古い。このことは、本遺跡の集落変遷を考える上で重要な要素のひとつである。

(最上)

後期後葉にかけての土器が出土している。出土量としては後期前葉の土器が主体的である。沢3では縄文時代後期前葉から後葉にかけての土器が出土し、中でも後期中葉・後葉の土器の出土量が比較的多い。沢3の堆積は、第34号掘立柱建物跡や第2214号ピットなどとの関係から比較的新しい時期まで下る可能性がある。

土器の出土量は、特に環状に分布する掘立柱建物跡群の内側では少なく、堅穴住居跡周辺でやや多い傾向にあるが、遺構分布の粗密とも関係するものと思われる。

3 縄文時代後期の土器（第Ⅲ群土器）について

本遺跡の出土土器の主体を占める縄文時代後期の土器（第Ⅲ群土器）の内、A・B・D・F類土器を中心に既報告も含めて特記事項を記載する。

第Ⅲ群A類はA区沢4の東側やC区から比較的まとまって出土している。本類は土器埋設遺構に比較的多く、A区第4・103号土器埋設遺構、C区第8・10号土器埋設遺構などが挙げられる。地文縄文に三角形区画文が施文されるものが主体を占める。地文縄文には縦位の燃糸文が施文されるものが一定量認められる。

第Ⅲ群B1類はA区において最も出土量が多い。A区第105・106号堅穴住居跡周辺や沢4からの出土が目立ち、環状に分布する掘立柱建物跡群の内側では出土量が少ない。第22号掘立柱建物跡の構成柱穴からは本類土器が多く出土しているが、周辺グリッドにおける遺構外出土の本類土器は少量である。A区の捨て場からは、十腰内Ib式に相当する土器がまとまって出土しており、秋田県堂沢I遺跡第Ⅲ群土器（秋田県教委1993）に類似するものと思われる。復元個体は比較的少ない。文様の施文手法としては充填縄文によるものが多く、他に沈線のもの、櫛歯状工具による充填文がみられるものがある。文様には三角形文、入組波状文、波状文、波頭状文、蓮華花弁文、方形区画文などが施文されるものが多く、クランク状文や鍵状文も少量みられる。B2類については、これまで出土事例が比較的少なかった仮称四ツ石式（葛西1986）、仮称李平・大石平式（鈴木1996）などに相当する資料も散見される。

第Ⅲ群D類はA区の南側と西側で散見される。D1類では横位の平行沈線、入組文、鋸歯状文がみられる。鉢形系統の注口土器（図101-15）や片口土器（図101-16）も出土している。

第Ⅲ群F類はA区西側の掘立柱建物跡および堅穴住居跡周辺の他、第1・2号掘立柱建物跡周辺、第104A・B号堅穴住居跡周辺からの出土が目立ち、遺構内・外ともに、環状に分布する掘立柱建物跡群の内側からはほとんど出土していない。A区の後期後葉に位置づけられる堅穴住居跡からはF2類の出土が目立つ傾向がある。この他、土坑墓の可能性のあるA区第1116号ピットからは、F1類の壺形の台付土器が出土している。また、A区第1219号ピットの柱痕堆積土からは、F3類の注口土器が特異な状況で出土している。

以上のように、縄文時代後期を通じて各時期の土器が連続と認められた中で、本遺跡では関根達人氏の第5期（関根2005）、中門亮太氏の第5期（中門2013）、小林圭一氏の瘤付土器第Ⅲ段階（小林1999）以降に相当する土器が認められない。後期末葉頃には本遺跡から他の周辺遺跡へと活動の拠点を移した可能性も考える必要がある。今後岩木川上流域の本遺跡周辺の遺跡群における出土土器の様相とも関連づけて比較検討していくことが課題である。

（最上）

第4節 石器(図134)

過去に行われた発掘調査で出土した石器は、器種・種類毎に表に示した。伴出土器から、出土した石器は縄文時代後期のものとして大過なく、本時期の石器組成を示すと考えられる。ただ縄文時代早期の特徴的な器種である、刃部を直線的に作出するトランシェ様石器が遺構外から出土している(図105-6)。本遺跡から縄文時代早期に帰属する土器は全く出土していないが注目される資料である。

石器の出土数が多い地区はA区で、B・C・D・E区は極めて少ない。遺構数が多い地区はA区とE区だがE区の遺物量が少ない。石材は、剥片石器は珪質頁岩、礫石器は凝灰岩・緑色凝灰岩を主体とする。これらの石材は遺跡周辺で産出する。黒曜石は既刊報告書と本報告にて楔形石器2点、石核5点、U.F.6点、R.F.4点、剥片156点の出土が確認され、分析の結果判明した産出地は木造出来島・深浦八森山・北海道戸安住である。石核は原礫が推定直径約6cmの角礫で約2cmの矩形剥片を剥離したものがあ(第4章第2節分析番号SKS2-5)。黒曜石製の石器が少ないことが注目される。

A・B区では、V R-59からVI E-61方向に流下する沢(以下北部沢と呼称)・沢3・沢4から多くみられる。出土土器から、北部沢は縄文時代後期前葉、沢4は後期後葉以降の埋没と考えられる。北部沢や沢4の堆積土は黒褐色土が主体であり、沢4の堆積土の分析の結果、一時的に乾燥する沼沢湿地の環境で堆積したことが判明し、石器は沼沢湿地が埋没する過程で混入したものと考えられる。

器種別では、出土量が多いものでは石鏃・スクレーパー・石核・U.F.・R.F.・敲磨器・石鏢がある。図134に、第Ⅱ・Ⅲ層と各調査区で検出された沢堆積土から出土した石鏃、石鏢、磨石・敲石・凹石の敲磨器の遺構外出土器分布状況を示した。各器種とも北部沢やIV M～VD-58～64グリッドからの出土が多い。また、掘立柱建物跡に圍繞された区域の遺物分布が希薄なことが指摘できる。石鏃は有茎鏃が圧倒的に多く、無茎鏃はごく少数である。基部に黒色物質の附着する例が、A・B区370点中29点に観察される。そして堅穴住居跡が分布する地域に偏在する傾向がある。石鏢は159点中打欠石鏢が153点、切目石鏢が6点であり、打欠石鏢の割合が圧倒的に高い。抉りは礫の短軸方向に作出されるものが殆どであり、ほか十字型に抉りを作成するものが4点出土した。敲磨器は北部沢・沢4堆積土のほか堅穴住居跡の分布域から散発的に出土する。石器が遺構に伴う事例では、A区第116号堅穴住居跡の第1号溝跡に属するビット1から珪質頁岩製のスクレーパー1点と接合するR.F.1点、縦長剥片が出土し、石器の管理や保有状況を示すものとして注目される。

C・D区では石鏃・削器・石筥が比較的多く、礫石器が極めて少ない。石鏃は有茎が主体的で凹基無茎は3点出土している。また、石製品と報告されているもので、凝灰岩の楕円礫の長軸方向に切目を入れた、石鏢に類する製品が1点認められる(第466集70頁)。遺構外からの出土である。

E区ではスクレーパー(削器)が多く、礫石器が極めて少ない。石鏃は全7点中有茎が6点と主体的である。E区第35号土坑出土の縄文時代後期後葉の土器と伴出した珪質頁岩の石核1点と剥片18点が接合し、原礫の状況が復元された例として注目される。

砂子瀬遺跡出土の石器は、A区に集中して出土し、有茎石鏃とスクレーパー(搔器・削器)、打欠石鏢・敲磨器が多い。また、石鏃や石匙、スクレーパーに柄や紐などの固着に使用された黒色物質の附着事例が比較的多く認められる。また遺構に伴う出土例では、A区第116号堅穴住居跡における、互いに接合する、スクレーパー・二次加工剥片(R.F.)と剥片の出土状況やE区第35号土坑出土石核と剥片の接合状況は、本遺跡の石器利用を示すものとして重要である。

(工藤)

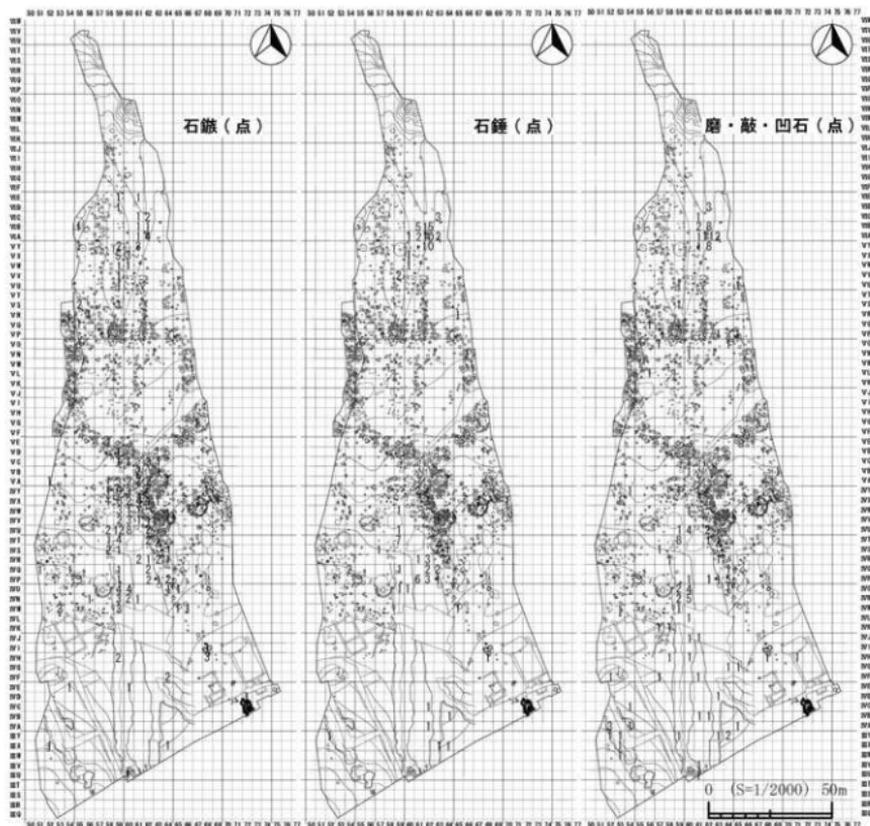


図134 A・B区遺構外出土石器分布図

	石鏃	石槍	石錐	石匙	石鏝	スクレーパー		異形	楔形	RF	UF	石核	磨製石斧	磨石	敲石	凹石	石錘	石皿	台石	石器	不明	合計	
						土縁部	非土縁部																
A・B区	370	15	88	93	48	312	329	2	7	44	1993	764	214	32	40	110	147	159	33	20	1	0	4821
	8%	0%	2%	2%	1%	6%	7%	0%	0%	1%	41%	16%	4%	1%	1%	2%	3%	3%	1%	0%	0%	0%	100%
C・D区	34	1	5	4	43	22	79	0	0	0	0	1	0	3	5	5	2	0	1	0	0	0	205
	17%	0%	2%	2%	21%	11%	39%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	2%	2%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
E区	7	0	12	6	2	1	42	0	0	3	20	21	6	1	1	6	1	0	0	0	0	2	131
	5%	0%	9%	5%	2%	1%	32%	0%	0%	2%	15%	16%	5%	1%	1%	5%	1%	0%	0%	0%	0%	2%	100%

※磨石・敲石・凹石が複合したものは主要使用種で判断した

表 砂子瀬遺跡出土石器組成表

第5節 砂子瀬遺跡における集落の変遷（図135）

平成18年度から平成24年度までの調査で検出された遺構の総数は、竪穴住居跡27棟、掘立柱建物跡41棟、土坑549基、土器埋設遺構23基、焼土遺構18基、溝跡4条、屋外配石炉1基、配石遺構9基、ビット2105基、捨て場1ヶ所である。本節では、これまでの調査成果を踏まえ砂子瀬遺跡全体における集落の変遷についてまとめる。

本遺跡からは縄文時代早期から晩期及び弥生時代の遺物が出土したが、遺構が確認されるのは縄文時代中期中葉から晩期にかけてである。

縄文時代中期中葉から後葉にかけて、D区南側に土坑が3基分布する。当該期の遺物はほぼ全域から出土しており、D区にややまとまりがみられる。

縄文時代中期末葉の遺構は確認されておらず、本遺跡における当該期の様相は不明である。

縄文時代後期初頭には、A・C区に土器埋設遺構及びビットが少数分布する。

縄文時代後期前葉にはA～C・E区に遺構が分布する。竪穴住居跡及び掘立柱建物跡はA区中央に分布する。A区西側には土坑墓が分布する。A区南東側には貯蔵穴と考えられるビットが分布し、捨て場も形成される。C区には竪穴住居跡をはじめ、土坑や土器埋設遺構がまとまりをもって分布するほか、E区にも土坑が分布するなど、集落の中心と考えられるA区以外にも遺構の広がりがみられる。また、遺物の出土量も他の時期に比べて卓越する。

後期中葉はA区に竪穴住居跡や掘立柱建物跡などの遺構が分布するがその数は少なく、遺物の出土量も減少する。また掘立柱建物跡は前後の時期と比べて建物跡の平面規模が小さい傾向がみられる。

後期後葉になると、A区では竪穴住居跡、掘立柱建物跡の検出数が各時期を通じて最も多くなる。土坑、ビットも後期前葉と比べれば少ないものの、後期中葉と比べれば増加する。また、これらの分布域は竪穴住居跡や掘立柱建物跡の周辺に限定される傾向がみられる。E区にも竪穴住居跡と土坑が分布するが、出土遺物からやや後出する可能性がある。

後期末葉の遺構は確認されておらず、本遺跡における当該期の様相は不明である。

晩期には、E区に土坑が分布するがその数はわずかである。また、当該期の土器も出土量は少なく、E区の他にはC区で散見される程度である。

以上のように、砂子瀬遺跡の主体となる時期は縄文時代後期前葉から後葉にかけてである。この間、後期中葉には遺構・遺物ともに減少するものの、後期前葉から後葉に至るまで継続して集落が営まれていたと考えられる。なお、A区南東側のビット群の分布する範囲（IVK-69グリッド付近）から第104A・B号竪穴住居跡と第116号竪穴住居跡の間を通り、環状に分布する第32・33号掘立柱建物跡と第28～30号掘立柱建物跡の間にかけて、遺構、遺物の希薄な範囲が帯状に確認された。調査時には認識できなかったが、道路跡の可能性が考えられる。

周辺の遺跡との関係を見ると、本遺跡とは湯ノ沢川を挟んで対岸に位置する水上(2)遺跡では、本遺跡の前段階にあたる中期末葉から後期初頭、同じく湯ノ沢川対岸の水上(1)遺跡では、本遺跡に後続する後期末葉を主体とする竪穴住居跡がそれぞれ検出されている。両遺跡は遺跡の立地及び検出遺構の年代ともに本遺跡との関係がうかがえる。今後は、調査が継続して行われている上述の水上(2)遺跡をはじめ、本遺跡の所在する岩木川上流域における他遺跡の様相が明らかになった段階で、改めて当該地域における砂子瀬遺跡の位置づけを行う必要がある。（葛城）



図135 A・B区遺構変遷図

引用・参考文献

- 青森県教育委員会 2003 『上野尻遺跡Ⅳ』青森県埋蔵文化財調査報告書第353集
- 青森県教育委員会 2008 『水上遺跡Ⅱ』青森県埋蔵文化財調査報告書第452集
- 青森県教育委員会 2009a 『砂子瀬遺跡・水上(2)遺跡・水上(4)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第466集
- 青森県教育委員会 2009b 『中平遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第474集
- 青森県教育委員会 2010 『砂子瀬遺跡Ⅱ・大川添(2)遺跡Ⅱ』青森県埋蔵文化財調査報告書第482集
- 青森県教育委員会 2011 『大川添(1)遺跡・水上(4)遺跡Ⅱ・芦沢(1)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第500集
- 青森県教育委員会 2012 『砂子瀬遺跡Ⅲ』青森県埋蔵文化財調査報告書第513集
- 青森県教育委員会 2013a 『水上(2)遺跡Ⅱ・水上(3)遺跡Ⅱ』青森県埋蔵文化財調査報告書第528集
- 青森県教育委員会 2013b 『駒木沢(2)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第532集
- 秋田県教育委員会 1989 『八木遺跡発掘調査報告書』秋田県文化財調査報告書第181集
- 秋田県教育委員会 1993 『一般国道7号琴丘能代道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅳ』
秋田県文化財調査報告書第231集
- 秋田県教育委員会 2000 『戸平川遺跡』秋田県文化財調査報告書第294集
- 八戸市教育委員会 2003 『風張(1)遺跡Ⅴ』八戸市埋蔵文化財調査報告書第97集
- 石井 寛 1995 『縄文時代掘立柱建物址に関する諸議論』『帝京大学山梨文化財研究所研究報告』第6集
帝京大学山梨文化財研究所
- 石井 寛 2004 『後晩期環状配列掘立柱建物跡群をめぐって-東北地方北部を中心に-』『縄文時代』第15号
縄文時代文化研究会
- 石井 寛 2008 『掘立柱建物跡から見た後晩期集落址』『縄文時代』第19号 縄文時代文化研究会
- 長田 友也 2012 『石棒の製作と流通』『季刊 考古学』第119号 雄山閣
- 葛西 勲 1986 『十腰内Ⅰ式土器文化の研究(2)』『樺糸文』第15号 青森山田高等学校考古学研究会
- 加藤 晋平・鶴丸 俊明 1981 『図録石器の基礎知識Ⅰ 先土器』柏書房
- 小林 圭一 1999 『東北地方後期(宿付土器)』『縄文時代』第10号 縄文時代文化研究会
- 後藤 信祐 1986 『縄文後晩期の刀剣形石製品の研究(上)』『考古学研究』33-3 考古学研究会
- 後藤 信祐 1987 『縄文後晩期の刀剣形石製品の研究(下)』『考古学研究』33-4 考古学研究会
- 鈴木 克彦 1996 『東北地方北部における十腰内式土器様式の編年学的研究-十腰内Ⅱ式土器の研究-』
『考古学雑誌』第81巻第4号 日本考古学会
- 鈴木 克彦 1998a 『東北地方北部における十腰内式土器様式の編年学的研究Ⅱ(上)-十腰内Ⅲ, 4, 5式土器の研究-』
『考古学雑誌』第83巻第2号 日本考古学会
- 鈴木 克彦 1998b 『東北地方北部における十腰内式土器様式の編年学的研究Ⅳ-十腰内Ⅰ式と直前型式の研究-』
『縄文時代』第9号 縄文時代文化研究会
- 鈴木 克彦 2001 『北日本の縄文後期土器編年の研究』雄山閣
- 鈴木 克彦 2002 『十腰内Ⅰ式土器の細別に係る型式学的研究-秋田県堂刈沢遺跡Ⅲ群土器の波状文と十腰内Ⅰb
式の類型-』『岩手考古学』第14号 岩手考古学会
- 鈴木 克彦 2013 『北日本縄文後期土器集成』弘前学院出版会
- 鈴木道之助 1981 『図録石器の基礎知識Ⅲ 縄文』柏書房
- 関根 達人 2005 『「十腰内Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ群土器」に関する今日的理解』『葛西勲先生還暦記念論文集 北奥
の考古学』葛西勲先生還暦記念論文集刊行会
- 中門 亮太 2013 『東北地方北部における宿付土器の基礎的研究』『古代』第131号 早稲田大学考古学会
- 橋口 尚武 1994 『調理』『縄文文化の研究Ⅱ 生業』雄山閣
- 本間 宏 1987 『縄文時代後期初頭土器群の研究(1)-東北地方北部を中心に-』『よねしろ考古』第3号
よねしろ考古学研究会
- 本間 宏 1988 『縄文時代後期初頭土器群の研究(2)-東北地方北部を中心に-』『よねしろ考古』第4号
よねしろ考古学研究会
- 前山 精明 1991 『縄文時代の石器』『季刊 考古学』第35号 雄山閣

竪穴住居跡一覧表

第102号竪穴住居跡(S1102：図6)

遺構名	F'f'f'	規模(cm)		備考 (新旧関係など)
		長短軸 [柱位置]	深さ	
SP2394	IVF-55	100×91 [55×24]	31	S1102版方と不明
SP2395	IVF-55	44×42	21	
SP2743	IVF-55	87×63	25	
SP2772	IVF-54	38×33	29	
SP2800	IVF-55	65×50 [50×35]	28	
SP2807	IVF-55	26×22	22	
SP2816	IVF-54	24×21	17	
SB18	IVF-54~55	477×52	29	SP2631, 2700より新 SP2699, 2806より新

第103号竪穴住居跡(S1103：図6)

遺構名	F'f'f'	規模(cm)		備考 (新旧関係など)
		長短軸 [柱位置]	深さ	
SP2641	IVF-57	138×121	45	
SP2643	IVF-57	103×101	70	
SP2644	IVF-58	45×38	20	
SP2702	IVF-57	105×81	50	S1103(SB19)と不明
SB19	IVF-54~55	1134×(50)	43	SP2702と不明

第104号竪穴住居跡(S1104：図7~11)

遺構名	F'f'f'	規模(cm)		備考 (新旧関係など)
		長短軸 [柱位置]	深さ	
SN109	IVF-63	40×36	-	SB104式床面
SN110	IVF-64	48×44	-	SB105式床面
SN111	IVF-63	116×55	-	SP2663, 2781より新
SN104	IVF-63	333×(31)	-	SP2673, 2704より新
SR105	IVF-64	47×(37)	-	SP2655より新
SP1579	IVF-64	41×36	55	SP2282と不明
SP1613	IVF-64	62×(47)	46	SP1673, 2279と不明
SP1614	IVF-64	87×52	29	
SP1673	IVF-64	72×(49)	24	SP1613, 2279と不明
SP1683	IVF-64	154×111	88	S007と不明
SP1684	IVF-64	43×30	17	S007と不明
SP2088	IVF-63	59×54	34	
SP2090	IVF-63	75×66	50	SP2319より新 SP2287と不明
SP2093	IVF-63	61×55	15	
SP2095	IVF-63	75×(63)	29	SP2286と不明
SP2126	IVF-63	34×32	35	SP2325より新
SP2127	IVF-63	36×29	14	
SP2130	IVF-64	70×63	62	SP2325, 2375より新
SP2131	IVF-64	46×(44)	30	SP2375と不明
SP2132	IVF-64	82×65	57	SP2307より新
SP2133	IVF-64	89×48	33	SP2307, 2309と不明
SP2279	IVF-64	40×36	32	SP1613, 1673と不明
SP2282	IVF-64	48×(46)	9	SP1579と不明
SP2284	IVF-63	98×83	76	SP2760より新
SP2285	IVF-63	108×97	63	SP2286より新 SP2494より新
SP2286	IVF-63	87×71	70	SP2385より新 SP2095と不明
SP2287	IVF-63	56×(54)	16	SP2090と不明 SP2325, 2375より新
SP2301	IVF-64	34×26	45	
SP2304	IVF-64	31×22	36	S005, 06より新
SP2305	IVF-64	(29)	54	S006より新
SP2307	IVF-64	102×(50)	53	SP2132, 2309より新 SP2133と不明
SP2308	IVF-64	74×64 [26×(9)]	46	SP2358, 2393, 2619と不明
SP2309	IVF-64	90×70	65	SP2307, 2447より新 SP2133と不明
SP2310	IVF-64	122×69	77	SP2447より新 SP2309より新
SP2319	IVF-63	95×(51)	22	SP2390より新

遺構名	F'f'f'	規模(cm)		備考 (新旧関係など)
		長短軸 [柱位置]	深さ	
SP2322	IVF-64	69×(57) [19×(7)]	15	SP2419より新
SP2325	IVF-64	83×(69)	36	SP2336, 2130より新 SP2287より新
SP2335	IVF-63	141×116 [69×67]	81	2層構造化 SP2412より新 SP2360, 2454と不明
SP2358	IVF-64	46×(38)	25	SP2306, 2339と不明
SP2359	IVF-64	56×(28)	14	SP2335と不明
SP2360	IVF-63	89×51	52	SP2335と不明
SP2372	IVF-64	83×58	52	
SP2373	IVF-64	69×49	25	SP2374より新
SP2374	IVF-64	58×(52)	45	SP2373より新
SP2375	IVF-64	53×(41)	29	SP2130より新 SP2287より新 SP2131と不明
SP2393	IVF-64	84×(67)	60	SP2308と不明
SP2412	IVF-63	77×45	77	SP2335より新 SP2453と不明
SP2416	IVF-64	60×50	72	SP2419より新
SP2419	IVF-64	133×100 [51×(23)]	60	SP2322, 2359より新 SP2416と不明
SP2447	IVF-64	83×78 [30×(14)]	23	SP2309より新 SP2308, 2399より新
SP2453	IVF-63	67×(54)	30	SP2412と不明
SP2454	IVF-63	62×(52)	26	SP2335と不明
SP2460	IVF-63	30×25	8	
SP2474	IVF-64	48×(40)	15	S067より新
SP2494	IVF-63	119×(116)	84	SP2385より新
SP2509	IVF-64	56×49	80	SP2419より新 SP2617と不明
SP2560	IVF-64	42×33	85	
SP2617	IVF-64	54×(37)	29	SP2559と不明
SP2618	IVF-64	84×56 [26×21]	24	
SP2619	IVF-64	62×(40)	29	SP2308, 2705と不明
SP2647	IVF-63	72×(61)	17	SP2672より新
SP2655	IVF-64	64×(61)	45	SR105より新
SP2663	IVF-63	53×29	23	SN111より新
SP2672	IVF-63	53×(36)	8	SP2647より新 SP2783と不明
SP2673	IVF-63	85×(80)	53	SR104より新 SP2704と不明
SP2704	IVF-63	65×(34)	24	SR104より新 SP2673と不明
SP2705	IVF-64	53×(42)	45	SP2618, 2706と不明
SP2706	IVF-64	52×(46)	52	SP2705と不明
SP2707	IVF-64	32×31	28	
SP2760	IVF-63	85×72	36	SP2783より新 SP2284より新
SP2761	IVF-63	40×38	16	SN111より新
SP2783	IVF-63	53×(42)	43	SP2266より新 SP2672と不明
S005	IVF-65	359×55	29	SP2304より新 SP2399より新
S005 P1101	IVF-64	23×20	25	
S005 P1102	IVF-64	16×12	10	
S005 P1103	IVF-64	17×16	14	
S005 P1104	IVF-64	17×13	8	
S006	IVF-64~65	300×49	19	SP2304より新 SP2305, 2399より新
S006 P1101	IVF-65	43×29	49	
S007	IVF-63~64, IVF-F-63	1293×(75)	38	SP2321, 2474, 2516より新 SP2441より新 SP680, 1684と不明
S008	IVF-V-F-63	904×(45)	34	SP2138, 2179, 2318, 2451, 2452より新 SP2441より新
SB15	IVF-65, IVF-64~65	361×(28)	36	

第105号竪穴住居跡(S1105：図12~14)

遺構名	F'f'f'	規模(cm)		備考 (新旧関係など)
		長短軸 [柱位置]	深さ	
SN107	V-F-63	96×65	-	SP2418, 2516より新

第105号竪穴住居跡(S1105 : 図12~14)

遺構名	F'Y'	規模(cm)		備考 (新旧関係など)
		長短軸 [柱位置]	深さ	
SN108	VB-63	33×28	-	SP2446より新
SN112	VA-63	39×21	-	SP2415より新
SN113	VA-63	27×26	-	SP2296より新
SP1160	VB-63	109×106	58	
SP1161	VB-63	37×35	32	
SP1162	VB-64	120×106 [35×28]	87	SP2351, 2352と不明
SP1163	VA-64	126×105 [37×19]	82	SP109より旧 SP1521より新 SP1466, 1577と不明
SP1164	IVY-63	111×(79) [32×26]	91	SP2296, 2299より新
SP1249	VA-63	66×60	52	SP1282と不明
SP1281	VA-63	67×59	56	
SP1282	VA-63	23×30	27	SP1249と不明
SP1283	IVY-64	157×133	68	SP2308と不明
SP1460	VB-64	54×52	18	SP1163, 2251と不明
SP1469	VB-62	123×(96)	47	SP1659, 1680より旧
SP1470	VB-62	64×48	22	
SP1471	VB-62	85×74 [48×48]	44	
SP1489	VB-63	48×39	30	
SP1521	VA-64	113×(74) [27×39]	76	SP1163より旧 SP1577と不明
SP1522	IVY-64	60×48	47	
SP1577	VA-64	33×(19)	30	SP1163, 1521と不明
SP1665	VB-63	82×56	33	
SP1615	VB-63	106×83 [20×(10)]	49	SP2270より新 SP2300と不明
SP1618	VA-63	79×76	61	
SP1619	VA-64	118×64 [25×23]	57	
SP1620	VA-64	74×63 [27×21]	61	SP2377と不明
SP1637	VA-64	129×77 [50×49]	75	SP2306より新
SP1658	VA-63	109×92 [36×(1A)]	62	SP2297より新
SP1659	VB-63	103×83	55	SP1469, 1680と不明
SP1672	VB-63	73×55	29	
SP1679	VA-63	66×60 [28×25]	30	
SP1680	VB-62	100×(62)	59	SP1486より旧 SP1469より新 SP1659と不明
SP1686	VB-62	86×69	64	SP1680より新
SP2112	VA-62	71×64	28	SP2113より新
SP2113	VA-62	89×(85)	63	SP2112, 2114より旧 SP2115と不明
SP2114	VA-62	88×57 [25×22]	72	SP2113より新
SP2115	VA-62	69×(63) [23×19]	55	SP2113と不明
SP2143	VA-62	66×59	65	SP2144より新
SP2144	IVY-62	145×81	50	SP2143より旧
SP2288	VA-62	181×123 [61×(30)]	77	
SP2270	VB-63	86×(60)	57	SP1615より旧
SP2277	VB-62	97×76	60	
SP2278	VB-62	61×55	60	SP2308と不明
SP2296	IVY-63	62×(61)	24	SN113, SP1164より旧 SP2299と不明
SP2297	VA-63	97×78	54	SP1658より旧
SP2299	VA-63	131×123	64	SP1164より旧 SP2296と不明
SP2300	VB-63	62×55	38	SP1615と不明
SP2306	VA-63	107×(96)	56	
SP2323	VA-64	40×37	20	
SP2351	VB-64	87×(68)	67	SP1162, 1460と不明
SP2352	VB-64	58×(40)	22	SP1162と不明
SP2355	VB-63	27×24	28	
SP2376	VA-64	25×(13)	14	
SP2377	VA-64	49×(40)	63	SP1620と不明
SP2397	VA-62	61×46	52	SP2308と不明

遺構名	F'Y'	規模(cm)		備考 (新旧関係など)
		長短軸 [柱位置]	深さ	
SP2398	VA-62	39×(35)	47	SP2278, 2297と不明
SP2415	VA-63	123×111	42	SN112より旧 SP2418と不明
SP2415 F11	VA-63	50×47	-	SP2418と不明
SP2418	VB-63	130×(105) [46×39]	42	SN107, SP2536より旧 SP2415と不明
SP2445	VB-63	83×55	53	SP2446と不明
SP2446	VB-63	97×74	37	SN108より旧 SP2445, 2515と不明
SP2513	VB-63	50×(44)	47	SP2446と不明
SP2536	VB-63	118×(90)	22	SN107, SP2517より旧 SP2418より新
SP2537	VB-63	57×48	45	SP2536より新
SP2539	VA-64	54×42	28	
SP2615	VA-62	61×(52)	53	
SP2645	VA-63	50×47	27	
SP2646	VA-63	25×24	20	

第106号竪穴住居跡(S1106 : 図15)

遺構名	F'Y'	規模(cm)		備考 (新旧関係など)
		長短軸 [柱位置]	深さ	
SN116	IVY-62	111×45	-	
SP2211	VA-62	49×53	33	
SP2338	IVY-62	60×(66)	27	SP2339, SP2340と不明
SP2339	IVY-62	42×(37)	31	SP2338, 2340と不明
SP2340	IVY-62	40×(52)	23	SP2338, 2339と不明
SP2356	IVY-62	115×(70)	60	
SP2357	IVY-62	47×44	26	
SP2380	IVY-62	76×57	35	
SP2443	IVY-61	55×37	22	
SP2471	IVY-61	61×60	54	SP2472と不明
SP2472	IVY-61	56×(48)	20	SP2471と不明
SP2480	IVY-61	79×60	46	
SP2491	IVY-61	50×38	21	SP2520と不明
SP2492	IVY-61	46×(25)	31	SP2059より旧 SP2520と不明
SP2496	IVY-61	44×25	31	SP2059より旧
SP2512	IVY-62	49×35	29	SP2513と不明
SP2513	IVY-62	47×43	16	SP2512と不明
SP2514	IVY-62	67×52	27	
SP2520	IVY-61	32×29	15	SP2491, 2492と不明
SP2546	IVY-61	48×38	39	
SP2553	IVY-61	65×51	33	
S209	IVY-V-62	233×52	28	SP2059より旧 SP2279より新

第107号竪穴住居跡(S1107 : 図15)

遺構名	F'Y'	規模(cm)		備考 (新旧関係など)
		長短軸 [柱位置]	深さ	
SP1593	V1-68	342×(180)	71	
SP2312	V0-68	39×37	10	
SP2313	V1-68	58×38	10	
SP2315	V1-68	47×46	19	
SP2326	V1-68	36×32	24	

第108号竪穴住居跡(S1108 : 図16)

遺構名	F'Y'	規模(cm)		備考 (新旧関係など)
		長短軸 [柱位置]	深さ	
SP2402	VB-54	80×52	27	S1109/SP2388, 2404より新 S110と不明
SP2407	VB-54	86×58	46	S1109/SP2404より新
SP2461	VQ-53	31×27	10	
SP2462	VQ-54	84×61 [36×26]	50	S1109/SP2404, S1102と不明
SP2504	VB-53	44×(35)	29	S1109/SP2404より新 S110/SP2502より旧
SN118	VB-53	21×(20)	-	SN120より新
S110	VQ-R-53~54	1000×72	43	SP2388, 2389, S1109/SP2404より新 SP2492と不明

第109号整穴住居跡(SI109：16)

遺構名	F' (y)	規模 (cm)		備考 (新旧関係など)
		長短軸 [柱位置]	深さ	
SP2388	VE-54	56×(25)	21	SP2389より新 S1108(SP2402)より旧 S1108(SD10)と不明
SP2389	VE-54	42×(17)	15	SP2388より旧 S1108(SD10)と不明
SP2404	VE-54	352×262	35	S1108(SD10), SP2402, 2407, 2437, 2504より旧 S1108(SP2402), SP2388, 2389, 2466と不明
SP2466	VE-54	54×45	59	SP2404と不明
SP2468	VE-54	61×45	27	
SH12	VQ-53~54	127×31	11	S1108(SP2462)と不明
SH12	P11	VQ-53~54	28×24	20
SH12	P12	VQ-53~54	29×21	-
SH12	VQ-53	35×32	-	SH18より旧

第110号整穴住居跡(SI110：17)

遺構名	F' (y)	規模 (cm)		備考 (新旧関係など)
		長短軸 [柱位置]	深さ	
SP2436	VQ-53	27×(17)	19	
SP2581	VQ-53	33×26	10	
SP2592	VE-53	265×(82)	38	

第111号整穴住居跡(SI111：17)

遺構名	F' (y)	規模 (cm)		備考 (新旧関係など)
		長短軸 [柱位置]	深さ	
SP2178	VO-55	69×(60) [29×27]	52	SK462より旧
SP2385	VO-55	55×43	25	SP2386より新
SP2386	VO-55	85×(65) [35×32]	8	SP2385より旧 SP2403と不明
SP2390	VO-55	308	(15)	臨床
SP2484	VO-54	131×95	51	
SP2485	VO-55	57×56	20	
SP2490	VO-55	99×78	36	SK462と不明
SP2521	VO-55	78×(69) [21×(11)]	45	SP2438, SH38(1)より旧
SK132	VP-55	95×76 [69×47]	57	SP752より新
SK134	VP-55-56	96×96 [51×45]	76	
SK136	VO-55-56	75×75 [68×61]	46	
SK218	VP-55	162×111 [45×45]	78	
SK462	VO-55	(62)×(48) [42×31]	29	SP2178より新 SP2400と不明
SP752	VP-55	48×39	29	SK132より旧

第112号整穴住居跡(SI112：18)

遺構名	F' (y)	規模 (cm)		備考 (新旧関係など)
		長短軸 [柱位置]	深さ	
SP2583	VE-54	268×(137)	39	SP2163より旧 SP1947より新 SK37社, SP1975と不明

第113号整穴住居跡(SI113：18)

遺構名	F' (y)	規模 (cm)		備考 (新旧関係など)
		長短軸 [柱位置]	深さ	
SP1741	VE-54	81×(57)	22	SP1733, 2186より旧
SP1743	VE-54	60×42 [29×28]	47	
SP1753	VE-54	53×38	32	SP1741, 2186より新
SP1755	VE-55	55×18 [20×(12)]	31	
SP1757	VE-54	83×70 [33×16]	61	
SP1758	VE-54	45×(34) [21×20]	7	SP1759より旧
SP1781	VE-54	82×66	61	SP2193より新 SP2173と不明

遺構名	F' (y)	規模 (cm)		備考 (新旧関係など)
		長短軸 [柱位置]	深さ	
SP1829	VE-54	76×(70) [37×22]	60	SP2184より新 SP2173と不明
SP2177	VE-55	69×(18)	36	
SP2183	VE-54	45×(32) [36×33]	44	
SP2184	VE-54	48×(45)	19	SP1829より旧
SP2185	VE-54	63×(57) [41×34]	38	SH38(1)より新
SP2186	VE-54	67×58	44	SP1733より旧 SP1741より新
SP2193	VE-54	32×(26) [24×(22)]	13	SP1781より旧 SP2173より新
SD04	VE-L-54-55	386×68	26	SH38(1), SP2175より新

第114号整穴住居跡(SI114：18)

遺構名	F' (y)	規模 (cm)		備考 (新旧関係など)	
		長短軸 [柱位置]	深さ		
G1	IV-70	32×29	-		
G2	IV-70	53×35	-	SP1224P(11)より新	
SP1224	IV-70	371×(230)	36		
SP1224	P11	IV-70	54×31	39	P2より旧
SP1224	P12	IV-70	29×25	27	
SP1224	P13	IV-70	20×18	24	

第115号整穴住居跡(SI115：20-21)

遺構名	F' (y)	規模 (cm)		備考 (新旧関係など)
		長短軸 [柱位置]	深さ	
SP1232	IV-70	527×(235)	60	
P11	IV-70	40×30	11	
P12	IV-70	31×24	16	
P13	IV-70	38×29	22	
P14	IV-70	30×23	10	
P15	IV-70	35×20	11	
P16	IV-70	78×43	36	
P17	IV-70	35×29	15	
P18	IV-70	74×64	30	
P19	IV-70	57×(51) [19×18]	48	
P110	IV-70	42×39	49	

第116号整穴住居跡(SI116：22-23)

遺構名	F' (y)	規模 (cm)		備考 (新旧関係など)
		長短軸 [柱位置]	深さ	
SN103	IV-67	73×53	-	SP1496より新
SN104	IV-67	33×31	-	
SN105	IV-67	35×32	-	SP1655, 1697より旧
SN106	IV-67	51×48	-	
SP1204	IV-67	133×77	36	SP1303と不明
SP1206	IV-66	71×66	32	SP1346より新
SP1207	IV-67	125×66 [40×31]	40	SP1378と不明
SP1209	IV-66	90×74	26	
SP1210	IV-66	133×66	30	S1116(SD1), SP1600と不明
SP1243	IV-67	90×(49)	71	SP1377, 1497, 1510と不明
SP1244	IV-67	196×96 [39×38]	77	SP1495より新
SP1245	IV-68	45×(43)	15	SD01より旧 SP1484と不明
SP1273	IV-66	193×96 [46×39]	58	S1116(SD1)と不明
SP1274	IV-67	124×(118)	65	SP1380と不明
SP1332	IV-67	42×82	22	
SP1377	IV-67	96×(52)	58	SP1243, 1497と不明
SP1378	IV-67	73×52	49	SP1207と不明
SP1380	IV-67	113×(112) [62×59]	46	SP1274と不明
SP1430	IV-68	141×62 [37×30]	51	SP1436, 1568と不明
SP1458	IV-67	54×47 [31×27]	51	SP1503より新 SP1514, 1550と不明
SP1456	IV-67	82×60 [59×36]	64	SP1430, 1568と不明

※参照は第513号で報告済

第116号竪穴住居跡(SI116：図22-23)

遺構名	F' (y)	規模 (cm)		備考 (新旧関係など)
		長短軸 [柱位置]	深さ	
SP1483	IV-66	46×37	18	
SP1484	IV-68	51×40	22	SP1245と不明
SP1493	IV-67	129×97 [23×29]	46	SP1495と不明
SP1495	IV-67	101×130 [43×37]	49	SP1244より旧 SP1550, 1570, 1697と不明
SP1496	IV-66	104×80	63	SN03より旧
SP1497	IV-67	57×46	71	SP1243, 1377と不明
SP1499	IV-68	23×19	9	
SP1500	IV-68	17×12	7	
SP1503	IV-67	69×(52) [35×26]	43	SP1448より旧 SP1550, 1607と不明
SP1505	IV-67	31×24	17	SP1204と不明
SP1506	IV-68	22×19	14	
SP1508	IV-67	104×97	74	SI116(S001)と不明
SP1510	IV-68	48×30	31	SP1243と不明
SP1511	IV-66	85×73 [60×48]	45	SP1515より新 SP1546と不明
SP1514	IV-67	113×64	30	SP1448, 1550, 1544と不明
SP1515	IV-66	80×(36) [55×50]	37	SP1609より新 SP1511より旧
SP1537	IV-67	70×52	29	
SP1544	IV-67	79×59 [44×32]	26	SP1514, 1550と不明
SP1546	IV-66	109×73	32	SP1206より旧 SP1511と不明
SP1549	IV-67	87×74	85	
SP1550	IV-67	109×(60)	19	SP1448, 1503, 1514, 1544と不明
SP1568	IV-68	46×(24)	45	SP1430, 1456と不明
SP1570	IV-67	64×42	30	SP1495, 1697と不明
SP1607	IV-67	46×37	32	SP1474, 1503と不明
SP1609	IV-66	88×140	75	SP1515より旧 SP1210と不明
SP1621	IV-68	51×(25)	19	SN01より旧
SP1655	IV-67	64×32	19	SN05より新
SP1677	IV-67	22×19	6	
SP1697	IV-67	99×(42)	34	SN05より新 SP1495, 1570と不明
S001	IV-67, IV-66~68, IV-67~68	1437×70	28	SP1245, 1621より新 SP1210, 1273, 1461, 1476, 1508, 1566, 1668と不明
S001 P11.1	IV-67	43×35	14	
S001 P11.2	IV-67	35×27	26	
S001 P11.3	IV-68	49×28	24	
S001 P11.4	IV-68	73×38	32	
S001 P11.5	IV-68	27×17	9	
S001 P11.6	IV-68	23×17	13	
S001 P11.7	IV-68	27×(20)	8	
S001 P11.8	IV-68	44×32	20	

第117・118号竪穴住居跡(SI117・118：図24)

遺構名	F' (y)	規模 (cm)		備考 (新旧関係など)
		長短軸 [柱位置]	深さ	
SP1187	IV-68	63×42	26	
SP1194	IV-69	115×106	36	SN03より新
SP1195	IV-69	58×(22)	29	SP1409より旧
SP1218	IV-68	29×22	37	
SP1221	IV-69	115×(92)	34	SP1407より旧
SP1223a	IV-69	108×(51)	31	SP1644より旧 SP1223bと不明
SP1223b	IV-69	(33)×32	13	SP1223a, 1644と不明
SP1327	IV-68	74×60	44	SP1468より新
SP1405	IV-68	39×32	11	
SP1407	IV-69	104×80 [30×23]	39	SP1221より新
SP1408	IV-69	82×68 [29×28]	40	

遺構名	F' (y)	規模 (cm)		備考 (新旧関係など)
		長短軸 [柱位置]	深さ	
SP1409	IV-69	87×(78) [27×26]	37	SP1195より新 SP1410, 1427と不明
SP1423	IV-68	37×(49)	43	SP1409と不明
SP1424	IV-69	62×58	46	
SP1426	IV-69	99×43	20	
SP1427	IV-69	32×(24)	20	SP1427より旧
SP1446	IV-69	80×(60)	29	SP1426より新 SP1409と不明
SP1467	IV-68	62×61	61	
SP1468	IV-68	45×28	30	SP1469より新
SP1469	IV-68	54×(36)	15	SP1327, 1467より旧
SP1477	IV-69	43×23	27	
SP1480	IV-68	49×(36)	28	SP1485より新
SP1485	IV-68	70×(45)	28	SP1480, SN02より旧
SP1502	IV-68	49×28 [19×(11)]	31	
SP1520	IV-68	23×16	13	SN02より旧
SP1534	IV-69	76×64 [28×16]	55	
SP1643	IV-69	81×58	28	
SP1644	IV-69	50×47	44	SP1223aより新 SP1223bと不明
SP1645	IV-69	95×52	42	
SP1646	IV-68	42×35	49	
SN02	IV-68~69	698×58	25	SP1415, 1509, 1654より旧 SP1485, 1547, 1519, 1520より新
SN03	IV-69~70, IV-69	255×45	10	SP1194より旧

掘立柱建物跡一覽表

第16号掘立柱建物跡(SB16:図28)

柱穴番号	遺構名	長短軸 (cm)	深さ (cm) (底面標高)	柱径径 (cm)	備考 (新旧関係等)	
柱1	SP1827	118×110	94(184.45)	41×36	硬化面, SB29上不明	
柱2	SK414	195×180	45(185.00)	-	SP29上不明	
柱3	SK354	(110)	60(184.90)	-	SK416上り新	
柱4	SK360	185×115	50(185.05)	-	SK359上り新	
柱5	SK413	180×135	80(184.40)	63×63	SP27上り新 SP610上不明	
柱6	SK353	(130)	60(184.85)	-	SK425上不明	
柱間距離						
柱1-2		柱3-4	柱1-4	柱2-3	柱5-6	面積
4.6m		4.9m	3.7m	3.6m	5.0m	20.1㎡

第21号掘立柱建物跡(SB21:図28・36)

柱穴番号	遺構名	長短軸 (cm)	深さ (cm) (底面標高)	柱径径 (cm)	備考 (新旧関係等)	
柱1	SP1523	(91)	79(184.30)	-	SP1107上り新	
柱2	SP1100	122×109	119(183.90)	38×30	SP1589, 1601上り新	
柱3	SK201	153×90	66(184.20)	32×32	SP754上り新	
柱4	SK455	80×96	47(184.20)	82×45	-	
柱5	SP1739	(135)	106(184.10)	-	SB2216上り新 SP1576上不明	
柱6	SK457	88×76	65(184.30)	47×30	-	
柱間距離						
柱1-2		柱3-4	柱1-4	柱2-3	柱5-6	面積
5.3m		4.9m	3.5m	3.6m	3.7m	17.8㎡

第22号掘立柱建物跡(SB22:図28・36)

柱穴番号	遺構名	長短軸 (cm)	深さ (cm) (底面標高)	柱径径 (cm)	備考 (新旧関係等)	
柱1	SP1054	120×105	56(184.30)	-	SP1450上り新 SP2640上不明	
柱2	SP1094	134×90	116(183.90)	50×44	-	
柱3	SP1093	149×131	88(184.20)	56×40	-	
柱4	SP1085	120×110	132(183.90)	57×55	SP1107上り新 SP2606上不明	
柱5	SP1322	133×116	49(184.20)	45×36	SP2713上り新 SP2640上不明	
柱6	SP1340	125×109	85(184.20)	-	SB2175上り新 SP1576上不明	
柱間距離						
柱1-2		柱3-4	柱1-4	柱2-3	柱5-6	面積
3.7m		3.9m	3.2m	3.3m	4.3m	14.9㎡

第23号掘立柱建物跡(SB23:図29・36)

柱穴番号	遺構名	長短軸 (cm)	深さ (cm) (底面標高)	柱径径 (cm)	備考 (新旧関係等)	
柱1	SP1926	110×105	62(184.70)	-	-	
柱2	SP1078	131×88	82(184.70)	-	-	
柱3	SP1943	116×98	60(184.70)	-	-	
柱4	SP1940	118×115	60(185.00)	43×37	-	
柱間距離						
柱1-2		柱3-4	柱1-4	柱2-3	柱5-6	面積
4.8m		4.0m	4.1m	3.8m	-	15.9㎡

第24号掘立柱建物跡(SB24:図29・36)

柱穴番号	遺構名	長短軸 (cm)	深さ (cm) (底面標高)	柱径径 (cm)	備考 (新旧関係等)	
柱1	SP1076	170×90	63(184.90)	-	年代測定No.1	
柱2	SP1941	130×109	86(185.00)	-	-	
柱3	SP1938	129×90	86(184.90)	-	-	
柱4	SP1077	(112)	54(184.80)	-	-	
柱5	SP1948	(104)	52(184.90)	-	SP2755上不明	
柱6	SP1936	116×86	64(184.80)	-	-	
柱間距離						
柱1-2		柱3-4	柱1-4	柱2-3	柱5-6	面積
4.0m		3.8m	3.0m	3.2m	4.8m	13.8㎡

第25号掘立柱建物跡(SB25:図29・36)

柱穴番号	遺構名	長短軸 (cm)	深さ (cm) (底面標高)	柱径径 (cm)	備考 (新旧関係等)	
柱1	SP1942	138×120	51(185.00)	-	-	
柱2	SP1946	170×137	65(185.00)	60×30	-	
柱3	SP1939	159×104	58(185.00)	61×46	SR26柱3上り新 SP1343上り新	
柱4	SP1072	153×127	78(184.80)	-	硬化面, 年代測定No.5	
柱5	SP1047	197×151	62(185.00)	54×42	-	
柱6	SP1945	(129)	61(185.00)	-	硬化面, SP1044, 2712上不明	
柱間距離						
柱1-2		柱3-4	柱1-4	柱2-3	柱5-6	面積
3.9m		4.1m	4.0m	3.8m	4.8m	17.5㎡

第26号掘立柱建物跡(SB26:図30・36)

柱穴番号	遺構名	長短軸 (cm)	深さ (cm) (底面標高)	柱径径 (cm)	備考 (新旧関係等)	
柱1	SP1950	126×91	55(184.90)	-	-	
柱2	SP1111	135×102	75(184.90)	-	SP1049上り新	
柱3	SP1071	169×129	54(185.10)	59×41	SR25柱3上り新	
柱4	SP1074	(100)	74(185.00)	-	SP1073上り新	
柱5	SP1114	127×84	48(185.00)	-	-	
柱6	SP1037	114×92	63(185.00)	36×30	-	
柱間距離						
柱1-2		柱3-4	柱1-4	柱2-3	柱5-6	面積
4.2m		3.5m	3.7m	4.6m	4.9m	19.1㎡

第27号掘立柱建物跡(SB27:図30・36)

柱穴番号	遺構名	長短軸 (cm)	深さ (cm) (底面標高)	柱径径 (cm)	備考 (新旧関係等)	
柱1	SP1364	188×130	42(185.30)	-	SP2252上不明	
柱2	SP1190	138×94	83(185.00)	-	SP1397上り新	
柱3	SP1321	159×128	80(185.30)	28×25	-	
柱4	SP1100	112×103	54(184.40)	-	-	
柱5	SP1117	(113)	78(185.00)	-	-	
柱6	SP1188	(105)	53(185.30)	-	SP1117, 1488上不明	
柱7	SP1498	176×113	116(184.90)	47×36	SP1369上不明	
柱間距離						
柱1-2		柱3-4	柱1-4	柱2-3	柱5-6	面積
4.1m		4.1m	3.1m	3.6m	4.7m	16.6㎡

第28号掘立柱建物跡(SB28:図30・36)

柱穴番号	遺構名	長短軸 (cm)	深さ (cm) (底面標高)	柱径径 (cm)	備考 (新旧関係等)	
柱1	SP1370	154×128	88(185.10)	40×39	-	
柱2	SP1125	130×113	82(185.40)	40×36	-	
柱3	SP1321	123×113	86(185.40)	34×27	年代測定No.2	
柱4	SP1305	116×111	113(185.00)	-	-	
柱5	SP1369	(134)	90(185.20)	46×(15)	SP1587上不明	
柱6	SP1240	169×130	107(185.20)	39×34	-	
柱間距離						
柱1-2		柱3-4	柱1-4	柱2-3	柱5-6	面積
4.7m		4.7m	3.6m	3.5m	4.7m	19.5㎡

第29号掘立柱建物跡(SB29:図31・36)

柱穴番号	遺構名	長短軸 (cm)	深さ (cm) (底面標高)	柱径径 (cm)	備考 (新旧関係等)	
柱1	SP1367	(122)	117(185.30)	44×40	SR30柱1新柱上不明	
柱2	SP1127	162×103	73(185.30)	51×(27)	SR30柱2上不明, SP1665上不明	
柱3	SP1575	(97)	79(185.50)	-	-	
柱4	SP1444	145×117	75(185.40)	-	-	
柱5	SP1432	(100)	70(185.40)	-	SR30柱5, SP1396, 1400上不明	
柱6	SP1241	(109)	88(185.40)	37×32	SR30柱6上り新 SP2259上り新	
柱間距離						
柱1-2		柱3-4	柱1-4	柱2-3	柱5-6	面積
4.0m		3.6m	4.0m	3.6m	4.5m	15.2㎡

第30号掘立柱建物跡(SB30:図31・36)

柱穴番号	遺構名	長短軸 (cm)	深さ (cm) (底面標高)	柱径径 (cm)	備考 (新旧関係等)	
柱1	SP1433	185×149	81(185.30)	36×27	SP2252上不明 SR29柱1上不明	
柱2	SP1127	162×103	73(185.30)	51×(27)	SR30柱2上不明, SP1665上不明	
柱3	SP1239	143×113	90(185.40)	-	SR29柱3上不明	
柱4	SP1092	162×132	83(185.40)	-	-	
柱5	SP1663	158×118	89(185.20)	51×(28)	SR29柱5, SP1400上不明	
柱6	SP1435	159×100	83(185.50)	-	SR29柱6, SP2259上り新	
柱間距離						
柱1-2		柱3-4	柱1-4	柱2-3	柱5-6	面積
5.2m		5.1m	4.4m	3.7m	5.5m	24.5㎡

第31号掘立柱建物跡(SB31:図31・37)

柱穴番号	遺構名	長短軸 (cm)	深さ (cm) (底面標高)	柱径径 (cm)	備考 (新旧関係等)	
柱1	SP1122	194×89	47(185.70)	-	-	
柱2	SP1066	73×66	47(185.50)	-	-	
柱3	SP1132	100×56	70(185.70)	29×23	SP1079上不明	
柱4	SP1130	108×83	73(185.70)	-	-	
柱5	SP1123	71×52	33(185.90)	-	-	
柱6	SP1131	60×52	14(185.20)	44×28	-	
柱間距離						
柱1-2		柱3-4	柱1-4	柱2-3	柱5-6	面積
3.2m		3.7m	3.8m	3.9m	5.8m	16.8㎡

第32号掘立柱建物跡(SB32:図32・37)

柱穴番号	遺構名	長短軸 (cm)	深さ (cm)	柱径径 (cm)	備考 (新旧関係等)
柱1	SP1153	199×144	110(185, 30)	40(×10)	SB33柱1より旧
柱2	SP1669	172	92(185, 40)	36×21	SP1154より旧 SP1664より新 SB33柱2と不明
柱3	SP2255	130×125	90(185, 30)	43×35	SP1569, 2254より新
柱4	SP1151	176×151	70(185, 30)	37×35	SB33柱4より新
柱5	SP1668	182×153	91(185, 30)	25×24	SB33柱5より新
柱6	SP1588	166×130	102(185, 30)	33×28	SB33柱6より新
柱間距離					面積
柱1-2	柱3-4	柱1-4	柱2-3	柱5-6	16.2㎡
3.8m	4.2m	3.7m	3.3m	4.5m	

第33号掘立柱建物跡(SB33:図32・37)

柱穴番号	遺構名	長短軸 (cm)	深さ (cm)	柱径径 (cm)	備考 (新旧関係等)
柱1	SP1572	196	124(185, 10)	(17×7)	SB32柱1より旧
柱2	SP1155	(118)	90(185, 60)	-	SB32柱2, SP1664と不明
柱3	SP1662	162×137	90(185, 40)	34×25	-
柱4	SP1524	221×156	105(185, 30)	37×36	SB32柱4より旧
柱5	SP2253	(146)	88(185, 40)	33×32	SB32柱5より旧
柱6	SP2256	(187)	88(185, 50)	30	SB32柱6より旧
柱間距離					面積
柱1-2	柱3-4	柱1-4	柱2-3	柱5-6	17.4㎡
4.3m	4.1m	3.5m	3.6m	4.6m	

第34号掘立柱建物跡(SB34:図33・37)

柱穴番号	遺構名	長短軸 (cm)	深さ (cm)	柱径径 (cm)	備考 (新旧関係等)
柱1	SP1152	123×101	40(185, 90)	31×28	-
柱2	SP1598	114×87	79(185, 60)	-	-
柱3	SP2149	121×92	55(185, 80)	35(×110)	-
柱4	SP2217	144×120	85(185, 40)	30×35	-
柱5	SP1473	151×150	68(185, 70)	-	-
柱6	SP2311	102×82	50(185, 90)	47×31	-
柱間距離					面積
柱1-2	柱3-4	柱1-4	柱2-3	柱5-6	11.3㎡
3.6m	3.3m	2.7m	2.9m	3.7m	

第35号掘立柱建物跡(SB35:図33・37)

柱穴番号	遺構名	長短軸 (cm)	深さ (cm)	柱径径 (cm)	備考 (新旧関係等)
柱1	SP1472	152×104	54(185, 40)	-	-
柱2	SP2423	167	82(185, 60)	-	-
柱3	SP2346	145	90(185, 50)	-	SP2047, 2344より旧
柱4	SP2043	138×102	67(185, 30)	43×38	-
柱5	SP1157	147×144	87(185, 60)	-	-
柱6	SP2044	164	69(185, 50)	-	SP2045と不明
柱間距離					面積
柱1-2	柱3-4	柱1-4	柱2-3	柱5-6	19.6㎡
4.6m	4.2m	3.7m	3.8m	5.1m	

第36号掘立柱建物跡(SB36:図33・37)

柱穴番号	遺構名	長短軸 (cm)	深さ (cm)	柱径径 (cm)	備考 (新旧関係等)
柱1	SP1779	110	75(184, 50)	29×28	SB113/SP2185より旧
柱2	SK472	103×82	48(184, 55)	50×40	-
柱3	SP668	(80)	35(184, 70)	-	-
柱4	SP1742	122×115	84(184, 60)	48×38	SP1759より新
柱5	SP2382	180×103	65(184, 50)	36×24	SB113/SB041, SP2175より旧 SP2173より新
柱6	SP2182	135×106	64(184, 50)	30(×20)	SK474より新
柱間距離					面積
柱1-2	柱3-4	柱1-4	柱2-3	柱5-6	15.2㎡
4.4m	4.2m	3.0m	2.9m	4.1m	

第37号掘立柱建物跡(SB37:図34・37)

柱穴番号	遺構名	長短軸 (cm)	深さ (cm)	柱径径 (cm)	備考 (新旧関係等)
柱1	SP1937	131×104	80(184, 20)	47×(22)	SP2207と不明
柱2	SK467	153×110	50(184, 40)	70×48	SP666より新
柱3	SK521	130×95	68(184, 40)	60×55	-
柱4	SP1974	133×98	97(184, 30)	51×48	年代測定No. 4, SP1975より新 SB112/SP2203と不明
柱5	SP1961	151×144	81(184, 40)	34×29	SP1942より新 SP1953と不明
柱6	SP2170	130×135	82(184, 40)	54×50	SB113/SB041と不明
柱間距離					面積
柱1-2	柱3-4	柱1-4	柱2-3	柱5-6	22.2㎡
4.6m	4.7m	4.3m	4.3m	5.3m	

第38号掘立柱建物跡(SB38:図34・37)

柱穴番号	遺構名	長短軸 (cm)	深さ (cm)	柱径径 (cm)	備考 (新旧関係等)
柱1	SP2439	139×92	37(184, 60)	28×27	SB111/SP2521より新 SP2438より旧
柱2	SB054	114×90	57(184, 55)	65×60	-
柱3	SK444	(175×118)	40(184, 70)	55×50	-
柱4	SP2383	154×118	60(184, 50)	37×33	硬化石
柱5	SK212	158×122	68(184, 40)	46×46	SB154柱と同一
柱6	SP1950	118×114	73(184, 40)	39×37	-
柱間距離					面積
柱1-2	柱3-4	柱1-4	柱2-3	柱5-6	17.7㎡
3.7m	4.5m	3.3m	3.3m	5.1m	

第39号掘立柱建物跡(SB39:図34・37)

柱穴番号	遺構名	長短軸 (cm)	深さ (cm)	柱径径 (cm)	備考 (新旧関係等)
柱1	SP1145	(141)	68(186, 60)	-	-
柱2	SP1147	73×66	59(186, 60)	-	-
柱3	SP1150	90×79	74(186, 30)	43×36	-
柱4	SP1140	94×92	41(184, 30)	36×34	-
柱間距離					面積
柱1-2	柱3-4	柱1-4	柱2-3	面積	14.6㎡
4.1m	4.1m	3.4m	3.7m		

第40号掘立柱建物跡(SB40:図35・37)

柱穴番号	遺構名	長短軸 (cm)	深さ (cm)	柱径径 (cm)	備考 (新旧関係等)
柱1	SP1463	102×77	44(187, 30)	-	-
柱2	SP1193	88×72	39(187, 40)	22×21	-
柱3	SP1257	147×129	41(187, 20)	45×39	SB41柱と同一
柱4	SP1326	82×53	56(187, 20)	36×27	SB40柱4より新
柱間距離					面積
柱1-2	柱3-4	柱1-4	柱2-3	面積	3.7㎡
2.8m	2.8m	1.9m	1.8m		

第41号掘立柱建物跡(SB41:図35)

柱穴番号	遺構名	長短軸 (cm)	深さ (cm)	柱径径 (cm)	備考 (新旧関係等)
柱1	SP1373	131×91	31(187, 30)	33×28	-
柱2	SP1313	100×77	50(187, 20)	23×18	-
柱3	SP1257	147×129	41(187, 20)	45×39	SB40柱3と同一
柱4	SP1255	(101×91)	48(187, 30)	37×32	SB40柱4より旧
柱間距離					面積
柱1-2	柱3-4	柱1-4	柱2-3	面積	7.4㎡
2.9m	2.6m	2.7m	2.8m		

遺構跡付録53集巻報告書

ビッター一覧表

図	通称名	F ⁺ /F ⁻	分類	原形(mm)		備考 (出土土器・新田関係など)
				長径軸 [目視推定]	深さ	
43	SP1001	VT-64	A	100×94 (62×45)	38	
43	SP1002	VT-64	B-1	132×74	32	
43	SP1003	VT-65	B-2	90×87	40	SP1022と不明
43	SP1004	VT-64	B-2	60×66	41	
43	SP1005	VT-65	B-2	63×55	24	
43	SP1006	VT-65	B-2	37×31	30	
43	SP1007	VT-65	B-2	32×(36)	28	
43	SP1008	VT-64	B-1	102×96	32	
43	SP1009	V-64	B-2	81×62	38	
43	SP1010	VT-64	B-2	61×53	39	
46	SP1011	VP-64	B-1	106×89	35	SP1414と不明
43-70	SP1013	V5-T- 65-66	B-1	141×123	32	SP1007より旧
43	SP1014	VT-65-66	B-2	79×77	57	皿
46-70	SP1015	VQ-F-65	B-1	123×95	70	皿
46	SP1016	V-65	B-2	64×49	37	
46	SP1017	VP-64	B-2	62×45	43	
46	SP1018	VP-65	B-2	56×50	36	
46	SP1019	VP-65	B-2	56×45	31	
43	SP1021	VT-65	B-2	51×48	42	皿
43	SP1022	VP-65	B-2	47×(37)	21	SP1003と不明
43	SP1023	V-65	B-2	71×62	27	
43	SP1024	VP-64	B-2	63×60	25	
45	SP1027	VM-62	B-2	68×39	35	皿
46	SP1028	VP-65	A	84×64 [26×25]	23	皿 SP2758と不明
46	SP1029	VP-66	B-2	63×49	39	
46	SP1030	VQ-66	B-2	79×66	39	
45	SP1031	VM-62	B-2	81×65	63	
45-70	SP1032	VW-N-63	B-1	151×135	62	皿
46	SP1033	VQ-64	B-2	45×33	63	
46	SP1034	VP-64	B-2	61×57	58	
46	SP1035	VP-Q-64	B-2	69×63	22	
46	SP1044	VM-66	B-2	93×79	44	皿 SR2516と不明
49-70	SP1049	VM-66	B-1	109×97	70	皿 SR2612より新
46	SP1051	VP-64	B-2	74×62	48	
45	SP1052	VP-61	B-2	55×45	47	皿
45	SP1053	VM-63	B-2	64×58	38	
45-70	SP1055	VM-62	B-1	138×117	55	SP2627, 2639より新
45-67	SP1056	VQ-62	A	109×96	71	皿
45-70	SP1057	VQ-62	B-1	147×125	68	皿 SP1450と不明
45-70	SP1058	VM-62	B-1	133×83	96	皿
45-70	SP1059	VQ-62	B-1	103×42	56	SP1060より旧
45-70	SP1060	VQ-62	B-1	122×103	94	SP1059より新
43	SP1061	V-64	B-2	95×82	32	SP1062と不明
43	SP1062	V-64	B-1	136×79	39	SP1061と不明
45	SP1063	VQ-61	A	62×55 [20×29]	41	
43	SP1064	V-64	B-1	168×123	44	
43-70	SP1065	V-65	B-1	136×(114)	55	皿
43	SP1066	VT-65	B-2	69×65	71	
43	SP1067	V-66	B-2	(54)	18	SP1013より新
45-67	SP1069	VP-61	A	56×49 [27×23]	33	皿
45	SP1070	VP-68	B-1	156×82	80	皿 SR1413と不明
46	SP1073	VQ-66	B-1	107×70	55	
46	SP1073	V-66	B-2	81×75	46	皿 SR2642より新
49	SP1079	VJ-66	A	159×101 [55×90]	59	皿 SP1416と不明
49	SP1080	VT-64	B-2	85×65	31	皿
45-67	SP1081	VQ-P- 61-62	A	135×113 [49×35]	81	皿
45	SP1082	VW-O-63	B-2	79×(33)	43	SP1095と不明
46	SP1083	VP-64	B-2	68×63	38	
46	SP1084	VP-64	B-2	56×54	52	
45	SP1086	VW-62-63	B-2	67×54	36	SP2635より新
46	SP1087	VQ-F-65	B-1	103×85	53	
45	SP1088	VP-61	A	65×62 [29×27]	40	皿 SP1413と不明
46	SP1089	VQ-64	B-2	88×84	80	
46	SP1090	VQ-P-64	B-1	157×154	49	皿 SP1091, 1092と不明
46	SP1091	VQ-64	B-1	101×92	35	SP1090と不明
46	SP1092	VP-64	B-1	106×93	53	SP1090と不明
45	SP1095	V-65	B-1	117×117	78	SP1082と不明
46	SP1096	VQ-65	B-2	75×64	60	
46	SP1097	VQ-65	B-2	82×66	28	皿

図	通称名	F ⁺ /F ⁻	分類	原形(mm)		備考 (出土土器・新田関係など)
				長径軸 [目視推定]	深さ	
45	SP1098	VP-62-63	B-2	89×65	70	皿 SP1226より旧
45	SP1099	VM-61	B-2	94×64	41	皿
45	SP1100	VQ-61	B-2	82×49	31	
45	SP1101	VQ-61	B-2	31×28	12	
45	SP1102	VQ-61	B-2	46×37	29	
45	SP1103	VQ-61	B-2	63×39	36	
45	SP1104	VQ-63	B-2	53×48	23	
45	SP1105	VQ-63	B-2	53×41	25	
45-70	SP1107	VQ-61	B-1	106×(92)	56	皿 SR2113より新 SR2242より旧 SP1513と不明
46	SP1108	VQ-F-66	B-1	102×66	55	
46	SP1109	VQ-65-66	B-2	66×59	29	
53-71	SP1110	V-66	B-1	165×(136)	55	皿 SP1371, 1403より旧 SP1335と不明
49-71	SP1112	VJ-64	B-1	103×76	29	
49	SP1113	VM-66-67	B-1	140×132	74	皿
56	SP1115	IVY-69	B-2	86×51	34	皿 SP1234と不明
53-56- 71	SP1116	IVY-69	B-1	242×147	41	皿
49	SP1118	VQ-67	B-2	64×60	46	皿
49	SP1119	VQ-67	B-1	131×117	65	SP1670より新
49	SP1120	VP-F-68	B-1	102×88	29	
52-53	SP1126	VM-66	B-1	101×79	47	
53	SP1133	VQ-P-63	B-1	113×90	25	
53	SP1135	VM-67	B-2	41×35	15	
53	SP1136	VM-67	B-2	35×30	9	
53-71	SP1137	VM-66	B-1	150×121	43	皿
53	SP1138	VM-68	A	89×58 [35×24]	26	皿
53	SP1139	VM-68	B-2	84×57	22	皿
53	SP1141	VM-69	B-2	44×39	8	皿
53	SP1142	VM-68	B-2	23×23	18	皿
53	SP1143	VA-68	B-2	26×(20)	16	
53	SP1146	VA-69	B-2	59×56	48	皿 SP1402と不明
53	SP1148	VA-69	B-2	54×44	49	皿
53	SP1149	VA-69	B-1	131×104	77	皿 SP1379と不明
52-67	SP1154	VC-P-64	A	120×113 [41×40]	46	皿 SP1661より旧 SR2324より新
51-52	SP1158	VM-62	B-2	64×54	33	皿
55	SP1159	VM-C-62	B-2	81×(54)	31	
52	SP1165	IVY-63	B-2	90×78	51	皿 SP1265, 2294, 2295と不明
52	SP1166	IVY-63-65	B-2	86×84	59	皿 SP1265, 2294と不明
54	SP1167	IVY-63	B-2	119×78	52	皿
54	SP1168	PV-Y-63	B-2	53×45	29	皿
54	SP1169	IVY-63	B-2	63×40	41	SP1602と不明
54	SP1170	IVY-63	B-2	66×55	40	皿
55	SP1171	IVY-65	A	97×79 [32×29]	59	皿
53	SP1177	VA-68	B-2	37×38	14	皿
53	SP1178	VA-67-69	B-1	130×133	20	
53	SP1179	VM-66-67	B-2	45×38	27	
53	SP1180	VP-Y-65	B-1	106×85	42	皿
53	SP1182	IVY-68	B-2	46×42	20	
55	SP1183	IVY-67-68	A	84×53 [31×24]	47	皿 SP1447と不明
55	SP1185	PV-Y-68	B-2	53×47	28	皿
49	SP1188	VQ-68	B-2	51×39	42	皿
49	SP1189	VQ-68	B-2	45×44	30	皿
53	SP1192	VM-69	B-2	34×30	37	
53	SP1196	VM-68	A	77×(43) [44×32]	14	
53	SP1197	VA-68	B-2	43×(27)	36	SP1402と不明
43	SP1198	VW-63-64	B-1	149×111	53	
43	SP1199	VT-65-66	A	67×56 [31×24]	40	
43	SP1200	VT-65	B-1	110×87	71	SP1318と不明
52	SP1201	IVY-66	B-2	49×28	12	
55	SP1202	PV-Y-66	A	77×(43) [28×23]	38	SP1526と不明
55	SP1203	IVY-66	B-2	49×47	22	
55	SP1205	IVY-65	B-2	58×40	26	皿 SP1504と不明
64-71	SP1211	PV-K-69	B-1	199×(150)	51	皿
69	SP1214	PV-69-70	A	83×65 [35×31]	27	皿
59-71	SP1215	PV-N-66	B-1	160×145	36	皿
55-67	SP1219	IVY-68	A	51×46 [22×19]	47	皿 SP1647と不明
55-56	SP1220	IVY-68	B-2	41×(28)	18	皿 SP1486より旧
55	SP1222	IVY-68	B-2	29×24	14	皿

砂子掘削IV

区	遺構名	F ¹ /F ²	分類	原積(m)		備考 (出土土器・新田關係など)
				表長軸 (往直長)	深さ	
56-71	SP1225	IV-F-70	B-1	145×119	30	埋I
56	SP1226	IV-F-70	B-1	117×(75)	29	埋I
56	SP1227	IV-F-69	B-2	53×52	49	埋I
56	SP1228	IV-F-69	B-1	161×112	71	埋I
56	SP1229	IV-F-69	B-2	59×47	23	埋I
56	SP1230	IV-F-69	B-2	57×52	42	埋I
56	SP1231	IV-F-70	B-2	92×64	34	埋I
56	SP1233	IV-F-70	B-2	62×56	42	埋I
56	SP1234	IV-F-69	B-1	144×(76)	20	埋I
56	SP1235	IV-F-69	B-2	73×60	7	埋I
76	SP1236	IV-F-69	B-2	70×61	36	埋I
49	SP1237	VF-G-65	B-1	113×105	47	埋I
52-67	SP1238	VF-G-65	A	106×90 (45×14)	37	埋I
56	SP1246	IV-F-68	B-1	123×100	34	埋I
49	SP1256	VG-G-48	A	96×36	48	埋I
56	SP1259	IV-F-66	B-2	20×14	41	埋I
50-71	SP1259	VF-G-66	B-1	170×(126)	48	埋I
49-67	SP1261	V-G-68	A	89×69 (27×13)	50	埋I
56	SP1263	IV-F-69	B-2	60×47	20	埋I
56	SP1264	IV-F-69	B-2	33×31	17	埋I
76	SP1265	IV-F-69	A	82×76	33	埋I
56	SP1266	IV-F-69	A	62×51 (26×8)	31	埋I
56	SP1267	IV-F-69	B-1	114×101	46	埋I
56	SP1268	IV-F-69	B-2	44×35	33	埋I
56	SP1269	IV-F-69	B-2	32×28	11	埋I
55	SP1270	IV-F-68	B-2	66×59	30	埋I
55	SP1271	IV-F-65-66	B-2	62×55	18	埋I
55	SP1272	IV-F-65	B-2	71×50	35	埋I
55	SP1275	IV-F-66	B-2	43×32	23	埋I
55	SP1276	IV-F-67	B-1	101×62	33	埋I
55	SP1277	IV-F-67	B-2	64×59	29	埋I
55	SP1278	IV-F-67	B-1	115×93	30	埋I
55	SP1279	IV-F-67	B-2	90×83	22	埋I
54	SP1284	IV-F-64	B-2	67×43	52	埋I
52-54	SP1285	IV-F-63	B-2	73×52	35	埋I
54	SP1286	IV-F-63	B-2	45×(40)	16	埋I
55	SP1287	IV-F-64	B-2	67×51	38	埋I
60-71	SP1294	IV-F-68	B-1	108×50	53	埋I
60-71	SP1295	IV-F-68	B-1	157×153	80	埋I
60-72	SP1296	IV-F-67-68	B-1	114×69	43	埋I
60-72	SP1297	IV-F-68	B-1	196×159	85	埋I
60	SP1298	IV-F-67-68	B-2	82×50	37	埋I
60-72	SP1299	IV-F-68	B-1	152×109	64	埋I
60-72	SP1300	IV-F-68	B-1	134×108	58	埋I
50	SP1308	IV-G-65	B-1	103×94	84	埋I
53	SP1311	VA-G-68	A	54×(14)	30	埋I
53	SP1312	VC-G-68	B-1	130×90	31	埋I
56	SP1314	IV-F-68	A	53×51 (15×14)	37	埋I
43	SP1315	VF-G-61	B-1	168×124	93	埋I
43	SP1316	VF-G-64	B-1	186×(148)	86	埋I
43	SP1317	VS-G-65	B-2	72×58	32	埋I
43	SP1318	VF-G-66	B-1	136×(106)	45	埋I
55	SP1319	IV-F-68	A	52×49 (14×13)	17	埋I
55	SP1320	IV-F-67	B-2	56×54	34	埋I
45	SP1323	V-G-61	B-2	66×47	24	埋I
45	SP1324	VF-F-61	B-2	90×75	41	埋I
45	SP1325	V-G-61	B-2	37×27	35	埋I
45-72	SP1328	VF-F-61	B-1	109×104	54	埋I
46-72	SP1329	V-F-63	B-1	129×90	62	埋I
45	SP1330	VF-F-62	B-2	65×49	25	埋I
46-72	SP1331	IV-F-69	B-1	153×129	68	埋I
52	SP1334	VB-G-66	B-2	48×36	9	埋I
53	SP1335	VA-G-68	B-2	38×30	12	埋I
52	SP1366	VA-G-64	B-2	68×(42)	46	埋I
52	SP1366	VB-G-64	B-2	58×49	60	埋I
52	SP1337	VA-G-65	B-1	151×136	71	埋I
52	SP1338	VB-G-64	B-2	95×78	11	埋I
45	SP1341	VF-G-62	B-1	113×93	53	埋I
49	SP1342	VB-G-66	A	130×119 (40×32)	54	埋I
46-72	SP1343	VB-G-65	B-1	137×(84)	46	埋I

区	遺構名	F ¹ /F ²	分類	原積(m)		備考 (出土土器・新田關係など)
				表長軸 (往直長)	深さ	
49	SP1344	VJ-G-65	B-2	79×65	40	埋I
49	SP1345	VK-G-65	B-2	84×67	32	埋I
49	SP1346	VJ-G-66	B-2	66×54	24	埋I
49	SP1347	VK-G-66	B-2	62×60	53	埋I
49	SP1348	VK-G-65	B-2	48×46	26	埋I
49	SP1349	VK-G-65	B-2	71×61	26	埋I
49	SP1350	VK-G-66	B-2	95×51	45	埋I
49	SP1351	VF-G-66	B-2	82×59	46	埋I
46	SP1352	VM-G-66	B-2	48×49	20	埋I
46	SP1353	VM-G-66	B-1	108×71	24	埋I
46	SP1354	VM-G-66	B-2	97×59	38	埋I
46	SP1355	VM-G-66	B-2	61×51	31	埋I
46	SP1356	VM-G-66	B-2	58×53	19	埋I
46	SP1357	VM-G-66	B-2	56×45	19	埋I
49-67	SP1358	VM-G-67	A	102×92 (38×28)	53	埋I
49	SP1359	VF-G-68	B-2	97×90	57	埋I
49	SP1360	VM-G-67	B-1	156×113	73	埋I
49	SP1361	VF-G-68	B-1	119×105	95	埋I
49	SP1362	VJ-G-64	B-2	84×59	36	埋I
46	SP1363	VO-G-65	B-1	124×94	41	埋I
49-72	SP1365	VO-G-66	B-1	104×93	53	埋I
49-67	SP1368	VF-G-66	A	133×(102) (33×24)	38	埋I
53-71	SP1371	IV-V-G-68	B-1	311×185	33	埋I
53	SP1372	VA-G-68	A	155×117 (18×14)	47	埋I
56	SP1374	IV-F-69-70	B-1	152×112	66	埋I
50-72	SP1375	IV-F-65	B-1	161×146	76	埋I
52	SP1376	IV-F-66	A	55×36 (40×30)	21	埋I
53	SP1379	VA-G-69	B-2	63×(50)	46	埋I
45	SP1381	VJ-F-63	B-2	63×41	52	埋I
52	SP1382	IV-F-65	B-2	77×63	45	埋I
55	SP1383	IV-F-67	A	162×148 (45×31)	37	埋I
55	SP1384	IV-F-67	A	117×97 (33×22)	70	埋I
55	SP1385	IV-F-66	A	96×79 (57×41)	49	埋I
45	SP1386	VF-G-63	B-1	136×90	50	埋I
45	SP1387	VF-G-63	B-2	97×78	38	埋I
45	SP1388	VI-G-61	B-2	42×41	26	埋I
45	SP1389	VM-G-61	B-2	84×67	55	埋I
45	SP1390	VM-G-61	B-2	87×55	28	埋I
49-67	SP1391	VH-I-67	A	116×(103) (40×32)	73	埋I
49	SP1392	VJ-G-67	B-2	(71)	27	埋I
49-67	SP1394	V-G-65-66	A	211×178 (32×25)	69	埋I
49	SP1395	VF-G-67	B-2	95×(70)	38	埋I
52	SP1396	VF-F-66	B-1	104×(83)	49	埋I
49	SP1397	VG-G-67	B-2	62×(60)	28	埋I
49	SP1398	VG-G-67	B-2	42×31	22	埋I
49	SP1399	VG-G-67	B-2	95×44	22	埋I
52-72	SP1400	VF-F-66	B-1	130×(100)	71	埋I
56	SP1401	IV-F-70	B-2	84×52	36	埋I
53	SP1402	VA-G-68	B-1	120×84	53	埋I
53	SP1403	VA-G-68	B-2	45×42	42	埋I
55	SP1404	IV-G-66	B-1	109×92	34	埋I
55	SP1406	IV-G-66	B-2	54×(45) (31×20)	20	埋I
46	SP1411	VO-G-64	B-2	65×57	53	埋I
53-55	SP1412	IV-F-67	B-1	125×108	58	埋I
45	SP1413	VP-G-61	B-2	48×42	37	埋I
46	SP1414	VP-G-64	B-2	(27)	35	埋I
55	SP1415	IV-G-66	B-2	42×37	30	埋I
49-67	SP1416	VJ-G-66	A	112×79 (45×30)	87	埋I
49	SP1417	VB-G-67	B-1	134×103	69	埋I
49	SP1418	VB-G-67	B-2	81×70	60	埋I
49	SP1419	VB-G-67	B-2	77×72	65	埋I
53	SP1421	VA-G-68-69	B-2	85×59	27	埋I
53	SP1422	VA-G-68	B-2	38×34	28	埋I
55	SP1425	IV-F-66	B-2	53×49	28	埋I

国	通称名	Y'x'	分類	原積(m)		備考 (出土土器・新田關係など)
				長形軸 (柱礎石)	深さ	
53	SP1428	V-A-68	B-2	65×32	31	ⅢB
49	SP1431	V-F-67	B-2	90×62	27	ⅢB
52	SP1434	V-F-65	B-1	134×96	57	ⅢB
59	SP1436	IV-F-66	B-2	90×78	25	ⅢB
59	SP1437	IV-F-65	B-2	63×54	40	ⅢB
60	SP1438	IV-F-67	B-2	54×46	36	ⅢB
60	SP1439	IV-F-67	B-2	48×41	27	ⅢB
60	SP1440	IV-F-67	B-2	68×60	19	ⅢB
49	SP1441	V-I-67	B-2	56×37	28	ⅢB
49-72	SP1443	V-I-67	B-1	128×67	65	ⅢB
49	SP1445	V-I-64	B-1	67×65	19	ⅢB
55	SP1447	IV-F-68	B-2	47×36	28	SP183と不明
55	SP1449	IV-F-68	A	48×42 [26×23]	33	ⅢF2
45-73	SP1450	V-Q-62	B-1	110×170	51	SR22柱より旧 SP1057, 2639と不明
53	SP1451	V-B-68	B-2	67×51	24	ⅢB
53	SP1452	V-A-68	B-2	69×41	43	ⅢB
56	SP1453	IV-70	B-2	53×49	40	ⅢB
60	SP1454	IV-F-69	B-2	50×43	17	ⅢB
55	SP1455	IV-F-66	B-2	84×64	30	ⅢB
56	SP1458	IV-F-69	B-2	32×29	31	ⅢD1
55	SP1459	IV-F-68	B-2	46×38	18	ⅢB
55	SP1461	IV-F-67	B-2	41×39	31	ⅢB S116(SD01)と不明
55	SP1462	IV-F-65	B-1	166×97	30	ⅢB
55	SP1464	IV-F-66	B-2	38×29	30	ⅢB
60	SP1465	IV-F-67	B-2	86×66	35	ⅢB
56	SP1466	IV-F-68	B-2	57×47	20	ⅢB
55	SP1474	IV-F-67	A	96×80 [51×28]	61	ⅢB S116(SF1303+1607)と不明
56	SP1475	IV-F-69	B-2	35×33	22	ⅢB
55	SP1476	IV-F-68	B-2	56×42	16	ⅢB S116(SD01)と不明
55	SP1478	IV-F-68	B-2	70×43	16	ⅢB SP1479と不明
55	SP1479	IV-F-68	B-2	48×47	18	ⅢB SP1478と不明
48	SP1481	V-B-65-64	B-1	117×98	36	ⅢB
48	SP1482	V-B-65	B-2	94×58	30	ⅢB
56	SP1486	IV-F-68	B-2	41×39	28	ⅢB SP1220より新
53	SP1490	V-F-67-68	B-2	87×81	20	ⅢB
53	SP1491	VC-69	B-2	43×41	27	ⅢB
53	SP1492	VC-67	B-2	49×28	12	ⅢB
55	SP1504	IV-F-66	A	114×101 [53×51]	37	SP1295, 1548と不明
55	SP1509	IV-F-66	A	66×53 [45×30]	32	SP1385と不明
45	SP1513	V-Q-61-62	B-1	134×170	77	SP1197と不明
56	SP1516	IV-F-69	B-2	44×30	14	ⅢB
56	SP1517	IV-F-69	B-2	42×38	16	S117(SD02)より旧
56	SP1519	IV-F-68	B-2	66×49	17	S117(SD02)より旧
54	SP1525	IV-F-63	B-2	71×52	34	ⅢB
55	SP1526	IV-F-66	B-2	57×48	31	SP1292と不明
55	SP1528	IV-F-65-66	A	94×70 [35×29]	32	SP1384と不明
54	SP1529	IV-F-63	B-2	59×50	52	ⅢB
52	SP1530	VA-64	A	73×64 [29×24]	81	ⅢB
55	SP1535	IV-F-67	B-2	57×46	20	ⅢB
55	SP1536	IV-F-66	B-2	43×27	9	ⅢB
52	SP1540	IV-F-66	B-2	58×49	49	ⅢB
52-55	SP1541	IV-F-65	B-1	109×95	42	ⅢB
55	SP1542	IV-F-64-65	B-2	51×44	29	ⅢB
55	SP1543	IV-F-64	B-2	66×64	31	ⅢB
52	SP1545	VB-61	B-2	41×29	21	ⅢB
53	SP1547	IV-F-68	B-2	35×20	25	SP1371と不明
55	SP1548	IV-F-66	A	136×124 [54×43]	41	SP1504と不明
63	SP1551	IV-F-66	B-2	98×92	51	ⅢD1 SP1563より新
59	SP1552	IV-Q-65	B-2	70×62	52	ⅢB
59	SP1553	IV-F-65	B-2	83×62	49	ⅢB
60-73	SP1554	IV-F-68-69	B-1	216×191	83	ⅢB
59	SP1555	IV-F-65-66	B-2	70×60	50	ⅢB
59	SP1556	IV-Q-65	B-2	52×50	15	ⅢB
59	SP1557	IV-Q-65	B-2	32×28	28	ⅢB
59	SP1558	IV-Q-65	B-2	35×33	33	ⅢB
59	SP1559	IV-Q-65	B-2	88×62	34	ⅢB
59	SP1560	IV-F-66	B-2	72×67	29	ⅢB
59	SP1561	IV-F-66	B-2	75×67	70	ⅢB
59	SP1562	IV-F-66	B-2	36×34	23	ⅢB
63	SP1563	IV-F-66	B-2	98×45	36	ⅢD1 SP1551より旧
60	SP1564	IV-F-68	B-2	73×68	27	ⅢD1

国	通称名	Y'x'	分類	原積(m)		備考 (出土土器・新田關係など)
				長形軸 (柱礎石)	深さ	
60	SP1565	IV-F-67	B-2	43×29	48	ⅢB
55	SP1566	IV-F-68	A	66×57 [40×38]	60	ⅢB S116(SD01)と不明
56	SP1569	IV-F-69	B-2	27×46	23	S117(SD02)より新
49	SP1574	VH-65	B-2	49×39	32	ⅢB
53	SP1576	IV-F-67	B-2	67×39	44	SP1412より旧
45	SP1578	VF-62	B-1	103×100	70	SR1165, SR22柱と不明
45	SP1580	IV-F-63	B-2	76×50	67	SR21柱, SP160より旧
59-71	SP1581	IV-Q-65	B-1	118×102	39	SP1259より新
59	SP1582	IV-F-66	B-2	50×77	48	ⅢB
59	SP1583	IV-Q-65	B-1	180×179	51	ⅢB SP2856と不明
59	SP1584	IV-F-66	B-1	109×167	44	ⅢB
59	SP1585	IV-F-65	B-2	28×27	33	ⅢB
49	SP1586	V-I-67	B-2	28	64	ⅢB
53-67	SP1587	VF-66-67	A	146×116 [42×116]	82	ⅢB SR28柱より旧
52-68	SP1589	VC-63	A	134×107 [41×31]	63	ⅢB SR23柱より旧 SP2254と不明
49	SP1592	VF-F-67	B-2	69×59	48	ⅢB
49	SP1595	VH-68	B-1	146×107	72	ⅢB
49-53	SP1599	VF-F-67	B-2	65×47	31	SP1600と不明
49	SP1600	VF-F-67	B-2	48×36	33	SP1599より新
45	SP1601	VO-61	B-2	52×23	87	ⅢB SR12柱より旧 SP1586より新
52-54	SP1602	IV-F-64	B-2	93×64	62	ⅢB
54	SP1603	IV-F-64	B-2	42×36	31	SP1169と不明
52	SP1604	IV-F-63	B-2	27×53	35	ⅢB
55	SP1608	IV-F-66	B-2	46×45	47	S116(SD01)と不明
53	SP1610	IV-F-68	B-2	29×23	25	SP1371と不明
54	SP1611	IV-F-64	B-2	39×36	40	ⅢB
54	SP1612	IV-F-64	B-2	51×45	40	ⅢB
54-68	SP1616	IV-F-63	A	87×70 [24×22]	62	ⅢB SP1617より新
53-54-73	SP1617	IV-F-63	B-1	103×68	56	ⅢB SP1616より新 SP1263, 2298と不明
53	SP1622	IV-F-66-67	B-2	83×75	36	ⅢB
56	SP1623	IV-70	B-1	161×193	24	ⅢB SP1699より新 SP1230と不明
56	SP1624	IV-X-70	B-2	50×34	33	ⅢB
47	SP1626	VH-X-54	B-1	114×94	47	ⅢB
47	SP1627	VH-X-54	B-2	70×37	24	ⅢB
47	SP1628	VH-X-54	B-2	77×79	43	ⅢB
47	SP1629	VH-X-54	B-2	83×71	23	ⅢB
47	SP1630	VH-X-54	B-2	97×68	24	ⅢB
52	SP1631	VC-62-63	A	148×94 [38×35]	47	ⅢB SP2425と不明
49	SP1632	VH-68	B-2	73×66	47	ⅢB
49	SP1633	VH-68	B-2	79×57	27	ⅢB
49	SP1634	VF-F-68	B-2	48×42	32	ⅢB
49	SP1635	VH-67	B-2	79×52	26	ⅢB
52	SP1637	VF-F-63	B-2	97×78	23	ⅢB
49-53	SP1638	VF-F-67	B-2	63×52	39	ⅢB
52	SP1639	VF-F-64	B-2	89×74	39	ⅢB
52	SP1640	VF-F-64	B-2	50×47	34	ⅢB
55	SP1642	IV-F-66	B-2	62×48	39	ⅢB
55	SP1647	IV-F-68	B-2	(17)	18	ⅢB SP1219と不明
56	SP1648	IV-F-68	B-2	32×27	23	ⅢB
56	SP1649	IV-F-69	B-2	36×34	31	ⅢB
56	SP1650	IV-F-68	B-2	32×29	34	ⅢB
55	SP1651	IV-F-64-65	B-1	111×193	38	SP1636と不明
53	SP1652	IV-F-68	B-2	36×33	22	SP1371と不明
53	SP1653	VH-68	B-2	28×27	19	ⅢB
56	SP1654	IV-F-68	B-2	39×35	24	S117(SD02)より新
55	SP1656	IV-F-65	B-2	69×53	41	SP1655と不明
52	SP1660	IV-F-64	B-2	37×31	31	ⅢB
52-67	SP1661	VP-64	A	66×63 [28×27]	56	ⅢB SP1154より新
52	SP1663	VC-64	B-2	98×96	68	ⅢB SR32柱より旧 SP2260より新 SR29-30柱と不明
52-68	SP1665	VE-66	A	145×106 [37×31]	60	ⅢB
52-53	SP1666	VF-F-66	B-2	64×53	36	ⅢB
49	SP1670	V-G-67	B-2	87×80	54	SP1119より旧
54	SP1671	IV-X-64	B-2	58×49	39	ⅢB
59	SP1674	IV-Q-65	B-2	67×66	44	ⅢB
64-73	SP1675	IV-F-69	B-1	162×119	61	ⅢB
64	SP1676	IV-F-71	B-2	77×139	30	ⅢB
54	SP1678	IV-F-64	B-1	138×172	28	SP1682より旧
56	SP1681	IV-F-70	B-2	73×70	31	ⅢB
55-68	SP1682	IV-F-64	B-2	52×50 [24×22]	49	SP1678より新

砂子掘道計画

区	道標名	Y(十)	分類	原積(m)		備考 (出土土器・新田關係など)
				長形物 (柱礎跡)	深さ	
54	SP1665	IV-3	B-2	36×41	32	
55	SP1667	IV-6	B-2	46×41	50	ⅡF
54-68	SP691	IV-6	A	34×19 (15×30)	45	SP2364と不明
54-55	SP692	IV-6	A	44×49 (26×27)	58	
55	SP693	IV-7	B-2	66×49	46	SP1383, 1412と不明
56	SP695	IV-7	B-2	55×29	25	
59	SP696	IV-6+65	B-2	170	18	ⅡA
55	SP698	IV-6	B-2	88×79	35	SP1406と不明
56	SP699	IV-7	B-2	69×64	32	SP1623より旧 SP1220と不明
44	SP1702	V-5	A	82×71 (57×33)	55	
44	SP1707	V-5	B-1	108×72	47	SP2387と不明
44	SP1708	V-5	B-2	82×71	40	SP2305と不明
44	SP1709	VP-5	B-2	79×64	33	SP1969と不明
44	SP1710	V-5	B-2	51×43	32	
44	SP1712	VP-5	B-2	86×15	56	SP2489と不明
44	SP1715	V-5	B-2	66×61	22	
44	SP1718	V-5	A	48×43 (30×25)	49	ⅡF SP237a-bと不明
44	SP1719	V-5	B-2	47×44	38	
47	SP1730	VJ-5A-5B	B-2	80×32	73	SK40と同一
47	SP1737	VJ-5A	A	71×67 (41×40)	15	
47	SP1738	VJ-5A	B-1	156×123	23	ⅡF SP1730, 1751, 1752と不明
47	SP1739	VJ-5A	B-2	50×32	20	ⅡF SP1738と不明
47	SP1751	VJ-5A	B-1	151×125	105	ⅡF SP1752, 1738と不明
47	SP1752	VJ-5A	B-2	76×45	27	ⅡB SP1738, 1751と不明
47	SP1759	VB-5A	A	92×175 (30×32)	35	SK644, 4より旧 S1113, SP1750より新
47	SP1765	VJ-5A	B-2	66×59	39	
47	SP1767	VJ-5A	A	86×63 (42×30)	49	ⅡG
47	SP1773	VJ-5A	B-2	83×76	36	SP1775と不明
47	SP1774	VJ-5A	B-2	30×24	14	SP1775と不明
47	SP1775	VJ-5A	B-1	170×127	28	ⅡG SP1773, 1774と不明
47	SP1776	VJ-5A	B-2	35×44	32	
44	SP1783	VO-5A	B-2	84×71	46	ⅡF SP2190より旧 SP2189と不明
44	SP1784	VO-5A	B-2	31×29	30	
44	SP1785	VO-5A	B-2	56×48	31	
44	SP1787	VO-5A	A	89×85 (30×28)	36	ⅡF SP1786より新 SP2464と不明
47	SP1801	VI-5A	B-1	211×1063	109	SP612, 2205と不明
47	SP1803	VB-1-5A	B-1	145×116	82	
50	SP1806	VG-52	B-2	59×37	10	SP1807と不明
50	SP1807	VG-52	B-2	93×80	29	SP1808と不明
50	SP1812	VG-53	B-1	119×(54)	37	SP1813より旧
50	SP1813	VG-53	A	147×120 (41×27)	41	ⅡB SP1812より新
50	SP1816	VF-52-53	A	144×96 (36×19)	35	
50	SP1819	VF-53	B-2	63×62	45	
50	SP1820	VF-53	B-2	52×50	24	ⅡB
50	SP1821	VF-53	B-2	76×65	26	ⅡF
50	SP1823	VF-53	B-1	127×72	57	
44	SP1830	VB-5A	A	80×63 (33×29)	20	ⅡG
63-73	SP1851	IV-7	B-1	155×114	51	ⅡB
63-73	SP1852	IV-7	B-1	167×159	71	ⅡB
64-73	SP1853	IV-7	B-1	167×91	69	ⅡB
66-73	SP1854	IV-7	B-1	152×131	51	SP1855と不明
66	SP1855	IV-7	B-2	79×27	41	SP1854と不明
44	SP1857	VO-5A	A	108×94 (54×29)	60	ⅡF
44	SP1869	VP-5A	A	134×68 (49×37)	102	ⅡF SP1709, 2469と不明
44	SP1872	VP-5A	B-2	65×48	33	ⅡF SP2198と不明
44	SP1876	VP-5A	B-2	67×63	32	
44	SP1877	VP-Q-5A	B-2	63×48	18	
44	SP1885	Vq-5A-53	A	107×67 (35×12)	67	ⅡG
44	SP1886	Vq-5A	B-1	123×69	36	ⅡF
44-73	SP1900	VB-5A	B-1	121×95	47	ⅡB
47	SP1940	VB-5A	B-2	59×51	39	ⅡB
47	SP1943	VB-53	B-2	92×68	33	SP1945と不明
47	SP1945	VB-8-55	A	149×119 (67×44)	101	SK3715より旧 SP1943と不明
47	SP1946	VB-5A-55	A	45×41 (31×20)	34	ⅡF

区	道標名	Y(十)	分類	原積(m)		備考 (出土土器・新田關係など)
				長形物 (柱礎跡)	深さ	
47	SP1947	VM-5A	B-2	94×62	48	ⅡF
47	SP1952	VM-55	B-1	121×94	88	ⅡB
47	SP1953	VM-55	B-2	89×(43)	83	SK3715と不明
47	SP1975	VI-5A	A	99×(61) (31×28)	76	ⅡB SK3714より旧 S1112, SP2503と不明
48	SP1997	VI-6	B-2	71×(60)	36	ⅡB
48	SP1998	VI-6	B-2	66×62	45	ⅡB ⅡF調査区P627と不明
48	SP2002	VI-6	B-2	65×60	36	
48-68	SP2016	VG-60	A	98×66 (30×28)	47	ⅡB ⅡF調査区P628と不明
48	SP2017	VG-60+61	B-2	86×78	39	ⅡB
48	SP2018	VF-61	B-2	97×70	25	ⅡB
48	SP2020	VF-62	B-2	46×41	31	ⅡB
48-68	SP2024	VF-60	A	79×72 (23×24)	30	ⅡC
53	SP2036	VF-63	B-2	54×49	16	ⅡB
53	SP2045	VC-61	B-2	86×(74)	51	ⅡB SK3516と不明
51-68	SP2046	VC-61	A	122×109 (25×8)	92	ⅡB
51	SP2047	VC-61	B-2	72×64	79	ⅡB SK3513より新
51	SP2050	VB-61	B-2	46×43	26	ⅡB
51	SP2053	VB-61	B-2	31×29	14	ⅡB
51	SP2054	VI-62	B-2	69×67	39	ⅡB
51-54	SP2055	VI-62	B-2	53×45	27	ⅡB
54	SP2056	VI-VI-62	B-1	110×78	38	ⅡB
54-74	SP2057	IV-62	B-1	103×71	51	SP2136より旧 SP2058, 2118と不明
54	SP2068	IV-62	B-2	67×47	36	ⅡB SP2057, 2118と不明
54-74	SP2069	IV-VI-62	B-1	159×156	79	ⅡB S1106(SD09, SP2492, 2498), SP2493より新
54	SP2060	IV-62+63	B-2	38×31	10	ⅡB
54	SP2061	IV-62+63	B-2	71×(64)	28	ⅡB SP2062と不明
54	SP2062	IV-62	B-2	69×(50)	31	ⅡB SP2130, 2122, 2123と不明
54	SP2063	IV-62	B-2	90×62	24	SP2064, 2065と不明
54	SP2064	IV-62	B-2	56×(40)	18	SP2065と不明
54	SP2065	IV-62	B-2	36×(30)	24	SP2063, 2064と不明
54	SP2066	IV-63	B-2	52×43	27	ⅡB
54	SP2067	IV-62+63	B-2	74×56	30	SP2068と不明
54	SP2068	IV-63	B-2	70×60	34	SP2067と不明
54	SP2069	IV-62	B-2	53×29	23	ⅡB
54	SP2070	IV-62	B-2	74×59	29	ⅡB
54	SP2071	IV-62	B-2	30×34	8	ⅡB
54	SP2072	IV-62	B-2	29×25	12	ⅡB
54	SP2073	IV-62	B-2	59×46	32	ⅡB SP2074より新 SP2075より新
54-68	SP2076	IV-62	A	56×(47) (31×(16))	49	ⅡB SP2073より旧
54	SP2077	IV-62	B-2	56×33	39	ⅡB
54	SP2078	IV-62	B-2	64×47	23	ⅡB
54	SP2079	IV-62	B-2	52×49	44	ⅡB
54	SP2081	IV-62	B-2	44×41	26	ⅡB
54	SP2083	IV-62	B-2	56×40	31	ⅡB
54	SP2084	IV-62	B-2	60×45	36	ⅡB SP2085と不明
54	SP2085	IV-62+63	B-2	72×35	39	ⅡB SP2084と不明
54	SP2086	IV-62	B-2	46×39	25	ⅡB
54	SP2087	IV-63	B-2	72×61	43	ⅡB
54-74	SP2092	IV-62	B-1	142×117	74	ⅡB
54	SP2096	IV-63	B-2	38×33	11	ⅡB
54-74	SP2097	IV-63	B-1	128×101	67	ⅡB SP2542と不明
54-74	SP2098	IV-62+63	B-1	125×108	65	ⅡB SK16, SP2671と不明
54	SP2101	IV-62	B-1	128×42	56	ⅡB
54	SP2103	IV-63	B-2	55×51	39	ⅡB
54	SP2104	IV-63	B-2	39×33	20	ⅡB
50	SP2106	VF-53	B-2	40×36	19	ⅡB
50	SP2107	VF-53	A	97×(78) (34×(14))	39	SP2108より旧
50	SP2108	VF-53	B-1	118×98	15	SP2107より新
54	SP2116	IV-VI-62	B-1	160×83	27	ⅡB SP2118と不明
54	SP2117	IV-VI-62	B-2	80×69	40	ⅡB
54	SP2118	IV-VI-62	B-2	81×(50)	35	ⅡB SP2057, 2098, 2116, 2117と不明
54	SP2119	IV-62	B-2	44×38	31	ⅡB
54	SP2120	IV-62	B-2	89×66	30	ⅡB SP2062, 2121, 2122と不明
54	SP2123	IV-62	B-2	55×(46)	34	ⅡB SP2120, 2122と不明
54	SP2122	IV-62	B-2	90×83	49	ⅡB SP2062, 2120, 2121, 2123と不明
54	SP2123	IV-62	B-2	74×(55)	17	ⅡB SP2062, 2122と不明
54	SP2124	IV-VI-62	B-1	160×107	33	ⅡB

区	道番号	r(%)	分類	原横(m)		備考 (出土土器・新田關係など)
				表型幅 (柱間距)	深さ	
54	SP2128	IV-63	B-2	57×225	22	S1104(S008)より北
54	SP2129	IV-63	B-2	72×54	30	S1104(S008)より北
54	SP2140	IV-62	B-2	68×44	42	ⅢB
54	SP2141	IV-62	B-2	59×30	23	SP2271より北
51	SP2150	V-D-61	B-2	49×43	50	ⅢC
47	SP2163	V-E-54	B-1	117×111	49	SP1112(SP2503), SP1947より北
47	SP2173	VI-54	B-2	67×80	50	SK0635, S1113(SP2203)より北 S1113(SP1781, 1829)と北
47	SP2175	VI-55	B-2	88×90	43	S1113(S004)より北 SK06415より北
47	SP2179	V-J-54	B-2	44×38	33	
47	SP2180	V-J-54	B-2	35×30	36	
47	SP2181	V-J-54	B-2	33×28	36	
44	SP2188	VP-54-55	B-2	94×(46)	20	
44	SP2189	VN-54	A	30×25 [25×18]	24	SP1783, 2190と北
44	SP2190	V-D-54	A	58×47 [44×44]	48	SP1783より北 SP2189と北
44	SP2191	VN-55	A	125×80 [60×38]	51	ⅢB
44	SP2194	V-D-55	B-2	77×51	36	ⅢB
44	SP2196	VP-54	A	63×54 (14×31)	34	
44	SP2197	VP-54	B-2	59×59	54	SP2203と北
44	SP2198	VP-54-55	A	165×104 [北:33×33 南:32×30]	47	SP2203より北 SP1872, 2470, 2483と北
44	SP2199	VQ-54	B-2	89×58	37	ⅢB
54	SP2200	IV-62	B-2	78×47	41	ⅢB
44	SP2201	VQ-54	B-2	70×52	49	ⅢA
44	SP2202	VQ-54	B-2	74×65	46	ⅢB, SP2106と北
44	SP2204	VN-54	A	77×60 [30×(10)]	14	SP2630と北
47	SP2205	VI-54	B-2	62×(26)	29	SP1801と北
47	SP2206	VN-54	B-2	43×36	25	
47	SP2207	VN-54	B-2	49×38	14	ⅢB, SK371Eと北
47	SP2209	VN-54	A	70×58 [40×26]	62	
44	SP2210	VP-54	B-2	36×31	24	
51-68	SP2214	VA-61	A	99×76 [30×23]	59	Ⅲ3より北
51	SP2215	VA-61	B-2	66×56	33	Ⅲ3より北
51	SP2216	VB-61	B-2	73×44	27	
51-68	SP2234	VC-60-61	A	58×58 [18×(13)]	38	ⅢB, SP2341より北
51-68	SP2235	VC-60	A	92×75 [31×28]	35	ⅢB
51	SP2244	VC-D-60	A	161×100 [36×33]	83	SP2245, 2324より北 SP2246と北
51	SP2245	VC-D-60	A	92×(77) [28×31]	53	SP2244より北
51	SP2246	VB-D-60	B-1	142×100	40	ⅢB, SP2244, 2798, 2793と北
54	SP2250	IV-62	B-2	79×51	33	ⅢB
49	SP2251	VF-68	B-2	69×48	28	
49	SP2252	V-G-66	B-1	105×100	32	SK2741, SP1304と北
52	SP2254	VC-63	B-1	147×193	59	SK3243より北 SP1389と北
52	SP2255	VE-66	B-2	48×36	36	SK0114より北
49	SP2258	VP-66	B-2	96×67	38	SK0944, SK30416より北 北田調査区SP636より北
32	SP2259	VE-65	B-1	175×(88)	57	SP2665より北
52	SP2260	VE-65-66	B-1	144×113	43	SP2665より北
52-68	SP2261	VA-64	A	62×59 [24×(21)]	64	
52-64	SP2263	IV-63	B-2	57×46	29	SP1617と北
54	SP2264	IV-64	B-2	57×40	46	ⅢB, SP2262より北 SP1691と北
54	SP2265	IV-64	B-2	47×38	27	SP2264より北
54-55	SP2267	IV-64	B-2	46×38	45	ⅢB
54	SP2269	IV-62-63	B-2	52×42	21	
54	SP2271	IV-V-62	B-2	46×(41)	27	SP2141と北
54	SP2273	IV-V-61	B-1	150×(52)	29	ⅢB, SP2411, 2448, 2449と北
54	SP2275	IV-63	B-2	86×85	29	
54	SP2278	IV-63	B-2	57×47	20	SP1286と北
54	SP2280	IV-64	B-2	27×25	42	
54	SP2281	IV-64	B-2	28×25	38	
54	SP2290	IV-62	B-2	39×32	16	ⅢB, SP2671と北
54-74	SP2292	IV-63	B-1	112×101	64	ⅢB, SP2203, 2674と北
54	SP2293	IV-63	B-2	69×65	15	ⅢB, SP2292と北
52	SP2294	IV-62-63	B-2	70	32	SP1165, 1166, 1285, 2293と北

区	道番号	r(%)	分類	原横(m)		備考 (出土土器・新田關係など)
				表型幅 (柱間距)	深さ	
52	SP2295	IV-63	B-2	57×(43)	31	
52	SP2298	IV-63	B-2	90×89	56	ⅢB, SP1612と北
54	SP2302	IV-62	B-2	96×(50)	49	ⅢB, SP2320と北
54	SP2303	IV-62	B-2	96×67	52	ⅢB, SP2323と北
54	SP2316	IV-62	B-1	169×78	51	ⅢB, SP2353より北 SP2371と北
54	SP2317	IV-62	B-2	80×74	47	ⅢB
54-68	SP2318	IV-62-63	A	135×(12)	74	ⅢB, S1104(S008)より北
54	SP2320	IV-62	B-1	106×78	34	ⅢB, SP2302と北
54	SP2321	IV-64	B-2	62×(54)	29	S1104(S007)より北
52	SP2324	IV-63	B-2	94×88	67	ⅢB
51	SP2327	V-B-61	B-2	44×32	23	
51-68	SP2328	VB-61	A	38×32 [17×(8)]	24	ⅢB
51	SP2329	VB-61	B-2	27×25	10	
51	SP2330	VB-61	B-2	29×28	14	
63	SP2331	IV-J-60	B-2	99×58	19	
63	SP2332	IV-E-67-68	B-1	160×93	29	
54	SP2333	IV-62	B-2	82×(70)	30	ⅢB, SP2303と北
54	SP2334	IV-62	B-2	67×64	37	
54	SP2336	IV-62	B-2	93×(77)	25	SP2337と北
54	SP2337	IV-62	B-2	96×72	64	SP2336と北
51	SP2341	VC-60-61	B-2	76×(39)	33	ⅢB, SP2234より北
51	SP2342	VB-61	B-2	86×(39)	18	ⅢB
51-68	SP2343	VB-61	A	53×45 [29×(10)]	27	
51-69	SP2344	VC-61	A	152×111 [50×34]	86	ⅢB, SK3543より北 SP2345より北
51	SP2347	VA-61	B-2	39×29	27	
51	SP2348	VA-61	B-2	34×33	25	ⅢB
51	SP2350	VB-61	B-2	49×33	24	
54	SP2353	IV-62	B-2	84×(70)	68	ⅢB, SP2106より北
54	SP2354	IV-62	B-2	72×68	25	
51	SP2361	VB-61	B-2	34×27	28	ⅢB
51	SP2362	VA-63	B-2	41×40	35	ⅢB, SP2363より北 Ⅲ3より北
51	SP2363	VA-63	B-2	44×38	25	ⅢB, SP2362, Ⅲ3より北
51	SP2364	VA-61	B-2	64×47	35	ⅢB
51	SP2365	VC-61	B-2	48×41	41	
51	SP2366	VC-60	A	119×(84) [28×(19)]	27	ⅢB, SP2324より北
51	SP2368	VA-60-61	B-2	33×30	29	
51	SP2369	VA-61	B-2	71×64	13	ⅢB, Ⅲ3より北
52-69	SP2370	VB-63	A	171×64 [26×(15)]	70	
54	SP2371	IV-62	B-2	43×36	33	SP2336と北
54	SP2379	IV-62	B-2	47×(40)	16	S1106(S009)より北
47	SP2384	VN-55	B-2	57×40	25	
44	SP2387a	VN-54	B-2	51×(39)	27	SP1718, 2387bと北
44	SP2387b	VN-54	B-2	46×38	28	SP1718, 2387aと北
54	SP2391	IV-61	B-2	57×(56)	41	ⅢB, SP2413と北
51	SP2394	IV-64	B-2	78×100	43	ⅢB, SP2413と北
52	SP2396	IV-64	B-2	84×70	59	ⅢB, SP2413より北
55-74	SP2399	IV-64	B-1	174×(92)	67	ⅢB, S1104(S006, 3005, SP2310, 2447)より北
54	SP2400	IV-62	B-1	141×126	37	ⅢB
44	SP2401	VN-54-55	A	139×(87) [37×31]	54	ⅢB
44	SP2405	V-D-55	B-2	78×67	32	ⅢB, SP2386と北
44	SP2405	V-D-54	B-2	52×68	29	SP1798と北
44	SP2406	VQ-54	B-2	96×71	48	SP2203と北
54	SP2411	IV-61	A	50×(43) [25×(12)]	22	ⅢB, SP2273, 2291と北
55	SP2413	IV-64	B-2	42×39	50	ⅢB, SP2394と北
54	SP2414	IV-64	B-2	54×(49)	39	ⅢA, SP2396より北 SP2442と北
54	SP2417	IV-63	B-2	35×39	46	ⅢB, Ⅲ3より北
51	SP2420	IV-62-63	B-1	103×32	38	
48	SP2422	VG-60	B-2	78×69	29	
51	SP2423	VC-62	B-2	63×42	38	
52	SP2425	VC-62	B-2	35×26	19	SP1631と北
52	SP2426	VB-C-63	B-2	74×58	29	
52	SP2428	VB-63	B-2	59×58	19	
51	SP2429	VE-62	B-2	59×55	47	
52	SP2430	VB-63	B-2	75×63	28	
48	SP2431	VF-62	B-2	94×88	63	
51	SP2432	VB-61	B-2	91×77	43	
51	SP2433	VB-61	B-1	162×111	66	ⅢB, SP2432より北

砂子掘削機

国	機種名	Y×Y'	分類	原価(万円)		備考 (出土土器・新田關係など)
				其型輪 (台数)	深さ	
51	SP2434	V0-60-61	B-2	170	37	SP2038から履替 SP2433, 2435より旧 SP2432と不明
51	SP2435	V0-61	B-2	83×63	44	SP2434より新
41	SP2437	V0-54	B-2	43×35	17	S1099(SP2404)より新
44	SP2438	V0-55	B-2	80×53	38	S8881, S1111(SP2521) より新
54	SP2441	IV-63	B-2	81×70	18	S1104(S202, 08)より新
54	SP2442	IV-6-64	B-2	84×73	33	SP2441と不明
54	SP2444	IV-6-61	B-2	45×40	38	旧
54	SP2448	IV-61	B-2	43×36	29	SP2273と不明
54	SP2449	IV-61	B-2	32×45	44	SP2273と不明
54	SP2450	IV-61-62	B-2	64×53	50	旧
54-69	SP2451	IV-63	A	77×63 [26×12]	59	S1104(S200)より旧 SP2452より新
54	SP2452	IV-63	B-2	112×100	36	S1104(S200), SP2451より旧
54	SP2455	IV-61	B-2	55×54	37	SP2456より旧
54	SP2456	IV-61-62	B-2	63×53	42	SP2455より新
54-69	SP2457	IV-61	A	91×85 [36×18]	47	旧
54	SP2458	IV-61	B-2	44×37	34	旧
54	SP2459	IV-62	B-2	54×53	29	旧
48	SP2463	VP-54-55	B-2	68×33	28	SP2197と不明
44	SP2464	V0-54	B-2	107×68	43	SP1787と不明
44	SP2465	V0-54	B-2	40×45	23	旧
44	SP2469	VP-54	B-2	60×48	48	SP1869と不明
44	SP2470	VP-54	B-2	(54)	30	SP2198, 2483と不明
54	SP2473	IV-63	B-2	56×53	32	旧
54	SP2476	IV-61-62	B-2	56×41	34	SP2477と不明
54	SP2477	IV-61	B-2	59×46	33	SP2476と不明
54	SP2478	IV-61	B-2	47×43	38	旧
54	SP2479	IV-61	B-2	30×27	47	旧
57	SP2481	IV-63	B-2	74×61	23	旧
44	SP2483	VP-54	B-2	91×56	40	SP2198, 2470と不明
44	SP2486	VP-54	B-2	64×45	29	SP1712と不明
44	SP2487	V0-54	B-2	40×35	32	SP1797と不明
44	SP2488	V0-55	B-2	40×30	24	旧
44	SP2489	V0-55	B-2	45×40	39	旧
54	SP2493	IV-62	B-2	71×(44)	31	SP2059より旧
54	SP2495	IV-63	B-1	124×102	95	旧
54	SP2497	IV-61	B-2	27×20	29	旧
54	SP2498	IV-62	B-2	83×68	58	SP2199より旧
54	SP2499	IV-62	B-2	93×37	41	SP2198より旧
54-74	SP2500	IV-62	B-1	118×104	78	旧
47	SP2505	V0-54-55	B-2	73×66	34	旧
54	SP2506	IV-63	B-2	43×40	31	旧
54	SP2507	IV-63	B-2	51×37	13	旧
54	SP2508	IV-62	B-2	75×63	24	旧
54	SP2509	IV-62	B-2	76×66	32	旧
54	SP2510	IV-62	B-2	68×51	38	旧
54-55	SP2511	IV-64	B-2	61×52	42	旧
54-74	SP2518	IV-63-64	B-1	132×104	88	SP1104(S207)より旧
54-74	SP2519	IV-64	B-1	142×100	50	旧
48	SP2523	VB-61	B-2	50×40	49	旧
51	SP2524	VI-60	B-2	(52)	16	SP2244, 2366より旧
48	SP2525	VJ-61	B-2	48×(35)	24	SP2562より旧
48	SP2526	VI-61	B-2	46×42	30	旧
48	SP2527	VB-61	B-1	130×85	51	旧
48	SP2528	VI-61	B-2	39×36	39	旧
48	SP2529	V0-61	B-2	40×44	31	旧
50	SP2530	V0-52-53	B-2	76×68	24	旧
48	SP2531	VI-61	B-2	62×51	41	旧
48	SP2532	VJ-61	B-2	48×42	20	旧
51	SP2533	VB-61	B-2	53×41	14	旧
51	SP2534	VB-61	B-2	47×33	17	旧
48	SP2535	VI-61	B-2	59×49	27	旧
48-69	SP2538	VK-61	A	113×105 [20×18]	33	旧
51	SP2539	V0-60-61	B-1	104×63	51	旧
47	SP2540	VI-54	B-2	84×68	32	旧
54	SP2541	IV-6-63	B-2	72×62	48	SP2571より新 SP2573と不明
54	SP2542	IV-63	B-2	63×48	49	旧
54	SP2543	IV-63	B-2	44×32	24	旧
54	SP2544	IV-62	B-1	109×102	30	旧
54	SP2545	IV-61	B-2	45×40	23	旧
54	SP2547	IV-61	B-2	37×32	22	旧
54	SP2548	IV-61	B-2	(21)	48	旧
54	SP2549	IV-61	B-2	29×23	23	旧
54	SP2551	IV-61	B-2	48×(41)	41	SP2552と不明

国	機種名	Y×Y'	分類	原価(万円)		備考 (出土土器・新田關係など)
				其型輪 (台数)	深さ	
54	SP2552	IV-64	B-2	50×44	31	SP2553と不明
54	SP2554	IV-63	B-2	42×37	26	旧
50-69	SP2555	IV-63-64	A	74×61 [31×32]	52	旧
50-75	SP2556	IV-64	B-1	130×118	57	旧
50-75	SP2557	IV-64	B-1	112×94	61	SP2558より旧
50	SP2558	IV-64	B-2	61×(74)	54	SP2557より旧
57	SP2561	IV-53	B-2	30×28	6	旧
57	SP2562	IV-53	B-2	39×(25)	11	旧
50	SP2563	IV-56	B-2	59×46	46	旧
50	SP2564	IV-56	B-2	57×39	27	旧
54	SP2565	IV-62	B-2	58×48	28	旧
54	SP2566	IV-64	B-2	66×56	46	旧
54	SP2567	IV-63	B-2	48×44	39	SP2576より新
51	SP2568	VA-62	B-2	53×48	29	[C3]より旧
51	SP2569	VA-61	B-2	52×42	30	[C3]より旧
50	SP2570	IV-64	B-2	78×69	26	旧
54	SP2571	IV-63	B-2	65×(53)	43	SP2541より旧 SP2575と不明
54	SP2572	IV-63	B-2	48×37	32	旧
54	SP2573	IV-63	B-2	(39)	28	SP2541, 2571と不明
50	SP2574	IV-63-64	B-1	179×152	17	SP2636, 2657, 2658, 2665と不明
54	SP2575	IV-64	B-2	73×51	48	旧
54	SP2576	IV-63	B-2	42×36	33	SP2567より旧
54-75	SP2577	IV-5-63	B-1	126×104	29	旧
54	SP2578	IV-61	B-2	33×32	21	旧
50	SP2579	IV-63	B-2	41×(38)	29	旧
50	SP2580	IV-63	B-2	57×(52)	27	旧
57-58-75	SP2581	IV-0-55	B-1	167×153	61	旧
48	SP2582	VJ-61	B-2	74×(50)	33	SP2583より旧 SP2525より新
48-69	SP2583	VJ-61	A	82×62 [28×17]	34	SP2582より新
48	SP2584	V0-61	B-2	64×52	27	旧
48	SP2585	VK-62	B-2	38×35	18	旧
48	SP2586	VI-61-62	B-2	94×54	40	旧
48	SP2587	VI-60	B-2	58×48	42	旧
48	SP2588	VJ-61	B-2	59×(39)	33	SP2589と不明
48	SP2589	VJ-61	B-2	73×58	39	SP2588と不明
50	SP2590	V0-53	B-2	83×81	35	旧
50	SP2591	IV-55-56	B-2	53×49	29	旧
50	SP2592	IV-55	B-2	70×43	29	旧
50	SP2593	IV-55-56	B-2	57×50	45	旧
48	SP2594	VK-61	B-2	46×45	39	旧
48	SP2594	VK-61	B-2	62×48	34	旧
48	SP2599	VK-61	B-2	82×76	35	旧
48	SP2600	VI-61	B-2	60×52	31	旧
48	SP2601	VH-61	B-2	74×53	36	旧
48	SP2602	VK-61	B-2	84×73	4	旧
51-69	SP2603	VE-60	A	144×138 [25×34]	70	SP2427より履替
48-69	SP2604	VJ-61	A	82×75 [28×17]	44	旧
48	SP2607	VI-61	B-1	107×70	28	旧
45-69	SP2608	VK-61	A	47×41 [22×(15)]	27	旧
48	SP2609	VK-61	B-2	75×62	46	旧
45-69	SP2610	VP-61	A	81×56 [14×(7)]	47	旧
50	SP2611	IV-64	B-2	98×91	53	SP1503より履替
54	SP2612	IV-62	B-2	50×46	42	旧
50	SP2613	IV-63	B-2	61×58	56	SP2579と不明
50	SP2614	IV-64	B-2	67×54	33	旧
54	SP2616	IV-64	B-2	74×48	36	旧
50-75	SP2620	IV-63	B-1	136×184	57	旧
45	SP2623	VI-61	B-2	55×32	25	旧
51	SP2624	VP-60	A	164×(22) [49×20]	71	SP2694と不明
45	SP2626	VI-61	B-2	65×(48)	36	SP1389より旧
45	SP2627	VK-62	B-2	75×(41)	39	SP1055より旧
45	SP2628	VK-63	B-2	31×30	32	旧
51	SP2629	VE-60	B-2	40×33	36	旧
45	SP2630	VK-62	B-2	50×48	29	旧
57	SP2633	IV-6-54	B-2	98×78	18	S1102(S218)より新
57	SP2632	IV-54	B-2	49×(36)	38	旧
50	SP2634	VP-53	B-2	38×32	27	旧
45	SP2635	VK-62-63	B-1	106×(78)	40	SP1086より旧
45	SP2637	VI-61	B-1	102×74	27	旧

区	道標名	方向	原横(m)		備考 (出土土留・新旧関係など)
			長尺側 (旧道標)	短尺側 (新道標)	
45	SP2638	IV-A-61	2	47×39	16
45	SP2639	V-B-62	2	73×(30)	30
45	SP2640	VF-Q-62	2	77	45
58-75	SP2642	IV-B-59	1	114×111	33 ⅡB
59-75	SP2648	IV-A-65	1	169×152	51 ⅡB
59	SP2649	IV-B-65	2	29×25	49 ⅡB
54	SP2650	IV-B-64	2	30×39	37
59-75	SP2651	IV-B-64	1	178×144	80 ⅡB
59	SP2652	IV-B-63	2	64×(53)	21 ⅡB
59	SP2653	IV-B-63	2	46×37	37 ⅡB
59	SP2656	IV-B-63	2	38×(27)	33 ⅡB
59	SP2657	IV-B-63	2	63×49	49 ⅡB
59	SP2658	IV-B-64	2	43×(26)	34 ⅡB
59	SP2659	IV-B-63	2	48×35	18 ⅡB
54	SP2660	IV-B-63	2	34×32	30
54	SP2661	IV-B-63	2	33×29	21 ⅡB
54	SP2662	IV-B-63	2	42×37	35 ⅡB
54	SP2664	IV-B-63	2	52×53	55 ⅡB
59	SP2665	IV-B-63	2	33×(34)	28 ⅡB
54	SP2670	IV-B-62	2	63×49	54 ⅡB
54	SP2671	IV-B-62	2	83×62	37 ⅡB
54	SP2674	IV-B-63	2	44×24	42 ⅡB
58	SP2676	IV-B-58	2	78×67	34
48	SP2677	VE-60-61	2	65×52	30
45	SP2678	V-Q-61	2	58×46	53
45	SP2679	V-Q-63	2	65×(42)	42 ⅡB
45-69	SP2682	V-B-61	A	105×(76)	52 ⅡB
45	SP2683	V-B-61	2	89×(42)	34 ⅡB
45	SP2684	V-F-62	2	70×62	23
51	SP2685	V-D-60	2	52×41	20
45	SP2686	V-Q-62	2	71×(38)	37 ⅡB
45	SP2687	V-B-64	2	53×45	38 ⅡB
45	SP2688	V-F-62	2	96×75	34 ⅡB
45	SP2689	V-Q-61	1	127×90	35 ⅡB
51	SP2690	V-E-61	2	35×31	29
45	SP2691	V-B-62	2	81×60	28 ⅡB
46	SP2692	VF-64	2	55×41	40 ⅡB
46	SP2693	VF-64	2	59×47	36 ⅡB
51	SP2694	V-B-60	1	109×(40)	40 ⅡB
51-75	SP2695	VE-60	1	124×98	75 ⅡB
57	SP2696	IV-F-54	2	31×28	29
57	SP2697	IV-F-54	2	30×25	15
57	SP2698	IV-B-53	2	36×25	27 ⅡB
57	SP2699	IV-F-55	2	25×(20)	7 ⅡB
57	SP2700	IV-F-55	2	38×35	31 ⅡB
58	SP2701	IV-F-57	2	70×(63)	31 ⅡB
54	SP2703	IV-B-62	2	37×30	32 ⅡB
59	SP2708	IV-F-65	2	51×33	35 ⅡB
54	SP2709	IV-B-63	2	27×21	18 ⅡB
59	SP2710	IV-B-64	2	98×63	34 ⅡB
51-75	SP2711	VE-60	1	146×(34)	37 ⅡB
57	SP2712	V-F-66	2	78×(59)	29 ⅡB
45-69	SP2713	VF-63	A	88×(71)	50 ⅡB
46	SP2714	V-B-64-65	2	55×44	35 ⅡB
46	SP2715	V-B-64	2	49×42	19 ⅡB
57	SP2716	IV-B-52	2	46×38	38 ⅡB
57	SP2717	IV-B-52	2	50×42	49 ⅡB
57	SP2718	IV-B-52	2	38×31	21 ⅡB
57	SP2719	IV-B-52	2	60×50	30 ⅡB
57	SP2720	IV-B-53	2	29×24	16 ⅡB
57	SP2721	IV-B-53	2	80×(32)	23 ⅡB
57	SP2722	IV-B-53	2	47×(14)	19 ⅡB
57	SP2723	IV-B-53	2	61×58	14 ⅡB
57	SP2724	IV-B-52	2	73×66	22 ⅡB
57	SP2727	IV-B-53	2	38×(28)	25 ⅡB
57	SP2728	IV-B-53	2	45×39	35 ⅡB
57	SP2729	IV-B-53	2	39×36	15 ⅡB
57	SP2730	IV-B-53	2	59×49	40 ⅡB
57	SP2731	IV-B-54	2	42×37	42 ⅡB
57	SP2733	IV-B-53	2	88×59	23 ⅡB
57	SP2735	IV-B-53	2	40×32	20 ⅡB
57	SP2738	IV-B-53	2	32×30	20 ⅡB
57	SP2737	IV-B-53	2	44×(53)	19 ⅡB
57	SP2738	IV-B-53	2	86×52	28 ⅡB

区	道標名	方向	原横(m)		備考 (出土土留・新旧関係など)
			長尺側 (旧道標)	短尺側 (新道標)	
57	SP2739	IV-B-53	2	50×46	21 ⅡB
63	SP2740	IV-B-54	2	41×35	27 ⅡB
63	SP2741	IV-L-54	2	52×43	33 ⅡB
57	SP2744	IV-B-54	2	84×66	25 ⅡB
57	SP2745	IV-B-53	2	53×(47)	23 ⅡB
58	SP2748	IV-L-56	2	44×43	28 ⅡB
58-76	SP2749	IV-B-59	1	191×130	43 ⅡB
57	SP2750	IV-B-54	2	48×45	41 ⅡB
58-62	SP2751	IV-B-58	2	87×(82)	63 ⅡB
58	SP2752	IV-B-58	2	65×57	22 ⅡB
58	SP2753	IV-B-55	A	23×21	14 ⅡB
58	SP2754	IV-B-56	2	39×24	27 ⅡB
46	SP2755	V-B-66	2	86×(59)	52 ⅡB
46	SP2756	VF-61	2	50×44	42 ⅡB
46-76	SP2757	VF-Q-65	1	154×106	47 ⅡB
46	SP2758	VF-65	1	130×(106)	44 ⅡB
51	SP2759	V-B-68	2	79×45	15 ⅡB
54	SP2763	IV-B-63	2	47×33	44 ⅡB
59	SP2764	IV-B-63	2	39×35	34 ⅡB
59	SP2765	IV-B-64	2	32×28	17 ⅡB
59	SP2766	IV-B-64	2	30×27	38 ⅡB
59	SP2767	IV-B-64	2	46×39	38 ⅡB
54	SP2768	IV-B-63	2	33×30	40 ⅡB
54	SP2769	IV-B-63	2	42×40	40 ⅡB
54	SP2770	IV-B-63	2	38×37	41 ⅡB
57	SP2771	IV-B-62	2	37×34	18 ⅡB
58	SP2773	IV-F-Q-58	2	74×49	33 ⅡB
58	SP2774	IV-B-62	2	54×52	20 ⅡB
58	SP2775	IV-F-57	2	49×28	29 ⅡB
57	SP2776	IV-F-54	2	33×34	14 ⅡB
62	SP2777	IV-L-56	2	62×(60)	23 ⅡB
54	SP2778	IV-B-62	2	57×51	38 ⅡB
54	SP2779	IV-B-63	2	52×44	37 ⅡB
54	SP2780	IV-B-63	2	79×59	36 ⅡB
54	SP2781	IV-B-62	2	42×36	31 ⅡB
59	SP2782	IV-B-65	2	85×73	28 ⅡB
59	SP2784	IV-B-63	2	69×57	34 ⅡB
58	SP2785	IV-B-62	2	36×33	27 ⅡB
59	SP2786	IV-B-63	2	29×28	15 ⅡB
54-59	SP2787	IV-B-63	2	86×(53)	44 ⅡB
59	SP2788	IV-B-63	2	51×(50)	45 ⅡB
59	SP2789	IV-B-63	2	50×43	40 ⅡB
59	SP2790	IV-B-63	2	30×49	31 ⅡB
57-58	SP2791	IV-B-55	2	67×51	20 ⅡB
57	SP2792	IV-B-55	2	61×37	29 ⅡB
51	SP2793	VC-D-60	1	106×(94)	58 ⅡB
51-75	SP2794	V-D-60	1	153×(77)	63 ⅡB
57	SP2795	VF-63	2	54×51	34 ⅡB
57	SP2796	IV-B-55	2	48×(47)	23 ⅡB
57	SP2797	IV-B-55	2	56×48	23 ⅡB
57	SP2798	IV-B-55	2	97×82	38 ⅡB
57	SP2799	IV-B-55	2	61×37	27 ⅡB
57	SP2806	IV-F-54	2	28×(20)	19 ⅡB
57	SP2808	IV-F-55	2	37×32	24 ⅡB
57	SP2809	IV-F-55	2	37×58	23 ⅡB
57	SP2810	IV-B-54	2	35×33	34 ⅡB
57	SP2811	IV-B-55	2	63×(53)	48 ⅡB
57	SP2812	IV-F-54	2	74×44	47 ⅡB
57	SP2813	IV-B-53	2	73×61	39 ⅡB
57	SP2814	IV-B-54	2	42×36	36 ⅡB
57	SP2815	IV-B-54	2	42×41	34 ⅡB
58	SP2817	IV-B-55	2	50×33	28 ⅡB
57	SP2818	IV-B-63	2	52×(20)	29 ⅡB
58	SP2819	IV-F-Q-63	2	96×47	43 ⅡB
54	SP2820	IV-B-62	2	37×(25)	12 ⅡB
54	SP2821	IV-B-62	2	39×34	23 ⅡB
59	SP2822	IV-B-53	2	28×36	34 ⅡB
59	SP2823	IV-B-64	2	46×43	30 ⅡB
59	SP2824	IV-B-64	2	37×34	14 ⅡB
59	SP2825	IV-B-64	2	41×49	39 ⅡB
59	SP2826	IV-B-64-65	2	97×(72)	39 ⅡB
63	SP2827	IV-B-66	2	94×67	52 ⅡB
54	SP2828	IV-B-64	2	37×30	28 ⅡB
54	SP2829	IV-B-64	2	29×22	22 ⅡB
54	SP2830	IV-B-62	2	53×38	32 ⅡB
58	SP2831	IV-B-55	A	42×39	32 ⅡB

砂子掘道跡IV

区	道標名	方向	原積(m)		備考 (出土土器・新旧関係など)
			表長軸 (目録値)	深さ	
58	SP2832	IV-N-56	B-2	29×25	11
59-76	SP2833	IV-N-64	B-1	114×179	55 ⅢB1 SP2862土器目
59-76	SP2834	IV-N-65	B-1	181×173	60 ⅢB SP2782土器目
59	SP2835	IV-N-63	B-2	52×51	62
57	SP2836	IV-P-52	B-2	26×23	12
57	SP2837	IV-P-53	B-2	47×(40)	10
57	SP2838	IV-N-54	B-2	95×88	40
58	SP2839	IV-N-55	B-2	26×18	14
57	SP2840	IV-N-53	B-2	42	11
57	SP2841	IV-N-53	B-2	56×120	17 SP2722, 2724, 2841土器目
76	SP2842	IV-N-58	B-2	62×46	31 SP2721, 2722, 2840土器目
58	SP2843	IV-N-58	B-2	61×45	17
58	SP2844	IV-N-55	B-2	41×39	47
58	SP2845	IV-N-55	B-2	73×62	37 SP2791土器目
57	SP2846	IV-N-55	B-2	50×23	16
57	SP2847	IV-P-52	B-2	30×23	18
62	SP2848	IV-I-57	B-2	40×38	23
57	SP2849	IV-N-54	B-2	41×31	14 SP2814土器目
66	SP2850	IV-P-71	B-2	39×(25)	29
65	SP2851	IV-P-71	B-2	78×(25)	21 ⅢB SP2927土器目
66-76	SP2852	IV-F-71	B-2	160×114	28 ⅢB SP2901土器目
63-76	SP2853	IV-I-68	B-1	204×184	76 ⅢB SP2902土器目
65	SP2854	IV-E-68	B-2	74×60	46
65	SP2855	IV-E-69	B-2	61×52	55
59	SP2856	IV-E-63	B-2	40×38	47
59	SP2857	IV-E-63	B-2	27×26	19
59	SP2858	IV-P-63	B-2	43×37	24
59	SP2859	IV-P-64	B-2	44×43	48
59	SP2900	IV-P-64	B-2	37×36	30
59	SP2861	IV-N-65	B-2	48×44	46
59	SP2862	IV-N-65	B-2	38×120	38 SP2833土器目
63	SP2863	IV-I-65	B-2	52×50	50
63	SP2864	IV-I-66	B-2	46×36	30 SP2865土器目
63	SP2865	IV-I-66	B-2	53×51	38 SP2864土器目
63	SP2866	IV-E-66	B-2	36×32	31
59-76	SP2867	IV-P-64-65	B-1	101×(97)	24 ⅢG
54	SP2868	IV-N-63	B-2	65×169	30
54	SP2869	IV-N-63	B-2	58×36	21
59-69	SP2870	IV-N-64	A	48×44	59 ⅢB1 (29×17)
59	SP2871	IV-N-65	B-2	55×45	43
59	SP2872	IV-N-65	B-2	29×27	22
59	SP2873	IV-N-65	B-2	35×31	46
59	SP2874	IV-N-64	B-2	36×32	23
59	SP2875	IV-P-64	B-2	39×36	34 ⅢC
59	SP2876	IV-N-64	B-2	35×32	37 SP2877土器目
59	SP2877	IV-N-64	B-2	29×(25)	25 SP2876土器目
59	SP2878	IV-N-64	B-2	33×(21)	40 ⅢB SP2811土器目
54	SP2879	IV-E-62	B-2	57×45	40 ⅢC
63	SP2880	IV-I-68	B-2	48×63	62
62	SP2883	IV-N-58	B-2	79×78	36
62	SP2885	IV-I-57	B-2	37×36	31
62	SP2886	IV-N-58	B-2	54×43	19
57	SP2887	IV-N-53	B-2	22×21	15
57	SP2888	IV-N-54	B-2	25×22	18
57	SP2889	IV-N-54	B-2	37×35	18
58	SP2890	IV-E-57-58	B-2	54×42	21
58	SP2891	IV-N-57	B-2	30×23	10
58	SP2892	IV-N-57	B-2	22×20	25
62	SP2893	IV-E-57	B-2	53×31	38 SP2894土器目
62	SP2894	IV-E-57	B-2	61×46	21 SP2893土器目
57	SP2895	IV-P-52	B-2	55×48	28
58	SP2896	IV-I-57	B-2	45×32	20
58	SP2897	IV-I-57	B-2	41×36	31
65	SP2898	IV-E-70	B-2	98×(90)	30
65	SP2899	IV-P-67	B-2	(80)	30
65	SP2900	IV-P-67	B-2	(29)	9
66-76	SP2901	IV-E-70-71	B-1	118×(110)	40 SP2852土器目
63	SP2902	IV-I-68	B-1	101×71	35 SP2853, 2903土器目
63-76	SP2903	IV-I-68	B-1	211×192	96 ⅢB SP2902土器目
63	SP2904	IV-I-68	B-1	113×99	60 SP2905土器目
63	SP2905	IV-I-68	B-2	95×75	32 SP2904土器目
62	SP2906	IV-N-57	B-2	45×28	21
62	SP2907	IV-N-57	B-2	59×37	31
64	SP2908	IV-G-70	B-2	78×75	36
64	SP2909	IV-B-69	B-2	59×54	33
64	SP2910	IV-B-69	B-2	61×50	33
58	SP2911	IV-N-58	B-2	52×39	39
57	SP2912	IV-N-55	B-2	43×36	19

区	道標名	方向	原積(m)		備考 (出土土器・新旧関係など)
			表長軸 (目録値)	深さ	
58	SP2913	IV-N-56	B-2	37×34	22
62	SP2914	IV-I-57	B-2	36×33	19
66	SP2915	IV-C-72	B-2	48×45	45 ⅢB
63	SP2916	IV-B-66	B-2	58×53	34
63	SP2917	IV-G-66	B-2	55×46	32
63	SP2918	IV-I-68	B-2	84×80	56
66	SP2919	IV-D-72	B-2	(27)	21
66	SP2920	IV-C-72	B-2	35×29	22
58	SP2921	IV-N-58	B-2	33×25	22
58	SP2922	IV-N-58	B-2	47×45	37 ⅢB
58	SP2923	IV-P-55-56	B-2	49×37	37
58	SP2924	IV-P-55	B-2	35×32	40
66	SP2926	IV-D-71	B-2	62×54	28
66	SP2927	IV-D-71	B-2	57×43	14 SP2853土器目
66	SP2928	IV-C-71	B-2	55×46	31
66	SP2929	IV-C-71	B-2	38×34	12
66	SP2930	IV-C-70	B-2	49×37	15
66	SP2931	IV-N-70	B-2	37×34	18
66	SP2932	IV-N-70	B-2	32×30	17
62	SP2933	IV-I-57	B-2	33×(14)	21
66	SP2934	IV-C-72	B-2	33×30	24
58	SP2935	IV-N-57	B-2	23×18	13
58	SP2936	IV-N-57	B-2	28×24	18
63	SP2938	IV-I-68	B-2	75×67	38
63	SP2939	IV-I-68	B-2	67×63	40
63	SP2940	IV-I-67-68	B-2	58×51	34
58	SP2941	IV-O-56-57	B-2	55×39	36
57	SP2943	IV-G-55	B-2	38×35	35
43	SP2944	IV-G-55	B-2	60×47	35
43	SP2945	IV-G-55	B-2	72×59	38
43	SP2946	IV-G-54	B-2	67×63	48
43	SP2947	IV-G-55	B-2	85×74	77
43	SP2948	IV-G-55	B-1	163×103	103
43	SP2949	IV-G-55	B-2	52×29	33
43	SP2950	IV-G-55	B-2	38×33	30
43	SP2951	IV-G-54	B-2	57×48	32
65	SP3001	ⅢV-60	B-2	25×23	19
65	SP3002	ⅢV-60	B-2	27×23	27
65	SP3003	ⅢV-60	B-2	26×25	11
65	SP3004	ⅢV-32	B-1	149×169	64 ⅢB
61-77	SP3005	ⅢV-52-53	B-1	128×112	53
62	SP3006	ⅢV-56	B-2	50×44	26
62	SP3007	ⅢV-56	B-2	40×36	25
62	SP3008	ⅢV-55	B-2	37×39	30
62	SP3009	ⅢV-57	B-2	47×41	35
62	SP3010	ⅢV-57	B-2	46×43	36
62	SP3011	ⅢV-57	B-2	48×43	27
61	SP3012	ⅢV-52	B-1	192×(80)	24
61	SP3013	ⅢV-51	B-2	97×(90)	30
57	SP3014	ⅢV-52	B-2	79×66	26
43	SP3015	ⅢV-53	B-2	72×71	43
43	SP3016	ⅢV-53	B-2	71×53	45
62-77	SP3017	ⅢV-52	B-1	149×146	47 ⅢB
62-77	SP3018	ⅢV-52	B-1	135×(114)	40
62	SP3019	ⅢV-58	B-2	61×49	38
62	SP3020	ⅢV-58	B-2	87×75	32
62	SP3021	ⅢV-58	B-2	63×50	47
62	SP3022	ⅢV-57	B-2	43×39	32
61	SP3023	ⅢV-53-54	B-2	39×29	24
62	SP3024	ⅢV-58	B-2	36×34	36
62-77	SP3025	ⅢV-57-58	B-1	259×246	87 ⅢB
53	SP3026	V-B-68	B-2	68×59	30
123-124	RSF01	ⅢV-56	B-1	196×166	70 ⅢB
123-124	RSF02	ⅢV-53	B-1	129×106	55
123-124	RSF03	ⅢV-53	B-1	113×(107)	50
123	RSF04	ⅢV-52	B-2	75×49	40 ⅢB
123-124	RSF05	ⅢV-52	B-1	117×106	38 ⅢB
123-124	RSF07	ⅢV-53	B-1	136×139	79 ⅢB (RS10土器目)
122	RSF08	ⅢV-53	B-2	69×41	62
123	RSF09	ⅢV-53	B-2	64×51	60
127	CSF01	ⅢB-102	B-1	130×100	23

土器観察表

調査号	出土位置	層位	器種	部位	分類	文様等の属性	備考
6-1	S1102 (SP2594)	覆土	深鉢形	胴～底部	Ⅱ群Ⅱ1類	沈線(平行沈線、弧状L線)、L充墳	直径4.7cm・器高[6.4]cm
10-1	S1104 (SP2647)	1層	壺形	胴部	Ⅱ群Ⅱ1類	沈線(人組状沈文)	
10-2	S1104 (SN109)	覆土 露出面	深鉢形	口縁部	Ⅱ群Ⅱ類	大歯状口縁、口唇部肥厚、刻目帯	
10-3	S1104 (SP2760)	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅱ群Ⅱ類	口唇部肥厚、刻目帯	
10-4	S1104 (SP2761)	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅱ群Ⅱ類	口唇部肥厚、沈線、0段多条L	
10-5	S1104 (SN109)	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅱ群Ⅱ類	口唇部肥厚、地文縄文	露出面粘
10-6	S1104 (SP2284)	覆土	壺形	口縁部	Ⅱ群Ⅱ1・2類	口縁突起、沈線、L・H・羽状、半内籠状、内面??・L?、内籠接合	口径19.0cm・器高[6.3]cm
10-7	S1104 (SP2760)	覆土	壺形	胴部	Ⅱ群Ⅱ類	L?・H?状無縁起線、内面??、内籠接合	外面黄色顔料
10-8	S1104 (SN109)	露出面	深鉢形	胴部	Ⅱ群Ⅱ2・3類	貼線、沈線、L充墳	
10-9	S1104 (SN109)	砂体	深鉢形	胴～底部	Ⅱ群Ⅱ類	地文0段多条L	直径12.0cm・器高[19.8]cm、P-1、二次焼熟跡
10-10	S1104 (SR105)	砂体	深鉢形	胴～底部	Ⅱ群Ⅱ類	地文0段多条L・H・羽状	直径19.0cm・器高[21.3]cm、P-1、二次焼熟跡
14-1	S1105 (SP2112)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅱ群Ⅱ1類	沈線、地文L	
14-2	S1105 (SP1696)	底面	深鉢形	口縁部	Ⅱ群Ⅱ1類	沈線	
14-3	S1105 (SP1470)	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅱ群Ⅱ1類	折り出し状口縁、沈線	
14-4	S1105 (SP2415)	底面	深鉢形	胴部	Ⅱ群Ⅱ1類	沈線、縄帯	P-5
14-5	S1105 (SP1163)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅱ群Ⅱ1類	沈線(弧状文)、L充墳	
14-6	S1105 (SP1160)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅱ群Ⅱ1類	沈線	
14-7	S1105 (SP1618)	覆土	浅鉢形	底部	Ⅱ群Ⅱ1類	高台状底部、沈線	
14-8	S1105 (SP2114)	覆土	壺形	口縁～胴部	Ⅱ群Ⅱ1類	歯状口縁L単位)、沈線、縄帯	口径13.0cm・器高[2.0]cm、 内外面黄色顔料
14-9	S1105 (SN107)	覆土	壺形	胴部	Ⅱ群Ⅱ1類	沈線、内面??	
14-10	S1105 (SP1164)	覆土	壺形	胴部	Ⅱ群Ⅱ1類	沈線	
15-1	S1106 (SP2443)	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅱ群Ⅱ1類	口唇部の千代、沈線	
15-2	S1106 (SN869)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅱ群Ⅱ1類	沈線	
15-3	S1106 (SN165)	1層	深鉢形	胴部	Ⅱ群Ⅱ類	網目状褐色文(単純網条体第1類)	
16-1	S1108 (SN118)	砂体	深鉢形	口縁～胴部	Ⅱ群Ⅱ類	平口縁、無文	口径22.5cm・器高[14.0]cm、P-4、 二次焼熟跡
16-2	S1108 (SN10)	1層	深鉢形	胴部	Ⅱ群Ⅱ1類	沈線、L充墳、内面??	
16-3	S1108 (SP1662)	底面	深鉢形	胴部	Ⅱ群Ⅱ1類	沈線、斜突、L充墳	P-1
17-1	S1110 (SP2502)	1層	壺形	底部	Ⅱ群Ⅱ類	上?底状底部、内面??	直径3.0cm・器高[2.2]cm
17-2	S1111 (SP2390)	覆土	壺形	胴～底部	Ⅱ群Ⅱ類	地文L、内面??	
17-3	S1111 (SP2385)	1層	柱口	胴部	Ⅱ群Ⅱ2類	貼線、沈線、L充墳、半内籠状、内面指図三・??	P-1
18-1	S1112 (SP2503)	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅱ群Ⅱ類	山形口縁、口唇部肥厚、刻目帯	
18-2	S1112 (SP2503)	覆土	壺形	胴部	Ⅱ群Ⅱ1類	貼線、沈線(木葉状人組文)、L充墳	
18-3	S1112 (SP2503)	覆土	壺形	胴部	Ⅱ群Ⅱ類	貼線、沈線、0段多条L充墳、半内籠状、内面??	
18-4	S1112 (SP2503)	1層	深鉢形	口縁部	Ⅱ群Ⅱ類	口唇部内傾、無文	
18-5	S1112 (SP2503)	1層	深鉢形	口縁部	Ⅱ群Ⅱ類	地文L	
18-6	S1113 (SP1829)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅱ群Ⅱ1・2類	口唇部内傾、沈線、L充墳、半内籠状	
19-1	S1114 (SP1224)	1層	深鉢形	口縁部	Ⅱ群Ⅱ類	口唇部肥厚、刻目帯	
19-2	S1114 (SP1224)	覆土	壺形	胴部	Ⅱ群Ⅱ2類	沈線(摩損状文)、0段多条L・H・羽状、半内籠状	
19-3	S1114 (SP1224)	1層	壺形	胴部	Ⅱ群Ⅱ2類	貼線、沈線(摩損状文)、L・H・0段多条L・H・羽状、内面指図三・??、内籠接合	
19-4	S1114 (SP1224)	覆土	鉢形	口縁～底部	Ⅱ群Ⅱ2類	口縁突起(L単位)、口唇部内傾、沈線、0段多条L充墳、半内籠状	口径(10.2)cm・直径4.1cm・器高6.4cm
19-5	S1114 (SP1224)	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅱ群Ⅱ2類	口縁突起、貼線、沈線、L	
19-6	S1114 (SP1224)	2層	壺形	胴部	Ⅱ群Ⅱ類	横状肥厚、沈線、0段多条L充墳、内面??	

砂子搬送路IV

図番号	出土位置	層位	基種	部位	分類	文様等の属性	備考
19-7	S114 (SP122)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅱ群F2-3類	貼輪,沈線,柳葉状条線充填	
19-8	S114 (SP122)	2層	深鉢形	口縁部	Ⅱ群F2-3類	口唇部内縁,貼輪,沈線,0段多条E	
19-9	S114 (SP122)	1層	鉢形	口縁~底部	Ⅱ群G類	口縁突起,口唇部内縁,LR-R形羽状	口径(16.0)cm・底径6.4cm・器高12.0cm P-1,粗砂粒混入
20-1	S115 (SP122)	覆土	浅鉢形	口縁部	Ⅱ群H1類	沈線(半行沈線,弧状区画),LR充填	
20-2	S115 (SP122)	2層	浅鉢形	口縁~胴部	Ⅱ群H1類	沈線(横状・斜状沈線,内面?)・L?	
20-3	S115 (SP122)	2層	深鉢形	口縁部	Ⅱ群H類	大波状口縁,口唇部肥厚,刻目帯	
20-4	S115 (SP122)	2層	浅鉢形	口縁部	Ⅱ群H類	山形口縁,口唇部肥厚,刻目帯	
20-5	S115 (SP122)	覆土 上層	深鉢形	口縁部	Ⅱ群H類	口唇部肥厚,刻目帯,0段多条E	
20-6	S115 (SP122)	覆土 上層	深鉢形	口縁部	Ⅱ群H類	口縁突起,口唇部内縁,沈線,LR-R形羽状	
20-7	S115 (SP122)	覆土	浅鉢形	口縁部	Ⅱ群F2類	口縁突起欠損,口唇部肥厚,貼輪,沈線,LR充填	
20-8	S115 (SP122)	2層	碗形	胴部	Ⅱ群2類	沈線(柳葉状文),0段多条LR-R形羽状,内面??	
20-9	S115 (SP122)	覆土	碗形	胴部	Ⅱ群2類	沈線(柳葉状文),0段多条LR-R形羽状,内面??	粗砂粒混入
20-10	S115 (SP122)	2層	深鉢形	口縁部	Ⅱ群H類	口唇部内縁,沈線,0段多条LR-R充填,半内面状	
20-11	S115 (SP122) F1101	1層	深鉢形	口縁部	Ⅱ群H類	沈線,LR充填	
20-12	S115 (SP122)	2層	深鉢形	胴部	Ⅱ群H類	沈線,LR-R充填,半内面状,内面??・L?	
20-13	S115 (SP122)	1層	深鉢形	口縁部	Ⅱ群F2類	口縁突起,貼輪,沈線(木葉状人頭文),LR-R充填,半内面状	
20-14	S115 (SP122)	2層	深鉢形	胴部	Ⅱ群F2類	貼輪,沈線,柳葉状条線充填,半内面状	
20-15	S115 (SP122)	2層	深鉢形	口縁部	Ⅱ群G類	口唇部肥厚,地文0段多条LR-R形羽状	
20-16	S115 (SP122)	1層	深鉢形	口縁部	Ⅱ群G類	口唇部肥厚,0段多条LR-R形羽状	
20-17	S115 (SP122)	2層	碗形	底部	Ⅱ群G類	上?底状底部	口径2.6cm・器高[1.6]cm
20-18	S115 (SP122)	覆土 上層	深鉢形	口縁部	Ⅱ群G類	口縁突起,地文LR,内面??	
20-19	S115 (SP122)	2層	深鉢形	口縁部	Ⅱ群G類	口唇部肥厚,地文0段多条E	
20-20	S115 (SP122)	2層	深鉢形	口縁部	Ⅱ群G類	口唇部肥厚,地文0段多条E	
23-1	S116 (SP165)	3層	深鉢形	胴部	Ⅱ群H1類	沈線,LR充填	P-1
23-2	S116 (SP123)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅱ群F1-2類	沈線,0段多条LR-R形羽状,半内面状	
23-3	S116 (SP123)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅱ群F1-2類	沈線,0段多条LR-R形羽状,半内面状	
23-4	S116 (SP124)	前方 覆土	台付?	胴部	Ⅱ群F1-2類	沈線(格子状文),0段多条E	
23-5	S116 (SP127)	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅱ群H類	沈線,0段多条LR充填,半内面状	
23-6	S116 (SP127)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅱ群H類	沈線,LR充填,半内面状,内面??	
24-1	S117-118 (SP122)	覆土	浅鉢形	口縁部	Ⅱ群H1類	波状口縁,沈線,縁帯	
24-2	S117-118 (SP165)	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅱ群H1類	波状口縁,折り返し状口縁,沈線,縁帯,刻突	
24-3	S117-118 (SP195)	覆土	碗形	胴部	Ⅱ群F1-2類	沈線,LR-R形羽状,内面指環状+H?	
24-4	S117-118 (SP194)	覆土	注口	注口部	Ⅱ群F2類	沈線,LR充填,半内面状	縦断面にエアフット付着
24-5	S117-118 (SP169)	柱根 覆土	浅鉢形	口縁部	Ⅱ群F2類	口縁突起,貼輪,地文LR?	粗砂粒混入,器面摩耗
24-6	S117-118 (SP194)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅱ群G類	地文0段多条LR-R形羽状	
36-1	SR21 (SP106)	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅱ群H1類	口唇部刻み,折り返し状口縁,沈線	
36-2	SR21 (SP139)	覆土	浅鉢形	胴部	Ⅱ群H1類	柳葉状沈線	
36-3	SR21 (SP138)	覆土	深鉢形	胴部	Ⅱ群C類	網目状地文(0)	
36-4	SR22 (SP165)	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅱ群H1類	沈線(波頭状文),LR充填	
36-5	SR22 (SP165)	覆土	深鉢形	口縁部	Ⅱ群H1類	沈線,LR充填	
36-6	SR22 (SP165)	覆土	浅鉢形	口縁部	Ⅱ群H1類	沈線	
36-7	SR22 (SP164)	前方 覆土	深鉢形	口縁部	Ⅱ群H1類	沈線	

図番号	出土位置	層位	器種	部位	分類	文様等の属性	備考
36-8	SR22 (SP1085)	覆土	深鉢形	口縁部	群別1類	折り返し状口縁, 柳葉状沈線	
36-9	SR22 (SP1348)	覆土	深鉢形	胴部	群別1類	柳葉状沈線	
36-10	SR22 (SP1054)	覆土	深鉢形	胴部	群別1類	沈線, 土丸充填	
36-11	SR22 (SP1095)	覆土	深鉢形	口縁部	群別1類	沈線, 網目状捺文(文9)	
36-12	SR22 (SP1054)	覆土	深鉢形	胴部	群別1類	甲輪筋全体(器1)	
36-16	SR23 (SP1078)	覆土	深鉢形	口縁部	群別1・2類	口縁突起, 沈線, 土丸充填, 内面??・13'±	粗砂粒混入
36-18	SR24 (SP1076)	覆土	深鉢形	胴部	群別1類	沈線, 0段多趾丸形, 半内輪状	
36-20	SR25 (SP1942)	覆土	深鉢形	胴部	群別1類	沈線, 土丸充填, 内面??・13'±	粗砂粒混入
36-23	SR26 (SP1037)	覆土	深鉢形	胴部	群別1類	沈線, 隆帯	
36-24	SR26 (SP1074)	覆土	深鉢形	胴部	群別1類	沈線	
36-29	SR27 (SP117)	覆土	深鉢形	口縁～胴部	群別1類	沈線	
36-30	SR27 (SP1190)	覆土	深鉢形	口縁部	群別1類	口縁突起部欠損, 沈線(平行沈線, 縦位短沈線), 土丸充填	
36-31	SR27 (SP1117)	覆土	深鉢形	胴部	群別1・2類	沈線, 土丸充填, 半内輪状	
36-32	SR28 (SP1125)	覆土	深鉢形	口縁部	群別1類	柳葉状沈線	
36-35	SR29 (SP1127)	1層 (柱敷)	深鉢形	口縁部	群別1類	沈線	
36-36	SR29 (SP1127)	1層 (柱敷)	深鉢形	胴部	群別1類	柳葉状沈線	
36-37	SR30 (SP1435)	覆土	深鉢形	口縁部	群別1類	折り返し状口縁, 隆帯, 沈線	
36-38	SR30 (SP1663)	覆土	深鉢形	胴部	群別1類	沈線(部状文)	
37-1	SR31 (SP1130)	覆土	深鉢形	胴部	群別1類	沈線, 土丸充填	
37-2	SR31 (SP1122)	覆土	深鉢形	胴部	群別1類	沈線, 土丸充填, 半内輪状, 内面??	粗砂粒混入
37-3	SR31 (SP1123)	覆土	深鉢形	胴部	群別1類	沈線, 土丸充填, 内面??	粗砂粒混入
37-4	SR31 (SP1132)	筋方 覆土	深鉢形	胴部	群別1類	沈線, 土丸充填, 半内輪状, 内面??	
37-5	SR31 (SP1132)	柱敷 覆土	深鉢形	口縁部	群別1類	口唇部内縁, 無文, 内面??・13'±	
37-6	SR31 (SP1131)	覆土	深鉢形	胴部	群別1類	沈線, 0段多趾丸形, 内面筋面??	
37-9	SR32 (SP1153)	1層	鉢形	口縁部	群別2類	沈線, 土丸充填	
37-10	SR33 (SP2253)	覆土	深鉢形	口縁部	群別1類	波状口縁, 口唇部頂部粘土層付(刺突), 沈線, 土丸充填	
37-11	SR33 (SP1524)	筋方 覆土	深鉢形	胴部	群別1類	隆帯(器)	P-1
37-12	SR33 (SP1524)	4層 (筋方)	深鉢形	胴部	群別1類	沈線(格子状文)	P-4
37-13	SR33 (SP1662)	覆土	深鉢形	胴部	群別1類	沈線, 隆帯(器)	
37-17	SR34 (SP2217)	覆土	深鉢形	口縁部	群別1類	波状口縁, 沈線, 土丸充填	
37-18	SR34 (SP2311)	覆土	深鉢形	胴部	群別1類	沈線(柳葉状文)	
37-19	SR34 (SP2311)	覆土	深鉢形	胴部	群別2類	沈線, 0段多趾丸形, 内面??・13'±	
37-20	SR35 (SP2346)	覆土	深鉢形	口縁部	群別1類	折り返し状口縁, 沈線	
37-21	SR35 (SP1472)	覆土	深鉢形	口縁部	群別1類	沈線(平行沈線, 弧状区画), 土丸充填, 内面??・13'±	
37-22	SR36 (SP1742)	筋面	深鉢形	胴部	群別1類	貼線, 沈線, 土丸充填, 半内輪状	
37-23	SR37 (SP1974)	筋方 覆土	深鉢形	口縁部	群別1・2類	口縁突起, 口唇部内縁, 沈線, 土丸充填, 半内輪状	
37-25	SR38 (SP2383)	柱敷 覆土	深鉢形	口縁部	群別1類	貼線, 沈線, 土丸充填	粗砂粒混入
37-26	SR39 (SP1136)	覆土	壺形	胴部	群別1類	貼線, 沈線, 土丸充填	粗砂粒混入
37-27	SR39 (SP1136)	覆土	深鉢形	胴部	群別1類	貼線, 沈線, 土丸充填, 半内輪状	
37-28	SR39 (SP1150)	覆土	深鉢形	胴部	群別1類	沈線(格子状文), 土丸	
37-29	SR39 (SP1150)	覆土	深鉢形	口縁部	群別1類	口唇部内縁, 無文, 内面??・13'±	粗砂粒混入
37-30	SR40 (SP1728)	筋方 覆土	深鉢形	胴部	群別1類	沈線(柳葉状文)	
38-1	SR100	1層	深鉢形	胴部	群別1類	沈線(方形区画文), 土丸充填	器高[19.0]cm, P-1

砂子製造場IV

図番号	出土位置	層位	器種	部位	分類	文様等の属性	備考
38-2	SP103	2層	深鉢形	胴部	器群A類	沈線, 地文E	
38-3	SP106	1層	深鉢形	胴~底部	器群A類	横文, 底面網代柄	
38-4	SP107	1層	深鉢形	胴~底部	器群A類	横文	底径9.8cm・器高[15.5]cm, P-10
39-1	SP121	1層	深鉢形	口縁部	器群B類	横リ及L状口縁, 沈線	底径13.7cm・器高[16.0]cm, P-5
40-1	SP16	1層	深鉢形	口縁部	器群F1~2類	口縁突起, 口首部内縁, 沈線, L状突起	
40-2	SP16	2層	深鉢形	胴部	器群F1類	沈線(木葉状入紙文), 0段多条L状突起, 半肉彫状, 内面F1*	
40-3	SP16	2層	注口	注口部	器群F類	沈線, 0段多条L状突起, 半肉彫状	
78-2	SP1015	複土	深鉢形	胴部	器群C類	沈線, 単純筋条体器1類	
78-3	SP1065	複土	浅形	胴部	器群F2類	沈線, 0段多条L状突起, 半肉彫状, 内面筋条F1*	
78-4	SP1069	複土	深鉢形	口縁部	器群B類	沈線	
78-5	SP1069	複土	深鉢形	口縁部	器群C類	横文	
78-6	SP1080	複土	浅形	胴部	器群B類	沈線, 捺部	
78-7	SP1081	複土	深鉢形	口縁部	器群B類	沈線, L状突起	
78-8	SP1081	複土	深鉢形	胴部	器群B類	沈線, L状突起	
78-9	SP1090	複土	深鉢形	胴部	器群B類	沈線	
78-10	SP1090	複土	深鉢形	胴部	器群C類	単純筋条体器1類	
78-13	SP1098	複土	深鉢形	口縁部	器群B類	沈線	
78-14	SP1098	複土	深鉢形	胴部	器群B類	沈線	
78-15	SP1098	複土	深鉢形	胴部	器群C類	横筋・横文	
78-18	SP1107	複土	深鉢形	胴部	器群B類	沈線	
78-19	SP1107	複土	浅形	胴部	器群B類	沈線	外面非色顔料
78-20	SP1107	複土	深鉢形	胴部	器群C類	単純筋条体器1類	
78-23	SP1110	1層	深鉢形	口縁部	器群B類	口首部肥厚, 斜目帯	
78-24	SP1110	1層	深鉢形	口縁部	器群F2類	口縁突起, 口首部内縁, 胎線, 沈線, L状突起, 半肉彫状	
78-25	SP1110	土層 中層	深鉢形	口縁部	器群F2類	沈線, L状突起	
78-26	SP1110	1層	深鉢形	口縁部	器群F2類	口縁突起, 胎線, 沈線, L状突起	
78-28	SP1116	1層	有付 注口	口縁~胴部	器群F1類	口縁突起(4単位), 胎線, 沈線(木葉状入紙文, 横リ状文), 斜目帯, 半肉彫状, 0段多条L状突起, 内外面了摩文(3*)	口径(8.8)cm・器高[17.2]cm, P-1
78-29	SP1116	複土	浅形	胴部	器群B類	沈線, L状突起, 半肉彫状, 内面F1*	
79-2	SP1130	複土	浅形	底部	器群G類	上付底状底面, 内面F1*	瓶砂状土人
79-3	SP1137	複土	深鉢形	胴部	器群B類	沈線, L状突起	
79-4	SP1137	複土	浅形	胴部	器群B類	沈線	
79-7	SP1148	複土	深鉢形	口縁部	器群G類	口首部内縁, 横文	
79-8	SP1146	複土	深鉢形	胴部	器群F類	胎線, 沈線, L状突起, 内面F1*	瓶砂状土人
79-9	SP1154	複土	深鉢形	口縁部	器群B類	沈線	内外面非色顔料
79-10	SP1154	複土	深鉢形	胴部	器群B類	沈線	内外面非色顔料
79-11	SP1149	複土	深鉢形	口縁部	器群F類	胎線, 沈線, L状突起	
79-12	SP1149	複土	浅形	胴部	器群F類	胎線, 沈線, 斜目, 半肉彫状, 内面F1*	瓶砂状土人
79-13	SP1149	複土	深鉢形	口縁部	器群F2~3類	口首部内縁, 胎線, 沈線, L状突起	
79-14	SP1149	複土	深鉢形	胴部	器群F2~3類	胎線, 沈線, L状突起	瓶砂状土人
79-15	SP1149	複土	浅形	胴部	器群F2~3類	胎線, 沈線, L状突起, 半肉彫状	
79-16	SP1149	複土	浅形	胴部	器群F2~3類	胎線突起, 沈線, L状突起, 内面F1*	瓶砂状土人
79-18	SP1149	複土	深鉢形	口縁部	器群B類	口首部内縁, 横文	
79-19	SP1149	複土	深鉢形	口縁部	器群B類	口首部内縁, 横文, 0段多条L状突起	
79-20	SP1165	複土	浅形	胴部	器群B類	沈線	
79-20	SP1174	複土	深鉢形	口縁部	器群F2類	口縁突起, 口縁部肥厚, 口首部内縁, 胎線, 沈線, L状突起	瓶砂状土人
79-21	SP1174	複土	深鉢形	口縁部	器群F2~3類	口首部内縁, 胎線, 沈線, L状突起	
79-22	SP1183	複土	有付注口	口縁~胴部	器群F類	口縁突起, 沈線, 0段多条L状突起	
79-23	SP1189	複土	鉢形?	胴部	器群F類	沈線, 斜目(装束様状), 内面F1*	
79-25	SP1211	複土	深鉢形	口縁部	器群A類	波状口縁, 横リ及L状口縁, 沈線, 地文E	
79-26	SP1211	複土	深鉢形	口縁部	器群A類	横リ及L状口縁, 沈線, 地文E	
79-27	SP1211	複土	深鉢形	胴部	器群A類	沈線, 地文E	
79-29	SP1214	胎方 複土	深鉢形	胴部	器群A類	沈線(三角形文), 横文E	
79-30	SP1214	複土	深鉢形	胴部	器群A類	沈線(三角形文), 横文E	
79-31	SP1215	複土	浅形	胴~底部	器群B類	沈線, 胎線, 内面F1*	
79-33	SP1219	1層 (柱箱)	注口	胴~底部	器群F3類	胎線, 沈線, L状突起, 上付底状底面, 半肉彫状, 内面F1*	底径5.1cm・器高[8.3]cm 底径3.3cm・器高[16.1]cm, 注口欠損部にアセツェット付着
79-34	SP1222	複土	深鉢形	口縁部	器群B類	波状口縁, 沈線	
79-35	SP1225	複土	深鉢形	口縁部	器群F2類	口縁突起, 胎線, 沈線, L状突起	
79-36	SP1238	複土	鉢形	口縁部	器群B類	沈線	
80-1	SP1246	複土	深鉢形	口縁部	器群B類	沈線	
80-2	SP1246	複土	深鉢形	口縁部	器群B類	沈線	
80-3	SP1259	1層	深鉢形	口縁部	器群B類	沈線	
80-4	SP1259	1層	深鉢形	胴部	器群B類	沈線, L状突起	
80-5	SP1259	複土	深鉢形	口縁部	器群B類	波状口縁, 口首部内縁, 沈線, L状突起	
80-7	SP1267	複土	鉢形?	口縁部	器群B類	沈線(平行沈線, 横リ(区画)), L状突起	瓶砂状土人
80-8	SP1276	複土	深鉢形	口縁部	器群G類	口首部内縁, 横文E	
80-9	SP1277	複土	深鉢形	口縁部	器群F2類	横状肥厚, 湾入, 胎線, 沈線, 櫛歯状突起, 内面F1*	内外面非色顔料
80-10	SP1278	SP1279	鉢形	口縁~底部	器群C類	横文	
80-12	SP1299	複土	深鉢形	口縁部	器群B類	横リ及L状口縁, 沈線	
80-13	SP1299	複土	深鉢形	口縁部	器群B類	沈線	
80-14	SP1299	複土	深鉢形	口縁部	器群B類	沈線, L状突起	
80-16	SP1300	複土	深鉢形	胴部	器群B類	沈線(蓮華状入紙文), L状突起	
80-17	SP1300 SP1308	複土	浅形	胴部	器群B類	横状肥厚, 沈線	外面非色顔料
80-20	SP1371	1層	深鉢形	口縁部	器群F2類	口縁突起欠損, 口首部肥厚, 胎線, 沈線, 胎線, 0段多条L状突起	縦溝孔

図番号	出土位置	層位	器種	部位	分類	文様等の属性	備考
80-21	SP1371	1層	深鉢形	胴部	器群2類	沈線, L・R・L充墳	
80-23	SP1375	覆土	深鉢形	胴部	器群1類	沈線(蓮華文)	
80-24	SP1375	覆土	壺形	胴部	器群1類	沈線(弧状文)	
80-25	SP1375	覆土	深鉢形	口縁部	器群5類	無文, 内面P・L*	
81-1	SP1391	1層 (柱根)	深鉢形	胴部	器群2類	口縁突起, 貼附, 沈線, L充墳	P-1
81-2	SP1400	3層	壺形	口縁~胴部	器群1類	波状口縁(単位), 沈線, 隆帯, 外縁縁合	口径5.1cm・器高[4.0]cm, P-3
81-3	SP1417	覆土	壺形	胴部	器群1・2類	沈線(木葉文入組文), L・R・L, 半内麗状, 内面拍頭文+P*	
81-4	SP1449	覆土	深鉢形	口縁部	器群2類	口縁突起, 口唇部肥厚, 隆帯把手, 貼附, 透孔, 沈線, 蓮華状沈線	内外面赤色顔料
81-10	SP1551	覆土	壺形	口縁~胴部	器群1類	隆帯把手, 沈線(蓮華状文), 内面P*	口径[4.8]cm・器高[4.8]cm
81-11	SP1554	覆土	深鉢形	口縁部	器群2類	沈線(斜行沈線), L充墳	
81-12	SP1554	覆土	深鉢形	口縁部	器群2類	口唇部, 沈線(斜行沈線), L充墳	
81-13	SP1564	覆土	深鉢形	口縁部	器群1類	沈線(平行沈線), L充墳	
81-15	SP1583	覆土	深鉢形	口縁部	器群1類	沈線, L充墳	透孔
81-16	SP1583	覆土	深鉢形	口縁部	器群2類	波状口縁, 沈線(斜行沈線), L充墳	
81-17	SP1583	覆土	深鉢形	口縁部	器群1類	沈線, L充墳	
81-18	SP1583	2層	壺形	胴部	器群1類	沈線(人組状文), L充墳, 内面P*	P-1
81-19	SP1583	覆土	深鉢形	底部	器群1類	沈線(楕円形文), 高台状底部	底径[10.6]cm・器高[2.0]cm 口径[26.8]cm・器高[18.0]cm, P-3
81-20	SP1583	2層	深鉢形	口縁~胴部	器群6類	無文	
81-21	SP1583	2層	深鉢形	胴~底部	器群6類	無文	底径9.5cm・器高[6.2]cm, P-2
82-1	SP1589	覆土	深鉢形	口縁部	器群1類	沈線	
82-2	SP1589	覆土	壺形	胴部	器群1類	沈線, 隆帯, L充墳	
82-4	SP1602	1層	深鉢形	口縁部	器群1類	斜り直し状口縁, 沈線	
82-5	SP1623	1層	深鉢形	口縁部	器群1類	太富状口縁, 無文	
82-6	SP1631	覆土	鉢形	口縁部	器群1類	沈線, L充墳	
82-7	SP1631	覆土	壺形	胴部	器群1類	沈線	P-1
82-8	SP1675	覆土	壺形	口縁~底部	器群1類	波状口縁(単位), 口唇部肥厚, 隆帯把手, 沈線(人組状文)	口径5.2cm・底径5.4cm・器高[3.4]cm
82-9	SP1675	覆土	深鉢形	口縁部	器群1類	波状口縁, 口唇部肥厚, 貼付, 沈線(波状文, 蓮華文), L充墳	
82-10	SP1696	1層 破砕面	深鉢形	口縁部	器群4類	沈線(三角形文), 地文類	P-1
82-12	SP1687	覆土	深鉢形	胴部	器群2類	貼附, 沈線(蓮華状文), L充墳, 半内麗状	粗砂状面
82-15	SP1821	1層	深鉢形	口縁部	器群7類	口唇部内傾, 貼附, 沈線, L充墳	
82-19	SP1886	1層	深鉢形	口縁部	器群1・2類	口縁突起, 口唇部肥厚, 沈線, L充墳	P-1
82-20	SP1946	1層	深鉢形	口縁部	器群1・2類	口縁突起, 口唇部内傾, 沈線, 0段多条L・R充墳, 半内麗状	粗砂状面
82-21	SP1975	南方 覆土	深鉢形	口縁部	器群1類	沈線	
82-22	SP1975	柱根 覆土	深鉢形	口縁部	器群1類	波状口縁, 沈線, 隆帯	内外面赤色顔料
82-26	SP2059	覆土	深鉢形	口縁部	器群1類	斜り直し状口縁, 沈線	
82-27	SP2059	覆土	鉢形	口縁部	器群1類	沈線, 隆帯	
82-29	SP2046	覆土	深鉢形	口縁部	器群1類	波状口縁, 沈線	
83-1	SP1869	1層	深鉢形	口縁部	器群1類	波状口縁, 斜り直し状口縁, 沈線	P-8
83-2	SP1869	1層	深鉢形	口縁部	器群1類	波状口縁, 沈線	P-8
83-7	SP2163	覆土	深鉢形	口縁部	器群1類	口縁突起, 貼附, 沈線, 直充墳, 内面P*	
83-9	SP2190	覆土	壺形	胴部	器群7類	貼附, 沈線, L充墳, 半内麗状	
83-10	SP2197	覆土 中層	壺形?	胴部	器群7類	貼附, 沈線, L充墳, 半内麗状	
83-11	SP2197	覆土 中層	深鉢形	胴部	器群7類	沈線, 直充墳, 半内麗状	
83-12	SP2191	1層 (柱根)	深鉢形	口縁部	器群1類	波状口縁, 沈線(円形文, 楕円形文)	P-1, 2
84-1	SP1900	7層	深鉢形	口縁部	器群1類	波状口縁, 斜り直し状口縁, 沈線	P-3, 器高2-2.3同一個体
84-2	SP1900	7層	深鉢形	口縁部	器群1類	波状口縁, 斜り直し状口縁, 沈線	P-5, 器高1-3.2同一個体
84-3	SP1900	7層	深鉢形	胴部	器群1類	沈線	P-1, 器高1-2.2同一個体
84-6	SP2202	南方 覆土	深鉢形	口縁部	器群G類	口唇部肥厚, 0段多条L・R充墳	
84-9	SP2215	覆土	深鉢形	口縁部	器群1類	波状口縁, 沈線, 隆帯, 刺突	P-2
84-10	SP2215	覆土	深鉢形	口縁部	器群1類	口唇部内傾, 隆帯状沈線	
84-11	SP2215	覆土	深鉢形	口縁部	器群1類	細砂状面	
85-3	SP2336	覆土	鉢形	口縁部	器群1・2類	口縁突起(頂部刻凸), 口唇部肥厚, 貼附, 沈線, L・R・0段多条L充墳, 半内麗状	
85-4	SP2344	深鉢形	口縁部	器群1類	沈線(人組状文), L充墳	口径[3.3]cm・器高[12.9]cm, P-6, 13, 22	
85-5	SP2344	深鉢形	口縁部	器群1類	沈線(弧状文), L充墳	P-16	
85-6	SP2344	深鉢形	口縁部	器群1類	沈線(7字状文), L充墳	P-3, 9	
85-7	SP2344	南方 覆土	深鉢形	胴部	器群1類	沈線(7字状文), L充墳	
85-8	SP2344	柱根 覆土	壺形	胴部	器群6類	隆帯把手, 無文	P-1
85-13	SP2401	1層 (柱根)	浅鉢形	底部	器群1類	高台状底部, 沈線(方形区画文)	底径[5.4]cm・器高[1.9]cm, 内外面赤色顔料
85-14	SP2399	覆土	深鉢形	口縁~胴部	器群1類	平口縁, 沈線(方形区画文, 弧状文)	口径[15.4]cm・器高[9.8]cm, P-2, 3, 6
86-5	SP2463	柱根 覆土	深鉢形	口縁部	器群2・3類	貼附, 沈線, L充墳	

砂子搬送路IV

図番号	出土位置	層位	基種	部位	分類	文様等の属性	備考
86-6	SP2500	底面直上	深鉢形	口縁部	群群G類	口唇部肥厚,0段多角形,内面??	粗砂粒混入
86-7	SP2500	底面直上	深鉢形	口縁部	群群G類	口唇部肥厚,1段L状,内面??	粗砂粒混入
86-10	SP2540	底面直上	底形	胴部	群群F1-2類	貼附,沈線,0段多角形-L状,内面直線状-??	
86-11	SP2556	腹土	深鉢形	口縁部	群群H類	波状口縁,沈線(蓮華花弁文),L状充填	
86-12	SP2556	腹土	深鉢形	口縁部	群群G類	折り高L状口縁,無文,内面??・L?	
86-13	SP2556	腹土	有付鉢?	有部	群群H類	沈線	
86-15	SP2579	腹土	深鉢形	口縁部	群群G類	口唇部肥厚,0段多角形-L状,内面??・L?	粗砂粒混入
86-18	SP2620	腹土	深鉢形	口縁部	群群H類	口唇部肥厚,沈線	
86-19	SP2629	腹土	深鉢形	口縁部	群群H類	沈線,L状充填	
86-20	SP2649	腹土	鉢形	口縁～底部	群群H類	平口縁,沈線,L状充填	口径12.5cm・底径4.1cm・器高7.7cm
87-4	SP2833	腹土	浅鉢形	胴部	群群H類	沈線(平行沈線,帯状区画),L状充填	
87-9	SP3025	腹土	浅鉢形	胴部	群群H類	沈線(蓮華花弁文),L状充填	
87-10	SP3025	腹土	浅鉢形	口縁部	群群H類	口縁突起,口唇部肥厚,沈線,刺突,肩L状	
87-11	SP3025	腹土	浅鉢形	胴部	群群H類	帯状把手,沈線(弧状文)	図01-12と同一個体
87-12	SP3025	腹土	底形	胴部	群群H類	貼附,沈線,半内彫状,内縁接合	図07-13と同一個体
87-13	SP3025	腹土	底形	胴部	群群H類	沈線,0段多角形L状,半内彫状,内縁接合	図07-12と同一個体
87-15	SP3004	腹土	浅鉢形	口縁部	群群H類	沈線,L状充填	
87-17	SP3005	腹土	深鉢形	口縁部	群群G類	無文	
87-18	SP3017	腹土	深鉢形	口縁部	群群H類	沈線	
89-1	捨て集積V-72	1層	深鉢形	口縁～底部	群群H類	波状口縁(確定6単位),沈線(波状文,三角形文),L状充填	口径34.0cm・底径12.6cm・器高40.1cm,胴体17.22
89-2	捨て集積V-72	1層	深鉢形	胴～底部	群群H類	沈線	底径11.5cm・器高121.0cm
90-1	捨て集積V-72	1層	底形	口縁～底部	群群H類	平口縁,口唇部肥厚,横帯状沈線(人組波状文)	口径13.0cm・底径12.90cm・器高43.8cm
90-2	捨て集積V-72	1層	底形	口縁～胴部	群群H類	平口縁,沈線(三角形文)	口径12.0cm・器高18.4cm
90-3	捨て集積V-72	1層	底形	胴部	群群H類	沈線(方形区画文),内面??・L?	器高10.3cm
91-1	捨て集積V-72	1層	底形	胴～胴部	群群H類	帯状把手,沈線	器高11.5cm,胴体9
91-2	捨て集積V-72	1層	底形	口縁部	群群H類	沈線,L状充填	口径13.31cm・器高15.9cm,胴体5
91-3	捨て集積V-72	1層	底形	胴～底部	群群H類	沈線	底径7.2cm・器高6.8cm,胴体5
91-4	捨て集積V-72	1層	底形	胴～胴部	群群H類	帯状把手,沈線(弧状文)	器高15.6cm
91-5	捨て集積V-72	1層	底形	胴～底部	群群H類	沈線(三角形文),L状充填	底径10.3cm・器高18.7cm,胴体5
91-6	捨て集積V-72	1層	底形	胴～底部	群群H類	沈線(波頭状文),L状充填	底径11.5cm・器高30.6cm
91-7	捨て集積V-72	1層	底形	胴～底部	群群H類	沈線,L状充填	底径9.9cm・器高9.2cm
91-8	捨て集積V-72	1層	底形	口縁～胴部	群群H類	波状口縁(4単位),口唇部肥厚,横帯状把手,沈線(5字状人組文,波頭状文),L状充填	口径13.3cm・器高17.8cm
92-1	捨て集積V-72	1層	深鉢形	口縁部	群群H類	波状口縁,沈線(波状文,人組波状文),L状充填	口径21.4cm・器高8.5cm
92-2	捨て集積V-72	1層	深鉢形	胴部	群群H類	沈線(巴状文),L状充填	器高10.0cm
92-3	捨て集積V-72	1層	深鉢形	口縁部	群群H類	波状口縁,沈線(人組波状文),L状充填,内面??・L?	
92-4	捨て集積V-72	1層	深鉢形	口縁部	群群H類	平口縁,沈線(L字状波頭状文,蓮華花弁文),肩L状	口径17.0cm・器高15.9cm
92-5	捨て集積V-72	1層	深鉢形	口縁部	群群H類	波状口縁,沈線(蓮華花弁文),肩L状	口径125.0cm・器高15.2cm
92-6	捨て集積V-72	1層	深鉢形	口縁部	群群H類	波状口縁,口唇部肥厚,沈線(波頭状文),L状充填	
92-7	捨て集積V-72	1層	深鉢形	口縁部	群群H類	波状口縁(4単位),口唇部肥厚粘土貼付(刺突),沈線(L字状波頭状文),刺突,L状充填	口径22.6cm・器高9.0cm
92-8	捨て集積V-72	1層	深鉢形	口縁部	群群H類	波状口縁,沈線(蓮華花弁文),L状充填	
92-9	捨て集積V-72	1層	深鉢形	口縁部	群群H類	波状口縁,口唇部肥厚粘土貼付(刺突),沈線(L字状波頭状文),L状充填	
92-10	捨て集積V-72	1層	深鉢形	口縁部	群群H類	波状口縁,口唇部肥厚,沈線(L字状波頭状文,蓮華花弁文),L状充填	
92-11	捨て集積V-72	1層	深鉢形	口縁部	群群H類	波状口縁,口唇部肥厚粘土貼付(刺突),沈線(蓮華花弁文),L状充填	胴体13.18,19
92-12	捨て集積V-72	1層	鉢形?	口縁部	群群H類	波状口縁,口唇部肥厚粘土貼付(刺突),沈線(波状文,L字状波頭状文),L状充填	
93-1	捨て集積V-72	1層	深鉢形	口縁部	群群H類	波状口縁,口唇部肥厚粘土貼付(刺突),沈線(波状文,L字状波頭状文,蓮華花弁文),刺突,肩L状,内面沈線-刺突	
93-2	捨て集積V-72	1層	深鉢形	口縁部	群群H類	波状口縁,口唇部肥厚,沈線(波状文),L状充填,内面沈線	口径20.0cm・器高7.2cm
93-3	捨て集積V-72	1層	深鉢形	口縁部	群群H類	波状口縁,口唇部肥厚,沈線(波状文),L状充填	
93-4	捨て集積V-72	1層	深鉢形	口縁部	群群H類	波状口縁,口唇部肥厚,沈線(波状文),L状充填	
93-5	捨て集積V-72	1層	深鉢形	口縁部	群群H類	波状口縁,口唇部肥厚,沈線(波状文),L状充填	
93-6	捨て集積V-72	1層	深鉢形	口縁部	群群H類	波状口縁,口唇部肥厚粘土貼付(刺突),沈線(波状文),L状充填	
93-7	捨て集積V-72	1層	深鉢形	口縁部	群群H類	波状口縁,口唇部肥厚粘土貼付(刺突),沈線(波状文),L状充填,内面??・L?	
93-8	捨て集積V-72	1層	深鉢形	口縁部	群群H類	波状口縁,口唇部肥厚粘土貼付(刺突),沈線(波状文),L状充填	
93-9	捨て集積V-72	1層	深鉢形	口縁部	群群H類	波状口縁,口唇部肥厚粘土貼付(刺突),沈線(波状文),L状充填	
93-10	捨て集積V-72	1層	深鉢形	口縁部	群群H類	波状口縁,口唇部肥厚粘土貼付(刺突),沈線(L状充填,内面陰書)	
93-11	捨て集積V-72	1層	深鉢形	口縁部	群群H類	波状口縁,沈線(波頭状文),L状充填,内面陰書	
93-12	捨て集積V-72	1層	深鉢形	口縁部	群群H類	波状口縁,口唇部肥厚,沈線,L状充填,内面沈線	
93-13	捨て集積V-72	1層	深鉢形	口縁部	群群H類	波状口縁,沈線,刺突,L状充填	
93-14	捨て集積V-72	1層	深鉢形	口縁部	群群H類	波状口縁,口唇部肥厚粘土貼付(刺突),沈線(波頭状文),刺突	
93-15	捨て集積V-72	1層	深鉢形	口縁部	群群H類	沈線(蓮華花弁文),L状充填	
93-16	捨て集積V-72	1層	深鉢形	口縁部	群群H類	沈線(蓮華花弁文),L状充填	
93-17	捨て集積V-72	1層	深鉢形	口縁部	群群H類	波状口縁,沈線(L字状波頭状文),L状充填,内面沈線-刺突	
93-18	捨て集積V-72	1層	深鉢形	口縁部	群群H類	沈線(L字状波頭状文,菱形文),L状充填	
93-19	捨て集積V-72	1層	深鉢形	口縁部	群群H類	沈線(L字状波頭状文),刺突,L状充填	
93-20	捨て集積V-72	1層	深鉢形	口縁部	群群H類	沈線(L字状)	
93-21	捨て集積V-72	1層	深鉢形	胴部	群群H類	沈線(L字状波頭状文,菱形文,蓮華花弁文),L状充填	
93-22	捨て集積V-72	1層	深鉢形	胴部	群群H類	沈線(L字状波頭状文,蓮華花弁文),L状充填	
94-1	捨て集積V-72	1層	深鉢形	胴部	群群H類	沈線(蓮華花弁文),L状充填	

図番号	出土位置	層位	器種	部位	分類	文様等の属性	備考
94-2	池てら遺跡V-72	1層	深鉢形	胴部	群器A類	沈線(蓮華花弁文),L充填	
94-3	池てら遺跡V-72	1層	深鉢形	胴部	群器B類	沈線(蓮華花弁文),垂形文,蓮華花弁文,L充填	
94-4	池てら遺跡V-72	1層	深鉢形	胴部	群器B類	沈線(蓮華花弁文),L充填	
94-5	池てら遺跡V-72	1層	深鉢形	胴部	群器B類	沈線(蓮華花弁文),L充填	
94-6	池てら遺跡V-72	1層	深鉢形	胴部	群器B類	沈線(蓮華花弁文),L充填	
94-7	池てら遺跡V-72	1層	深鉢形	胴部	群器B類	沈線(蓮華花弁文),L充填	
94-8	池てら遺跡V-72	1層	深鉢形	胴部	群器B類	沈線(L字状波頭状文,蓮華花弁文),L充填	
94-9	池てら遺跡V-72	1層	深鉢形	胴部	群器B類	沈線(L字状波頭状文,蓮華花弁文),L充填	
94-10	池てら遺跡V-72	1層	深鉢形	胴部	群器B類	沈線(波頭状文),L充填	
94-11	池てら遺跡V-72	1層	深鉢形	胴部	群器B類	沈線,L充填	
94-12	池てら遺跡V-72 池てら遺跡V-73	1層	深鉢形	胴部	群器B類	沈線(L字状波頭状文,蓮華花弁文),刺突	胴体17
94-13	池てら遺跡V-72	1層	深鉢形	胴部	群器B類	沈線(波頭状文,L字状波頭状文,蓮華花弁文),L充填	
94-14	池てら遺跡V-72	1層	浅形	口縁部	群器B類	沈線,L充填	胴体25
94-15	池てら遺跡V-72	1層	浅形	胴部	群器B類	沈線,L充填	
94-16	池てら遺跡V-72	1層	浅形	胴部	群器B類	沈線(波頭状文),L充填	
94-17	池てら遺跡V-72	1層	浅形	胴部	群器B類	沈線(蓮華花弁文),L充填	
94-18	池てら遺跡V-72	1層	浅形	胴部	群器B類	沈線(L字状)	
94-19	池てら遺跡V-72	1層	浅形?	口縁部	群器B類	波状口縁,口唇部刻み,沈線,隆帯	胴体9
94-20	池てら遺跡V-72	1層	浅形	胴部	群器B類	波状口縁,刺突	
95-1	池てら遺跡V-72	1層	深鉢形	口縁部	群器B類	波状口縁,沈線(方形区画文),L充填	
95-2	池てら遺跡V-72	1層	深鉢形	口縁部	群器B類	沈線(方形区画文),L充填	
95-3	池てら遺跡V-72	1層	深鉢形	口縁部	群器B類	沈線(方形区画文)	
95-4	池てら遺跡V-72	1層	深鉢形	口縁部	群器B類	沈線(方形区画文)	
95-5	池てら遺跡V-72	1層	深鉢形	口縁部	群器B類	沈線(方形区画文),L充填	
95-6	池てら遺跡V-72	1層	深鉢形	口縁部	群器B類	沈線(方形区画文),L充填	胴体10
95-7	池てら遺跡V-72	1層	深鉢形	口縁部	群器B類	沈線(方形区画文),L充填	
95-8	池てら遺跡V-72	1層	深鉢形	口縁部	群器B類	波状口縁,沈線(方形区画文),L充填	
95-9	池てら遺跡V-72	1層	深鉢形	口縁部	群器B類	波状口縁,沈線(方形区画文),L充填	
95-10	池てら遺跡V-72	1層	深鉢形	口縁部	群器B類	沈線(方形区画文),L充填	
95-11	池てら遺跡V-72	1層	深鉢形	口縁部	群器B類	沈線(方形区画文),L充填	
95-12	池てら遺跡V-72	1層	深鉢形	口縁部	群器B類	沈線(方形区画文),L充填	
95-13	池てら遺跡V-72	1層	深鉢形	口縁部	群器B類	沈線(方形区画文),L充填	
95-14	池てら遺跡V-72	1層	深鉢形	口縁部	群器B類	沈線(方形区画文),L充填	
95-15	池てら遺跡V-72	1層	深鉢形	口縁部	群器B類	沈線(7?×7?文)	
95-16	池てら遺跡V-72	1層	深鉢形	胴部	群器B類	柳葉状沈線	
95-17	池てら遺跡V-72	1層	深鉢形	胴部	群器B類	柳葉状沈線	
95-18	池てら遺跡V-72	1層	深鉢形	胴部	群器B類	柳葉状沈線	
95-19	池てら遺跡V-72	1層	深鉢形	胴部	群器B類	沈線(柳状文),L充填	
95-20	池てら遺跡V-72	1層	深鉢形	胴部	群器B類	沈線(柳状文),L充填	
95-21	池てら遺跡V-72	1層	深鉢形	胴部	群器B類	沈線(柳状文),L充填	
95-22	池てら遺跡V-72	1層	深鉢形	口縁部	群器C類	折り戻し状口縁,網目状模文(単軸筋条体部5類)	
95-23	池てら遺跡V-72	1層	深鉢形	胴部	群器C類	網目状模文(単軸筋条体部5類)	
95-24	池てら遺跡V-72	1層	深鉢形	胴～底部	群器C類	地文L,底面網状模文(3調型)	底径6.5cm・底高(8.0)cm,胴体8
95-25	池てら遺跡V-72	1層	深鉢形	底部	群器C類	底部木葉模	底径9.1cm・底高(1.6)cm
95-26	池てら遺跡V-72	1層	深鉢形	底部	群器C類	底部木葉模	底径7.4cm・底高(1.5)cm
95-27	池てら遺跡V-71	1層	江口	注口部	群器B類	無文	
97-1	IV-72	遺跡層	深鉢形	胴部	群器A類	隆帯,波頭状	
97-2	IV-72	遺跡層	深鉢形	胴部	群器B類	隆帯,刺突	
97-3	IV-67 IV-68	遺跡層	深鉢形	口縁部	群器B類	口縁突起,隆帯,地文L	
97-4	IV-68	遺跡層	深鉢形	胴部	群器B類	沈線(柳状文),地文L	
97-5	IV-63	遺跡層	浅形	口縁部	群器A類	折り戻し状口縁,沈線,地文L	
97-6	IV-61	遺跡層	深鉢形	口縁部	群器A類	波状口縁,折り戻し状口縁,沈線(三角形文),地文(単軸筋条体部5類)	
97-7	IV-63	遺跡層	深鉢形	口縁部	群器A類	波状口縁,折り戻し状口縁,沈線(三角形文),地文L	
97-8	IV-68	遺跡層	深鉢形	口縁部	群器A類	波状口縁,折り戻し状口縁,沈線,地文L	
97-9	IV-62	遺跡層	浅形	胴～底部	群器B類	波状口縁,沈線,底部木葉模	口径16.1cm・底径6.5cm・底高18.7cm
97-10	IV-61	遺跡層	浅形	胴～底部	群器B類	波状口縁,沈線	口径(28.9)cm・底径(1.8cm)・底高(37.2)cm,P-1
98-1	IV-59	遺跡層	浅形	口縁～底部	群器B類	波状口縁,沈線,底部木葉模	口径(13.3)cm・底径(7cm)・底高23.2cm
98-2	IV-72	遺跡層	浅形	口縁～胴部	群器B類	波状口縁,柳状把手,沈線,隆帯	口径(15.6)cm・底高(3.0)cm
98-3	IV-71	遺跡層	胴～底部	群器B類	沈線	沈線	底径18.0cm・底高(18.9)cm
98-4	IV-62 IV-62	遺跡層	浅形	胴～底部	群器B類	沈線,底部木葉模,内面竹・(1?)	底径11.8cm・底高(11.8)cm
98-5	IV-60 IV-60	遺跡層	浅形	胴～底部	群器B類	沈線	底径7.5cm・底高(6.2)cm
98-6	IV-72	遺跡層	浅形	胴部	群器B類	隆帯,内面竹	
98-7	IV-61	遺跡層	浅形	口縁部	群器B類	沈線,隆帯	
98-8	IV-66	遺跡層	浅形	口縁部	群器B類	波状口縁,口唇部隆帯突起,沈線,隆帯	
98-9	IV-64	遺跡層	浅形	口縁部	群器B類	波状口縁,沈線,隆帯	
98-10	IV-61	遺跡層	浅形	口縁部	群器B類	波状口縁,沈線,隆帯	
98-11	IV-63	遺跡層	浅形	口縁部	群器B類	沈線,隆帯	
98-12	IV-71	遺跡層	浅形	口縁部	群器B類	波状口縁,折り戻し状口縁,沈線,隆帯	
98-13	IV-62	遺跡層	浅形	口縁部	群器B類	波状口縁,沈線	

図番号	出土位置	層位	器種	部位	分類	文様等の属性	備考
98-14	IVF-72	複瓦	浅鉢形	口縁部	群群1型	沈線(人組透状文)	
98-15	IVG-72	皿蓋	浅鉢形	胴部	群群1型	沈線(人組透状文)	
98-16	IVF-61	皿蓋	浅鉢形	胴部	群群1型	沈線	
98-17	IVL-69	皿蓋	浅鉢形	口縁部	群群1型	沈線, 具光透	
98-18	IVG-62	PC4 1層	深鉢形	底部	群群1型	底部沈線	
98-19	IVG-63	皿蓋	深鉢形	底部	群群1型	底部沈線	底径6.9cm・器高[1.5]cm
99-1	IVF-68	皿蓋	浅鉢形	口縁部	群群1型	沈線	
99-2	IVH-71	皿蓋	浅鉢形	口縁部	群群1型	沈線	
99-3	IVF-64	皿蓋	浅鉢形	口縁部	群群1型	沈線, 具光透, 内面“ π ”・“ θ ”	
99-4	IVF-52	皿蓋	浅鉢形	口縁部	群群1型	口縁突起, 沈線, 具光透	
99-5	IVN-60	PC4 1層	浅鉢形	口縁部	群群1型	波状口縁, 口唇波溝部粘土貼付, 沈線, 内面隆帯	
99-6	IVL-66	複瓦	浅鉢形	口縁部	群群1型	波状口縁, 沈線, 具光透, 内面隆帯	
99-7	IVN-59	PC4 1層	碗形	口縁~胴部	群群1型	平口縁, 沈線(x字状波透状文, 菱形文)	口径[2.2]cm・器高[14.8]cm
99-8	IVG-59	PC4 1層	深鉢形	口縁部	群群1型	沈線(x字状波透状文, 蓮華花卉文), 具光透	
99-9	IVG-58	PC4 1層	深鉢形	口縁部	群群1型	沈線(蓮華花卉文), 具光透	
99-10	IVH-68	皿蓋	深鉢形	胴部	群群1型	沈線(蓮華花卉文)	
99-11	IVG-60	PC4 1層	深鉢形	胴部	群群1型	沈線, 具光透	
99-12	IVS-62	PC4 1層	深鉢形	胴部	群群1型	沈線(x字状波透状文), 具光透	
99-13	IVN-60	PC4 1層	深鉢形	胴~底部	群群1型	沈線(x字状波透状文)	
99-14	IVS-62	PC4 1層	深鉢形	口縁部	群群1型	沈線(方形区画文), 刺突, 具光透	
99-15	IVG-59	PC4 1層	深鉢形	口縁部	群群1型	沈線(方形区画文), 具光透	
99-16	IVF-54	皿蓋	浅鉢形	口縁部	群群1型	柳葉状沈線	
99-17	IVS-62	PC4 1層	浅鉢形	口縁部	群群1型	波状口縁, 柳葉状沈線	
99-18	IVG-68	皿蓋	浅鉢形	口縁部	群群1型	柳葉状沈線	
99-19	IVL-68	皿蓋	浅鉢形	口縁部	群群1型	沈線(菱形文), 具光透	
99-20	IVL-68	皿蓋	浅鉢形	口縁部	群群1型	沈線(菱形文), 具光透	
99-21	IVL-66	皿蓋	浅鉢形	口縁部	群群1型	沈線, 具光透	
99-22	IVL-58	1層	浅鉢形	口縁部	群群1型	沈線(波状文), 具光透	
99-23	IVF-57	皿蓋	浅鉢形	口縁部	群群1型	沈線(人組文), 具光透	
99-24	IVV-70	皿蓋	浅鉢形	口縁部	群群1型	沈線(人組文, 乳状文), 具光透	
100-1	IVS-62	PC4 1層	碗形	口縁部	群群1型	傾斜肥平, 隆帯, 無文	
100-2	IVG-69	皿蓋	浅鉢形	口縁~底部	群群1型	無文	口径0.8cm・底径3.9cm・器高[7.8]cm
100-3	IVN-60	PC4 1層	浅鉢形	口縁部	群群1型	無文, 内面“ π ”・“ θ ”	
100-4	IVH-61	皿蓋	深鉢形	胴部	群群1型	無文	
100-5	IVL-69	皿蓋	浅鉢形	口縁部	群群1型	無文	
100-6	IVL-71	皿蓋	浅鉢形	口縁部	群群1型	車輪筋条体第1型	
100-7	IVC-71	複瓦	浅鉢形	口縁部	群群1型	折り直し状口縁, 斜目状隆帯文(車輪筋条体第1型)	
100-8	IVN-58	PC4 2層	深鉢形	口縁部	群群1型	折り直し状口縁, 隆帯文	
100-9	IVH-59	PC4 2層	深鉢形	口縁~底部	群群1型	平口縁, 車輪筋条体第1型	口径21.1cm・底径11.4cm・器高38.7cm
100-10	IVG-62	PC4 1層	深鉢形	胴~底部	群群1型	施文区画, 底部網代底	底径12.4cm・器高[36.2]cm, P-I
101-1	IVF-61	PC4 1層	鉢形?	口縁部	群群1型	波状口縁, 沈線(平行沈線, 蛇行区画), 具光透	
101-2	IVH-66	皿蓋	鉢形?	口縁部	群群1型	沈線(平行沈線, 蛇状区画), 具光透	
101-3	IVL-69	皿蓋	鉢形?	口縁部	群群1型	口唇部肥厚, 沈線(平行沈線), 具光透	
101-4	IVL-62	皿蓋	浅鉢形	胴部	群群1型	沈線(平行沈線, 蛇状区画), 具光透	
101-5	IVV-70 IVH-70	皿蓋	浅鉢形	口縁部	群群1型	口縁突起, 沈線(平行沈線, 蛇状区画), 隆帯, 具光透	
101-6	IVV-70	1層	浅鉢形	口縁部	群群1型	波状口縁, 口唇部肥厚, 沈線(平行沈線, 蛇状区画), 具光透	
101-7	IVF-64	皿蓋	浅鉢形	口縁部	群群1型	沈線, 具光透	
101-8	不明	皿蓋	浅鉢形	胴部	群群1型	沈線, 具光透	
101-9	IVF-66	皿蓋	浅鉢形	口縁部	群群1型	口唇部肥厚, 沈線(平行沈線)	
101-10	IVF-64	皿蓋	浅鉢形	胴部	群群1型	沈線(波透状文), 具光透	
101-11	IVL-69	皿蓋	浅鉢形	胴部	群群1型	沈線, 刺突, 無文	
101-12	IVK-57	皿蓋	浅鉢形	口縁部	群群1型	口縁突起, 口唇部肥厚, 沈線, 具光透	
101-13	IVG-60	PC4 1層	深鉢形	口縁部	群群1型	口縁突起	
101-14	IVH-62	PC4 1層	深鉢形	口縁部	群群1型	口縁突起, 沈線	
101-15	IVH-66 IVG-62	皿蓋 複瓦	注口	注口部	群群1型	沈線, 隆帯, 具光透, 内面“ π ”・“ θ ”	
101-16	IVG-64 IVG-65	皿蓋 複瓦	注口	注口部	群群1型	無文	
101-17	IVK-66	皿蓋	浅鉢形	口縁部	群群1型	口縁突起, 沈線, 隆帯, 斜目	
101-18	IVH-62	PC4 1層	浅鉢形	口縁部	群群1型	口縁突起, 沈線, 隆帯, 斜目	
101-19	IVG-63	複瓦	浅鉢形	口縁部	群群1型	口縁突起, 沈線	

図番号	出土位置	層位	器種	部位	分類	文様等の属性	備考
101-20	IV-58	Ⅲ層	注口?	胴部	器群G類	無文,内面?・13?・2?	
101-21	IV-63	Ⅲ層	注口?	胴部	器群G類	沈線,外面?裏文?13?,内面??	
101-22	IV-70	Ⅲ層	深鉢形	胴部	器群G類	沈線,0段多条L-状羽状	
101-23	不明	Ⅲ層	鉢形	胴部	器群G類	沈線,羽目帯,0段多条L-状	
101-24	IV-64	Ⅲ層	深鉢形	胴部	器群G類	波状口縁,口唇部肥厚,羽目帯	
101-25	IV-63	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	器群G類	山形口縁,口唇部肥厚,沈線	器面摩耗
101-26	IV-56	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	器群G類	口唇部肥厚,羽目帯,0段多条L-	
101-27	IV-62	ⅢA層	異形	口縁部	器群G類	羽目帯,隆帯	器面摩耗
101-28	不明	Ⅲ層	深鉢形	胴部	器群G類	羽目帯,0段多条L-状羽状	
101-29	IV-63	Ⅲ層	底形	口縁~底部	器群F1類	貼輪,羽目帯,0段多条L-状羽状,半内面状,内面指図?・1?	口径[5.7]cm・器高[6.1]cm,内外面赤色塗料
101-30	IV-63	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	器群F1類	山形口縁,口唇部肥厚,沈線,羽目帯,丸充填,半内面状,内面?・1?	
101-31	不明	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	器群F1類	口唇部肥厚,沈線,羽目帯,0段多条L-状羽状	
101-32	IV-69	Ⅲ層	底形?	胴部	器群F1類	沈線,羽目帯,0段多条L-状羽状	
102-1	IV-64	Ⅲ層	深鉢形	胴部	器群F1類	沈線(木葉状人組文),0段多条L-状,半内面状,内面??	
102-2	IV-64	Ⅲ層	底形	胴部	器群F1類	沈線,羽目帯,0段多条L-状,半内面状,内面指図?・1?	
102-3	V A-68	Ⅲ層	底形	胴部	器群F1類	沈線(木葉状人組文),丸充填,半内面状,内面??	
102-4	不明	Ⅲ層	底形	胴部	器群F1類	貼輪,沈線(木葉状人組文),丸充填,内面指図?・1?	
102-5	IV-64	Ⅲ層	深鉢形	胴部	器群F1・2類	沈線,0段多条L-状羽状,半内面状	粗砂粒入
102-6	IV-64	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	器群F1・2類	口縁突起,口唇部内傾,沈線,0段多条L-状,丸充填	
102-7	IV-62	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	器群F1・2類	口唇部肥厚,沈線,L-状羽状	
102-8	V S-66	Ⅲ層	底形?	口縁部	器群F1・2類	沈線,L-状羽状	口径[10.7]cm・器高[5.8]cm
102-9	IV-64	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	器群F1・2類	波状口縁,波面割削,貼輪,沈線,L-状	
102-10	V F1-C 34?・	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	器群F1・2類	口縁突起,貼輪,沈線,L-状,半内面状	
102-11	V S-74	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	器群F2類	口縁突起,貼輪,沈線,丸	P-1,粗砂粒入
102-12	IV-70 IV-76	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	器群F2類	口唇部内傾,貼輪,沈線,L-状,内面??	
102-13	IV-63	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	器群F2類	口唇部内傾,貼輪,沈線,継条状多線充填	粗砂粒入
102-14	IV-62	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	器群F2・3類	貼輪,丸縁,丸充填,内面??	
102-15	IV-69	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	器群F3類	口唇部内傾,貼輪,沈線,L-状	
102-16	不明	Ⅲ層	注口	注口部	器群G類	突起,無文	
102-17	IV-58	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	器群G類	口唇部L,胴部L	
102-18	IV-57	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	器群G類	口唇部L,胴部L	
102-19	IV-59	ⅢA層	深鉢形	胴部	器群G類	L附2,地文L	
102-20	不明	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	器群G類	口唇部肥厚,地文0段多条L	
102-21	不明	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	器群G類	口唇部肥厚,0段多条L-状羽状	
124-1	BSF01	Ⅰ層	深鉢形	口縁~胴部	器群A類	波状口縁,沈線(三角形文),地文	
124-2	BSF05	Ⅰ層	深鉢形	口縁部	器群B1類	沈線,L-状	
124-3	BSF05	Ⅰ層	深鉢形	口縁部	器群B1類	波状口縁,沈線,L-状	
124-4	BSF07	Ⅱ層	深鉢形	口縁部	器群B1類	沈線,L-状	
124-5	BSF07	Ⅱ層	深鉢形	胴部	器群B1類	沈線,隆帯,突起,内面??	
125-1	IV A-54	Ⅲ層	深鉢形	胴部	器群A類	隆帯,継条文,内面?・13?	
125-2	III V-56	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	器群C類	口縁部無文,地文	
125-3	IV B-54	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	器群B1類	波状口縁,沈線,隆帯,突起	
125-4	IV B-54	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	器群B1類	波状口縁,口唇部内傾,沈線	
125-5	IV B-54	Ⅲ層	深鉢形	胴部	器群B1類	継条状沈線,内面??	
125-6	III V-53	ⅢA1層	深鉢形	口縁部	器群B1類	平口縁,沈線(三角形文)	口径[20.6]cm・器高[10.8]cm
125-7	III V-53	ⅢA1層	深鉢形	口縁部	器群B1類	沈線,L-状	
125-8	III V-54	Ⅲ層	深鉢形	口縁~胴部	器群B1類	波状口縁,沈線(継条状),L-状	
125-9	IV C-53	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	器群B1類	平口縁,沈線(方形角隅文)	
125-10	III V-52	ⅢA1層	深鉢形	口縁部	器群B1類	沈線(方形[隅文]),丸充填	
125-11	III V-53	ⅢA1層	深鉢形	口縁部	器群B1類	波状口縁,沈線(?)状文),丸充填	
125-12	III V-52	ⅢA1層	深鉢形	口縁部	器群B1類	沈線,L-状	
125-13	不明	Ⅲ層	底形	胴部~底部	器群B1類	沈線,L-状	底径5.5cm・器高[13.6]cm,P-1
125-14	III V-52	ⅢA1層	底形	胴部	器群B1類	沈線,L-状	器高[15.0]cm
125-15	III V-53	ⅢA1層	底形	胴部	器群B1類	沈線,隆帯,L-状	
125-16	III P-53	Ⅲ層	底形	胴部	器群B1類	貼輪,沈線,L-状,半内面状	
125-17	IV P-53	Ⅲ層	底形	胴部	器群B1類	沈線,0段多条L-状,内面??	
125-18	III P-54	Ⅲ層	深鉢形	口縁~底部	器群C類	波状口縁,無文,内面?・13?	
127-1	CS01	Ⅰ層	深鉢形	胴部~底部	器群C類	地文	口径[26.0]cm・底径[10.0]cm・器高[6.3]cm,外面指(指)着
128-1	III J-97	Ⅲ層	深鉢形	口縁部	器群D2類	口縁部隆帯,隆帯,丸	P1
128-2	III J-97	Ⅲ層	深鉢形	胴部	器群D2類	隆帯,継条文	P1
128-3	III P-102	Ⅲ層	深鉢形	胴部	器群D1類	沈線	Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ,Ⅴ,Ⅵ上同一個体
128-4	III P-102	Ⅲ層	深鉢形	胴部	器群D1類	無文	Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ,Ⅴ,Ⅵ上同一個体
128-5	III G-105	Ⅲ層	深鉢形	胴部	器群C類	単純継条体?1類	P5
128-6	不明	Ⅲ層	深鉢形	胴部	器群C類	単純継条体?1類	P7

石器観察表

掲載番号	出土位置	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	備考
図6-2	SI102 (SP2847)	2層	凹石Ⅱ	120.5	62.0	40.0	436.0	緑色凝灰岩	
図10-11	SI104 (SP2967)	礫土	石籠Ⅱa	31.6	18.5	4.7	2.0	珩質頁岩	素材面一部残存。
図10-12	SI104 (SP2418)	礫土	石籠Ⅰ	(57.1)	23.4	6.2	8.1	珩質頁岩	つまみ部に黒色物質付着。
図10-13	SI104 (SP2296)	礫土	スクレーパーⅠ	86.3	40.4	14.3	66.4	珩質頁岩	削片の周縁に急斜度の刃部。
図10-14	SI104 (SP2132)	礫土上層	スクレーパーⅡ	54.6	24.2	8.3	8.8	珩質頁岩	削片の周縁に刃部。
図11-1	SI104 (SP2296)	礫土	石鏃	63.5	36.9	41.0	226.7	珩質頁岩	角縁を素材、行面輪転を輪郭に繰り返す約1-3cm四方の小さな削片を作出した形跡。
図11-2	SI104 (SP2847)	礫土	凹石Ⅰ	120.0	78.0	50.0	666.5	凝灰岩	
図11-3	SI104 (SP2663)	礫土	凹石Ⅱ	(131.0)	(96.0)	52.0	669.8	凝灰岩	刃縁粗削後に磨打。
図14-11	SI105 (SP1462)	柱状礫土	石籠Ⅱb	(24.6)	11.7	4.2	1.0	1877°	
図14-12	SI105 (SP1162)	礫土	石籠Ⅰd	(26.0)	16.2	3.1	1.0	珩質頁岩	素材面一部残存。
図14-13	SP105 (SP1462)	柱状礫土	石鏃	63.9	19.4	15.1	17.2	珩質頁岩	両面加工の矢筈部。素材面一部残存。
図14-14	SI105 (SP1466)	柱状礫土	スクレーパーⅠ	29.5	14.7	5.8	2.4	珩質頁岩	削片の周縁に凹状の刃部。
図14-15	SI105 (SP1115)	礫土	スクレーパーⅡ	87.6	42.2	15.6	93.1	珩質頁岩	削片の両縁縁部側に刃部。
図14-16	SI105 (SP2173)	礫土	磨石	123.0	(78.0)	31.0	440.8	凝灰岩	
図14-17	SI105 (SP2268)	礫土上層	石鏃Ⅱ	70.5	52.0	17.0	58.7	凝灰岩	一部欠損。
図14-18	SI105 (SP2277)	礫土下層	石鏃Ⅱ	58.0	44.0	13.0	45.7	凝灰岩	粗による結晶収。
図14-19	SI105 (SP1200)	礫土	石鏃Ⅱ	60.5	45.5	24.5	97.2	凝灰岩	
図16-4	SI109 (SP2404)	礫土上層	石鏃Ⅱ	97.0	58.0	28.0	192.3	凝灰岩	
図17-4	SI111 (SP1783)	柱頭	石籠Ⅰ	(178.0)	(227.0)	63.0	2500.0	凝灰岩	底面1面 明確な縁を形成 断面(面) 運動方向は底方向、縦断に上り欠損。
図18-7	SI113 (SP1783)	礫土上層	石籠Ⅱa	(28.2)	14.6	3.2	0.9	珩質頁岩	基部に黒色物質付着。
図19-10	SI114 (SP1224)	1層	石鏃Ⅰ	66.4	24.9	12.6	19.3	珩質頁岩	素材削片の基端部につまみを形成。
図19-11	SI114 (SP1224)	礫土	石鏃Ⅰ	56.9	18.6	5.8	6.8	珩質頁岩	つまみ部に黒色物質付着。
図19-12	SI114 (SP1224)	2層	石鏃	70.8	73.2	19.2	88.1	珩質頁岩	
図20-21	SI115 (SP1222)	1層	石籠Ⅱa	(31.9)	14.3	2.9	0.9	珩質頁岩	基部に黒色物質付着。
図20-22	SI115 (SP1222)	2層	石籠Ⅱa	(27.9)	11.3	3.4	0.9	珩質頁岩	基端部黒色物質付着。
図20-23	SI115 (SP1222)	1層	石籠Ⅱa	32.0	10.7	2.9	0.8	珩質頁岩	素材面一部残存。
図20-24	SI115 (SP1222)	礫土	石籠Ⅱa	31.4	10.6	3.5	1.0	珩質頁岩	
図20-25	SI115 (SP1222)	2層	スクレーパーⅠ	87.1	38.8	11.9	37.4	珩質頁岩	削片の両側面に急斜度の刃部、片面加工。
図21-1	SI115 (SP1222)	2層	スクレーパーⅡ	76.5	47.8	11.9	27.9	珩質頁岩	削片の周縁に刃部、片面加工。
図21-2	SI115 (SP1222)	1層	スクレーパーⅡ	69.0	44.5	7.5	19.3	珩質頁岩	削片の両側面に刃部、片面加工。
図21-3	SI115 (SP1222)	2層	U.F.	41.7	15.9	6.1	3.2	珩質頁岩	周縁に方ごぼれをもつ削片、基部に陥状物質付着。
図21-4	SI115 (SP1222)	2層	磨石	103.0	127.0	65.0	823.0	珩質頁岩	垂直縁の一端を磨打部とする。
図21-5	SI115 (SP1222)	2層	石籠Ⅱ	222.0	171.0	54.0	2500.0	凝灰岩	
図21-6	SI115 (SP1232)	1層	石籠Ⅱ	490.0	(359.0)	70.0	13750.0	砂質凝灰岩	
図23-7	SI116 (SP011)	1層	石籠Ⅱc	29.6	15.2	3.0	0.9	珩質頁岩	
図23-8	SI116 (SP105)	礫土上層	石籠Ⅱa	25.4	12.6	3.7	0.9	珩質頁岩	
図23-9	SI116 (SP1484)	礫土	石籠Ⅱb	30.9	18.4	5.7	2.0	珩質頁岩	両縁面に切り。
図23-10	SI116 (SP1499)	柱状礫土	石鏃	(307.0)	(244.0)	52.0	2.1	珩質頁岩	つまみ状の痕跡、素材面一部残存。
図23-11	SI116 (SP011)	1層	スクレーパーⅡ	45.7	25.6	10.1	12.5	珩質頁岩	
図23-12	SI116 (SP011)	1層	スクレーパーⅠ	90.6	48.3	13.3	63.2	珩質頁岩	図23-12と接合。
図23-13	SI116 (SP011)	1層	U.F.	90.3	42.5	21.7	74.8	珩質頁岩	図23-12と接合。
図24-7	SI117 (SP1327)	礫土	石鏃Ⅰ	74.5	24.7	8.2	18.0	珩質頁岩	素材削片の基端部につまみを形成、末端部のみ裏面二次加工。刃部に陥状物質付着。
図36-13	SR22 (SP1054)	礫土	スクレーパーⅡ	61.8	31.4	15.2	21.0	珩質頁岩	右側縁の刃部は内湾。
図36-14	SR22 (SP1054)	礫土	磨製石鏃	73.0	21.0	15.0	41.0	緑色凝灰岩	表面面とも丁寧に磨打、使用痕なし。両凸丸。
図36-19	SR24 (SP1076)	底面	磨製石鏃	(78.0)	39.0	15.5	94.4	緑色凝灰岩	基部欠損、粗削痕残存。両凸丸。

掲載番号	出土位置	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	備考
図36-21	S025 (SP1046)	柱状礫土	石籠	41.9	33.1	6.0	7.1	性質頁岩	大石平型。
図36-25	SR26 (SP1036)	礫土	石籠	51.5	17.9	9.0	10.0	145° \times 90°	素材背面側に急斜面の二次加工。
図36-26	SR26 (SP1111)	礫土	石籠	34.9	25.1	9.4	7.4	性質頁岩	大石平型。側面に黒色物質付着。
図36-33	SR28 (SP1240)	礫土	スクレーパー目	32.3	23.1	7.2	4.6	性質頁岩	
図36-39	SR29 \times 30 (SP1127)	礫土	石籠目a	37.1	13.4	4.7	2.0	性質頁岩	素材面一部残存。
図37-7	SR31 (SP1332)	柱状礫土	石籠目c	22.2	10.8	3.0	1.6	性質頁岩	素材面一部残存。
図37-8	SR31 (SP1222)	礫土	石籠目	89.0	78.5	24.0	213.6	緑色凝灰岩	十字型残り。
図37-14	SR33 (SP1524)	礫土	石籠目b	24.2	11.8	3.5	0.6	性質頁岩	
図37-15	SR33 (SP1555)	礫土	石籠目d	38.1	21.3	9.5	6.3	性質頁岩	素材面一部残存。
図37-16	SR33 (SP1524)	柱状礫土	印石目	159.0	91.0	45.0	1057.1	凝灰岩	
図37-24	SR37 (SP1974)	礫土上層	磨石	68.0	65.0	46.0	197.1	性質頁岩	
図40-4	SR22	礫土	磨石	65.0	57.0	49.0	215.3	凝灰岩	
図47-1	SP1011	礫土	磨石	65.0	28.2	13.2	23.3	性質頁岩	黒色物質付着。
図47-11	SP1090	礫土	磨石	65.0	63.0	36.0	113.9	性質頁岩	石籠の縁目に磨石。
図47-12	SP1097	礫土	右石籠	51.3	41.5	9.7	18.0	性質頁岩	素材割片の右側縁につまみを形成。つまみ面に黒色物質付着。
図47-16	SP1098	礫土	石籠目a	29.8	11.6	4.0	1.2	性質頁岩	
図47-17	SP1098	礫土	石籠目d	26.7	14.4	4.9	1.8	性質頁岩	素材面一部残存。
図47-22	SP1108	礫土	石籠	28.4	10.7	4.1	1.0	性質頁岩	つまみ状の頭部。素材面一部残存。
図47-23	SP1110	礫土	石籠	36.1	9.9	6.2	2.0	性質頁岩	横状。
図47-30	SP1136	1層	右石籠	10.7	8.1	1.9	197.4	凝灰岩	
図47-1	SP1133	礫土	スクレーパー目	23.4	18.4	4.8	2.4	性質頁岩	割片の周縁に急斜面刃部。短冊状。
図47-5	SP1137	礫土	石籠	49.0	27.6	11.8	15.4	性質頁岩	刃部に磨石状物質付着。
図47-6	SP1137	礫土	石籠	50.0	24.1	10.7	18.8	性質頁岩	
図47-24	SP1388	礫土	石籠	39.3	25.8	9.1	6.7	性質頁岩	つまみ状の頭部。素材面一部残存。
図47-32	SP1219	1層	右石籠	542.0	22.9	5.5	5.2	性質頁岩	素材割片の左側縁につまみを形成。つまみ高欠損。
図47-37	SP1234	礫土	右石籠	48.6	37.5	8.2	22.8	性質頁岩	素材割片の左側縁につまみを形成。
図48-6	SP1259	1層	右石籠目a	126.6	9.8	3.9	0.7	性質頁岩	
図48-11	SP1285	礫土	石籠	41.2	16.1	4.8	3.1	性質頁岩	つまみ状の頭部。素材面一部残存。
図48-18	SP1337	礫土	スクレーパー目	66.4	24.1	8.7	10.6	性質頁岩	片加工時。素材割片の左端部に急斜面刃部を形成。
図48-21	SP1361	礫土	スクレーパー目	22.5	15.2	3.8	1.6	性質頁岩	割片の周縁に弧状の刃部。磨石による磨跡。
図48-22	SP1372	柱状	右石籠	124.0	21.1	5.2	2.0	性質頁岩	
図48-27	SP1375	礫土	印石目	174.0	54.0	31.0	371.3	緑色凝灰岩	
図48-28	SP1375	礫土	印石目	115.0	84.0	60.0	741.7	凝灰岩	
図48-29	SP1375	礫土	石籠目	1127.0	114.0	60.0	724.6	凝灰岩	
図48-6	SP1366	礫土	スクレーパー目	51.8	28.0	7.8	8.9	性質頁岩	
図48-7	SP1402	1層	右石籠目	24.8	13.6	3.0	0.7	性質頁岩	素材面一部残存。
図48-8	SP1415	礫土	石籠目	32.4	10.8	3.0	0.90	性質頁岩	素材面一部残存。
図48-9	SP1436	礫土	石籠目b	18.3	12.2	2.9	0.5	性質頁岩	素材面一部残存。
図48-12	SP1503	礫土	印石目	1102.0	96.0	22.0	299.6	緑色凝灰岩	
図48-13	SP1503	礫土	石籠目	180.0	61.0	23.0	194.9	緑色凝灰岩	
図48-13	SP1502	柱状	右石籠	67.5	27.8	12.6	15.7	性質頁岩	右側縁は直線。左側縁は磨面に二次加工。
図48-14	SP1783	1層	右石籠	34.1	8.3	5.2	1.2	頁岩	
図48-16	SP1852	礫土	石籠目a	132.0	13.1	4.7	1.70	性質頁岩	素材面一部残存。
図48-17	SP1852	礫土	石籠目a	121.6	12.7	4.5	1.0	性質頁岩	
図48-18	SP1857	柱状	右石籠	9.8	7.4	2.8	295.1	緑色凝灰岩	
図48-24	SP2018	礫土	石籠目a	22.1	12.8	3.9	0.8	性質頁岩	素材面一部残存。
図48-25	SP2030	礫土	スクレーパー目	38.4	26.1	8.7	9.5	性質頁岩	割片の周縁に刃部。
図48-28	SP2030	礫土	磨製石沓	198.0	139.0	19.0	69.0	片岩	片面研製面なし。
図48-30	SP2076	礫土	石籠	31.9	17.8	5.5	1.7	性質頁岩	つまみ状の頭部。先端部に微細な割跡。
図48-31	SP2092	礫土	石籠	59.8	28.9	3.7	7.7	性質頁岩	
図48-33	SP1869	柱状下	右石籠	37.0	52.9	10.8	13.1	性質頁岩	素材割片の右側縁につまみを形成。
図48-4	SP1869	1層	印石目	121.0	99.0	41.0	441.4	緑色凝灰岩	
図48-5	SP1869	1層	磨石	119.0	84.0	53.5	870.3	片岩	
図48-6	SP1869	礫土	石籠目	27.2	5 (279.0)	84.0	55509.0	凝灰岩	磨石面。磨石目なし。
図48-9	SP1869	礫土	石籠目	146.0	61.0	43.0	794.0	凝灰岩	つまみ状の頭部。素材面一部残存。
図48-4	SP1900	7層	石籠	53.7	23.1	11.0	13.8	性質頁岩	素材割片の左側縁に刃部を形成。
図48-7	SP2000	礫土上層	石籠	91.7	8.0	6.0	5.0	性質頁岩	断面・角部。素材面一部残存。
図48-12	SP2244	3層	石籠	149.6	14.3	7.4	5.2	性質頁岩	断面面に黒色物質付着。
図48-13	SP2273	礫土	磨石	89.0	112.0	47.0	799.2	凝灰岩	
図48-14	SP2273	礫土	印石目	146.0	61.0	43.0	794.0	凝灰岩	
図48-15	SP2260	礫土	右石籠	62.0	42.5	18.0	64.9	緑色凝灰岩	
図48-2	SP2303	礫土	石籠目	62.0	52.0	22.0	93.0	凝灰岩	
図48-9	SP2354	礫土	石籠	62.0	18.7	11.3	14.3	性質頁岩	素材面一部残存。素材背面側に急斜面の二次加工。
図48-10	SP2366	礫土	石籠目b	31.1	13.9	3.8	1.1	性質頁岩	素材面一部残存。
図48-11	SP2400	礫土	石籠目	28.8	9.4	2.9	0.4	性質頁岩	断面14mm。
図48-12	SP2311	礫土	石籠目	13.4	7.4	9.8	20.0	性質頁岩	右側縁部に狭り状の加工。
図48-15	SP2300	礫土	スクレーパー目	64.7	53.6	14.2	54.5	性質頁岩	片加工時。
図48-16	SP2432	礫土	磨製石沓	117.0	116.0	66.0	2.0	緑色凝灰岩	
図48-3	SP2437	礫土	右石籠	69.0	68.0	27.0	165.6	凝灰岩	
図48-4	SP2450	1層	印石目	99.0	97.0	54.0	367.2	凝灰岩	
図48-16	SP2362	礫土	磨石	43.0	208.0	98.0	6.3	性質頁岩	つまみ状の頭部。素材面一部残存。
図48-17	SP2611	礫土	磨石	112.0	73.0	30.0	348.2	緑色凝灰岩	
図48-21	SP2660	礫土	石籠目d	27.3	17.4	5.0	1.9	頁岩	素材面一部残存。
図48-22	SP2671	礫土	スクレーパー目	45.5	24.2	13.2	11.4	性質頁岩	
図48-23	SP2671	礫土	磨石	43.0	40.0	22.0	48.6	性質頁岩	縦割りの縁目に磨石。
図48-1	SP2713	礫土	磨石	71.0	66.0	4.6	42.6	性質頁岩	
図48-2	SP2784	礫土上層	印石目	202.0	72.0	40.0	762.9	緑色凝灰岩	
図87-3	SP2833	礫土	石籠	40.0	68.8	27.7	62.9	性質頁岩	最終作業面と推定される面側に180度の打面彫込。3cm四方の小さな割片を伴出した磨跡。

砂子製造機IV

掲載番号	出土位置	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	備考
図87-5	SP2834	埋土	石鏡1d	22.6	16.7	3.7	1.0	瑠璃瓦葺	素材面一部残存。
図87-6	SP2836	1層	石鏡5a	17.0	12.3	4.8	0.7	瑠璃瓦葺	
図87-8	SP2867	埋土上層	磨製石片	103.0	55.0	35.0	497.4	緑色融成岩	
図87-14	SP2925	埋土上層	石片B	86.0	86.0	27.0	202.6	火山燄融成岩	
図87-1	焼土層IVC-72	1層	石鏡1c	25.9	13.1	4.5	1.3	頁岩	素材面一部残存。
図87-2	焼土層IVC-72	1層	石鏡	45.4	23.8	9.0	19.3	頁岩	
図87-3	焼土層IVC-72	1層	石鏡	31.8	21.0	5.7	3.9	瑠璃瓦葺	大石半塊。
図87-4	焼土層IVC-72	1層	石鏡	39.0	24.2	7.4	7.5	瑠璃瓦葺	素材面片の末端部に急斜度な刀痕。大石半型。
図87-5	焼土層IVC-72	1層	磨製石片	198.0	50.0	32.0	281.0	緑色融成岩	片由基溝端行磨削機。研削痕なし。
図87-6	焼土層IVC-72	1層	磨製石片	150.0	25.0	20.0	66.6	緑色融成岩	刃部使用部。両占片。
図87-7	焼土層IVC-72	1層	石鏡1	293.0	442.0	66.0	10300.0	融成岩	
図103-1	IV0-60	Ⅱ4 1層	石鏡1a	113.3	12.4	3.0	0.5	瑠璃瓦葺	先端部欠損。素材面一部残存。
図103-2	VG-67	Ⅱ層	石鏡1b	18.3	12.3	3.2	0.6	瑠璃瓦葺	
図103-3	IV1-56	Ⅱ層	石鏡1b	30.5	11.9	5.2	1.6	頁岩	
図103-4	IV1-63	Ⅱ層	石鏡1c	25.3	11.2	3.5	0.9	頁岩	
図103-5	IV1-61	1層	石鏡1c	28.9	15.6	3.8	1.3	頁岩	素材面一部残存。
図103-6	IV1-60	Ⅱ4 1層	石鏡1c	27.1	15.4	5.0	1.9	1471?>	素材面一部残存。
図103-7	VB-61	Ⅱ3 1層	石鏡1c	27.4	15.8	3.4	1.3	瑠璃瓦葺	
図103-8	VB-61	Ⅱ層	石鏡1c	120.9	12.2	3.0	0.7	頁岩	素材面一部残存。
図103-9	VC-63	Ⅱ層	石鏡1c	34.5	20.6	6.9	4.4	瑠璃瓦葺	素材面一部残存。
図103-10	VB-54	1層	石鏡1d	124.0	10.8	3.6	0.8	1471?>	素材面一部残存。
図103-11	IV1-62	Ⅱ層	石鏡5a	24.0	13.8	3.0	0.8	瑠璃瓦葺	素材面一部残存。
図103-12	VA-61	Ⅱ3 1層	石鏡5a	30.1	14.6	5.3	2.1	瑠璃瓦葺	素材面一部残存。
図103-13	IV1-63	Ⅱ層	石鏡1d	33.9	16.5	4.2	2.0	1471?>	
図103-14	IV1-66	Ⅱ層	石鏡1d	34.1	16.9	4.0	1.7	瑠璃瓦葺	
図103-15	IV1-61	Ⅱ4 1層	石鏡5a	40.6	21.1	8.2	6.4	1471?>	
図103-16	IV0-62	Ⅱ4 1層	石鏡5c	44.7	15.9	4.9	2.3	瑠璃瓦葺	素材面一部残存。
図103-17	IV1-61	Ⅱ4 1層	石鏡5c	38.5	12.8	3.9	1.4	瑠璃瓦葺	
図103-18	IV1-62	Ⅱ層	石鏡5a	136.6	12.1	4.3	1.3	瑠璃瓦葺	
図103-19	VR-63	Ⅱ層	石鏡5a	31.6	11.8	4.5	1.4	瑠璃瓦葺	素材面一部残存。基部に黒色物質付着。
図103-20	IV1-59	Ⅱ4 1層	石鏡5c	32.1	13.7	2.8	0.6	瑠璃瓦葺	素材面一部残存。基部長14mm。
図103-21	VC-62	Ⅱ層	石鏡5a	130.4	17.4	4.5	1.2	瑠璃瓦葺	素材面一部残存。基部黒色物質付着。
図103-22	VC-60	Ⅱ層	石鏡5a	132.3	14.4	3.2	1.3	瑠璃瓦葺	基部に黒色物質付着。
図103-23	不明	表段	石鏡5a	25.0	11.0	4.0	0.5	瑠璃瓦葺	
図103-24	IV1-59	Ⅱ4 1層	石鏡5c	121.9	11.8	2.5	0.3	瑠璃瓦葺	
図103-25	VF-54	1層	石鏡5c	123.8	14.8	2.9	0.6	瑠璃瓦葺	
図103-26	IV1-59	Ⅱ層	石鏡5c	30.2	12.3	3.3	1.0	1471?>	
図103-27	IV0-64	Ⅱ層	石鏡5a	29.9	13.5	3.5	1.0	瑠璃瓦葺	先端部生2の二次加工か。
図103-28	IV1-62	Ⅱ4 1層	石鏡5b	25.9	11.3	2.9	0.6	瑠璃瓦葺	基部黒色物質付着。
図103-29	IV1-63	Ⅱ層	石鏡5c	25.4	11.9	3.1	0.7	瑠璃瓦葺	素材面一部残存。基部に黒色物質付着。
図103-30	IV0-60	Ⅱ4 1層	石鏡5c	26.4	11(2.5)	4.2	0.9	瑠璃瓦葺	
図103-31	IV0-60	Ⅱ4 2層	石鏡5c	25.9	11.8	2.6	0.5	瑠璃瓦葺	素材面一部残存。
図103-32	IV1-59	Ⅱ4 1層	石鏡5b	23.6	13.3	3.5	0.7	瑠璃瓦葺	素材面一部残存。
図103-33	IV1-68	Ⅱ層	石鏡5b	124.0	10.6	3.1	0.6	瑠璃瓦葺	
図103-34	IV1-68	Ⅱ層	石鏡5c	20.4	10.8	2.9	0.4	瑠璃瓦葺	基部黒色物質付着。
図103-35	IV1-65	Ⅱ層	石鏡5c	119.8	12.7	3.6	0.7	瑠璃瓦葺	
図103-36	IV1-59	Ⅱ4 1層	石鏡5c	20.8	10.9	2.6	0.5	1471?>	素材面一部残存。
図103-37	IV0-59	Ⅱ4 2層	石鏡5b	125.6	16.8	4.2	1.2	瑠璃瓦葺	
図103-38	IV1-62	Ⅱ4 1層	石鏡5a	36.0	14.4	5.2	2.5	瑠璃瓦葺	素材面一部残存。基部黒色物質付着。
図103-39	IV0-59	Ⅱ4 1層	石鏡5a	32.4	10.2	3.9	0.9	瑠璃瓦葺	素材面一部残存。
図103-40	IV1-63	Ⅱ層	石鏡5a	31.1	11.8	3.2	0.8	瑠璃瓦葺	素材面一部残存。
図103-41	IV1-68	Ⅱ層	石鏡5c	27.9	12.8	3.6	1.0	瑠璃瓦葺	素材面一部残存。
図103-42	IV1-60	Ⅱ4 1層	石鏡5a	27.4	11.8	4.7	1.2	瑠璃瓦葺	素材面一部残存。
図103-43	不明	表段	石鏡5a	126.6	13.4	3.5	0.9	瑠璃瓦葺	素材面一部残存。基部黒色物質付着。
図103-44	IV1-59	Ⅱ4 1層	石鏡5a	35.0	12.3	5.5	2.0	瑠璃瓦葺	素材面一部残存。
図103-45	IV1-61	Ⅱ4 1層	石鏡5b	124.6	11.8	5.3	1.3	瑠璃瓦葺	基部黒色物質付着。
図103-46	IV1-63	Ⅱ層	石鏡5a	30.4	12.5	3.5	1.0	瑠璃瓦葺	
図103-47	IV1-59	Ⅱ4 1層	石鏡5a	127.0	13.1	3.2	1.1	瑠璃瓦葺	素材面一部残存。
図103-48	IV1-62	Ⅱ層	石鏡5a	26.4	14.3	3.3	0.9	瑠璃瓦葺	素材面一部残存。
図103-49	VR-54	Ⅱ層	石鏡5a	131.3	15.6	4.0	1.6	瑠璃瓦葺	素材面一部残存。
図103-50	IV0-69	不明	石鏡5a	22.5	10.3	3.9	0.8	瑠璃瓦葺	
図103-51	IV0-54	Ⅱ層	石鏡5a	14.2	9.2	2.9	0.3	敷石茶	素材面一部残存。
図103-52	IV1-64	Ⅱ層	石鏡5a	124.9	9.6	3.2	0.5	瑠璃瓦葺	素材面一部残存。基部長13mm。
図103-53	IV1-72	Ⅱ層	石鏡1d	140.9	12.0	6.6	2.6	瑠璃瓦葺	素材面一部残存。
図103-54	IV1-60	埋土	石鏡5a	139.1	16.2	4.1	1.5	瑠璃瓦葺	
図103-55	IV1-62	Ⅱ層	石鏡	26.2	7.0	4.4	0.8	瑠璃瓦葺	
図103-56	IV1-65	Ⅱ層	石鏡	33.8	8.6	4.8	1.4	瑠璃瓦葺	
図103-57	IV1-64	Ⅱ層	石鏡	40.5	8.3	4.5	1.5	瑠璃瓦葺	
図103-58	IV0-62	Ⅱ4 1層	石鏡	52.5	8.8	6.0	3.2	瑠璃瓦葺	

掲載番号	出土位置	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	備考
図103-59	IVF-54	Ⅲ層	石鏃	74.0	43.0	17.0	58.2	珪質頁岩	
図103-60	IVF-52	Ⅲ層	石鏃	107.0	55.0	19.0	118.4	珪質頁岩	
図104-1	IVB-72	Ⅲ層	石鏃Ⅰ	35.5	12.4	4.7	2.1	珪質頁岩	
図104-2	IVF-73	Ⅲ層	石鏃Ⅰ	51.5	23.4	8.2	18.4	珪質頁岩	
図104-3	IVF-65	Ⅲ層	石鏃Ⅰ	45.9	20.6	6.2	5.1	珪質頁岩	
図104-4	IVF-68	Ⅲ層	石鏃Ⅰ	43.8	23.1	7.2	8.3	珪質頁岩	
図104-5	IVQ-61	Ⅲ層	石鏃Ⅰ	50.6	20.6	6.3	6.5	珪質頁岩	
図104-6	VQ-54	Ⅲ(Ⅲa)層	石鏃Ⅰ	54.3	25.4	4.2	5.1	珪質頁岩	
図104-7	IVQ-59	Ⅲ層	石鏃Ⅰ	64.3	28.0	10.4	15.6	珪質頁岩	素材切片の基端側につまみを形成。
図104-8	IVF-63	Ⅲ層	石鏃Ⅰ	53.6	28.9	4.8	6.5	珪質頁岩	素材切片の基端側につまみを形成。本端側に持ち状の二次加工。
図104-9	IVF-67	Ⅲ層	石鏃Ⅱ	59.8	34.9	14.6	28.6	珪質頁岩	
図104-10	IVF-57	Ⅲ層	石鏃Ⅱ	43.5	24.1	6.2	7.7	珪質頁岩	
図104-11	V A-63	Ⅲ層	石鏃Ⅱ	43.4	33.9	10.8	17.7	珪質頁岩	
図104-12	IVF-62	Ⅲ層	石鏃Ⅱ	32.5	11.0	12.0	17.0	珪質頁岩	
図104-13	V M-55	Ⅲ層	石鏃Ⅱ	144.0	39.0	12.2	16.5	珪質頁岩	刃部欠損。被熱変質。
図104-14	IVF-62	Ⅲ層	石鏃Ⅱ	40.6	64.0	8.8	14.2	珪質頁岩	刃部端に素材切片打点。
図104-15	IVF-63	Ⅲ層	石鏃Ⅱ	40.5	60.2	18.1	24.8	珪質頁岩	
図104-16	IVF-61	Ⅲ層	石鏃Ⅱ	50.7	49.7	8.2	28.4	珪質頁岩	
図104-17	IVB-36	Ⅲ層	石鏃Ⅱ	53.9	63.8	15.2	44.4	珪質頁岩	
図104-18	IVQ-59	Ⅲ層	石鏃Ⅱ	46.5	66.8	18.6	42.4	珪質頁岩	左側に持ち状の加工。
図105-1	不明	Ⅲ上層	石鏃	42.1	13.2	7.9	5.1	珪質頁岩	
図105-2	V A-61	Ⅲ層	石鏃	45.4	24.1	8.6	10.5	珪質頁岩	
図105-3	IVF-62	Ⅲ層	石鏃	44.9	24.6	9.2	12.4	珪質頁岩	
図105-4	IVF-72	Ⅲ層	石鏃	50.9	22.9	9.7	11.3	珪質頁岩	
図105-5	IVF-62	Ⅲ層	石鏃	59.3	20.7	10.3	18.5	珪質頁岩	
図105-6	IVQ-61	Ⅲ層	石鏃	63.0	25.0	12.5	27.5	珪質頁岩	トランシェ型石鏃。
図105-7	IVQ-63	Ⅲ層	石鏃	85.2	37.7	11.8	46.2	珪質頁岩	
図105-8	IVQ-63	Ⅲ層	石鏃	92.0	40.0	14.2	54.1	珪質頁岩	
図105-9	IVF-72	Ⅲ層	石鏃	107.8	46.0	20.1	129.1	珪質頁岩	
図105-10	IVF-62	Ⅲ層	複刃石鏃	34.6	18.7	6.3	3.0	珪質頁岩	
図105-11	IVF-72	Ⅲ層	複刃石鏃	123.3	14.3	5.8	1.2	珪質頁岩	十字組。
図105-12	IVF-64	Ⅲ層	複刃石鏃	30.2	24.9	8.8	6.3	珪質頁岩	断面トランス状。多方向から両側削跡。
図105-13	IVF-72	Ⅲ層	複刃石鏃	30.9	31.1	8.8	9.4	珪質頁岩	断面トランス状。多方向から両側削跡。
図105-14	IVF-74	Ⅲ層	複刃石鏃	20.8	(35.6)	9.9	7.1	珪質頁岩	断面トランス状。
図105-15	VH-63	Ⅲ層	スタレノバールⅠ	35.9	18.9	8.4	4.7	珪質頁岩	
図105-16	IVF-59	Ⅲ層	スタレノバールⅡ	58.0	39.8	11.1	18.3	珪質頁岩	
図105-17	IVF-59	Ⅲ層	スタレノバールⅡ	60.0	41.5	21.6	69.3	珪質頁岩	
図105-18	IVF-64	Ⅲ層	スタレノバールⅡ	52.9	41.0	15.0	27.2	珪質頁岩	切片本端側の内溝すべり片の両面側に刃部を作出。
図105-19	IVF-64	Ⅲ層	スタレノバールⅡ	58.1	31.5	13.5	29.4	珪質頁岩	石鏃跡。左端側に持ち状の刃部。
図106-1	IVF-52	Ⅲ層	スタレノバールⅠ	48.0	26.5	15.4	28.1	珪質頁岩	
図106-2	IVF-62	Ⅲ層	スタレノバールⅠ	65.8	28.2	25.7	104.3	珪質頁岩	
図106-3	IVF-69	Ⅲ層	スタレノバールⅠ	58.8	28.7	19.8	63.0	珪質頁岩	
図106-4	IVF-57	Ⅲ層	スタレノバールⅠ	59.4	28.6	21.3	69.8	珪質頁岩	
図106-5	IVF-61	Ⅲ層	スタレノバールⅠ	56.7	40.6	19.9	104.0	珪質頁岩	
図106-6	IVF-63	Ⅲ層	スタレノバールⅠ	26.2	11.9	4.2	1.4	珪質頁岩	
図106-7	IVF-63	Ⅲ層	スタレノバールⅠ	30.4	19.6	5.5	3.4	珪質頁岩	
図106-8	IVF-59	Ⅲ層	スタレノバールⅠ	35.0	29.0	8.5	8.9	珪質頁岩	
図106-9	IVF-62	Ⅲ層	スタレノバールⅡ	36.9	32.5	10.9	9.7	珪質頁岩	
図106-10	IVB-73	Ⅲ層	スタレノバールⅠ	33.6	35.6	9.7	11.6	珪質頁岩	
図106-11	IVQ-62	Ⅲ層	スタレノバールⅠ	31.0	37.0	8.4	9.7	珪質頁岩	
図106-12	IVF-74	Ⅲ層	スタレノバールⅠ	42.8	42.5	18.1	30.7	珪質頁岩	
図106-13	IVF-62	Ⅲ層	スタレノバールⅠ	38.4	28.2	8.8	7.7	珪質頁岩	
図106-14	IVQ-63	Ⅲ層	スタレノバールⅠ	40.9	43.1	9.4	15.6	珪質頁岩	
図106-15	IVF-63	Ⅲ層	スタレノバールⅠ	46.7	26.2	8.0	13.9	珪質頁岩	
図106-16	IVQ-59	Ⅲ層	スタレノバールⅠ	111.0	33.6	6.6	12.0	珪質頁岩	
図106-17	V A-63	Ⅲ層	スタレノバールⅠ	52.6	26.6	10.8	11.1	珪質頁岩	
図107-1	IVQ-60	Ⅲ層	スタレノバールⅠ	64.3	38.0	9.4	28.2	珪質頁岩	
図107-2	IVF-64	Ⅲ層	スタレノバールⅠ	49.0	24.4	11.2	12.5	珪質頁岩	
図107-3	IVQ-69	Ⅲ層	スタレノバールⅠ	66.8	26.8	15.0	31.5	珪質頁岩	
図107-4	IVF-62	Ⅲ層	E.F.	44.1	48.8	15.4	45.7	珪質頁岩	両側に刃こぼれをもつ切片。
図107-5	IVF-63	Ⅲ層	スタレノバールⅠ	45.7	46.0	15.6	41.0	珪質頁岩	
図107-6	IVF-62	Ⅲ層	スタレノバールⅠ	111.3	23.1	8.0	9.0	珪質頁岩	右刃面に急斜変な刃部。
図107-7	IVF-71	Ⅲ層	スタレノバールⅠ	68.7	24.1	13.8	23.9	珪質頁岩	
図107-8	IVF-60	Ⅲ層	スタレノバールⅠ	65.2	20.3	12.7	21.8	珪質頁岩	※①②
図107-9	VC-62	Ⅲ層	スタレノバールⅠ	75.5	34.1	10.2	25.0	珪質頁岩	基部褐色物質による結晶痕。
図107-10	IVF-62	Ⅲ層	スタレノバールⅠ	63.1	43.4	13.7	43.6	珪質頁岩	
図107-11	不明	Ⅲ上層	スタレノバールⅠ	109.5	33.7	15.4	67.0	珪質頁岩	
図107-12	IVF-63	Ⅲ層	スタレノバールⅠ	108.0	36.5	12.2	38.3	珪質頁岩	
図108-1	VF-61	Ⅲ層	石鏃	36.0	46.5	27.7	51.4	珪質頁岩	角張る素材。打面側を傾斜に磨り返し約3cm四方の小さな切片を作出した形跡。

砂子搬送路IV

掲載番号	出土位置	層位	岩種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	備考
図109-2	IVQ-63	Ⅲ層	石積	51.5	54.9	24.5	83.9	仕置瓦岩	同一の作業面に対して、連続的に求むるな割継。3cm四方の小さな割片を作出した形跡。
図109-3	IVN-56	Ⅲ層	石積	58.1	52.4	53.0	172.7	仕置瓦岩	内縁を素材、打面部位を割継に繰り返して約1-5cm四方の小さな割片を作出した形跡。
図109-4	IVN-59	IV4 1層	石積	55.0	64.3	20.8	77.0	仕置瓦岩	
図109-5	IVT-64	1層	石積	46.7	65.1	30.4	85.8	仕置瓦岩	
図109-6	IVP-52	Ⅲ層	石積	150.0	105.0	82.5	1106.5	仕置瓦岩	
図109-7	IVN-59	IV4 1層	石積	106.0	78.0	45.5	368.2	仕置瓦岩	
図109-9	IVY-68	Ⅲ層	磨製石片	82.0	42.0	22.5	138.4	緑色片岩	基部縦打撃形痕、先端部は表面面とも丁寧に研磨。縁口不明視。両凸方。
図109-9	IVY-61	1層	磨製石片	105.0	42.0	21.0	160.4	緑色燧状岩	基部縦打撃形痕、刃部使用痕。両凸方。
図109-9	IVP-63	Ⅲ層	磨製石片	99.0	36.0	22.5	118.5	燧状岩	刃部丁寧に研磨。両凸方。
図109-9	IVN-4	1層	磨製石片	67.0	42.0	26.0	109.3	緑色片岩	基部～刃部欠損。頸部と欠損部に縦打痕。
図109-5	IVQ-64	Ⅲ層	磨製石片	166.0	51.5	31.0	156.0	緑色燧状岩	刃部使用痕。両凸方。
図109-6	IVQ-64	Ⅲ層	磨製石片	173.0	49.0	32.0	164.3	緑色燧状岩	両凸方。
図109-7	IVP-62	IV4 1層	磨製石片	168.0	50.0	27.0	167.5	緑色燧状岩	両凸方。
図109-8	IVD-70	1層	磨製石片	154.0	31.0	14.0	37.9	緑色燧状岩	両凸方。
図109-9	IVY-52	Ⅲ層	磨製石片	43.0	12.0	9.0	8.3	緑色燧状岩	両凸方。
図109-10	IVH-68	Ⅲ層	磨石	96.0	1134.0	50.0	772.9	燧状岩	
図109-11	不明	IV4 1層	磨石	49.0	50.0	46.0	104.1	燧状岩	1cm程度の磨面残存。
図109-12	VP-63	Ⅲ層	磨石	74.0	66.0	46.0	273.6	燧状岩	磨面不明視。
図109-13	IVT-60	IV4 1層	磨石	68.5	47.0	39.0	139.4	緑色燧状岩	
図109-14	IVW-56	Ⅲ層	磨石	123.0	59.0	40.0	438.4	燧状岩	
図109-15	不明	Ⅲ層	磨石	174.0	68.0	54.0	940.5	燧状岩	重傷縁の一面に縦打痕。
図110-1	IVY-63	Ⅲ層	燧石	56.0	56.0	52.0	145.4	燧状岩	破砕片の縁部に縦打痕。
図110-2	IVQ-60	IV4 1層	燧石	80.0	78.0	46.0	280.6	燧状岩	
図110-3	IVY-63	Ⅲ層	燧石	36.0	58.0	30.0	77.3	仕置瓦岩	
図110-4	IVY-57	Ⅲ層	燧石	49.0	58.0	36.0	108.9	仕置瓦岩	重傷縁の一面に縦打痕。
図110-5	IVY-58	Ⅲ層	燧石	47.0	45.0	34.0	82.2	仕置瓦岩	破砕片の縁部に縦打痕。
図110-6	IVN-60	IV4 1層	燧石	83.5	54.0	37.0	174.8	仕置瓦岩	使用により欠損の可能性。
図110-7	IVT-62	Ⅲ層	燧石	68.0	62.0	35.0	181.9	仕置瓦岩	縦打面は円錐の欠損面を利用。
図110-8	ⅢP-63	IV4 2層	燧石	86.0	73.0	52.0	349.2	緑色燧状岩	
図110-9	IVP-58	IV4 2層	燧石	179.0	48.0	31.0	171.9	緑色燧状岩	
図111-1	VN-60	Ⅲ層	卵石Ⅱ	163.5	72.0	39.0	211.6	燧状岩	
図111-2	IVP-63	IV4 2層	卵石Ⅱ	93.0	60.0	46.5	320.6	燧状岩	
図111-3	IVP-64	Ⅲ層	卵石Ⅱ	94.5	80.0	50.0	448.3	燧状岩	
図111-4	IVP-64	Ⅲ層	卵石Ⅱ	87.5	81.0	47.0	409.6	燧状岩	炭化物付着。
図111-5	IVN-60	IV4 1層	卵石Ⅱ	97.0	81.0	35.0	374.9	緑色燧状岩	
図111-6	IVN-59	IV4 1層	卵石Ⅱ	99.5	86.0	43.5	367.7	燧状岩	
図111-7	IVQ-63	Ⅲ層	卵石Ⅱ	103.0	63.0	29.0	245.5	緑色燧状岩	
図111-8	VQ-64	Ⅲ層	卵石Ⅱ	134.5	92.0	29.0	476.7	燧状岩	
図112-1	IVQ-60	IV4 1層	卵石Ⅱ	85.0	81.0	60.0	625.5	緑色燧状岩	
図112-2	VN-54	IV4 1層	卵石Ⅱ	146.0	107.0	48.0	1048.5	燧状岩	
図112-3	IVQ-59	IV4 1層	卵石Ⅱ	102.0	110.0	35.0	412.0	緑色燧状岩	
図112-4	IVW-53	Ⅲ層	卵石Ⅱ	110.5	81.5	24.9	274.4	燧状岩	
図112-5	IVW-59	IV4 1層	卵石Ⅱ	99.0	94.0	38.0	368.2	燧状岩	
図112-6	VC-62	IV3 埋積土	卵石Ⅱ	131.0	82.0	25.0	256.4	燧状岩	
図112-7	IVL-60	IV4 1層	卵石Ⅱ	121.0	86.5	56.9	815.6	燧状岩	
図113-1	IVA-65	IV4 1層	卵石Ⅱ	186.0	93.0	64.0	1256.2	緑色燧状岩	
図113-2	IVQ-59	IV4 2層	卵石Ⅱ	111.0	50.0	23.0	168.7	緑色燧状岩	
図113-3	IVQ-60	IV4 1層	卵石Ⅱ	120.0	79.0	41.0	528.8	燧状岩	
図113-4	VP-69	Ⅲ層	卵石Ⅱ	123.0	86.0	49.5	838.6	燧状岩	炭化物付着。
図113-5	VC-60	Ⅲ層	卵石Ⅱ	135.0	78.0	36.9	371.8	燧状岩	
図113-6	VS-53	Ⅲ層	卵石Ⅱ	161.0	61.0	35.9	453.3	燧状岩	
図114-1	IVP-61	IV4 1層	石鐘Ⅱ	58.0	47.0	17.5	49.7	燧状岩	
図114-2	IVQ-60	IV4 1層	石鐘Ⅱ	58.5	41.5	14.5	52.6	燧状岩	
図114-3	IVP-61	IV4 1層	石鐘Ⅱ	59.0	41.0	16.0	37.6	燧状岩	
図114-4	IVQ-62	IV4 1層	石鐘Ⅱ	66.5	41.0	16.5	63.7	緑色燧状岩	
図114-5	IVP-62	IV4 1層	石鐘Ⅱ	69.0	51.0	19.0	74.6	燧状岩	
図114-6	IVP-62	IV4 1層	石鐘Ⅱ	73.0	65.0	25.0	130.3	燧状岩	
図114-7	IVP-62	IV4 1層	石鐘Ⅱ	85.0	72.0	25.5	173.8	燧状岩	一部欠損。
図114-8	IVP-62	IV4 1層	石鐘Ⅱ	76.0	61.0	18.0	103.5	燧状岩	一部欠損。

掲載番号	出土位置	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	備考
図114-9	IVP-61	ⅡC4 1層	石鐘目	80.0	66.0	20.0	141.5	緑色結晶岩	
図114-10	IVB-65	ⅡC4 堆積土	石鐘目	86.0	74.0	21.0	188.8	緑閃岩	微細な磨痕。
図114-11	IVB-62	ⅡC4 1層	石鐘目	96.0	75.0	24.0	266.6	緑色結晶岩	微細な磨痕。
図114-12	IVF-61	Ⅱ層	石鐘目	90.0	79.0	26.5	185.5	緑閃岩	微細な磨痕。一部欠損。
図115-1	IVQ-63	Ⅱ層	石鐘目	95.0	80.0	19.0	189.8	緑色結晶岩	
図115-2	IVH-68	Ⅱ層	石鐘目	103.0	82.0	22.5	236.5	緑色結晶岩	
図115-3	IVQ-62	ⅡC4 1層	石鐘目	89.0	87.0	19.5	192.7	緑閃岩	一部欠損。
図115-4	IVB-64	Ⅱ層	石鐘目	45.0	36.0	17.0	30.9	緑閃岩	
図115-5	IVQ-59	ⅡC4 1層	石鐘目	69.0	41.0	16.0	61.6	緑閃岩	
図115-6	IVB-64	Ⅱ層	石鐘目	79.0	65.0	20.0	114.3	緑閃岩	一部欠損。
図115-7	不明	ⅡC4 1層	石鐘目	79.0	54.0	24.0	98.5	緑閃岩	
図115-8	IVY-61	Ⅱ層	石鐘目	70.0	64.0	23.5	143.3	緑閃岩	
図115-9	IVF-64	Ⅱ層	石鐘目	85.0	65.0	27.0	178.3	緑色結晶岩	一部欠損。
図115-10	IVQ-63	Ⅱ層	石鐘目	76.0	60.0	16.0	83.6	緑閃岩	一部欠損。
図115-11	VB-65	Ⅱ層	石鐘目	71.0	53.0	21.0	102.2	緑色結晶岩	
図115-12	IVY-61	Ⅱ層	石鐘目	117.0	77.0	33.0	401.7	緑閃岩	
図116-1	IVB-61	ⅡC4 1層	石籠 I	②31.0)	161.0	69.0	21000.0	緑閃岩	
図116-2	IVY-72	Ⅱ層	石籠 I	②92.0	218.0	57.0	28500.0	緑閃岩	
図116-3	IVB-56	Ⅱ層	石籠 I	②31.0)	134.0)	46.0	17000.0	緑閃岩	
図116-4	VN-60	ⅡC4 1層	石籠 I	②96.0)	471.0)	100.0	16350.0	緑閃岩	
図116-5	VQ-54	Ⅱ層	石籠目	405.0	178.0	86.0	87000.0	緑閃岩	
図116-6	IVY-64	Ⅱ層	石籠目	270.0	178.0	50.0	57000.0	緑閃岩	
図124-6	HS907	2層	石籠 I	500.0	210.0	90.0	25.7	珪質頁岩	
図124-7	HS907	6層	石籠目	400.0	470.0	110.0	16.0	珪質頁岩	
図124-8	HS907	7層	石籠目	540.0	580.0	70.0	26.4	珪質頁岩	
図126-1	IVY-54	Ⅱ層	石籠目	①3.0)	13.0	6.0	3.0	珪質頁岩	
図126-2	IVY-54	Ⅱ層	石籠	174.0)	41.6	16.5	50.20	珪質頁岩	
図126-3	IVY-53	Ⅱ層	石籠目	138.0	50.0	31.0	336.4	緑色結晶岩	
図126-4	IVY-52	ⅡC101 1層	石籠目	149.0	87.0	42.0	685.2	緑色結晶岩	
図126-5	IVC-54	Ⅱ層	石籠目	143.0	190.0	49.0	783.7	珪質頁岩	
図126-6	ⅡV-53	ⅡC101 1層	石籠	242.0	208.0	37.0	5370.1	花崗閃緑岩	
図128-2	ⅡF-102	Ⅱ層	スチラーバー目	44.5	25.6	6.6	7.9	珪質頁岩	
図128-8	ⅡF-101	Ⅱ層	シフ	68.0	38.4	14.6	36.8	珪質頁岩	

土製品観察表

図 番号	遺物名	グロッド	層位	器種	文様等	計測値(mm)			重量 (g)	備考	
						長さ	幅	厚さ			
14	20	SI105(SP268)	—	細線画	土塊	無文・陶突彫・貫通孔	99.0	99.7	24	127.8	
14	21	SI105(SP1618)	—	薄土	円筒	沈線	33	31	8	7.0	
18	8	SI113(SP2183)	—	薄土土塊	不明	沈線・貫通孔	25	22	9	3.3	土製品-1) 卑胎
21	7	SI115(SP1252)	—	2層	①②⑦	沈線	①径(99)	底径(45)	器高(44)	26.4	付付
21	8	SI115(SP1252)	—	2層	①②⑦	縁線・沈線	57	35	23	51.3	上面穿孔
36	17	SP251(SP1043)	—	薄土	①②⑦	無文	①径(66)	底径(24)	器高(37)	20.8	
36	22	SP251(SP1045)	—	薄土	円筒	縁線	35	30	9	13.6	
36	27	SP261(SP1037)	—	薄土	三角	無文	38	47	8	11.1	
36	28	SP261(SP1037)	—	薄土	三角	無文	28	30	7	5.6	
36	34	SP261(SP1309)	—	薄土	円筒	沈線	29	36	6	8.9	
78	21	SP1199	—	細線画	円筒	無文	30	29	9	6.6	
79	28	SP1211	—	薄土	円筒	沈線	36	39	6	11.3	
80	26	SP1375	—	薄土	円筒	無文	28	27	9	6.7	
81	5	SP1474	—	1層	土塊	無彫	(44)	(36)	17	17.4	観照 厚保 P-1
81	14	SP1566	—	薄土	土塊	沈線・陶突彫	(55)	(37)	15	21.8	
81	24	SP1583	—	薄土	①②⑦	無文	①径(60)	—	器高(44)	32.4	付付
82	3	SP1589	—	薄土	三角	沈線	32	34	8	6.4	
82	11	SP1606	—	底面	①②⑦	沈線	①径(21)	底径(10)	器高(36)	21.2	土製品-1)
82	23	SP2017	—	薄土	円筒	縁線	38	33	8	9.7	
83	13	SP2191	—	薄土土塊	三角	沈線	38	37	8	10.6	
84	8	SP2214	—	薄土	土塊	沈線・縁線	(37)	(31)	35	22.7	土製品-1)
84	15	SP2273	—	薄土	円筒	沈線	40	38	8	13.0	
86	2	SP2455	—	薄土	円筒	沈線	23	25	6	12.7	
87	16	SP2604	—	薄土	①②⑦	無文	—	—	(51)	6.3	
96	8	—	積立層IVC-72	1層	円筒	単純筋帯(類)	32	32	11	33.8	
117	1	—	不明	表採	土塊	陶突・輪帯	(54)	(37)	(33)	23.0	Ⅱ1年度調査
117	2	—	ⅡA-61	Ⅱ層	土塊	沈線	(42)	(48)	(24)	23.3	Ⅱ2年度調査
117	3	—	VY-62	Ⅱ層	土塊	沈線	(29)	(24)	(21)	12.9	Ⅱ2年度調査
117	4	—	不明	Ⅱ層	土塊	沈線・貫通孔	(40)	(60)	22	71.6	Ⅱ1年度調査
117	5	—	不明	Ⅱ層	土塊	沈線・貫通孔	(47)	(44)	7	27.4	
117	6	—	IVB-62	ⅡC4 1層	土塊	沈線・貫通孔	(60)	(50)	18	42.5	
117	7	—	PC-50	Ⅱ層	土塊	沈線・貫通孔	(66)	(55)	17	53.3	Ⅱ1年度調査
117	8	—	不明	Ⅱ層	土塊	沈線・貫通孔	(73)	(41)	17	44.3	Ⅱ1年度調査
117	9	—	不明	Ⅱ層	土塊	沈線・陶突彫・貫通孔	(41)	(23)	17	20.1	Ⅱ1年度調査
117	10	—	VB-50	Ⅱ層	土塊	沈線・陶突彫・貫通孔	(65)	(45)	23	56.1	Ⅱ1年度調査
117	11	—	VB-50	—	土塊	沈線・貫通孔	(60)	(56)	26	46.6	Ⅱ1年度調査
117	12	—	不明	不明	土塊	沈線・陶突彫・貫通孔	(120)	(105)	25	160.9	Ⅱ1年度調査

砂子搬送路IV

図 番号	造機名	グリッド	部位	器種	文様等	計測値 (mm)			重量 (g)	備考
						長さ	幅	厚さ		
118 1	—	IV-Q-61	穴4 1層	土塊	沈線・貫通孔	(36)	(37)	12	14.8	
118 2	—	IV-P-59	目層	土塊	沈線	(40)	(60)	22	64.1	据2年度調査
118 3	—	IV-Y-61	目層	土塊	沈線	(42)	(69)	18	25.7	据2年度調査
118 4	—	IV-Y-61	目層	土塊	沈線	(57)	(43)	17	23.6	据2年度調査
118 5	—	IV-Y-59	目層	土塊	沈線	(33)	(53)	11	13.3	据2年度調査
118 6	—	IV-P-59	目層	土塊	沈線	(60)	(52)	18	55.2	据2年度調査
118 7	—	IV-P-59	目層	土塊	沈線	(27)	(55)	18	20.1	据2年度調査
118 8	—	IV-F-52	覆孔	土塊	網状配	(47)	(52)	15	34.4	
118 9	—	不明	目層	土塊	無文	(64)	(71)	19	70.7	据2年度調査
118 10	—	IV-Y-62	目層	土塊	沈線	(29)	(66)	15	16.0	据2年度調査
118 11	—	IV-S-59	目5層	土塊	沈線	(42)	(61)	15	29.6	据2年度調査
118 12	—	不明	穴4 1層	土塊	沈線	(65)	(71)	15	59.6	D-1
118 13	—	IV-P-68	目層	土塊	無文	(26)	25	42	19.0	
118 14	—	IV-Y-64	目層	土塊	沈線+L状	(42)	(55)	23	29.3	
119 1	—	IV-F-62	穴4 1層	円盤	沈線	35	37	6	9.8	
119 2	—	IV-A-61	穴4 1層	円盤	沈線	30	32	7	5.8	
119 3	—	IV-I-68	目層	円盤	沈線	39	38	8	14.8	
119 4	—	IV-S-59	穴4 1層	円盤	沈線	51	45	9	16.1	
119 5	—	IV-S-63	穴4 1層	円盤	沈線	50	54	8	17.2	
119 6	—	IV-F-62	穴4 1層	円盤	沈線	38	40	11	15.5	
119 7	—	IV-F-68	目層	円盤	無網目	30	32	11	9.3	
119 8	—	IV-I-61	目層	円盤	無	29	41	9	13.8	
119 9	—	IV-S-62	穴4 1層	円盤	無網目	40	43	9	16.3	
119 10	—	IV-Q-60	穴4 1層	円盤	紐	44	41	7	12.9	群蝕
119 11	—	IV-F-63	目層	円盤	無文	53	55	11	20.0	群蝕
119 12	—	IV-F-61	穴4 1層	円盤	無文	35	33	8	8.5	
119 13	—	IV-Q-59	穴4 1層	円盤	無文	36	31	7	10.4	
119 14	—	IV-S-62	穴4 1層	円盤	無文	43	43	9	16.1	
119 15	—	IV-S-59	穴4 1層	円盤	沈線	67	65	13	55.5	底層
119 16	—	IV-F-61	穴4 1層	三角	沈線	39	39	7	10.9	
119 17	—	IV-S-52	穴4 1層	コブ状	無文	—	底層(40)	最上(22)	16.9	
119 18	—	IV-Q-60	穴4 1層	耳盤	無文	58	58	35	87.8	
119 19	—	IV-F-72	覆孔	耳盤	網状	48	47	32	61.1	
119 20	—	IV-P-54	目層	動物形	網状	(36)	(25)	19	11.2	
119 21	—	IV-B-61	穴3 1層	不明	穿孔	(17)	(57)	(18)	12.7	
120 7	—	目1-56	目層	円盤	沈線	42	42	11	16.2	
120 1	SK160	—	部方	棒状	無文	(63)	21	20	23.2	据2年度調査
120 2	SK820	—	覆土	土塊	沈線	(38)	(51)	13	23.2	据2年度調査

石製品観察表

図 番号	造機名	グリッド	部位	器種	石質	重量(g)	計測値 (mm)			備考	
							長さ	幅	厚さ		
14 22	SI105(SP164)	—	覆土	不明	凝灰岩	23.9	(39)	46	12		
36 15	SK22(SP1340)	—	覆土	円盤	凝灰岩	6.0	31	29	6	縦割 岩盤中	
78 31	SP1116	—	1層	石棒	黄岩	373.8	(174)	47	40	縦割	
80 15	SP1299	—	覆土	岩塊	緑色凝灰岩	59.9	67	43	12		
84 5	SP1900	—	2層	穿孔	凝灰岩	11.6	33	48	6	縦割、穿孔、巻物高9 石製品-1	
86 8	SP2497	—	覆土	石棒	凝灰岩	1270.3	(173)	75	5-1-2	SK96-9+同	
86 9	SP2497	—	覆土	石棒	凝灰岩	769.4	(183)	133	25	SK96-8+同	
86 14	SP2566	—	覆土	穿孔	緑色凝灰岩	28.1	40	50	15	穿孔	
87 7	SP2826	—	覆土	円盤	凝灰岩	33.5	44	48	11		
96 9	—	捨て面IVC-72	1層	石棒	砂質凝灰岩	1842.8	361	78	57		
96 10	—	捨て面IVC-72	1層	石錠	凝灰質砂岩	427.5	81	130	42	縦割 石製品-2	
120 1	—	IV-P-62	円盤	凝灰岩	6.9	28	29	6	縦割		
120 2	—	IV-F-59	穴4 1層	円盤	凝灰岩	9.6	34	36	7	縦割	
120 3	—	IV-F-62	穴4 1層	円盤	凝灰岩	19.7	41	42	9		
120 4	—	IV-F-71	目層	円盤	凝灰岩	57.7	54	49	14		
120 5	—	不明	巻物	円盤	凝灰質黄岩	41.9	53	50	12		
120 6	—	IV-Y-64	目層	岩塊	凝灰岩	26.4	54	35	10		
120 7	—	IV-F-67	目層	穿孔	凝灰岩	6.6	32	32	6	穿孔	
120 8	—	IV-C-54	目層	岩塊	緑色凝灰岩	100.5	81	86	17	縦割、穿孔	
120 9	—	IV-I-62	目層	石棒	黄岩	7.2	(59)	(26)	(7)	縦割	
120 10	—	VI-54	目層	石棒	黄岩	167.4	(132)	(40)	(17)	縦割	
120 11	—	IV-S-63	目層	石棒	凝灰岩	1496.5	(291)	58	46		
120 12	—	IV-F-62	穴4 1層	石棒	砂岩	2477.7	639	51	47	縦割 石製品-1	



A・B区全景（上が北、合成写真）

写真1 調査区全景（1）



調査区全景（平成23年度 北から）



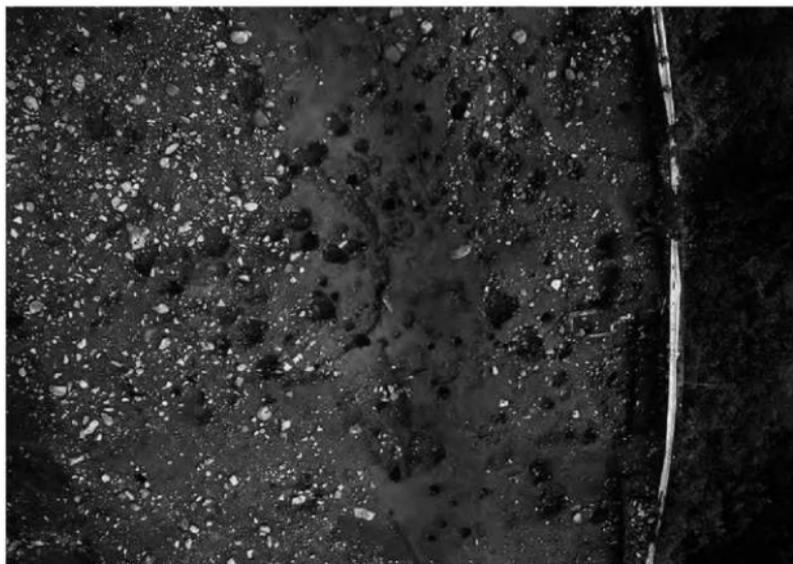
調査区全景（平成24年度 南から）

写真2 調査区全景（2）



環状に分布する掘立柱建物跡（左が北）

写真3 調査区全景（3）



SI116 周辺（上が北）



SI104 周辺（上が北）

写真4 調査区全景（4）



B区全景（南から）



C区全景1（西から）



C区全景2（南西から）



C区全景3（西から）

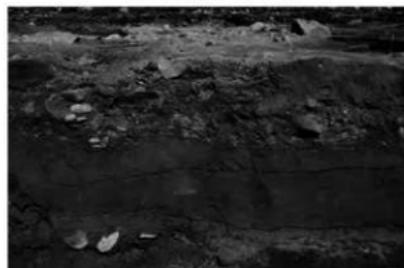
写真5 調査区全景（5）



A区基本層序①（東から）



A区基本層序②（東から）



A区基本層序③（西から）



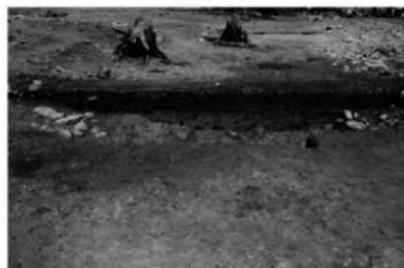
B区基本層序（南から）



C区基本層序（北から）



沢4土層①（北西から）



沢4土層②（南から）



沢101土層（南から）

写真6 基本層序



A区調査風景 1



A区調査風景 2



A区調査風景 3



A区調査風景 4



A区調査風景 5



B区調査風景 1

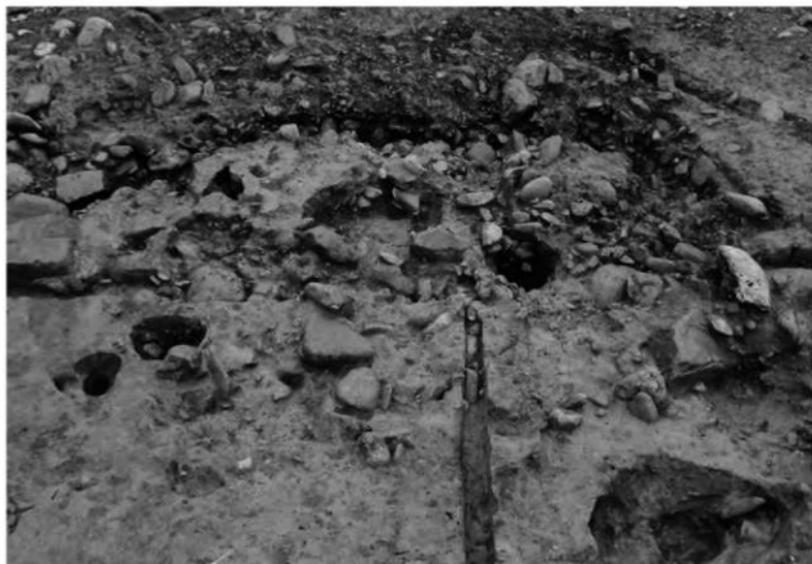


B区調査風景 2



C区調査風景

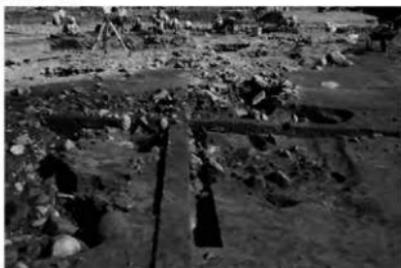
写真7 調査風景



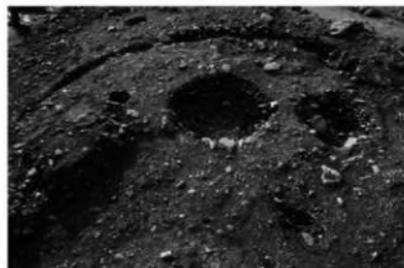
SI102 完掘（南から）



SI102 土層（南から）



SI102 土層（西から）



SI103 SD19 完掘（北から）



SI103 SD19 土層 A-A'（南から）

写真8 A区竪穴住居跡（1）



SI104 完掘 (西から)



SI104 SR104(左)・105(右) 土層 (南西から)



SI104A SP1683(右)・SD07(左) 土層 (東から)



SI104B SP2335 土層 (南から)

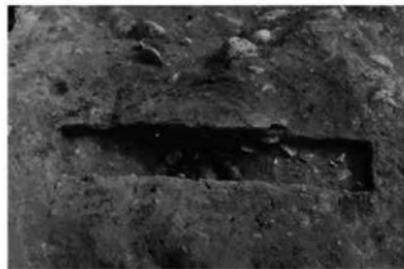


SI104B SP2447 土層 (南から)

写真9 A区竪穴住居跡(2)



SI105 完掘（西から）



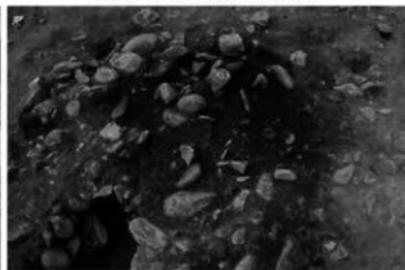
SI105 SN107 土層（北東から）



SI105 SP1162 土層（西から）



SI105 SP1658 土層（西から）



SI105 SP2268 土偶出土状況（東から）

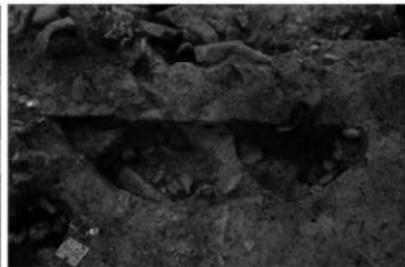
写真 10 A区竪穴住居跡（3）



SI106 完掘（西から）



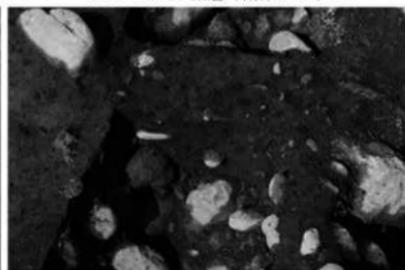
SI106 SN116 検出（北東から）



SI106 SN116 土層（南東から）



SI106 硬化面検出（西から）



SI106 SD09 土層（西から）

写真 11 A区竪穴住居跡（4）



S1107 完掘（北西から）



S1108～110 完掘（東から）

写真 12 A区竪穴住居跡（5）



SI108 SN118 土層（東から）



SI108 SD10 北側土層（東から）



SI108 SD10 南側土層（東から）



SI109 SN120 土層（東から）



SI110 完掘（東から）



SI110 土層（東から）



SI111 SP2390 完掘（西から）



SI111 SP2390 土層（南から）

写真 13 A区竪穴住居跡（6）



SI111 SP2390 遺物出土状況（南から）



SI111 SP2178 石皿出土状況（南東から）



SI112 完掘（東から）



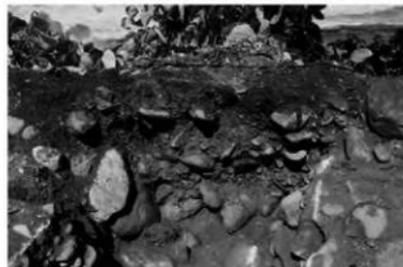
SI112 土層（東から）



SI113 SD04 完掘（南から）



SI113 SD04 完掘（東から）



SI113 SD04 土層 B-B'（東から）



SI113 土層 E-E'（東から）

写真 14 A区竪穴住居跡（7）



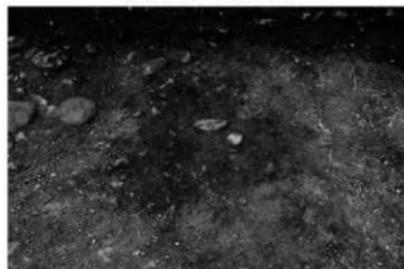
SI114 完掘 (西から)



SI114 土層 (西から)



SI114 Pit1 土層 (西から)



SI114 炉検出 (西から)



SI114 炉土層 (北から)

写真 15 A区竪穴住居跡 (8)



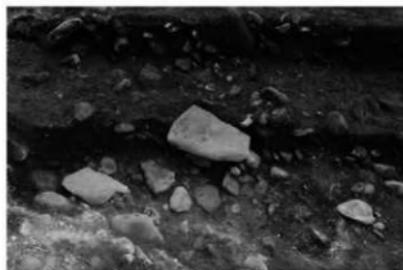
SI115 完掘（西から）



SI115 土層（西から）



SI115 Pit9 土層（西から）



SI115 石皿出土状況（西から）



SI115 土製品出土状況（南西から）

写真 16 A区竪穴住居跡（9）



SI116 SD01 完掘 (東から)



SI116 SN105 土層 (東から)



SI116 SN106 土層 (北西から)



SI116 SP1244 土層 (北東から)



SI116 SD01 土層 A-A' (北から)

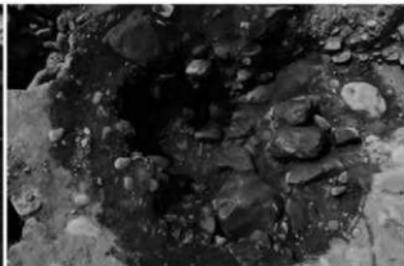
写真 17 A区竪穴住居跡 (10)



SI117・118 完掘（北西から）



SI118 SD03 土層（南東から）



SI117 SP1407 完掘（北から）



SI117 SP1409 柱痕検出（東から）



SI117 SP1409（左）・1427（右）完掘（西から）

写真 18 A区竪穴住居跡（11）



SB21～23完掘（上が北）



SB21柱2土層（北から）



SB21柱5・SB22柱6土層（西から）

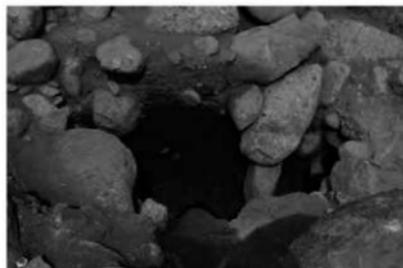


SB22柱1粘土土層（東から）



SB22柱2土層（北西から）

写真 19 A区掘立柱建物跡（1）



SB22 柱 3 土層 (南から)



SB22 柱 4・SP1107 土層 (北から)



SB23 柱 3 土層 (南から)



SB23 柱 4 土層 (東から)



SB24 完掘 (南西から)



SB24 柱 1 遺物出土状況 (北から)



SB24 柱 2 土層 (南東から)



SB24 柱 3 土層 (南東から)

写真 20 A区掘立柱建物跡 (2)



SB25・26 完掘（西から）



SB25 柱1 土層（西から）



SB25 柱2 土層（東から）



SB25 柱4 土層（南から）



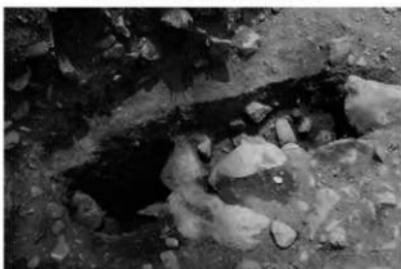
SB25 柱5 柱痕検出（南西から）



SB25 柱6 底面硬化面（西から）

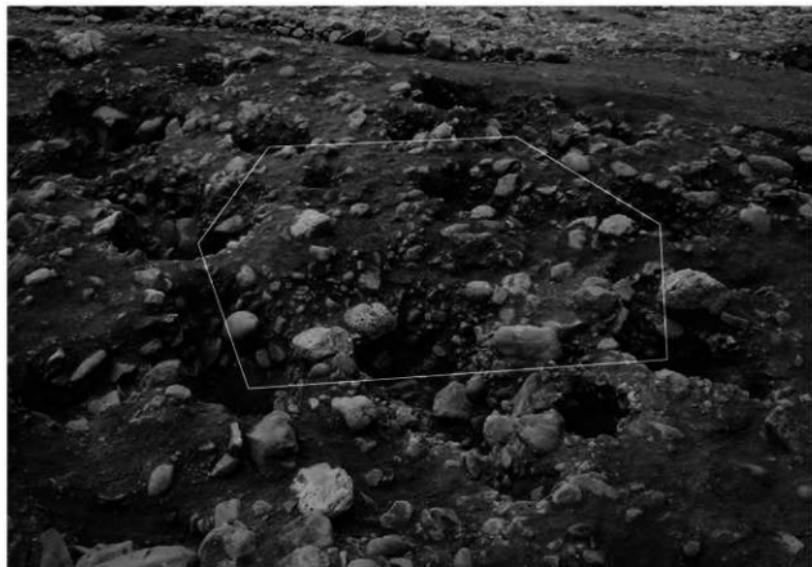


SB26 柱3 土層（南から）

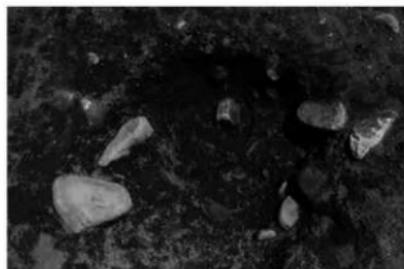


SB26 柱4（左）土層（西から）

写真 21 A区掘立柱建物跡（3）



SB27 完掘（東から）



SB27 柱3 柱痕検出（西から）



SB27 柱5・SP1488 完掘（南から）



SB27 柱6 柱痕検出（西から）

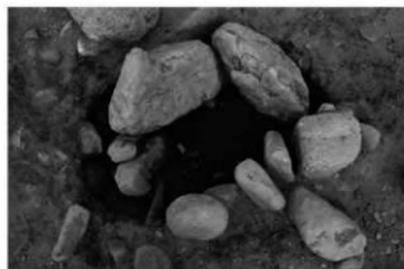


SB27 柱6 土層（南西から）

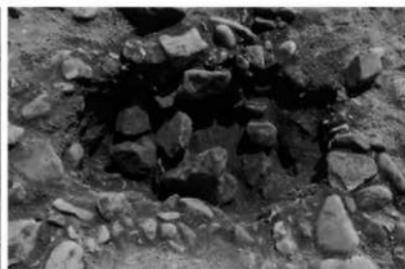
写真 22 A区掘立柱建物跡（4）



SB28・29・30 完掘（西から）



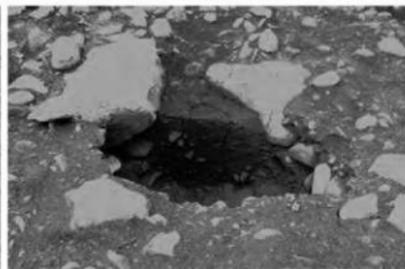
SB28 柱 1 柱痕検出（西から）



SB28 柱 2 柱痕検出（北東から）



SB28 柱 2 土層（南西から）



SB28 柱 3 土層（南から）

写真 23 A区掘立柱建物跡（5）



SB29・30 柱2 完掘（南から）



SB29・30 柱2 土層（南から）



SB29 柱3 土層（北から）



SB30 柱1・SP2258 土層（南から）



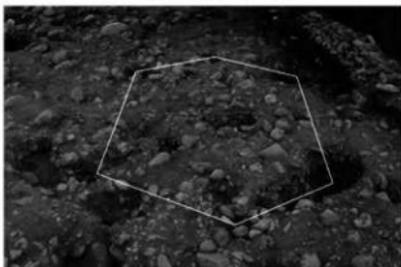
SB30 柱3 土層（北から）



SB30 柱5 土層（南から）

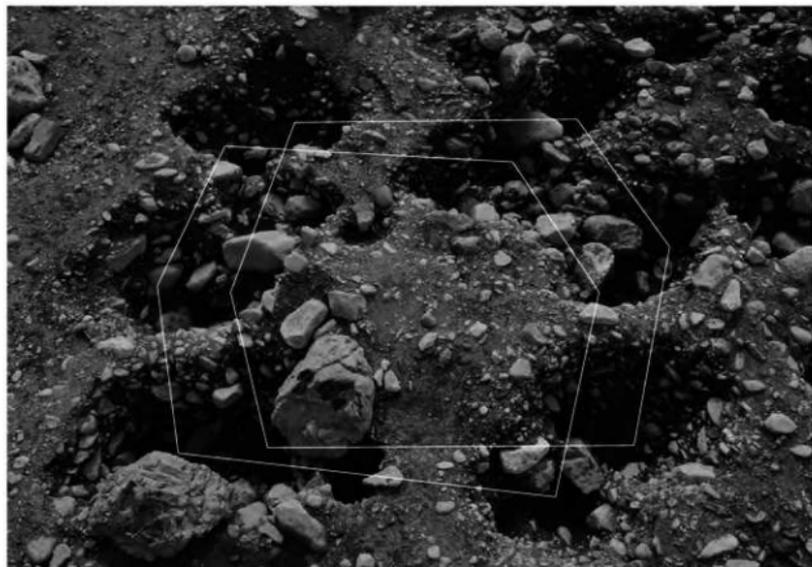


SB29・30 柱6 土層（南西から）

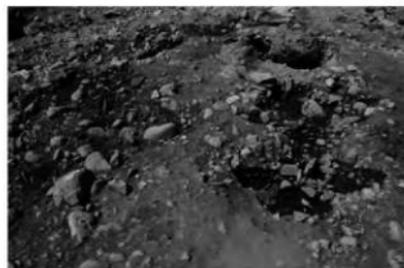


SB31 完掘（南から）

写真 24 A区掘立柱建物跡（6）



SB32・33 完掘（北から）



SB32・33 検出状況（南から）



SB32・33 柱1 土層（南から）



SB32・33 柱3 土層（南東から）

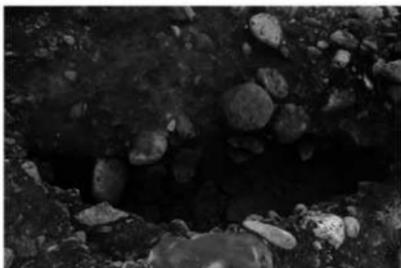


SB32 柱3・SP1589 土層（東から）

写真 25 A区掘立柱建物跡（7）



SB32・33柱5土層（北から）



SB32・33柱6土層（北西から）



SB34柱1土層（南から）



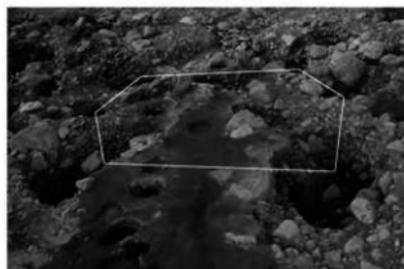
SB34柱2土層（東から）



SB34柱3土層（南から）



SB34柱6土層（南から）

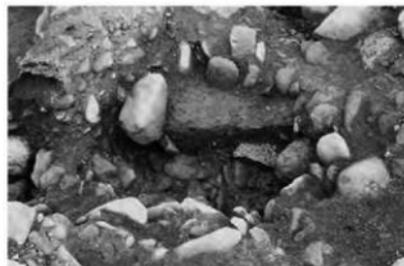


SB35完掘（南から）



SB35柱1剥片出土状況（北西から）

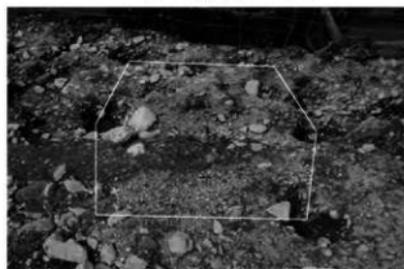
写真 26 A区掘立柱建物跡（8）



SB35 柱4 土層 (南西から)



SB35 柱5 土層 (東から)



SB36 完掘 (東から)



SB36 柱1・SP2185 土層 (北から)



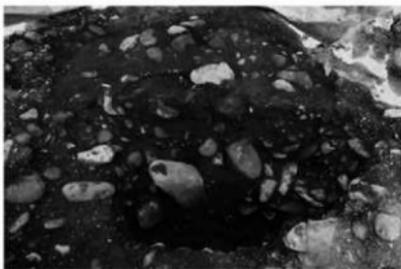
SB36 柱4 土層 (南東から)



SB36 柱5 土層 (南東から)



SB37 完掘 (東から)



SB37 柱4 土層 (北東から)

写真 27 A区掘立柱建物跡 (9)



SB37 柱5土層（北から）



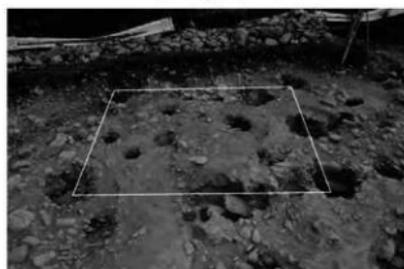
SB37 柱6土層（東から）



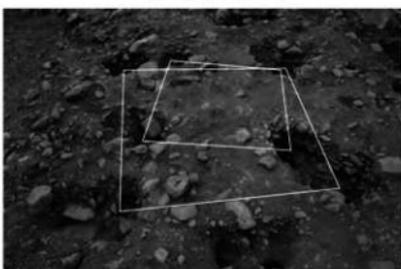
SB38 柱4土層（西から）



SB38 柱6土層（西から）



SB39 完掘（西から）



SB40・41 完掘（北から）



SB40 柱4土層（東から）



SB41 柱2土層（北から）

写真 28 A区掘立柱建物跡（10）



SR100 検出（北から）



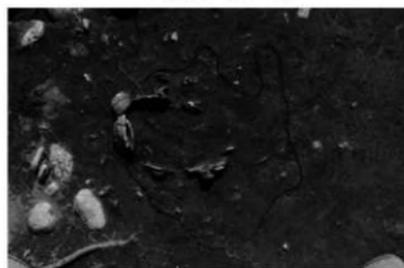
SR100 土層（東から）



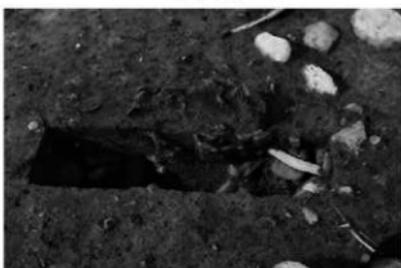
SR103 検出（北西から）



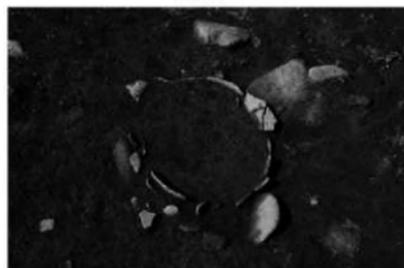
SR103 土層（南から）



SR106 検出（北から）



SR106 土層（北から）



SR107 検出（東→）



SR107 土層（南西→）

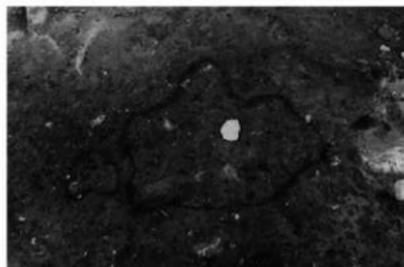
写真 29 A区土器埋設遺構



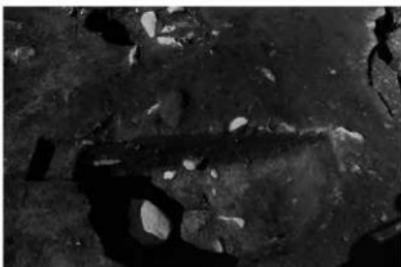
SN117 検出（東から）



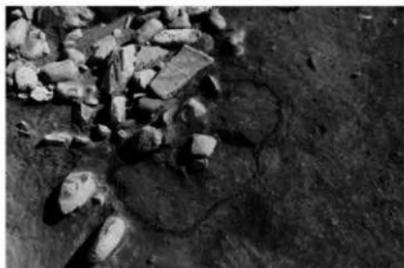
SN117 土層（東から）



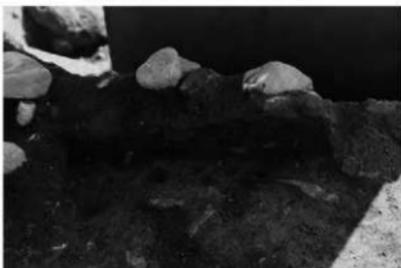
SN121 検出（西から）



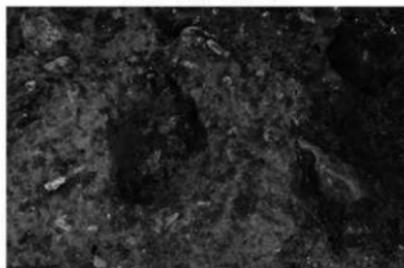
SN121・SP2577 土層（南から）



SN122 検出（北から）



SN122 土層（北西から）

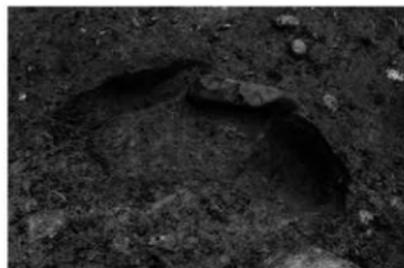


SN126 検出（北から）



SN126 土層（西から）

写真 30 A区焼土遺構（1）



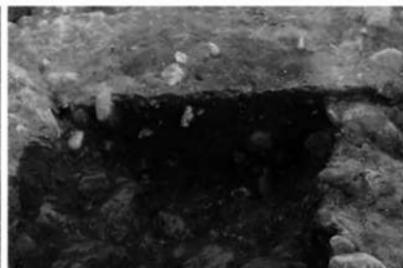
SN127 検出 (南から)



SN127 土層 (南から)



SD16 B-Tm 検出 (北から)



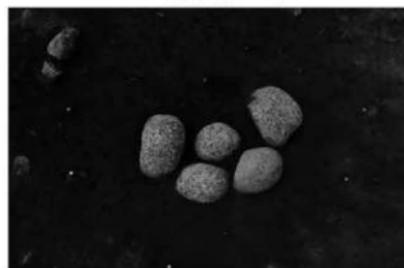
SD16 土層 A-A' (南から)



SD23 完掘 (北から)



SD23 土層 (北から)



SQ01 検出 (南から)



SQ03 検出 (西から)

写真 31 A区焼土遺構(2)・溝跡・配石遺構



SP1081 土層 (南東から)



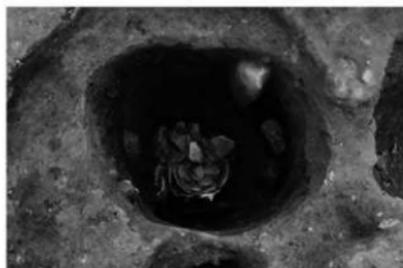
SP1081 完掘 (南から)



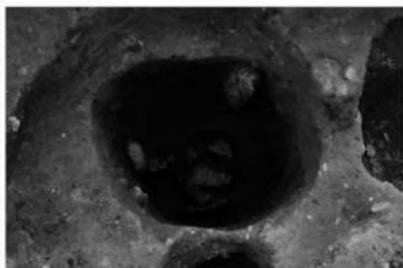
SP1219 検出面礫出土状況 (西から)



SP1219 柱底部土器出土状況 (東から)



SP1219 土器出土状況 (東から)



SP1219 土器下面礫出土状況 (東から)



SP1261 土層 (東から)

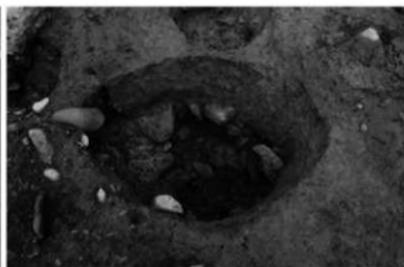


SP1261 完掘 (東から)

写真 32 A区ピット (1)



SP2214 土層 (南西から)



SP2214 完掘 (南西から)



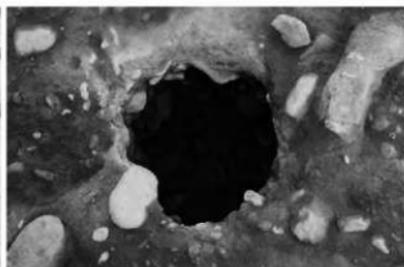
SP2235 土層 (北西から)



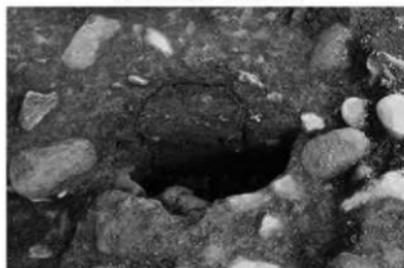
SP2235 完掘 (北西から)



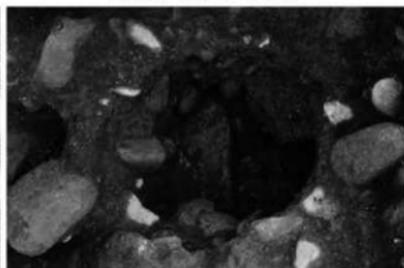
SP2261 土層 (東から)



SP2261 完掘 (西から)



SP2608 土層 (西から)



SP2608 完掘 (西から)

写真 33 A区ビット (2)



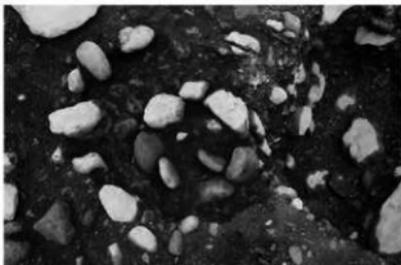
SP1391 土器出土状況（北から）



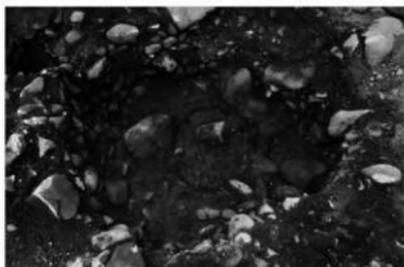
SP1393 柱痕検出（東から）



SP1589 柱痕検出（東から）



SP1665 柱痕検出（南西から）



SP1759 柱痕・SB36 柱 4 検出（東から）



SP2344 柱痕検出（北西から）



SP2344 土層（北から）



SP2344 柱痕土器出土状況（北から）

写真 34 A区ピット（3）



SP1371 礫検出（北から）



SP1110 土層（東から）



SP1110 完掘（東から）



SP1116 石棒出土状況（南東から）



SP1116 土器出土状況（南から）



SP1116 完掘（西から）

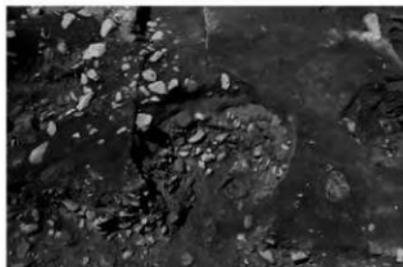


SP1295 土層（東から）

写真 35 A区ビット（4）



SP1299 土層（西から）



SP1299 完掘（東から）



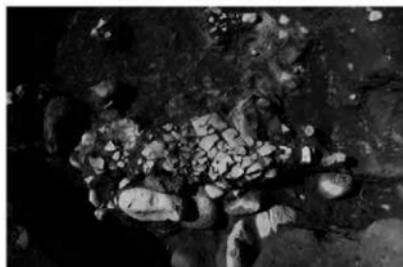
SP1295・1297・1299・1300・1554 完掘（北から）



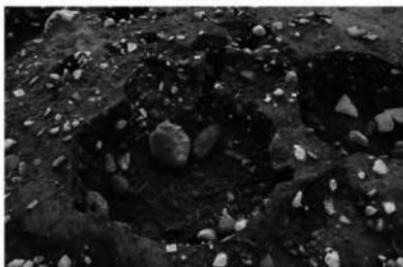
SP1554 土層（南から）



SP1554 完掘（南から）



SP1583 土器出土状況（東から）

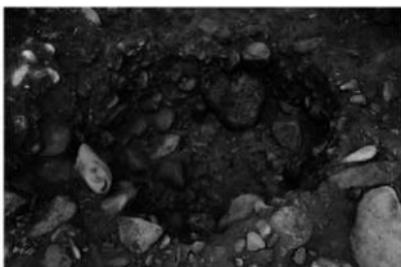


SP1583 完掘（東から）

写真 36 A区ピット（5）



SP1900 土層（東から）



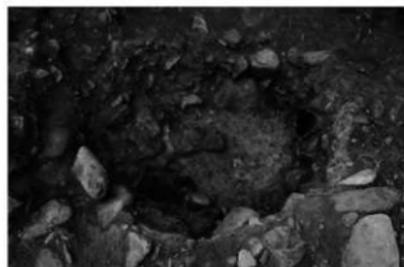
SP1900 完掘（東から）



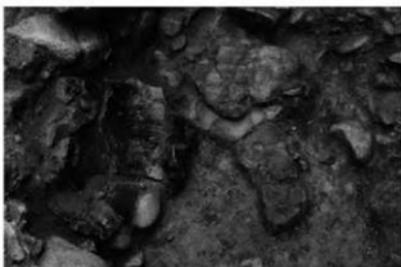
SP1900 礫検出（西から）



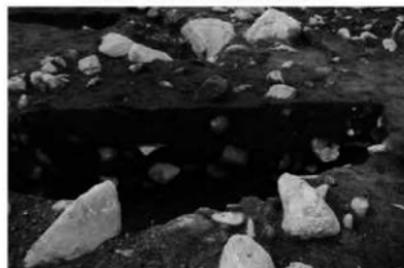
SP1900 石製品出土状況（西から）



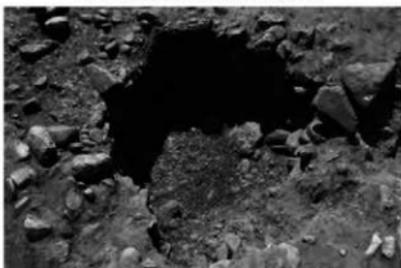
SP1900 土器出土状況（東から）



SP1900 土器出土状況（北から）



SP2581 土層（南東から）



SP2581 完掘（北から）

写真 37 A区ビット（6）



SP2648・2649 土層（南東から）



SP2648・2649 完掘（東から）



SP2651 土層（東から）



SP2651 完掘（東から）



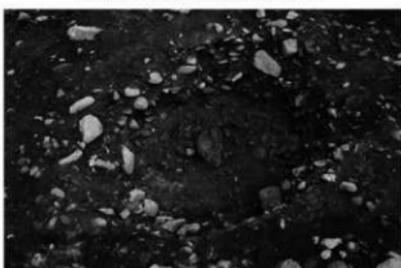
SP2853 土層（北西から）



SP3025 土器出土状況（東から）



SP3025 土層（西から）

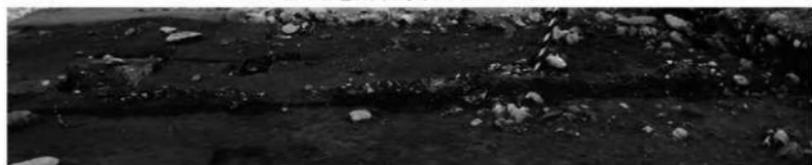


SP3025 完掘（北西から）

写真 38 A区ピット（7）



捨て場遺物出土状況（北西から）



捨て場土層（西から）



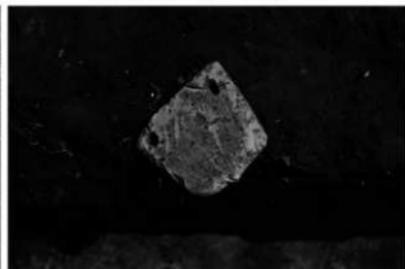
捨て場土器出土状況（北東から）



捨て場石皿出土状況（西から）

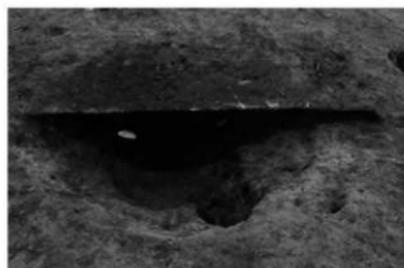


石棒出土状況（北東から）

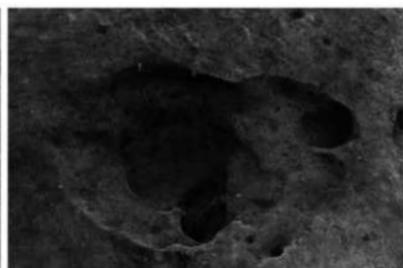


岩版出土状況（北から）

写真39 A区捨て場・遺構外出土遺物



BSP01 土層（東から）



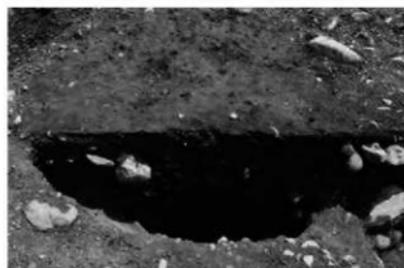
BSP01 完掘（南から）



BSP05 土層（東から）



BSP05 完掘（東から）



BSP07 土層（北から）



BSP07 石器出土状況（南から）



BSP07 完掘（南から）



CSP01・CSR01 土層（南西から）

写真 40 B区ピット・C区ピット・土器埋設遺構

S1102



6-1



6-2

S1104



10-1



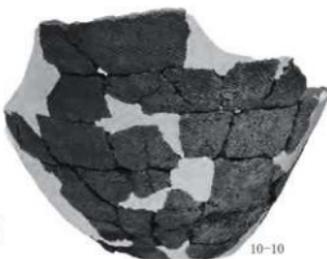
10-9



10-2



10-4



10-10



10-7



10-6



10-13



11-1

S1106



15-1

S1105



14-2



14-7



14-11



14-13



14-14



14-15



14-17



14-18



14-19



14-21

S1108



16-1



14-16



14-20

写真 41 A区竖穴住居跡出土遺物(1)

S1111



S1112



S1114



S1115



S1116



S1117 - 118



写真 42 A区竖穴住居跡出土遺物(2)



写真 44 A区ピット出土遺物(1)

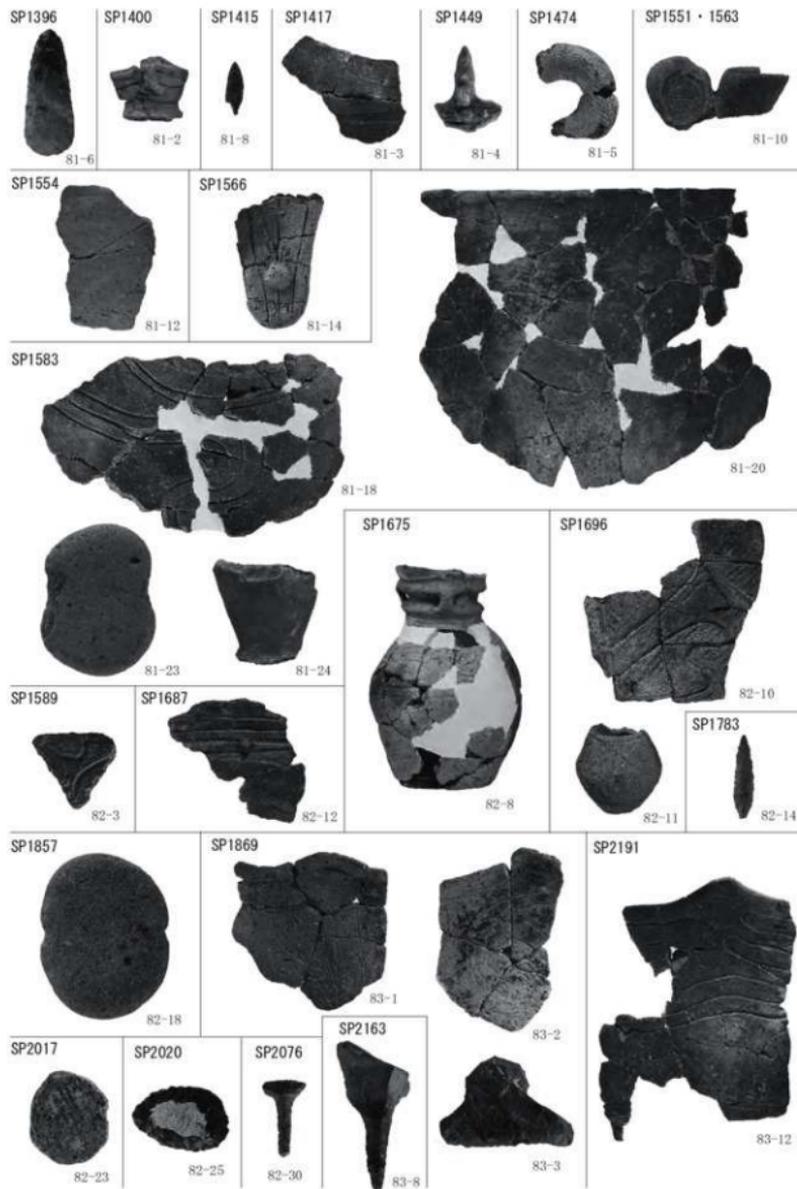


写真45 A区ピット出土遺物(2)

SP1900



SP2200



SP2244



SP2197



SP2215



SP2273



SP2292



SP2303



SP2344



SP2316



SP2366



SP2400



SP2457



SP2566



SP2592



SP2399



SP2649



SP2813



SP2826



SP2834



SP2540



写真 46 A区ピット出土遺物(3)



89-1



90-1



91-4



90-3



91-8



90-2



91-6



91-5

写真 47 A区捨て場出土遺物(1)

A区捨て場



A区遺構外



写真 48 A区捨て場出土遺物(2)・A区遺構外出土遺物(1)

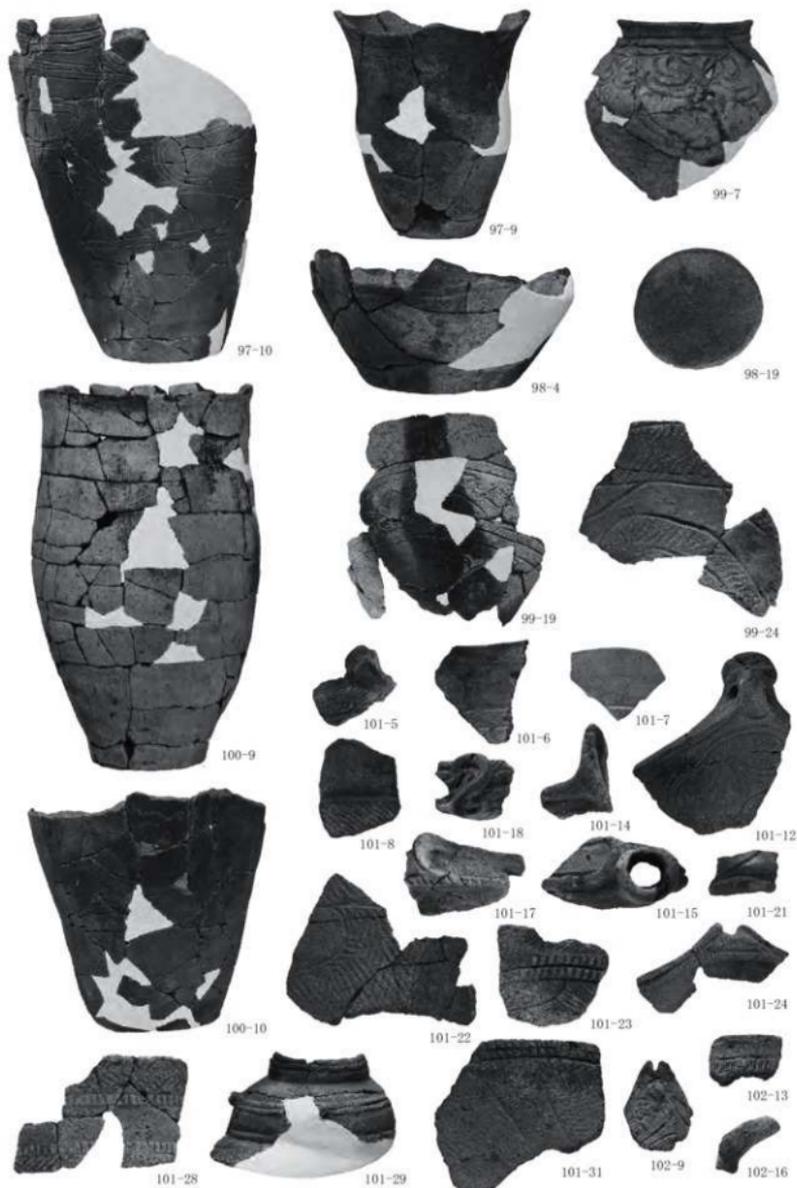
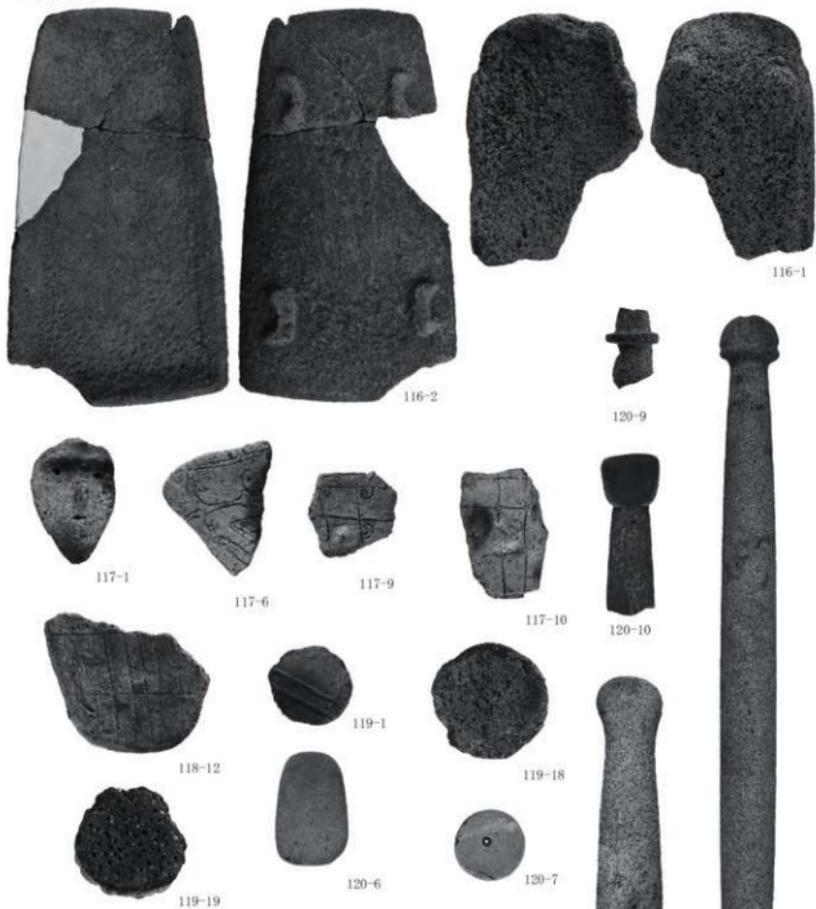


写真 49 A区遺構外出土遺物(2)



写真 50 A区遺構外出土遺物(3)

A区遺構外



BSP01



BSP07



写真 51 A区遺構外出土遺物(4)・B区ピット出土遺物

B区遺構外

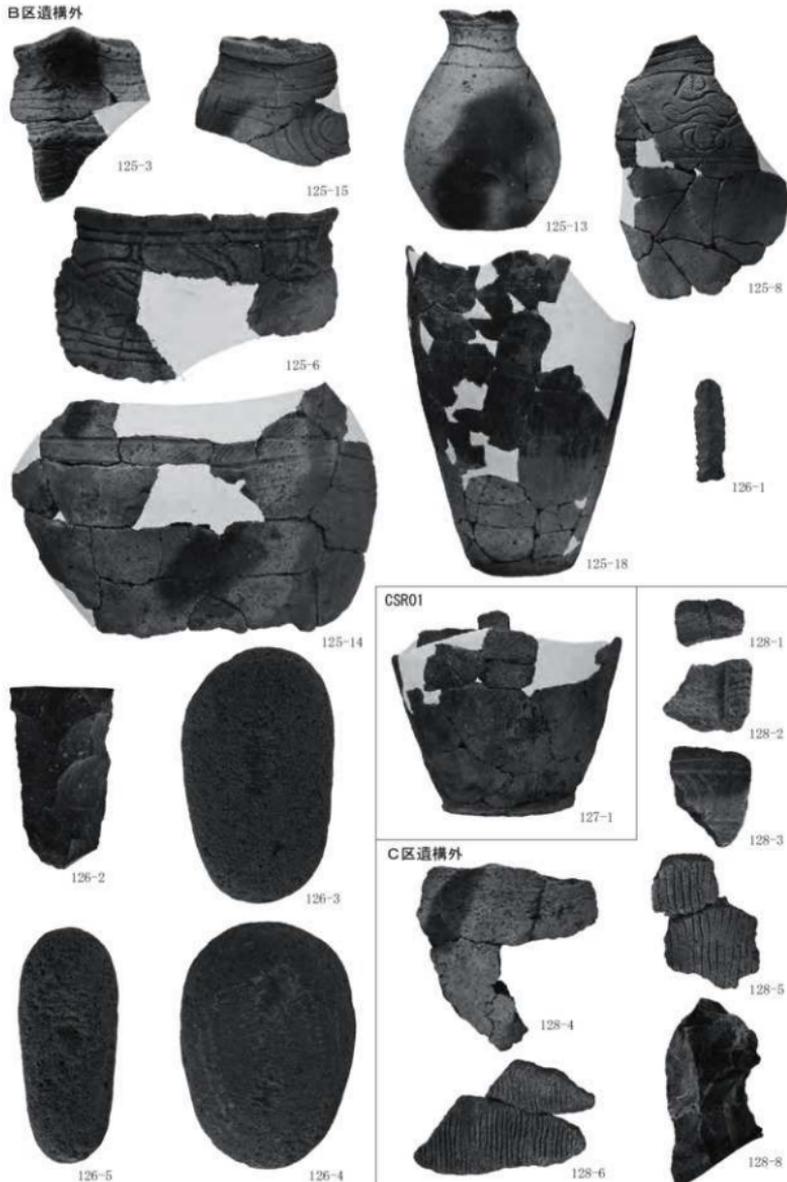


写真 52 B区遺構外・C区出土遺物

報告書抄録

ふりがな	すなこせいせき よん								
書名	砂子瀬遺跡IV								
副書名	津軽ダム建設事業に伴う遺跡発掘調査報告								
シリーズ名	青森県埋蔵文化財調査報告書								
シリーズ番号	第543集								
編著者名	葛城 和徳、工藤 忍、最上 法聖、小田川 哲彦、加藤 隆則、永瀬 史人								
編集機関	青森県埋蔵文化財調査センター								
発行機関	青森県教育委員会								
所在地	〒038-0042 青森県青森市大字新城字天田内152-15 TEL017-788-5701 FAX017-788-5702								
発行年月日	2014年3月26日								
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因	
		市町村	遺跡番号						
すなこせいせき 砂子瀬遺跡	青森県中 津軽郡西 目屋村大 字砂子瀬 字宮元	02343	343008	40°	140°	20110511 ～ 20111028	9,300	記録保存 調査	
	31′			14′	20120508 ～ 20120629	4,500			
	48″			36″					
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項				
砂子瀬遺跡	集落	縄文時代	竪穴住居跡	18	縄文土器（前～後期）、 石器、土製品（土偶、 円盤状土製品、三角形 土製品、動物形土製 品、耳飾）、石製品（円 盤状石製品、岩版、石 棒、有孔石製品）	縄文時代後期を主体と する集落跡。			
			掘立柱建物跡	22					
			土器埋設遺構	5					
			焼土遺構	12					
			溝跡	4					
			配石遺構	2					
			ピット	1110					
捨て場	1								
要約	<p>砂子瀬遺跡は、岩木川と湯ノ沢川に挟まれた標高179～207mの河岸段丘上に位置する。平成18年度から平成24年度までの調査で検出された遺構は竪穴住居跡27棟、掘立柱建物跡41棟、土坑549基、土器埋設遺構23基、焼土遺構18基、溝跡4条、屋外配石が1基、配石遺構9基、ピット2105基、捨て場1ヶ所である。これらは縄文時代中期中葉から晩期にかけてのものであるが、主体となるのは縄文時代後期前葉から後葉である。これらは主にA区に分布しており、A区が集落の中心であったと考えられる。本遺跡において集落が本格的に営まれるのは縄文時代後期前葉である。後期中葉には遺構・遺物ともに減少するが、後期後葉には再び集落が拡大する。</p> <p>竪穴住居跡は縄文時代後期前葉から後葉にかけてのものである。掘り込みが確認できたものとはできなかったものがあり、この相違は住居構造に起因する可能性がある。</p> <p>掘立柱建物跡はA区中央部に外径約60mの環状に分布するものとその外側に分布するものがある。柱穴配置及び出土遺物から縄文時代後期前葉から後葉にかけてのものと考えられ、棟持柱が外側に大きく張り出すものは後期後葉に限定される。</p> <p>土器は縄文時代前期から弥生時代にかけてのものが出土し、縄文時代後期前葉のものが大半を占める。</p> <p>石器は縄文時代早期のものと考えられるトランシェ様石器をはじめ多様な器種が出土したが、中でも石鏢の出土量の多さが特徴としてあげられる。</p> <p>本遺跡周辺には、本遺跡と時期的に前後する遺跡が所在する。今後これらの遺跡を含め、岩木川上流域に所在する遺跡の中での本遺跡の位置づけを行う必要がある。</p>								

青森県埋蔵文化財調査報告書 第543集

砂子瀬遺跡Ⅳ

—津軽ダム建設事業に伴う遺跡発掘調査報告—

発行年月日 2014年3月26日
発 行 青森県教育委員会
編 集 青森県埋蔵文化財調査センター
〒038-0042 青森県青森市新城字天田内152-15
TEL 017-788-5701 FAX 017-788-5702
印 刷 所 株式会社 サンエイ
〒030-0121 青森県青森市妙見三丁目2番19号
TEL 017-738-0040 FAX 017-738-0880
